令和元年度

病　院　年　報

厚生労働省臨床研修指定病院　地域がん診療連携拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院　周産期協力病院　救急告示病院
地域医療支援病院

市　立　長　浜　病　院

理　　念

地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

基 本 方 針

1．患者の権利、尊厳を重視した医療を実践します。
2．地域の医療関係者との連携を深め、地域医療の発展のためにつくします。
3．高度で良質な医療水準を確保し、安全で信頼される医療を進めます。
4．快適な療養環境の整備と、質の高いケアに努めます。
5．医学研究活動を推進し、優れた医療人を育成します。
6．職員が互いに尊重、協力してチーム医療を実現します。
7．職員が元気で働きがいのある職場づくりに努めます。

目　　次

Ⅰ　はじめに…… 1

Ⅱ　病院の沿革…… 3

Ⅲ　病院の概要
　１　施設概要
　　（１）概要…… 7
　　（２）職員状況と組織機構……12

Ⅳ　活動状況
　１　主要事業の概要
　　（１）湖北がんフォーラム 2019 ……14
　　（２）びわ湖あさがおネットの運用……15
　　（３）回復期リハビリテーション病棟の運営……16
　２　各科の活動状況
　　腎臓代謝内科／人工透析センター　……17
　　神経内科　……18
　　消化器内科　……19
　　呼吸器内科　……20
　　循環器内科　……20
　　リウマチ膠原病内科　……21
　　総合診療内科　……22
　　緩和ケア外来こころ　……23
　　小児科＆ NICU　……23
　　外　　科　……24
　　呼吸器外科　……25
　　整形外科　……26
　　形成外科　……27
　　脳神経外科　……28
　　心臓血管外科　……29
　　皮 膚 科　……30
　　泌尿器科　……31
　　産婦人科　……32
　　眼　　科　……33
　　耳鼻咽喉科　……34
　　麻 酔 科　……35
　　ＩＣＵ・ＣＣＵセンター　……36
　　放射線科（治療部門）　……37

放射線科（診断部門）……38
病理診断科……39
歯科・歯科口腔外科……40
臨床研修医……41
救急センター……42
外来化学療法センター……43
ヘルスケア研究センター……44
開放型病棟、開放型病床……45
中央材料室……46
中央手術室……47
薬剤局……48
医療技術局……49
栄養科……50
臨床工学技術科……51
放射線技術科……52
リハビリテーション科／リハビリテーション技術科……54
中央検査技術科……57
歯科・眼科技術室……59
看護局……60
事務局……64
地域医療連携室……69
がん対策推進室……71
訪問看護ステーション……72
診療情報支援室……73
医療安全管理室……74
３　著書発表記録……77
４　論文発表記録……78
５　学会・研究発表記録……81
６　講習会／研修会への取り組み
（１）患者さん、市民を対象にしたもの……94
（２）医療従事者、地域開業医を対象にしたもの……98
７　委員会の状況……100

Ⅴ　経営状況
令和元年度決算状況
（１）経営収支比較……136
（２）貸借対照表……137
（３）経営状況①……138
経営状況②……138
（４）資本的収入及び支出……139
Ⅵ　各種統計資料
１　患者状況

（1）一般病棟科別入院患者数 …… 140
（2）療養病棟科別入院患者数 …… 140
（3）科別外来患者数 …… 141
（4）入院外来患者数の年次推移（一般病棟）…… 142
（5）入院地域別患者数 …… 143
（6）入院年代別患者数 …… 147
（7）外来地域別患者数 …… 151
（8）外来年代別患者数 …… 152
（9）科別月別入院退院患者数 …… 153
（10）科別月別入院患者数 …… 154
（11）科別月別外来患者数 …… 155
（12）救急患者数 …… 156
（13）救急車利用状況 …… 156
2　ＩＣＵ・ＣＣＵ業務状況 …… 157
3　手術業務状況 …… 159
4　健診センター利用状況 …… 160
5　中央材料室業務状況 …… 165
6　薬剤科業務状況 …… 166
7　栄養科業務状況…… 167
8　放射線科／放射線技術科業務状況 …… 169
9　中央検査技術科業務状況 …… 174
10　リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況 …… 175
11　訪問看護ステーション業務状況 …… 176
12　疾病別・転帰別退院患者数 …… 177
13　院内がん登録　2019 年症例…… 178
14　医療機器等購入状況 …… 179
15　死亡診断書発行状況 …… 180
16　剖検症例 …… 181
17　院内保育所「あすなろ園」状況 …… 182

Ⅰ　はじめに

湖北の医療・福祉を
最高の状態で維持するために

長浜市病院事業管理者　　野　田　秀　樹

当院は理念「人中心の医療」を達成し、「地域を支え、導く病院であり続ける」ために、ファシリティーマネジメント・病院長寿命化計画に則ってハード・ソフトの２面から整備を進めています。すでに診療支援棟の竣工、患者総合支援センターを開設し、「地域医療支援病院」の認定と「地域がん診療連携拠点病院」の再認定を受け、現在、小児科（NICU）・産婦人科病棟を含めた大規模な病棟改修とISO取得に向けた準備が進んでいます。

人材面では、特に一昨年は常勤医不在であった消化器内科が５人体制で、小児科も専門医が着任し、放射線治療科では専門医１名増でスタートを切ることができました。また、ヘルスケア研究センターが４月より始動することになり「次世代型健診センター」構想への第一歩を踏み出すこともできました。

経営に関しては「新公立病院改革プラン」に基づく中期経営計画３年目ですが、残念ながら今年度も赤字でした。しかし、職員の頑張りで昨年に続き大幅な改善が見られ、１昨年をボトムにＶ字回復の形となりました。しかし、COVID-19感染症の拡大で３月に入って入院患者数、収益ともに減少傾向を認め、感染の広がり如何では計画が大きく左右されそうです。

限られた医療資源の中で「地域医療構想」「専門医制度」「働き方改革」「会計年度任用職員制度」などの重要課題を解決し、「湖北の医療・福祉を最高の状態で維持する」ために、小児科医師の減少を契機に関係機関と「長浜市立湖北病院、市立長浜病院、長浜赤十字病院の３病院の連携のあり方」について検討してきました。こうしたなか、圏域内の診療所の産科廃業の情報が入り、湖北圏域地域医療構想調整会議で、2025年を目途とする病院機能の再編イメージが了承されました。医療の質と人材確保、経営基盤の確立、地域の活性化、危機管理・政策医療への対応など多面的検討からイメージに今後の病院のあり方を託し同意したところです*。10月には国から「地域医療構想実現に向けた重点支援区域に関する指針」が出され、再編統合等については地域医療構想調整会議の自主性にゆだねるとの説明と多面的支援が得られるのではないかとの期待から、関係者間で合意の上、手を挙げ、重点支援区域に選定されるに至りました（1月31日）。

これから多くの難題、困難が待ち受けていると思いますが、残された時間は限られています。情報に振り回されることなく多様な考え方を受け入れ柔軟に対応し得る術を育て後戻りすることなく、皆さんと一緒に一歩一歩前進していきたいと思います。宜しくお願いします。

* これまでの経過・私の想い等は【窓 MEDICINE「地域医療構想実現に向けた国による重点支援区域」選定を受けて。全自病協雑誌 2020（4）；59：4-6】を参照してください。

令和元年度の歩み

市立長浜病院
院長　神　田　雄　史

４月から当院本館の大規模改修工事が２年間の予定で始まりました。平成８年５月１日の新築移転から初めての大規模改修です。工事は順調に進行し、７階西病棟、６階西病棟、５階西病棟の改築が終了しました。各病棟の病床数を減らし、個室を増やし、トイレはすべてウォシュレット付き洋式としました。

４月から消化器内科が常勤医５名体制となり、診療体制が充実し、内視鏡センターも再開しました。消化器内視鏡診療に加え、炎症性腸疾患、肝胆膵疾患などに積極的に取り組んでいます。小児科では常勤医が１名着任し、小児の診療を再開しました。

また、ヘルスケア研究センターを設置し、長浜市健康都市宣言「健康で輝けるまちながはま」を推進するために、健診部と渉外部を配置しました。

７月７日に湖北がんフォーラム 2019 を開催しました。「がんと共に生きることへの支援」をテーマに長浜文化芸術会館で 309 名の参加者がありました。

11 月 23 日に『びょういんの参観日』を開催しました。市民に病院を身近に感じてもらいたいとの思いから、当院としては初めての試みです。家族連れ730 人に来場していただき、病院見学ツアー、看護師の仕事体験、血管年齢の測定などを行いました。子供たちから未来の医療関係者が育つことを願っています。

12 月から循環器内科で心房細動に対するカテーテルアブレーション術を新たに開始しました。脳梗塞、心不全を引き起こす心房細動を完治させることができます。

１月 25 日に地域医療連携交流会を開催しました。消化器内科が中心となり、地域の先生方を招いて交流を深めました。

地域医療構想を進めていくなかで、令和２年１月に当院のある滋賀県湖北区域が国の重点支援区域に選定されました。湖北圏域の４病院の診療体制、医療機能や病床の見直しを進めることになりました。

順調に経過しているように思えた令和元年でしたが、１月 15 日に日本で第１例目の新型コロナウイルス感染者が確認され、３月５日には滋賀県で第１例目が発生しました。全国に感染が拡大するとともに、外来・入院患者がともに減少してきました。当院は感染症指定病院ではありませんが、新型コロナウイルス感染症対策に多大な労力を奪われるようになりました。３月には学会、地域の会議がことごとく中止となり、病院運営に影響が出るようになりました。医学会による診療縮小の意向が示され、診療収入は減少し、来年度の病院経営に大きな影を落としています。新型コロナウイルス治療薬の開発が切に望まれます。

II　病院の沿革

沿　　革

明治19年４月	(1886)	公立大津病院を県立大津病院に改称され、長浜に出張所が設置される
明治20年８月	(1887)	北船町（現在の公園町）に県立長浜避病院が設置される
明治22年４月	(1889)	町立長浜病院が設立（西本町）
明治26年11月	(1893)	北船町（現在の朝日町）に町立長浜病院を新築移転
明治30年４月	(1897)	町立長浜病院が私立長浜病院となる
昭和19年５月	(1944)	私立長浜病院を買収。市立病院として同年６月開院 診療科：内科、外科、耳鼻科
昭和21年３月	(1946)	市立長浜病院東分院設置（東上坂町字小田976－7） 診療科：内科、小児科（医師３人、薬剤師１人、看護婦５人、その他５人）
昭和22年７月	(1947)	市立長浜病院神田診療所設置（加田町字坂村2356） 診療科：内科、小児科
昭和33年３月	(1958)	病院移転新築工事着工（八幡東町631）
昭和34年４月	(1959)	鉄筋コンクリート３階建開院 一般病棟167床、結核病棟39床、癌治療施設、看護婦寄宿舎完成
昭和34年８月	(1959)	伝染病棟（15床）増設
昭和37年11月	(1962)	一般病棟50床増設
昭和38年１月	(1963)	一般病棟29床増設、病床総数300床
昭和41年９月	(1965)	救急病院の告示
昭和42年１月	(1967)	機能回復訓練室、病床15床増設、伝染病棟15床を一般病棟へ切り替え
昭和50年７月	(1975)	結核病棟39床を廃止し、一般病棟へ切り替え、病床総数315床
昭和55年４月	(1980)	53年度から２ヵ年計画で病棟（西棟）及び放射線部門を増設。 併せて院内保育園新設、病床総数365床
昭和61年４月	(1986)	58年度から３ヵ年計画で中央棟（開放型病室32床含む）の増築整備をはかり、病床総数415床
平成４年６月	(1992)	病院移転新築基本構想策定
平成６年３月	(1994)	病院新築工事契約の締結
平成６年５月	(1994)	移転新築工事起工（長浜市大戌亥町313）
平成８年 ５月１日	(1996)	新病院開院（入院患者の移送） 病床総数520床（開放型50床）、外来診療開始（５月７日） 診療科：20科（平成９年１月１日　診療科21科）
平成９年12月５日	(1997)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審
平成10年３月16日	(1998)	病院機能評価における認定証の受理 （平成10年２月９日付け一般病床種別B認定第26号） （認定期間　平成10年２月９日～平成15年２月８日）
平成11年１月 ８日	(1999)	河野良一名誉院長（昭和57年４月１日就任）が死去
平成11年３月	(1999)	療養型病床群病棟建設設計予算議決
平成11年４月	(1999)	企画情報課に療養型病床群病棟開設準備担当設置
平成11年８月	(1999)	療養型病床群病棟建設設計本部設置
平成13年１月	(2001)	療養型病床群病棟建設工事請負契約の締結
平成13年１月	(2001)	療養型病床群病棟建設工事起工

平成13年２月	(2001)	トータルオーダリングシステム等基本計画策定
平成13年３月	(2001)	秋山泰高院長（平成２年４月１日就任）が退職
平成13年３月	(2001)	臨床研修病院の指定を受ける
平成13年４月	(2001)	琴浦良彦院長就任
平成13年４月15日	(2001)	西川博文副院長（平成８年５月１日就任）が死去
平成14年３月 １日	(2002)	療養病棟の開設（156床増床）
平成14年５月	(2002)	トータルオーダリングシステム更新
平成15年２月 ６日	(2003)	全国自治体病院協議会管理者研修実施
平成15年２月26日～28日	(2003)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（ver.4）
平成15年４月15日	(2003)	アウグスブルク市長病院視察
平成16年１月26日	(2004)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価認定証受理 （認定期間　平成15年２月９日～平成20年２月８日）
平成16年４月 １日	(2004)	市立長浜病院組織機構改革
平成16年４月 １日	(2004)	湖北地域における小児救急支援事業の開始
平成16年５月 １日	(2004)	臨床研修医制度による研修医の受け入れ開始
平成17年１月17日	(2005)	地域がん診療拠点病院の指定を受ける
平成17年12月	(2005)	長浜市と京都大学大学院医学研究科との間で「長浜市０次予防健康づくり推進事業」の計画策定に関する覚書を締結。今後１万人規模の疫学調査に積極的に参加協力。
平成18年２月 ６日	(2006)	人間ドック・健診施設機能評価機構による訪問審査
平成18年２月13日	(2006)	長浜市・浅井町・びわ町１市２町合併
平成18年３月25日	(2006)	社団法人日本病院会、日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設機能評価認定証受理 （認定期間　平成18年３月25日～平成23年８月31日）
平成18年 ３月	(2006)	平成16年６月の創立60周年を機に、市立長浜病院創立60周年記念誌を発刊
平成18年11月	(2006)	最新鋭の64マルチスライスCTの運用開始
平成19年 ４月	(2007)	高精度治療に対応した最新の放射線治療装置（リニアック）の導入に向けたプロジェクトチームを設置
平成19年 ６月	(2007)	がん相談支援センターの設置
平成20年 ２月	(2008)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.5）の認定更新 （認定期間　平成20年２月９日～平成25年２月８日）
平成20年 ２月	(2008)	地域がん診療連携拠点病院認定更新
平成20年 ３月	(2008)	琴浦良彦院長（平成13年４月１日就任）が退職
平成20年 ４月	(2008)	野田秀樹院長就任
平成20年 ４月	(2008)	最新の放射線治療装置（リニアック）の稼働
平成20年 ４月	(2008)	PACS（画像ファイリングシステム）運用開始
平成20年 ６月	(2008)	医薬分業の視点から薬品の院外処方箋を発行
平成20年 ７月	(2008)	厚生労働省からDPC対象病院に指定
平成21年 ３月	(2009)	市立長浜病院改革プラン策定

平成21年 4月	(2009)	一般病棟入院基本料看護基準７対１の施設基準を取得
平成21年 4月	(2009)	長浜病院訪問看護ステーションの設置
平成22年 1月 1日	(2010)	長浜市･虎姫町･湖北町･高月町･木之本町･余呉町･西浅井町の1市6町合併
平成22年 1月	(2010)	トータルオーダリングシステム更新
平成22年 4月	(2010)	地方公営企業法全部適用へ移行
平成22年 4月	(2010)	野田秀樹院長が病院事業管理者に就任（院長兼務）
平成22年 4月 1日	(2010)	標榜科22科（呼吸器外科を新たに届出）
平成23年 3月31日	(2011)	療養病棟２階介護保険52床を廃止で変更届 総病床数（624床） 一般病棟（520床） 療養病棟（104床）うち医療保険52床、介護保険52床
平成23年 4月	(2011)	社団法人日本病院会　日本人間ドック学会による人間ドック･健診施設機能評価認定更新(認定期間　平成23年4月1日～平成28年3月31日)
平成23年 7月20日	(2011)	療養病棟２階を医療保険適応病床52床に変更届
平成24年 3月	(2012)	長浜市病院事業基本計画（中期）及び長浜市病院事業改革プラン【改訂版】を策定
平成24年 4月	(2012)	野田秀樹院長が病院事業管理者を専任及び医療政策監に就任
平成24年 4月	(2012)	多賀俊明院長就任
平成24年 4月	(2012)	経営企画課に診療支援棟建設準備室を設置
平成24年 4月23日	(2012)	療養病棟１階人工透析室40床開設
平成24年 5月31日	(2012)	療養病棟３階介護保険52床を廃止で変更届
平成24年 6月 1日	(2012)	療養病棟３階を医療保険52床で届出 総病床数（624床） 一般病棟（520床） 療養病棟（104床）うち医療保険104床
平成24年 9月	(2012)	診療支援棟建設設計補正予算議決
平成24年10月1日～3日	(2012)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（Ver.６）
平成24年11月	(2012)	3.0テスラMRI装置の導入
平成25年 1月	(2013)	トータルオーダリングシステム等の電子カルテ化
平成25年 2月	(2013)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.６）の認定更新（認定期間　平成25年２月９日～平成30年２月８日）
平成25年 3月	(2013)	外来化学療法センター開設（移転増床）
平成25年 3月 1日	(2013)	療養病棟３階医療保険52床再開
平成25年 6月 1日	(2013)	回復期リハビリテーション病棟（療養病棟）の運用を開始
平成25年 8月 1日	(2013)	脳卒中ケアユニット入院医療管理料の運用を開始
平成26年 3月	(2014)	診療支援棟整備工事設計業務完了
平成26年 4月	(2014)	野田秀樹病院事業管理者が再任
平成26年 6月	(2014)	診療支援棟整備工事着工
平成26年10月 2日	(2014)	標榜科23科（病理診断科を新たに届出）
平成27年 1月 1日	(2015)	地域包括ケア病棟の運用を開始
平成27年 3月	(2015)	長浜市病院事業改革プラン【改訂版】を策定

平成27年 ４月 １日	(2015)	開設許可病床（一般病棟）８床削減 総病床数（616床） 一般病棟（512床） 療養病棟（104床）うち医療保険104床
平成27年10月 ４日	(2015)	診療支援棟　竣工式
平成28年 ３月	(2016)	多賀俊明院長（平成24年4月1日就任）が退職
平成28年 ４月	(2016)	神田雄史院長就任
平成29年 ３月	(2017)	長浜市病院事業中期経営計画（新改革プラン）を策定
平成29年 ４月 １日	(2017)	開設許可病床（一般病棟）16床削減 総病床数（600床） 一般病棟（496床） 療養病棟（104床）うち医療保険104床
平成29年 ４月	(2017)	患者総合支援センター開設 リウマチセンター開設
平成29年10月26～27日	(2017)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（３rdG）
平成30年 ３月27日	(2018)	地域医療支援病院の承認
平成30年 ４月	(2018)	野田秀樹病院事業管理者が再任
平成30年 ４月	(2018)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（３rdG） の認定更新（認定期間　2018年２月９日～2023年２月８日）
平成31年 １月 １日	(2019)	電子カルテシステム更新
平成31年 ４月	(2019)	ヘルスケア研究センター設置
平成31年 ４月	(2019)	市立長浜病院組織機構改革
平成31年 ４月	(2019)	市立長浜病院大規模改修工事着工
令和２年 ２月	(2020)	国土交通省航空局所管 「航空身体検査指定機関」の指定
令和２年 ４月	(2020)	開設許可病床（一般病棟）13床削減 総病床数（587床） 一般病棟（483床） 療養病棟（104床）うち医療保険104床

Ⅲ　病院の概要

Ⅲ－１　施設概要

1．概　　要

（1）施設概要

所 在 地　　滋賀県長浜市大戌亥町 313 番地
施 設 名　　市立長浜病院
開 設 者　　長浜市長　藤井勇治
長浜市病院事業管理者　野田秀樹
管 理 者　　院長　神田雄史

敷地面積　　70,991.23㎡
建　　物　　本　　館　　鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上７階
　　高　　さ　　37.5 m
　　延床面積　　32,836.9㎡
　　別　　館　　鉄筋コンクリート造地上３階
　　延床面積　　8,212.5㎡
　　付 属 棟　　保育園、車庫、医療ガス庫、駐輪場、キャノピー
　　延床面積　　1,078.8㎡
　　診療支援棟　　鉄骨造４階　　5,333.6㎡

（2）外　　来

診療科（標榜科　23 科）
内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科

診療科（院内標榜）
心療内科、腎臓・代謝内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科

（3）病　　棟　（令和２年４月１日現在）

病床数　　587 床（一般　483 床、療養 104 床）
病　棟　　３階東病棟（29 床）　　３階西病棟（47 床）
　　３階南病棟（40 床）　　ICU　CCU（　8 床）
　　４階東病棟（35 床）　　４階西病棟（39 床）
　　（内　PICU　２床）　　（内　NICU　９床）
　　５階東病棟（51 床）　　５階西病棟（46 床）
　　６階東病棟（47 床）　　６階西病棟（46 床）
　　７階東病棟（50 床）　　７階西病棟（45 床）
　　療養２階病棟（52 床）　医療保険対応
　　回復期リハビリテーション病棟（52 床）　医療保険対応

（4）認定施設基準一覧（令和２年５月１日現在）

○基本診療料

初診・再診料

地域歯科診療支援病院歯科初診料
歯科外来診療環境体制加算２
歯科診療特別対応連携加算

入院基本料等

一般病棟 7:1 入院基本料
療養病棟入院基本料１

入院基本料加算

救急医療管理加算
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算１
医師事務作業補助体制加算１
急性期看護補助体制加算
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
療養病棟療養環境加算１
無菌治療室管理加算２
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算　１
医療安全対策地域連携加算１
感染防止対策加算　１
抗菌薬適正使用支援加算
患者サポート体制充実加算
ハイリスク妊娠管理加算
ハイリスク分娩管理加算
呼吸ケアチーム加算
後発医薬品使用体制加算１
病棟薬剤業務実施加算（１と２）
データ提出加算２
入退院支援加算２　及び総合機能評価加算
認知症ケア加算２
せん妄ハイリスク患者ケア加算
排尿自立支援加算
地域医療体制確保加算
地域歯科診療支援病院入院加算

特定入院料

特定集中治療室管理料３
小児入院医療管理料５
回復期リハビリテーション病棟入院料３
地域包括ケア病棟入院料２

○特掲診療料

糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ
糖尿病透析予防指導管理料
乳腺炎重症化予防・ケア指導料

救急搬送看護体制加算
外来放射線照射診療料
ニコチン依存症管理料
開放型病院共同指導料
がん治療連携計画策定料
外来排尿自立指導料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
検査・画像情報提供加算
医療機器安全管理料１
医療機器安全管理料２
歯科疾患管理料の注１に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
在宅患者訪問看護・指導料
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
BRCA1/2 遺伝子検査
先天性代謝異常症検査
ＨＰＶ核酸検出及びＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
検体検査管理加算（Ⅳ）
遺伝カウンセリング加算
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
時間内歩行試験
胎児心エコー法
ヘッドアップティルト試験
長期継続頭蓋内脳波検査
神経学的検査
小児食物アレルギー負荷検査
内服・点滴誘発試験
センチネルリンパ節加算
画像診断管理加算２
ＣＴ撮影及びＭＲＩ撮影
冠動脈ＣＴ撮影加算
心臓ＭＲＩ撮影加算
乳房ＭＲＩ撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算１
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
歯科口腔リハビリテーション料２
エタノールの局所注入（甲状腺）
エタノールの局所注入（副甲状腺）
人工腎臓
導入期加算１
下肢末梢動脈疾患指導管理加算
有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算

組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）
上顎骨形成術、下顎骨形成術（歯科診療によるもの）
乳がんセンチネルリンパ節加算２及びセンチネルリンパ節生検 (単独)
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
食道縫合術、内視鏡下胃十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術、小腸瘻閉鎖術、結腸瘻閉鎖術、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術、尿管腸瘻閉鎖術、膀胱腸瘻閉鎖術、腟腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
経皮的中隔心筋焼灼術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
体外衝撃波胆石破砕術
腹腔鏡下肝切除術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
輸血管理料Ｉ
輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
歯周組織再生誘導手術
手術時歯根面レーザー応用加算
レーザー機器加算
麻酔管理料（Ｉ）
放射線治療専任加算
外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療
１回線量増加加算（乳房）（前立腺）
強度変調放射線治療（ＩＭＲＴ）
画像誘導放射線治療加算（ＩＧＲＴ）
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸移動対策加算
病理診断管理加算 1
悪性腫瘍病理組織標本加算
クラウン・ブリッジ維持管理料
歯科矯正診断料

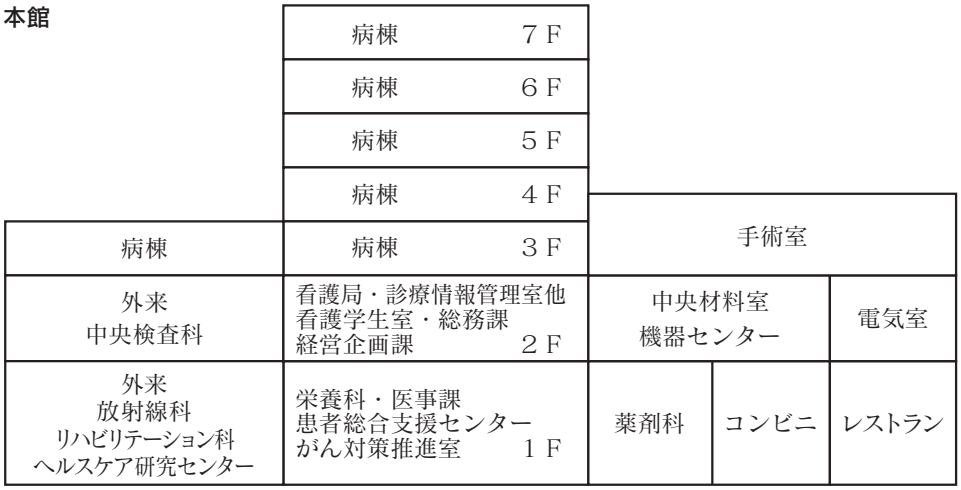
〇入院時食事療養等の基準
入院時食事療養Ｉ
特別の療養環境の提供
病院（200 床以上）の初診・再診
入院期間が 180 日を超える入院

（5）学会等の教育病院指定一覧　平成31年４月現在

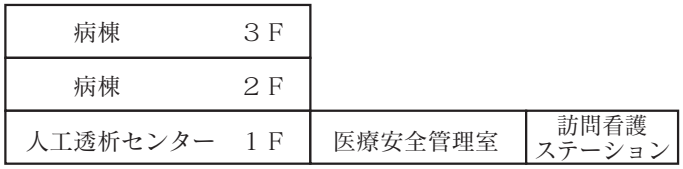
施　設　名	施　設　名
日本内科学会認定医制度教育病院	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本血液学会認定血液研修施設	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本胸部外科学会指定施設	日本放射線腫瘍学会認定施設
日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設	日本病理学会認定病院Ｂ
日本呼吸器外科学会指導医制度認定施設	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
呼吸器外科専門医合同委員会認定関連施設	日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本呼吸器学会認定施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設	日本高血圧学会専門医認定施設
日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本リウマチ学会教育施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	胸部ステントグラフト実施施設
心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設	腹部ステントグラフト実施施設
日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設	日本腎臓学会研修施設
日本外科学会専門医制度修練施設	日本透析学会教育関連施設
日本乳癌学会関連施設	マンモグラフィ検診施設画像評価認定施設
日本胆道学会指導施設	日本緩和医療学会認定研修施設
日本整形外科学会専門医研修施設	日本口腔外科学会准研修施設
日本脳神経外科学会専門医連携施設	日本小児口腔外科学会認定制度研修施設
日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設	日本糖尿病学会教育施設Ⅰ
日本周産期・新生児医学会暫定研修施設	下肢静脈瘤に対する血管内灼術の実施基準による実施施設
日本眼科学会専門医制度研修施設	地域包括医療・ケア認定施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設	人間ドック健診専門医研修施設

（6）病院配置図　平成31年４月現在

本館



別館



支援棟

２．職員状況と組織機構

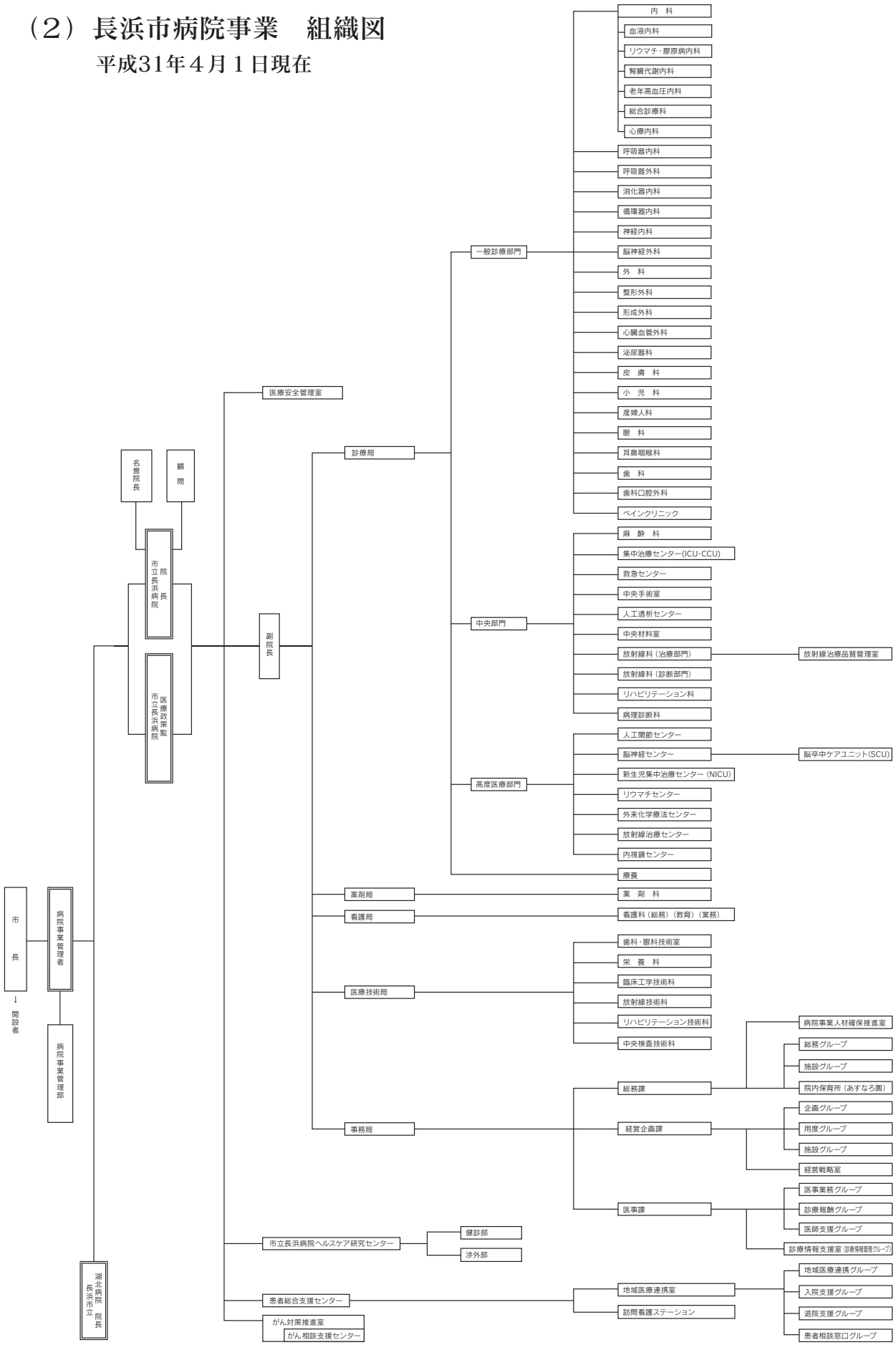
（１）職員状況

（単位：人）

	平成29年４月 (29.4.1現在)	平成30年４月 (30.4.1現在)	平成31年４月 (31.4.1現在)
医師	90	86	91
歯科医師	4	4	4
薬剤師	17	17	17
看護師	518	508	492
看護助手	53	49	44
助産師	19	20	16
栄養士	8	8	9
放射線技師	22	23	23
検査技師	29	29	28
臨床工学技士	10	10	10
理学療法士	26	26	27
作業療法士	11	12	11
視能訓練士	4	4	4
歯科衛生士	4	6	5
歯科技工士	1	1	1
言語聴覚士	5	5	5
事務職	58	62	62
介護士	26	25	24
その他	130	131	121
合計	1,035	1,026	994

（2）長浜市病院事業　組織図

平成31年４月１日現在



Ⅳ　活動状況

Ⅳ－１　主要事業の概要

１．湖北がんフォーラム 2019

１．開催目的

近年、がん医療は年々向上しており、がんとともに生きる人（がんサバイバー）が増加しています。がんサバイバーが抱える様々な問題に対して、社会全体でサポートする体制について考えることを目的に開催しました。

２．開催日　令和元年７月７日（日）　午後１時 30 分～午後４時 10 分

３．参加費　無料

４．場　所　長浜文化芸術会館　ホール（滋賀県長浜市大島町３７番地）

５．内　容

第１部

講　演「がんと共に生きることへの支援」

座　長	長浜赤十字病院院長	楠井　　隆
講　師	京都大学大学院医学研究科	田村　恵子先生

第２部

パネルディスカッション「がんと共に自分らしく生きるために」

座　長	当院　泌尿器科責任部長	横川　竜生
	当院　がん対策推進室	山岸　美紀
パネリスト	長浜赤十字病院　医師	中村　一郎
	長浜赤十字病院　薬剤師	堀　　敦雄
	当院　社会福祉士	橋本　祥子
	がんサバイバー	野崎　安美

６．主　催　市立長浜病院

共　催　長浜赤十字病院

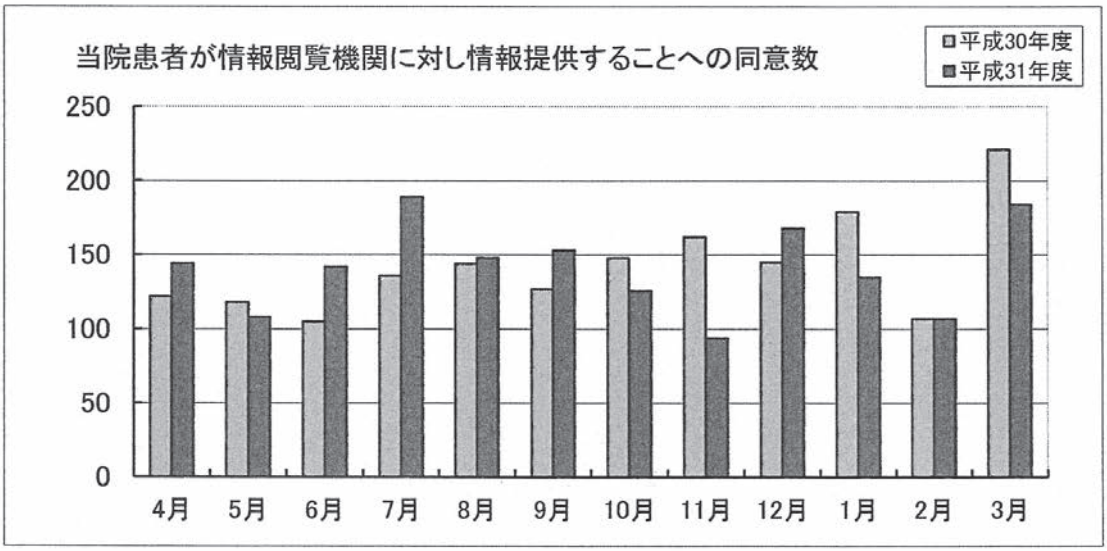
後　援　湖北保健医療圏域地域がん予防診療推進協議会（湖北医師会、湖北歯科医師会、湖北薬剤師会、セフィロト病院、長浜市立湖北病院、滋賀県湖北健康福祉事務所、米原市、長浜市）、滋賀県がん患者団体連絡協議会、滋賀県がん診療連携協議会、滋賀県放射線治療連絡協議会（順不同）

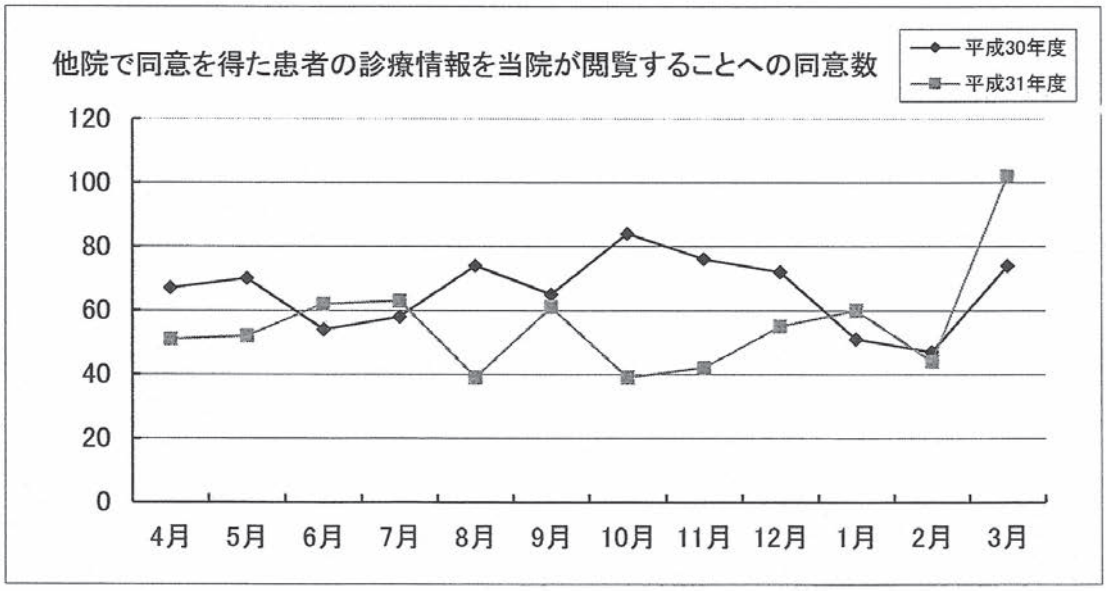
７．参加者数　309 名

２．びわ湖あさがおネットの運用

滋賀県医療介護情報連携ネットワーク「びわ湖あさがおネット」は滋賀県内の病院・診療所・薬局や在宅医療・介護に携わる機関・施設・事業所の間で、患者さまの診療情報や介護情報・療養情報を共有する仕組みです。当院は湖北医療機関における中核病院として医療情報提供し、専門医の診療内容をかかりつけ医で閲覧してもらい、切れ目のない医療ができるよう役割分担を進めております。病院間における医療情報提供と閲覧は専門医間のより高い医療を確認できるシステムでもあります。オンライン回線に関しては、厚生労働省が認めた高いセキュリティーを確保しています。

平成 31 年度、当院の情報を提供するための同意患者数は 1,698 人 (前年度比 16 人減)、他院から当院の情報を閲覧するための同意者数は 670 人 (前年度比 122 人減) となっています。減少した要因として、診療科の充実により院内完結できる診療科が増えたことがあると考えます。しかし、情報システムの変更による不具合も影響していると思われます。





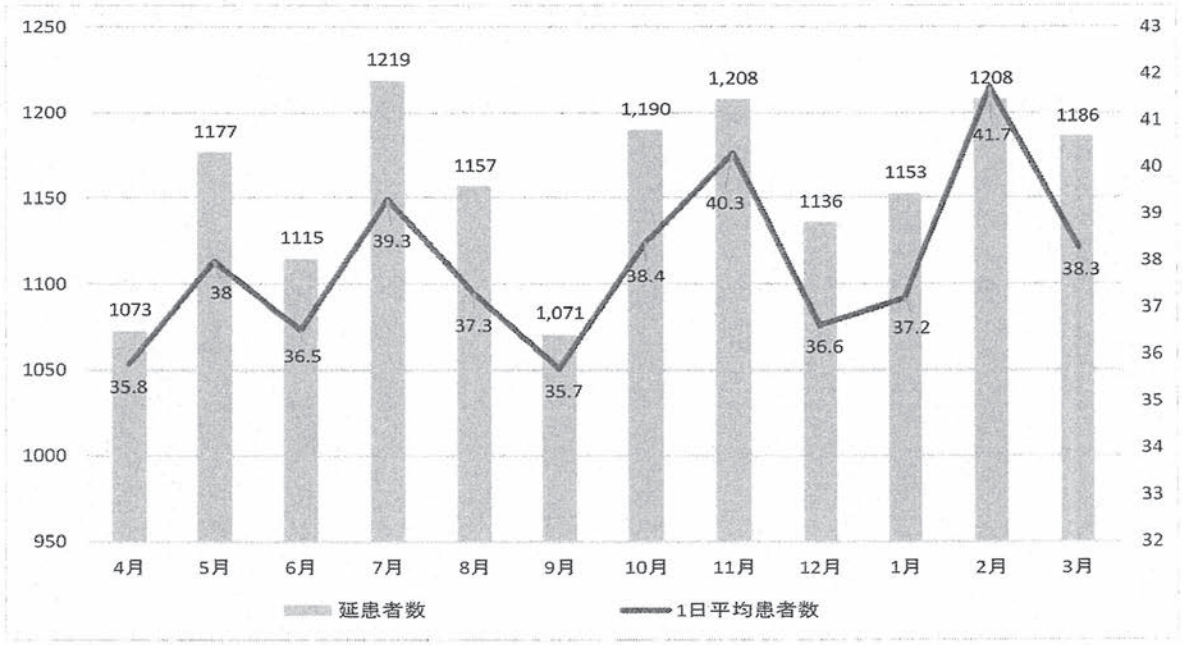
３．回復期リハビリテーション病棟の運営

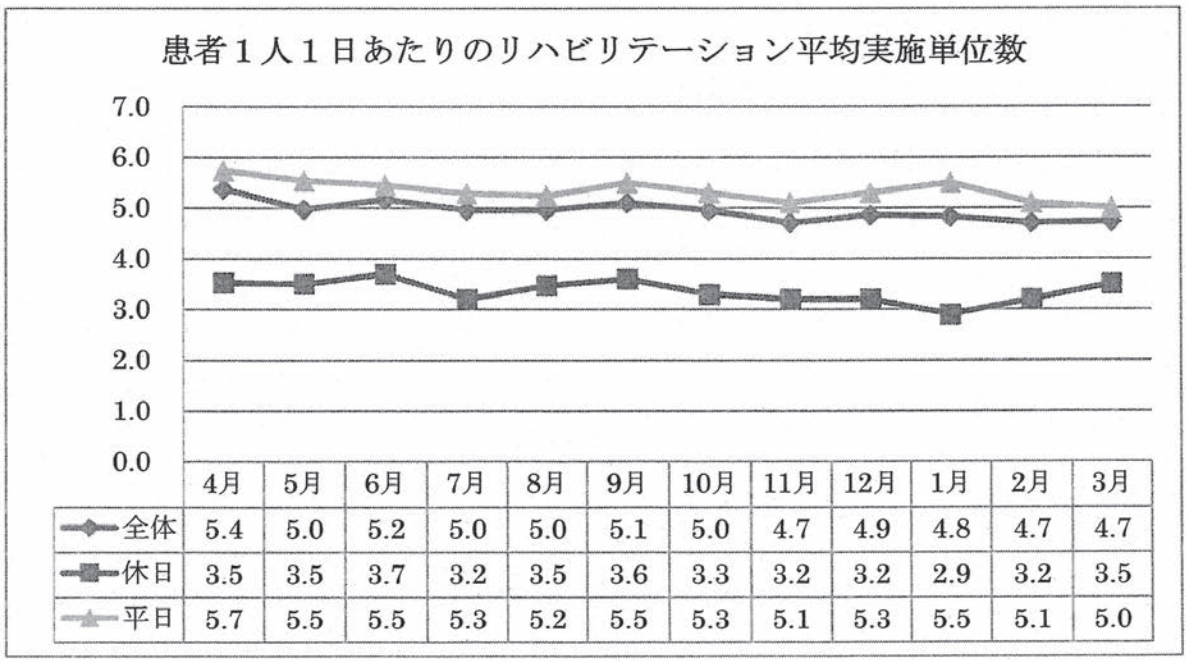
回復期リハビリテーション病棟 (52 床) は、平成 30 年度より入院料 3 の施設基準で運営をしています。

湖北保健医療圏で唯一の回復期リハビリテーション病棟として、急性期から回復期そして維持期 (在宅療養) への切れ目のない医療の提供に努めています。

平成 31 年度は、一日平均入院患者数 38 人での運営となりました。

平成 31 年度運営状況





	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	5.4	5.0	5.2	5.0	5.0	5.1	5.0	4.7	4.9	4.8	4.7	4.7
休日	3.5	3.5	3.7	3.2	3.5	3.6	3.3	3.2	3.2	2.9	3.2	3.5
平日	5.7	5.5	5.5	5.3	5.2	5.5	5.3	5.1	5.3	5.5	5.1	5.0

Ⅳ－２　各科の活動状況

腎臓代謝内科／人工透析センター

勤務医師

森田　善方	診療局長補佐兼責任部長 兼 人工透析センター長		
		平成26年４月～	日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医 日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医 日本糖尿病学会糖尿病専門医・指導医 日本医師会認定産業医
潮　　正輝	部　長	平成24年７月～	日本内科学会認定内科医
上田　久巳	部　長	平成25年４月～	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本腎臓学会腎臓専門医、日本循環器学会循環器専門医 日本透析医学会透析専門医
島本　綾子		平成29年４月～	日本内科学会認定内科医
大町　将司		平成31年４月～	日本内科学会認定内科医
廣坂　雄介		平成30年４月～	
藤野　隆弘		令和元年 ４月～	
横江　遼一		令和２年 ４月～	
清水　真也（非常勤）			

今年度のトピックス

腎生検数、シャントPTA数などを維持しております。

特に腹膜透析の導入が増えました。

医師より腎代替療法を必要と告げられた保存期腎不全の患者・家族を対象に治療選択外来を透析センターにて開始しました。医師、看護師ともに患者・家族へ意思決定支援を行っています。

業務実績

外来透析部門では、糖尿病性腎症を中心とした新規HD導入患者が年々増加しており、現在約120名の患者が血液透析を受けています。また、それ以外にも腹水、胸水合併患者に対しての濃縮再静注療法や、白血球除去療法(LCAP)、血漿交換、骨髄幹細胞移植（血液内科主導）なども施行しております。

入院透析部門では、腎不全患者に対する血液浄化療法への対応をしておりますが、他にも多臓器不全、敗血症性ショックや術後腎不全などの重症患者に対して、CHDFやエンドトキシン吸着、血漿交換などの急性血液浄化療法をICUにて施行しております。

また、循環器内科や消化器内科など様々な検査や治療、一般外科、心臓血管外科、整形外科、眼科などでの手術目的で他院からの紹介患者も多く、常に受け入れができるような体制を整えております。

紹介患者数　689名（腎内：688名、透析：１名）

腎生検数　126例　　シャントPTA　76例

維持透析患者数　血液透析　119名　腹膜透析　10名

新規透析導入数　血液透析　　39名　腹膜透析　　2名

評　価

腎臓内科、糖尿病、内分泌科を全て融合して診療にあたっております。

地域の医院、病院のご紹介･連携により診療を進めております。

透析導入に加え、検査や治療目的の維持透析患者の受け入れなど、地域医療に貢献しています。透析患者全員に対して月２回の血液検査や、心エコー、ＣＴなどを施行し、状態の評価を行っています。週１回のカンファレンにて至適透析をめざして治療を進めています。よりよい透析生活につながるように患者教育、勉強会を行っています。

カンファレンス

診療カンファレンス：毎週木曜日

透析カンファレンス：毎週水曜日

神経内科

勤務医師

小川　雅文　　責任部長　平成25年４月　　日本内科学会認定医
日本神経学会神経内科専門医

非常勤　（外来のみ担当）

南山　素三雄、澤村　正典、戸嶋　麻耶、上田　潤

今年度のトピックス

昨年度と同じく、常勤医1名と外来を担当する非常勤医4名で診療にあたった。

特に昨年度と比べて変化したことはない。

令和２年３月から新型コロナ感染症の影響で外来・入院ともに患者数が減少していることは致し方ないところである。

入院については、虚血性脳卒中の一部を担当、他にパーキンソン病や筋萎縮側索硬化症などの変性疾患、多発性硬化症や慢性炎症性脱髄性多発性根神経炎などの神経免疫性疾患などを担当。ほかに認知症ケアのチーム医療に参加した。

消化器内科

勤務医師

西田　淳史　　診療局長補佐兼
　　責任部長　平成31年4月～　日本内科学会（総合内科専門医）
　　日本消化器病学会（専門医・指導医）
　　日本消化器内視鏡学会（専門医・指導医）
　　日本消化管学会（専門医・指導医）
　　日本肝臓学会（専門医）、日本膵臓病学会（指導医）
　　日本がん治療認定機構（認定医）

今枝　広丞　　内視鏡センター責任部長
　　平成30年10月～

野田　恵加　　部長　　平成18年4月～　日本内科学会（総合内科専門医）
　　日本消化器病学会（専門医）
　　日本消化器内視鏡学会（専門医）
　　日本医師会認定産業医

西野　恭平　　部長　　平成31年4月～　日本内科学会（総合内科専門医）
　　日本消化器病学会（専門医）
　　日本消化器内視鏡学会（専門医）
　　日本消化管学会（専門医）

平山　尚史　　平成31年4月～　日本内科学会（総合内科専門医）
　　令和2年3月　日本消化器病学会（専門医）

非常勤医師（外来、内視鏡）

安藤　朗、村上　善基、冨樫　弘一、塚田　良彦、藤本　剛英、内海　貴裕、熊谷　健、
村田　雅樹

今年度のトピックス

平成30年10月より、今枝医師が常勤医師として加わり、更に平成31年4月より3名の常勤医師が加わった。院内発症の消化器疾患に加え、外来や救急診療にも積極的に取り組んだ。それに伴い、外来患者数や内視鏡件数および内視鏡治療件数も増加している。湖北地域の消化器疾患の患者さんの要望に的確に対応し、患者さん中心の質の高い医療を目標として日々の診療に当たっている。

診療実績

消化器内視鏡検査集計表

		上部内視鏡			胃EMR ポリペク	胃・食道 ESD	食道拡張 ステント	EVL	EIS	PEG造設 PEG交換	EUS	ERCP	小腸 内視鏡	下部内視鏡		大腸EMR ポリペク	大腸 ESD	PTGBA PTGBD PTCD	計
		経口	経鼻	緊急										通常	緊急				
令和元年	4月	109	66	16	1	1	0	0	0	2	4	7	0	56	8	41	1	1	313
	5月	135	66	16	0	0	0	1	0	3	2	17	1	76	3	8	2	1	331
	6月	137	97	18	0	2	0	0	0	0	3	12	1	99	4	11	2	0	386
	7月	179	138	24	0	9	1	1	0	5	1	16	2	127	5	21	2	0	531
	8月	167	144	18	0	0	0	1	0	0	10	19	3	105	16	25	2	1	511
	9月	152	106	17	0	1	0	1	0	0	3	10	1	109	8	18	0	0	426
	10月	182	136	21	1	2	2	0	1	7	8	6	0	120	4	15	6	1	512
	11月	155	137	22	1	7	0	0	0	10	0	16	3	100	4	23	5	1	484
	12月	160	101	24	1	7	0	1	0	3	7	9	0	141	2	23	1	0	480
令和2年	1月	190	121	26	1	4	2	1	0	5	6	12	1	119	6	21	4	1	520
	2月	149	97	24	2	4	1	3	1	4	2	7	0	74	6	14	2	2	392
	3月	132	68	20	2	3	0	0	0	4	11	9	1	100	11	20	1	2	384
計		1847	1277	246	9	40	6	9	2	43	57	140	13	1226	77	240	28	10	5270
		3370												1303					

カンファレンス等

Cancer Board　1回/週
消化器内科･外科合同症例検討会　1回/週
消化器内科 症例検討会　1回/週

呼吸器内科

勤務医師

野口　哲男	責任部長	平成９年４月～	日本内科学会指導医･総合内科専門医 日本呼吸器学会指導医･専門医 日本人間ドック学会指導医･専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医
高木　順平	部長	平成22年４月～	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医 日本人間ドック学会専門医
中川　雅登	部長	平成25年４月～	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医
上林　憲司		平成25年４月～	

今年度のトピックス

医師は野口、中川、高木、上林の4人体制で変わりなし。

免疫チェックポイント阻害薬の副作用 (irAE)対策をすすめ、多職種による早期発見を推進すべく irAE逆引きマニュアルの普及をはかった。

吸入指導講習会を行い、薬剤師のレベルアップをはかった。

引き続き、チーム医療を推進していく所存である。

カンファレンス等

カンファレンス：毎週水曜日午後４時～
気管支鏡：月、水を中心に随時

循環器内科

勤務医師

高島　弘行	診療局長 兼 責任部長	平成22年４月～	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会代議員･認定医･指導医 日本内科学会指導医
國友　健生	部　長	平成25年４月～	
山科　　聡	部　長	平成21年５月～	日本内科学会認定総合内科専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医

児玉　浩志		平成24年11月～	日本内科学会認定総合内科専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医
福本　大介	部長	令和２年４月～	日本内科学会認定総合内科専門医
肥後　洋祐		平成27年４月～令和２年３月	日本内科学会認定総合内科専門医
小林　勇介		平成29年４月～	日本内科学会認定総合内科専門医
森永　晃央		令和２年４月～	
野里　佳孝	非常勤		

カンファレンス等

症例検討会及びカンファレンス　　毎週水曜日

リウマチ膠原病内科

勤務医師

梅原　久範	副院長 兼リウマチ科責任部長 兼リウマチセンター長	平成29年１月～	日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医･指導医 日本シューグレン症候群学会理事 中部リウマチ学会理事
中村　拓路	嘱託医	平成29年１月～	日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医･指導医 日本血液学会認定血液専門医
田中　真生	非常勤		日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医･指導医
宮本　茂輝	非常勤	平成29年１月～	日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医
森　　将人	非常勤		日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医
谷口　雅司	非常勤		日本内科学会認定内科医
内藤　遼太	非常勤		

病院の概要

滋賀県唯一のリウマチ膠原病診療拠点を確立した。特に、専門医の少ない湖北においては、リウマチ膠原病診療の中核病院として、近隣の病院診療所と連携を取り、湖北の診療レベルの向上に尽くしている。また福井県南部、京都府北部地域からの紹介患者も受け入れ、広くリウマチ膠原病の診療サポートを行っている。

活動状況・実績

1）外来：以前から通院中の 800 名のリウマチ膠原病患者の診療に加え、平均 12 － 20 名 / 月のペースで新規の紹介患者を受け入れている。2）入院：重症の膠原病患者、新規のバイオ製剤導入患者を受け入れ入院治療している。現在、平均６－ 12 名 / 月の入院数である。　3）血

液疾患患者のうち、当院でフォロー可能な患者の入院治療を担当する。現在、6 － 10 名 / 月ほどである。4）京大病院での KURAMA コホートと連結し、当院でも「ながはまリウマチコホート」を実施している。現在、934 名の外来通院中患者が登録されている。ドクターアシスタント、看護師、医事課の協力を得て、順調に進行している。

令和元年 9 月 29 日（日曜日）に北びわこホテルグラツィエ「アレーナ」にて第 3 回「市民公開講座」を開催した。当院リウマチセンター長 梅原久範先生が『関節リウマチとその他の膠原病』を講演し、京都大学医学部附属病院　リウマチセンター 特定准教授　田中真生先生が『市民のためのリウマチ診療をめざして：共に知り共に向き合う』を講演し、好評であった。

1）常勤医 1 名、嘱託医 1 名、非常勤医 5 名体制で専門外来 2 診体制で診療中である。外来担当医師の連携を深め、安全で密度の濃い診療に努めている。2）常勤医 1 名と嘱託医 1 名が協力し、重症入院患者の診療にあたっている。3）中村医師が血液疾患の入院患者を担当し、血液外来担当非常勤医と連携をとり診療にあたっている。白血病など移植を必要とする患者については、滋賀医科大学、京都大学と連携をとっている。4）リウマチコホートに関して、看護局、医事課と協力し、10 － 20 人 / 月の登録を行う。最終的には 1,000-1,500 名程度の登録と予想する。

評　価

リウマチ膠原病診療の充実とともに、実質的な患者数増加と収益の増加が期待される。さらに、ながはまリウマチコホートを介して、専門診療の充実を市民にアピールすることにより、当院の臨床的学術的秀逸性が周知されてきた。

総合診療内科

勤務医師

大野　暢宏　　部　長 兼 療養２階責任部長
　　平成18年２月～　日本外科学会認定医、日本呼吸器外科学会評議員
　　日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医
　　日本がん治療認定医機構暫定教育医
　　ＩＣＤ制度協議会認定医、日本医師会認定産業医

上津　昌広　　部　長　　平成18年７月～　日本医師会認定産業医

緩和ケア外来こころ

勤務医師

森田　幸代　　非常勤　　平成21年４月～　滋賀医科大学附属病院　腫瘍センター
日本臨床精神神経薬理学会指導医･専門医
日本精神神経学会専門医･指導医
精神保健指定医、日本医師会認定産業医
日本総合病院精神医学会　暫定指導医
日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士

診療：毎週火曜日（午後）

カンファレンス等

緩和ケアチーム回診　　毎週火曜午後（診療終了後）

小児科＆ NICU

勤務医師

池田　　優　　責任部長　日本小児科学会専門医
多賀　俊明　　顧問　　日本小児科学会専門医･指導医、日本小児神経学会専門医
日本小児心身症学会認定医、子どもの心専門医機構専門医
日本小児科医会「子供の心」相談医
篠田　　優　　非常勤　　岐阜大学小児科専攻医
遠藤　誠士　　非常勤　　岐阜大学小児科専攻医
岩瀬亜紀子　　非常勤　　日本小児科学会専門医
松浦　　馨　　臨床心理士

今年度のトピックス

平成 31 年4月より近畿大学小児科学講座より池田優医師が部長として赴任しました。引き続き非常勤で多賀先生と、岐阜大学から篠田先生と遠藤先生、新たに岩瀬先生に非常勤医師として、外来をお手伝いいただきながら、小児科入院を再開し、夜間救急は長浜日赤病院をお借りして応援に行かせていただくようになりました。

業務実績

外来診療　毎日の一般外来とともに午後から慢性疾患、予防接種、新生児検診、発達心身症とともに、臨床心理士によるカウンセリングを行っております。

武漢肺炎の影響が出るまでは徐々に外来患者数も増えていましたが、後半再び減少してしましました。

入院診療　積極的に分娩に立ち会い、取り扱い週数を下げ、分娩数が増えました。

小児科入院新生児と入院診療再開により、令和元年度は１１３名となりました。

評　価

入院可能とすることで、開業医からの紹介を積極的に受け入れるようになりました。

当院分娩に積極的に関わるようになり、当院で生まれた児が徐々に当院小児科外来していただけるようになってきていました。

その矢先の武漢肺炎の影響は大きく、全国的な小児科外来診察数の減少となっています。

外　　科

勤務医師

野田　秀樹	事業管理者 平成７年４月～	日本外科学会指導医・専門医認定登録医、日本消化器外科学会指導医・専門医認定登録医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、ICD 制度協議会認定 ICD、日本医師会認定産業医
神田　雄史	院　長 平成７年６月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医、厚生労働省死体解剖資格認定医
東出　俊一	診療局理事兼 責任部長 平成８年４月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定検診マンモグラフィ読影医師、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本体育協会公認スポーツドクター、京都大学臨床教授
川島　和彦	部　長 平成28年４月～	日本外科学会専門医・認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、マンモグラフィ読影認定医、日本静脈経腸栄養学会 NST 医師、近畿外科学会評議員、京都大学医学部臨床准教授
平良　　薫	部　長 平成28年４月～ 令和２年３月	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医、日本胆道学会指導医、日本肝臓学会専門医、日本移植学会移植認定医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、近畿外科学会評議員
奥村　晋也	部　長 平成30年10月～ 令和２年３月	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本肝臓学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本移植学会移植認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、日本内視鏡外科学会評議員
西川　忠男	嘱託医 平成30年４月～	日本医師会認定産業医、日本外科学会認定医・専門医、日本胸部外科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本消化器病学会専門医

坂本万里華	非常勤	平成 28 年 11 月～ 令和元年４月
仙田　典子	非常勤	平成 31 年４月～
奥村　晋也	非常勤	令和２年４月～
池田　圭佑		令和元年 10 月～ 令和２年３月

今年度のトピックス

消化器の腹腔鏡下手術が大きく増えました。乳線手術がさらに増えてきました。

業務実績：今年度の手術室での主要な手術の件数

乳癌の手術	80 件	（乳房温存術　65 件）
食道癌の手術	1 件	
胃癌の手術	32 件	（腹腔鏡下手術　27 件）
大腸癌の手術	52 件	（腹腔鏡下手術　49 件）
肝癌の手術	14 件	
胆道癌の手術	11 件	
膵癌の手術	9 件	
胆石症の手術	75 件	（腹腔鏡下手術　67 件）
ヘルニアの手術	73 件	（腹腔鏡下手術　42 件）

評　　価

腹腔鏡下手術の適応拡大中です。

カンファレンス等

外科・消化器内科・放射線科・泌尿器科・婦人科・看護局・病理部合同カンファレンス：毎週月曜日に癌疾患症例を中心に、診断、治療方針の検討、病理診断を含めた総括等を総合的に行っています。（キャンサーボード）

呼吸器外科

勤務医師

田久保康隆	責任部長	平成23年４月～	呼吸器外科専門医認定機構呼吸器外科専門医、 日本胸部外科認定医、日本外科学会専門医
奥野　翔子		平成30年４月～	日本外科学会専門医
藤本　　遼		平成29年７月～ 令和元年６月	
清水　秀浩		令和元年７月～ 令和２年３月	

今年度のトピックス

当院呼吸器外科スタッフの変動としては、令和元年６月、藤本医師が転出し、令和元年７月、清水医師が転入した。

業務実績

平成 31 年 1 月から令和元年 12 月までの 1 年間で年間全身麻酔下手術件数は 103 例であり、そのうち原発性肺がんは、57 例であった。

評　　価

引き続き湖北での呼吸器診療の中心機関としての任務を果たしていきたいと考えている。

整形外科

勤務医師

廣瀬　伸次	責任部長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医 日本リウマチ学会専門医
杉本　正幸	診療局理事	日本整形外科学会専門医、脊椎脊髄病医 運動器リハビリテーション医、 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本骨粗鬆症学会認定医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、義肢装具適合判定医 中部日本整形災害外科評議員
江藤　謹司	部　長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医 運動器リハビリテーション医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医
尾田　和広	部　長	日本整形外科学会専門医
櫻木　淳史	部　長	日本整形外科学会専門医
田中　　淳	部　長	日本整形外科学会専門医、日本骨粗鬆症学会認定医
辻本　和之		日本整形外科学会専門医
高田　　健		
領木　勇人		
琴浦　良彦	非常勤	日本整形外科学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医
後藤　公志	非常勤	日本整形外科学会専門医、運動器リハビリテーション医 京都大学整形外科准教授

今年度のトピックス

人工関節センターの開設を含め、この 10 年間で人工股関節置換術 1083 例、人工膝関節置換術 1499 例を行った。人工股関節置換術では、牽引台および術中透視装置を用いた前方アプローチでの手術手技を確立した。人工膝関節置換術では、術前後の疼痛管理を徹底することにより患者さんの負担を軽減し、両側同時手術を可能とした。骨粗鬆症外来も 2007 年から開設しており、平成 30 年度より骨粗鬆症リエゾンサービス委員会が正式に設置され、骨粗鬆症の啓蒙活動を行っている。

業務実績

整形外科年間手術件数 1,007 例（人工股関節 104 例、人工膝関節 172 例、脊椎 119 例）

１日平均入院患者数　　62 人
１日平均外来患者数　124 人

カンファレンス等

ミニカンファレンス	月曜日　朝	手術カンファレンス	火曜日　夕
抄読会	木曜日　朝	部長総回診	木曜日　午前
手術	毎日		

形成外科

勤務医師

藤林　久輝　　部　長　　平成18年９月～　学会認定医･専門医等　日本形成外科学会専門医

今年度のトピックス

診療体制に変更ありません。

評　価

人員･手術枠･病床数などの制限の範囲内で有効に活動できている。

カンファレンス等

中央手術室での手術　毎週火･水曜日
褥瘡回診　第２･４水曜日15時

脳神経外科

勤務医師

小林　映	顧 問	平成6年4月～	日本脳神経外科学会専門医
			日本脳卒中学会専門医･評議員
小室　太郎	副院長	平成23年4月～	日本脳神経外科学会専門医･指導医
			日本脳卒中学会専門医･指導医
			日本脳神経血管内治療学会専門医
			日本脳卒中の外科学会技術指導医
			京都大学医学部付属病院脳神経外科非常勤講師
堀口　聡士	責任部長	令和元年7月～	日本脳神経外科学会専門医･指導医
			日本脳卒中学会専門医･指導医
			日本脳神経血管内治療学会専門医
			日本脳卒中の外科学会技術認定医
			日本神経内視鏡学会技術認定医
			日本がん治療認定医機構がん治療認定医
			日本医師会認定産業医
佐藤　岳史	部 長	平成24年8月～	日本脳神経外科学会専門医･指導医
			日本脳卒中学会専門医･指導医
			日本脳神経血管内治療学会専門医
			日本神経内視鏡学会技術認定医
			日本定位機能神経外科学会技術認定医
			日本リハビリテーション医学会臨床認定医
山下　北斗	嘱託医師	平成31年4月	日本脳神経外科学会専門医
		～令和元年9月	
川内　　豪	嘱託医師	令和元年10月	日本脳神経外科学会専門医
		～令和2年3月	日本脳卒中学会専門医

今年度のトピックス

前責任部長である小室太郎副院長の後任として、令和元年７月１日付けで堀口聡士が着任致しました。小室副院長、佐藤岳史医師に助けられながら業務を軌道に乗せてきました。若手として活躍してくれた山下北斗医師が９月末で退任し、10 月より川内豪医師が引き継いでくれました。

令和元年９月に一次脳卒中センター (PSC) として認定を受けました。脳卒中診療を含めて提供できる医療を確実に行い地域医療に貢献できるよう、また着任する若手の研鑽を援助できるようにしたいと考えています。急性期診療以外にも、不随意運動症、疼痛、てんかんなどを電気刺激で制御する機能脳神経外科、リハビリテーション科・地域包括ケア病棟・脳神経外科外来との協力の下で慢性期維持リハビリテーション入院や、脳血管障害後の自立のために自動車運転機能の短期入院評価も行っています。

業務実績

年間手術数：138 件

脳腫瘍開頭手術：14 件、経蝶形骨洞手術：３件

脳動脈瘤クリッピング術：13 件、脳動脈瘤コイル塞栓術：16 件
年間入院数：613 件

評　価

脳血管内治療専門医が 3 名となり、血管内治療での対応が行いやすくなりました。一次脳卒中センター (PSC) として認定され、急性期血栓回収療法にも対応します。脳動脈瘤に対しては、脳動脈瘤頚部クリッピング術、または脳動脈瘤コイル塞栓術を動脈瘤の部位、形状、および病状などに応じて適切な治療を検討しています。経蝶形骨洞手術は、内視鏡下での手技が主となっています。

心臓血管外科

勤務医師

植山　浩二	責任部長	平成31年4月～	心臓血管外科専門医認定機構専門医･修練指導医 日本胸部外科学会認定医 心臓血管外科学会国際会員 日本外科学会専門医･認定医 日本循環器学会専門医、腹部ステントグラフト実施医 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医 京都大学医学博士
洞井　和彦	部　長	平成19年5月～	心臓血管外科専門医認定機構専門医･修練指導医 日本胸部外科学会認定医、心臓血管外科国際会員 日本外科学会指導医･専門医･認定医 腹部ステントグラフト実施医 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医･指導医 京都大学医学博士
高井　文恵	部　長	平成31年4月～	日本外科学会専門医
吉良　浩勝	部　長	平成27年1月～	心臓血管外科専門医認定機構専門医、外科専門医 腹部ステントグラフト実施医･指導医 胸部ステントグラフト実施医

今年度のトピックス

心臓弁疾患に対する MICS(低侵襲心臓手術) の導入準備、大動脈癌破裂における緊急ステントグラフト留置術、下肢静脈瘤における血管内焼灼術の導入を行った。

取り組み方針

1. 患者第一、誠心誠意　　2. 地域に信頼される病院づくり　　3. 地域完結型の医療体系構築

業務実績

総手術件数　　300 例

心臓・胸部大動脈手術　　46 例 (ステントグラフト手術 3 例)
腹部大動脈手術　　29 例 (ステントグラフト手術 10 例)
末梢血管手術　　225 例

評　価

地域に真っ先に選択していただける病院とならねばなりません。
チームとして医療サービスの質の向上に努める必要があります。

カンファレンス等

毎朝　8：30 ～　全入院患者カンファ レンス
火曜 15：30 ～　総回診
金曜 15：30 ～　術前カンファレンス

皮膚科

勤務医師

井階　幸一　　責任部長　平成26年４月～　日本皮膚科学会皮膚科専門医
澤井　孝之　　非常勤　　平成26年４月～

今年度のトピックス

平成 26 年４月より、井階幸一が責任部長として着任しております。その他、澤井孝之医師が非常勤医師として、皮膚科診療に携わっています。

業務実績

皮膚科では、外来診療を中心とし、「日本皮膚科学会の診療ガイドライン」に準拠した皮膚疾患の標準的な診断、治療を行っています。

評　価

特に力を入れたいと考えているのが、褥瘡、老人性湿疹、足病変などの高齢者の皮膚トラブルです。湖北地域では、日本の将来を先取りする超高齢化社会が到達しつつあります。高齢者の増加に伴い、褥瘡や陰部の皮膚トラブル、足の病変の患者さんが急増しています。院内では褥瘡対策委員会などで適切に処理されていますが、さらに、形成外科、「皮膚・排泄ケア認定看護師（いわゆる WOC ナース)」と共同して、高齢者の皮膚トラブル、スキンケアに対応していきたいと思っています。現在のところ、一人部長なので、皮膚科で入院患者をとることは困難ですが、内科などの科で入院されたときには、主治医と協力して皮膚疾患、皮膚トラブルの処理に当たりたいと考えています。今後、地域の医療機関、スタッフの方々と協力して、高齢者のスキンケア、皮膚のトラブルの処理に当たりたいと思っています。

カンファレンス等

毎月、第４木曜午後５時より、長浜赤十字病院皮膚科と臨床カンファランスを行っています。

泌尿器科

勤務医師

小林　憲市	部　長	令和２年４月～	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本泌尿器科学会認定医
横川　竜生	責任部長	平成27年４月～ 令和２年３月	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本排尿機能学会認定医 日本性感染症学会認定医
吹上　優介		平成30年４月～ 令和２年３月	
兜　貴央		平成31年４月～ 令和２年３月	
草場　拓人	非常勤	令和２年４月～	日本泌尿器科学会専門医

今年度のトピックス

令和２年３月に、横川医師、吹上医師、兜医師の常勤医師３名が退職し、常勤泌尿器科医師不在となる予定となったため、外来手術とも縮小せざるを得なくなった。その後、４月に常勤医師１名が暫定的に着任し、常勤医師１名と週１回の非常勤医師による外来診療の体制となった。

令和２年４月時点では、他院からの紹介患者の受け入れを原則休止しており、また手術が必要な症例に対し、原則近隣施設への紹介を行っている。特に長浜赤十字病院とは緊密に連携をとり、週に１回、小林が、長浜赤十字病院で当院の症例の手術指導、執刀を行っている。術後、当院で経過を観察することも検討している。

カンファレンス等

毎週金曜日に長浜赤十字病院泌尿器科と合同でカンファレンスを行っている。

産婦人科

勤務医師

林　嘉彦	副院長	平成19年２月～	滋賀医科大学臨床教授 日本産科婦人科学会専門医･指導医 母体保護法指定医
脇ノ上　史朗	責任部長	平成30年４月～	日本産科婦人科学会専門医･指導医 日本婦人科腫瘍学会専門医 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
渡辺　智之		平成30年４月～	日本産科婦人科学会専門医
上村　真央		平成29年４月～	日本産科婦人科学会専門医

今年度のトピックス

近隣の産婦人科開業医が分娩を休止したことにより、分娩件数は徐々に増加しています。令和２年５月より産婦人科の新病棟が稼働しており、新しい病棟でスタッフ一同、安全・快適な分娩を目指します。

業務実績

症　　例	件　　数	症　　例	件　　数
総分娩数	118	子宮頸癌	2
帝王切開術	26	子宮体癌	13
腟式子宮摘出術	9	卵巣癌	3
腹式子宮摘出術	42	良性卵巣腫瘍手術	28
性器脱手術	10	化学療法（患者数）	25
子宮頸部円錐切除術	30	腹腔鏡手術	89

評　価

がん拠点病院として、すべての婦人科悪性腫瘍に対応しています。外科・泌尿器科・放射線科・病理診断科等と連携し、集学的治療を行っています。産科に関しては小児科常勤医師の赴任により、妊娠 34 週前後の対応も可能となり、今までよりも幅広い症例に対応できるようになりました。

カンファレンス等

カンファレンス、手術症例検討会　　毎週水曜日
病棟回診　　毎日

眼　　科

勤務医師

清水　久雄	責任部長	平成27年５月～	日本眼科学会専門医
西村　宗作	部長	平成23年４月～	日本眼科学会専門医
西村　初夏		平成30年９月～ 令和元年６月	

今年度のトピックス

常勤医師２名、他に大学派遣の非常勤医師３名を加え、平日毎日医師２名体制で外来診療を行い、火･木曜日の午後に手術を行っております。ただ、本年２月下旬から清水医師の休職に伴い、手術執刀医師が１名となり、当面の間、硝子体および緑内障手術を中止し、白内障、硝子体注射、外眼部手術のみを行っております。手術が必要となった場合、近隣大学病院等の他病院へ手術依頼しています。

今年度よりOCT2を導入し､造影剤なしで血管造影検査を行うことができるようになりました。患者さんに負担をかけずに、短時間で精度の高い測定が可能となりました。

業務実績

総手術件数　　1,138件

主な手術件数

白内障手術	545件（単独および他の手術との併用含む）
緑内障手術	21件（白内障手術併用含む）
硝子体手術	53件（白内障手術併用含む）
経強膜網膜復位術	1件
その他	46件
硝子体内薬物注射	511件

評　　価

概ね､前年度と同様の手術件数を維持しています。硝子体注射においては､増加傾向にあります。今後、常勤医２人体制に戻り次第、網膜硝子体疾患をはじめとした高度医療を提供できる体制を整え、湖北地域の中核病院としての役割を果たしていきたいと思います。

カンファレンス状況

術前･術後カンファレンス　毎週月･水曜日

斜視･弱視カンファレンス　毎週金曜日

耳鼻咽喉科

勤務医師

糟谷　憲邦　　責任部長　平成20年10月～　　日本耳鼻咽喉科学会専門医
原　　思織　　令和元年５月～
堀井　翔平

今年度のトピックス

4月より、長年在籍していた中村先生に代わり、滋賀医大より堀井翔平先生が着任しました。

5月には、原思織先生が滋賀医大での大学院と兼任し当院に着任しました。耳鼻咽喉科の勤務医が３人であったのは田中寛先生の時代までであり、その後は 2 人体制が続いていましたので、今回の人事は当科の発展につながる非常に喜ばしいこととなりました。

業務実績

鼓室形成術：11例
内視鏡下鼻副鼻腔手術：25例
鼻中隔矯正術：7例
口蓋扁桃摘出術：35例
甲状腺腫瘍手術：16例
唾液腺腫瘍手術：7例 (耳下腺6例･顎下腺1例)
頚部郭清術:2例
ラリンゴマイクロ：4例
気管切開術：10例
頚部リンパ節生検術：11例

評　価

1年間の手術件数は135症例で昨年度と比べやや減少していますが、大きな変動はありません。

医師数が増えましたので、今後は外来の枠が増やせることと、手術枠も効率よく回せるようになります。十分な協力体制のもと、入院･手術症例の増加に勤めていきます。

カンファレンス

症例検討会 (外来・手術症例)・術前カンファレンス：毎週火曜日 第 1、3、5 金曜日

麻酔科

勤務医師

嶋田文彦	副院長兼	平成28年4月～	日本麻酔科学会専門医･指導医
	責任部長	令和２年３月	厚生労働省認定麻酔科標榜医
平岡　進	部長	令和元年４月～	日本麻酔科学会認定医･専門医
			厚生労働省認定麻酔科標榜医
岩崎　愛		平成29年４月～	日本麻酔科学会認定医
		令和２年３月	厚生労働省認定麻酔科標榜医

今年度のトピックス

年度末で嶋田副院長が定年退職、岩崎先生も異動した。

麻酔術前･術後診察の記録を電子化した。具体的には手術部門システムのORSYSをアップデートした。

「手術･麻酔マニュアル」を改訂した。

業務実績

手術室麻酔

麻酔科管理件数は1,838件で前年の1,697件より141件（8.3ポイント）増加した。

麻酔科外来（麻酔前コンサルト）

水曜日午前に滋賀医科大学麻酔科北川教授に担当していただいた。

評　価

麻酔科管理件数は増加したが、滋賀医科大学麻酔科のバックアップと非常勤麻酔科医の協力は必須である。

カンファレンス等

毎日平日午前８時30分　当日の麻酔前症例検討を行った。

月2回程度　麻酔科カンファレンスを開き症例検討、会議の伝達等を行った。

ICU CCU センター

勤務医師

嶋田文彦　　副院長兼　平成28年4月～令和2年3月
　　センター長

今年度のトピックス

年度末で嶋田センター長が定年退職した。
重症部門システムのACSYSを導入しサーバーの更新を行った。
『早期離床･リハビリテーション加算』算定は継続できた。

業務実績

本年度の入室症例は､514 例（前年度 645 例）と減少した。一般病棟からの転入は､275 例（前年度 390 例)、直接入院が 239 例（前年度 255 例）でいずれも減少した。平均在室日数は、4.3 日で前年度 3.3 日から 1 日延びた。主な科別内訳は心臓血管外科 82 例（18%､前年度 172 例)、循環器内科 96 例（22%、前年度 104 例)、脳神経外科 111 例（25%、前年度 105 例)、外科 46 例（10%、前年度 92 例)、呼吸器外科 32 例（7%、前年度 47 例）であった。看護必要度は 87%で前年とほぼ変わらず基準を満たした。

評　価

主だった科では脳神経外科のみが入室症例を増やしたが、残念ながらそれ以外の科では前年度より入室症例が減少した。重症患者受け入れ困難は､年間 14 回(221 時間)で前年度の 12 回(196 時間）より増加した。しかしこれを改善するために令和元年 12 月より後方ベッドを確保したことで受け入れ困難は解消した。

カンファレンス等

平日毎朝　心臓血管外科症例カンファレンス
火曜日　　心臓血管外科回診　　RST 回診
金曜日　　心臓血管外科症例カンファレンス
適宜　　主治医と看護師、コメディカルと共にカンファレンス

放射線科（治療部門）

勤務医師

伏木　雅人	診療局理事	平成13年～	日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医指導責任者 日本緩和医療学会認定医
小坂　恭弘	部長	平成31年4月～	日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医指導責任者
松尾　幸憲	非常勤	平成30年4月～	日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医指導責任者

今年度のトピックス

平成 31 年 4 月より小坂が部長として着任し、放射線治療専門医 2 名体制になりました。

令和 2 年 4 月からは伏木が副院長となり、小坂が責任部長となっています。

業務実績

平成 31 年度・令和元年度実績　原発部位別照射新患数（転移の治療も原発部位で分類）

原発部位	脳	頭頸部	食道	肺縦隔	乳腺	肝胆膵	消化管（食道除く）	女性生殖器	泌尿器	血液	皮膚骨軟部	良性	合計
照射件数	6	5	13	93	52	3	7	1	45	13	2	2	242

脳定位照射数 9 件　体幹部定位照射数 22 件

IMRT 42 件（泌尿器 26 件、脳 4 件、肺・縦隔 6 件、頭頸部 3 件、食道 2 件、肛門 1 件）

近隣施設の放射線治療機器更新が終了したため前年度に比べると照射件数は減少しています。

評　価

湖北地域では高精度治療である強度変調放射線治療（IMRT）と脳･体幹部定位放射線治療（SRS･SRT、SBRT）を含む放射線治療を実践している唯一の施設となっています。常勤の放射線治療専門医２名体制となってからは IMRT の適応範囲を従来の脳、頭頸部、前立腺だけではなく胸部、上腹部、骨盤などにも広げ、より多くの疾患で有害事象が少なく効果的な治療が実践できるようにしています。

治療法の選択においてはエビデンスや患者さんの背景・希望をふまえ、他の診療科や他施設とも相談の上、放射線治療に限らず最適な治療選択肢を提示できるように心がけております。

カンファレンス等

放射線治療科ミニミーティング	平日毎朝
放射線治療科 QA 会議	火曜日
放射線治療科画像カンファレンス	火曜日
呼吸器キャンサーボード	水曜日
腹部・骨盤キャンサーボード	月曜日

放射線科（診断部門）

勤務医師

若宮　　誠	責任部長	平成22年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本IVR学会IVR専門医 腹部ステントグラフト指導医 胸部ステントグラフト指導医 検診マンモグラフィー読影認定医(A) 日本医学放射線学会研修指導者
宮川　善浩	部長	平成24年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医 検診マンモグラフィー読影認定医(B) 日本医学放射線学会研修指導者
上村　諒		平成29年4月～	

業務実績

読影については至急読影の依頼に対応しつつ、各科にできるだけ早く所見を返しています。他院からの紹介患者についても至急読影を行っており、患者および開業医のニーズに対応しています。IVR は腫瘍に関連した IVR のほか、外傷や出血などに対する緊急 IVR にも対応しています。心臓血管外科の大動脈ステントグラフト内挿術にも参加しています。

時間外には依頼に応じて JOIN システムを用いて診断しています。

診断件数　CT：20284　MRI：7175　RI：549　胸部単純写真：807　消化管造影：46
IVR　　185(血管系：172　非血管系：13)　うち緊急 IVR：7
JOIN 件数　112

評　価

CT2 台 (支援棟含め３台)、MRI2 台 (1.5T と 3T 各１台) に対して常勤医３人 (診断専門医２人) は少なく、非常勤の先生方に助けられながら朝から夕方まで間断なく業務をこなしています。画像診断管理加算 2 を維持しながら標準レベル以上の診断を保てていると考えています。

カンファレンス等

キャンサーボード　毎週月曜日

病理診断科

勤務医師

黒澤　学	責任部長	平成25年4月～	日本病理学会認定病理専門医 病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 死体解剖資格認定医
沢田　眞治	部長	平成10年4月～	日本病理学会認定病理専門医 病理専門医研修指導医 死体解剖資格認定医

今年度のトピックス

標本作製の機械化に取り組み、医療安全の向上に努めた。

業務実績

組織診断：約 4500 件 / 年、細胞診断：約 6000 件 / 年、病理解剖：10 件 / 年

評　価

稀な症例や興味深い症例が散見された。今後は学会発表、論文執筆などに取り組みたい。

カンファレンス等

キャンサーボード　毎週月曜日
細胞診カンファレンス　2-3 回 / 週
病院 CPC　5 回 / 年

歯科・歯科口腔外科

勤務医師

近藤　定彦	責任部長	平成30年10月～	日本口腔外科学会専門医･指導医
北本　幸恵	部　長	平成27年８月～	日本口腔外科学会認定口腔外科認定医 日本小児口腔外科学会認定医 歯科医師臨床研修指導医
佐藤　　舞		平成27年４月～	日本アンチエイジング歯科学会認定医
杉藤　雅孝		平成29年４月～	
飯塚　忠彦	非常勤	火曜日のみ	日本口腔外科学会認定口腔外科専門医･指導医

今年度のトピックス

平成 30年５月に家森正志先生が滋賀医科大学付属病院へ異動され、10月より近藤正彦先生が常勤医として着任しています。

市立長浜病院に歯科が新設されたのは、1957年 11月で、歯科口腔外科は 1997年１月に新設されました。発足当初は、歯科医師一名体制でしたが、現在は歯科医師四名で診療を行っています。これまで多くの先生方やスタッフの皆さんに支えられ、湖北地域の歯科･歯科口腔外科医療の基幹病院の一つとして診療を行ってまいりました。これからも地域の患者さまや先生方のご期待に添えるようにスタッフ一同、精進してまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市立長浜病院歯科・歯科口腔外科の主な外来

歯科口腔外科外来: 初診 (火曜日以外の平日) すべての歯科口腔外科疾患(顎口腔領域の炎症･腫瘍･外傷･粘膜疾患･顎関節疾患･顎変形症など)

口腔腫瘍専門外来: 毎週火曜日

障害者歯科専門外来: 毎月第１、３水曜日の 14: 30～ 16: 30

嚥下機能の評価および訓練: 初診 (火曜日以外の平日)、ＶＦ、ＶＥ検査(毎週月曜日、水曜日)

閉塞性睡眠時無呼吸の口腔内装置の作製: 初診 (火曜日以外の平日)

周術期口腔機能管理(口腔ケアセンター): 初診(月曜日～金曜日)

市立長浜病院のおける歯科口腔外科に関連した主な施設基準

日本口腔外科学会認定准研修施設･がん診療連携拠点病院加算･歯科外来診療環境体制加算･歯科外来診療環境体制加算歯科診療特別対応連携加算･地域歯科診療支援病院入院加算･歯科治療総合医療管理料･歯科口腔リハビリテーション料２･上顎骨形成術、下顎骨形成術(歯科診療によるもの)･歯周組織再生誘導手術･歯科矯正診断料･歯科技工加算　など

臨床研修医

研修医師

滝口　陽介　　平成31年４月～
黒川　昌悟　　平成31年４月～
辻本陽二郎　　平成31年４月～
栗山　紘和　　平成31年４月～
西田　知弘　　平成30年４月～令和２年３月
田中　　葵　　平成30年４月～令和２年３月
森永　晃史　　平成30年４月～令和２年３月

令和元年度　市立長浜病院　臨床研修医　診療科ローテート表

	氏　名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	滝口　陽介	リ内	呼内	腎内		麻酔		整外		精神（セフィロト）	循内		脳外
	黒川　昌悟	呼内	リ内	脳外		循内	腎内	麻酔	放射（診断）	精神（セフィロト）	外科	整外	消内
	辻本陽二郎	腎内	脳外	呼内	循内	リ内	産婦	小児（日赤）	消内	麻酔		精神（セフィロト）	外科
	栗山　紘和	腎内		リ内	呼内		外科	精神（セフィロト）	放射（診断）	消内		循内	精神（セフィロト）
2年目	西田　知弘	放射（診断）	精神（セフィロト）	神内（滋医）		地域医（浅井東）	小児（日赤）	脳外	神内	腎内		病理	呼内
	田中　　葵	麻酔（3月～）	病理	循内	外科		放射（診断）	地域医（いぶき）	心血外	呼外	産婦		
	森永　晃史	循内		放射（診断）	産婦		外科	精神（セフィロト）	地域医（浅井東）	整外		心血外	循内

当院の臨床研修について

1年目は基本研修科目として、内科（6ヶ月）、救急（3ヶ月）、選択必修（3ヶ月）の研修を行います。

2年目は、湖北医療圏域の診療所を中心に研修先を選択する地域医療（1ヶ月）の他、残り11ヶ月を選択期間にしており、研修医の自主性と志向に応じた自由度の高いプログラム設定をしています。

また、週1回程度の宿日直研修を通して、プライマリケアの習得に十分配慮しており、基礎的研修項目は、厚生労働省の指針に準拠して設定した行動目標および経験目標に沿って、一般臨床医としての基本を研修し、指導医から評価を受けることとなります。

救急センター

東出　俊一　　救急センター長
安永　敏美

今年度のトピックス

①救急ミニ講座の定期開催
②ＩＣＬＳコースの定期開催（年２回）　令和元年６月9日、令和元年12月14日

研修　救急ミニ講座の開催

期日		テーマ	講　師		参加者
第１回	５月24日(木)	救急領域における初期評価と初期対応について	呼吸器内科	中川　雅登	34
第２回	６月28日(木)	救急での循環器対応	循環器内科	小林　勇介	26
第３回	８月24日(木) 台風にて中止	救急で対応する整形	整形外科	高田　　健	
第４回	10月25日(木)	気切患者の呼吸器管理	耳鼻咽喉科	堀井　翔平	28
第５回	２月27日(木)	呼吸器管理	呼吸器内科	中川　雅登	30
第６回	３月28日(木)	オキシログ装着し入院した事例から		野一色真弓	

業務実績　（単位：人）

	平成 30 年度	令和元年度	前年対比
救急受診患者総数	13,604	12,314	－ 1,290
救急車搬送数	2,656	2,884	228
入院患者数	2,267	2,739	472
救急車入院数	1,111	1,329	218

外来化学療法センター

東出　俊一　　外来化学療法センター長
野田　恵加　　外来化学療法センター専任医師

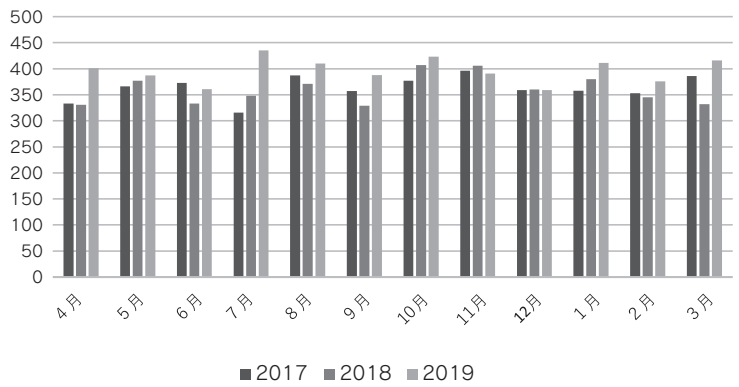
今年度のトピックス

①婦人科では、がん薬物療法の初回導入を当センターで実施できる体制を整え、開始しました。
②センター内で栄養士による栄養指導を実施できる体制を整え、外来栄養食事指導料の算定を開始しました。
③センター内でがん患者指導管理料（イ）（ロ）（ハ）を積極的に算定しています。
④センター専任医師や主治医、看護師、薬剤師等との多職種カンファレンスを継続しています。
⑤日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2020 で「市立長浜病院における外来がん化学療法中止理由の調査」を発表しました。

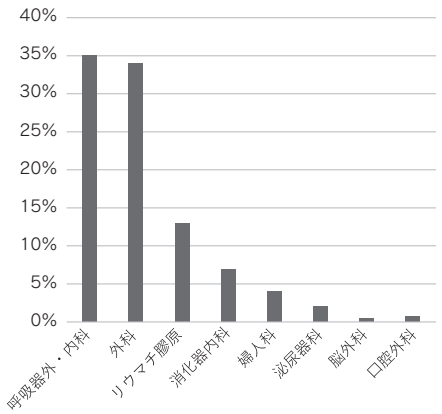
業務実績

平成 25 年 3 月～外来化学療法センター 13 床で開設

■年間実施延べ件数推移



■科別内訳（2019 年）



評　価

消化器内科患者の増加や婦人科でがん薬物療法の初回治療を外来で導入するなど積極的にセンターでの治療を受け入れ、外来化学療法センターの年間実施件数は昨年度と比較し、162 件増加しました。

がん患者指導管理料や外来栄養食事指導料の算定を行い、副作用対策や心理支援、患者指導が強化できる体制を整え、取り組みを開始できました。

昨年度から開始した多職種とのカンファレンスが定着化し、情報共有を行うことでより安全にがん薬物療法を行える環境を整えることができました。

不定期にがん薬物療法に関する勉強会を行い、がん診療に関する知識を深める事ができました。

ヘルスケア研究センター

石田　　均　　ヘルスケア研究センター長
日本内科学会指導医･認定内科医、日本内分泌学会内分泌代謝科指導医･専門医
日本臨床栄養学会臨床栄養指導医
日本肥満学会肥満症指導医･専門医
日本糖尿病学会研修指導医･専門医
日本病態栄養学会病態栄養研修指導医･病態栄養専門医
野口　哲男　　健診部長兼呼吸器内科責任部長
日本内科学会指導医･認定内科医･総合内科専門医
日本人間ドック学会　人間ドック指導医･専門医
日本呼吸器学会指導医･専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本医師会認定産業医

当センターの運営に関しましては、日頃から各方面（内科、外科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、産婦人科、泌尿器科、脳神経外科、眼科、放射線科、看護局、栄養科、各病棟他）より、常に多大なるご協力をいただいております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

今年度のトピックス

平成31年（2019年）4月1日から、従来の健診センターが「ヘルスケア研究センター」へと発展的に改組され、「健診部（野口哲男部長、呼吸器内科責任部長兼務）」ならびに「渉外部（村上義和部長）」から成る院長直轄の部署として、新たに発足いたしました。

今後の利用者数の増加に対応可能な診療体制の構築に向けて、令和元年（2019年）8月からは火ならびに水曜日の診療を、二診体制へと増強しました。また新たな健診コースとして、同年11月からは「航空身体検査」の予約を開始し、翌令和2年（2020年）3月より検査を実施しています。

業務実績

当センターの利用者数の推移としては、平成22年度　3,190人、平成23年度　3,257人、平成24年度　2,990人、平成25年度　2,961人、平成26年度　2,881人、平成27年度　2,882人、平成28年度　2,790人、平成29年度　2,944人、平成30年度　3,021人に対して、令和元年度　3,280人でした。

今後の展望

令和2年（2020年）秋に予定されている本院別館一階への移転拡充に向けて、その体制作りに順次着手しています。すなわちスタッフの更なる充実化（医師、臨床検査技師、看護師、保健師、公認心理師、専門事務員の増員）に加えて、診療室や検査スペースの増加に伴う診療体制の拡充、新規の契約先との連携、新たなドックコースやオプション検査項目の導入、そして1泊ドックコースにおけるホテルや旅館での宿泊システムの活用について、それぞれ積極的に進めることにしています。当センター員一同、利用者の方々に十分ご満足戴ける検査・指導体制の確立に向けて、なお一層の努力を積み重ねて参りたいと存じます。

開放型病棟、開放型病床

特　徴

①平成29年から開放型病棟は診療報酬上で地域包括ケア病棟を算定する病棟としております。平成31年2月から病棟改修工事のため病棟移動となり、病床数も減少となりました。しかしながら開放型病床は登録医の先生方と共同指導をするための病床ですので、この地域包括ケア病棟の中に開放病床16床を持つことにしました。そのほかの病棟にも2～8床程度の開放病床をもうけていますので病院全体としての開放病床は今までどおりの50床を確保しています。

②平成24年4月からは開放入院の制度は残し、入院の決定は登録医の先生から病院の医師が行うこととなり8年が経過しております。

③登録医の先生が地域医療連携室に来ていただいた時に、地域医療連携室に担当者が開放入院の患者さんのいらっしゃる病棟までご案内するようにしています。

業務実績

平成31年度の入院のべ患者数は150人で平成30年度に比べると700人以上減少しました。最大利用時（平成8年の約14,970 人）の1.0%とかなり低迷しています。さらに開放病床利用率は昨年の4.9%から0.8%と減少しました。また、開放入院の基本である共同診療の回数は0件となりました。平均在院日数は平成元年度で45.3日、平成31年度は8.1日と短くなってきているため必然的に共同診療に来ていただく機会がなくなってきています。

評　価

①地域包括ケア病棟の中に開放病床を設けています。地域包括ケア病棟は主として在宅で診ていただいていた患者さんが高度急性期で対応するような疾患でなく、短期間の入院加療を行いその後再び在宅医療を目指すような場合に利用する病棟と認識しており、今までの開放型病棟の趣旨に沿った病棟と理解してよいと考えています。そういった意味で今後とも大きく変わることなく開放病床の運営は継続していきます。

②開放入院でも診療科がはっきりしている場合は担当の診療科に主治医をお願いしていますが、内科で紹介いただいた患者さんは、平成24年4月から院内の医師がトリアージして、各診療科にお願いする体制に変更しました。しかしながら「開放入院で」といわれる患者さんは、入院の決定は登録医の先生から病院の医師が行うことに変更しましたが、極力登録医の先生のご意思に沿えるようにしています。

③共同指導は開放型入院の基本です。しかし、在院日数の減少やびわ湖あさがおネットの普及による情報提供の進歩、退院支援の推進による登録医の先生方との情報交換が進むことで共同指導の減少に繋がっています。登録医の先生方に少しでも共同診療に来院していただけるようなシステムの構築が課題と考えています。

中央材料室

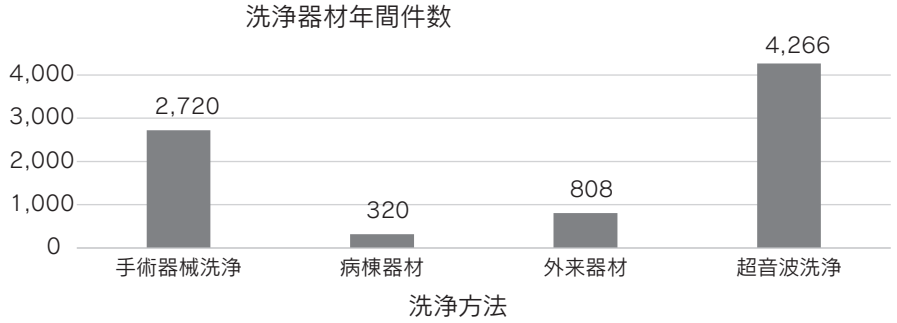
川島　和彦　　中央材料室長

今年度トピックス

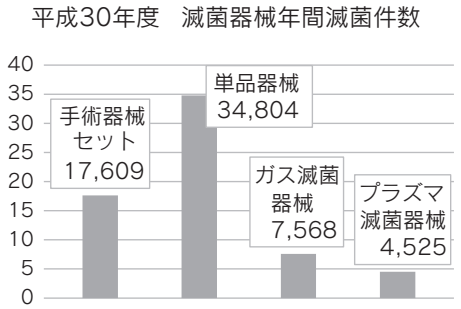
1．洗浄技術向上に努めました。
　学習会を開催したり、スタッフの洗浄機の積載方法の現状チェックや指導を行い、洗浄行為にレベル差がないように務めました。
2．研修会に参加し、専門性を高め、情報の共有に努めています。
　京滋滅菌業務研究会参加　スタッフ全員参加できました。
3．EOG 滅菌器が新しくなりました。
4．器械乾燥器が新しくなりました。業務効率が良くなりました。

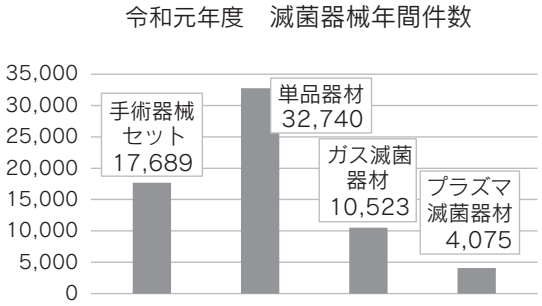
業務実績

1．使用器材の洗浄方法は、洗浄機（ウオッシャーディスインフェクター）・超音波洗浄器・用手洗浄などが代表的です。その中で、繊細な器材の洗浄を担っているのが超音波洗浄器です。適応器材の種類が多く、又、洗浄前後に用手洗浄を必要とします。用手洗浄にはスタッフの個人差があると言われています。今年度は、中央材料室の用手洗浄の技術の向上をはかり、周知を行った事を日々の業務に活かしています。



2．器械の滅菌件数を昨年度と比較してみると、緊急滅菌や使用日中に滅菌する事が多く滅菌件数は増えています。この事に伴って、業務の煩雑や短時間集中業務となる事もあります。集中力の低下による不良滅菌に至らないように、洗浄の質の向上に加え確認行為の手順の遵守などに務めています。





中央材料室は、、良質な滅菌器材を提供できる事を基本方針としています。患者様に適切な治療や良い看護を提供していくためにも、その年々で使用器械も変化していきます。中材の業務も、時間集中で業務が煩雑になる事もありますが、職員間の協力体制で頑張っております。

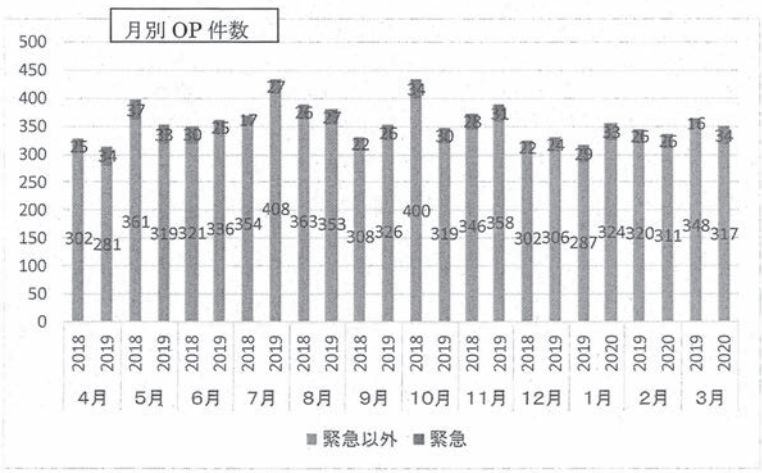
中央手術室

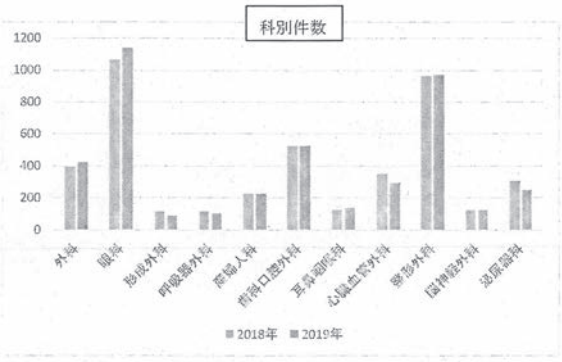
林　　嘉彦　　中央手術室部長
中村　寛子　　中央手術室看護師長

今年度のトピックス

①麻酔科常動医師３名が定着し、滋賀医大からの応援医師と合わせて麻酔科関与手術が午前・午後ともに安定的に受けられる体制を維持できています。
②手術室認定看護師の活動日を設け、周術期看護に対する実践・指導・相談を実践しています。
③特定行為研修修了者が誕生し、麻酔科医師の指示のもと周術期特定行為を実践しています。
④周術期の患者さんを対象に患者総合支援センターでの手術室看護師による術前外来が軌道に乗り、術前からの患者さんへの関わりが充実しました。
⑤材料管理専門の委託業者による診療材料管理体制を維持し、業務分担専門科に努めています。

業務実績





評　価

麻酔科体制の安定や委託業者による診療材料の管理が軌道に乗っていますが、手術件数はやや減少傾向です。患者総合支援センターでの手術室看護師による術前外来スタッフを増員し、入院前から患者に関わる機会が増えたことで周術期看護の充実につなげることができました。また、特定行為研修修了者が周術期特定行為の実践を開始し、麻酔科との連携も深まっています。

薬剤局

小室　太郎　　副院長兼薬剤局長
野渕　孝二　　副参事

今年度のトピックス

・切れ目ないがん薬物療法　　・院外処方箋疑義照会簡素化プロトコル
・人材育成：認定薬剤師の充実

業務実績

●がん薬物療法

病棟担当薬剤師・がん薬物療法認定薬剤師・外来がん治療認定薬剤師・緩和薬物療法認定薬剤師が連携し、外来～終末期の緩和治療まで薬剤師が切れ目なく関われる体制を整え、チームとしてがん患者さんに関わっています。

●継続した人材育成

地域がん診療連携拠点病院として、がん薬物療法に精通した薬剤師の育成を進め、次世代のがん治療認定薬剤師育成しています。他分野でも周術期管理チーム認定薬剤師、腎臓病薬物療法認定薬剤師の育成を進めています。今後さらに高度化・複雑化する薬物療法に対応出来るようにするために、人材育成は重要事項であると考えています。各専門分野の学術大会、研究会への参加を推奨しており、5 演題を発表しました。

●多職種連携・病棟業務

各病棟・部署に専任薬剤師を配置するとともに、チーム医療の一員として病棟カンファレンス・回診に加え、がん化学療法、糖尿病、緩和ケア、ICT、NST、認知症対策委員会、ハートケアカンファレンス、骨粗鬆症リエゾンなどの様々な分野に参加しています。病棟業務の中で発見した重篤な副作用を厚生労働省へ報告し、副作用救済制度申請の患者支援を行いました。積極的に日本病院薬剤師会プレアボイド (副作用回避) を報告しました。

●医薬品安全管理

医薬品安全管理では、臨床工学技術科と共同でプレフィルドシリンジ製剤とシリンジポンプの研修会を実施しました。医薬品と機器を関連付けた研修会で、それぞれ単独で行う以上に効果的な研修会になりました。

●地域連携の推進

薬剤師から処方医師への疑義照会は、医薬品の適正使用上とても重要です。しかしその中には形式的な疑義照会があり、患者さん・調剤薬局薬剤師・処方医師にご負担をかけている場合が多々あります。形式的な疑義照会を減らし、患者さんへの薬学的ケアの充実および処方医師の負担軽減等を目的に 2019 年 10 月 1 日より長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、一般社団法人 湖北薬剤師会との協働により、プロトコルに基づく薬剤治療管理の一環として、「院外処方箋疑義照会簡素化プロトコル」の運用を開始いたしました。

湖北吸入療法研究会 (KKR) の事務局を継続して担当し、春に全体研修会を開催しました。また湖北薬薬連携研修会に積極的に参加し、湖北地域の薬・薬連携を進めました。

評　価

全国的な病院薬剤師不足は続いており、業務の効率化を図り、既存業務を縮小することなく、新規業務を開始することができました。少ない人員ながら、積極的に患者指導を行い、各種管理料は昨年以上に算定数が増加しました。

医療技術局

新川　由基　　局長
音居　玲子　　理事

我々が臨床に提供している情報や技術は多岐にわたり、それぞれがプロフェッショナルの自覚を持ち日々研鑽を積んでいます。プロ集団であるがゆえに仕事の現場が限定され、組織としての運営がとても難しいのですが、月１回の医療技術局技師長・責任者会議を開催することで、各科・室の問題点や新しい技術、取り組みなどの情報の共有することができました。また、今年も、第６回となる「医療技術局研修会」を音居理事を中心に、湖北病院医療技術局を含めた１２９名の参加の中開催することができました。今回は「他職種連携」がテーマで、各チームの情報を共有し、活動内容やそれに関わる局員の顔の見える化を行うことができ、協働する意識が高められたのではないかと思います。

今年度より､新人紹介を兼ねた研修会及び親睦会である「絆プロジェクト」と「医療技術局研修会」は年度ごとに交互に開催することにし、それぞれの会を充実していきたいと思います。

これからも、各部門の連携を強化することで、安全・安心な医療を提供できる医療技術局をめざします。

栄養科

新川　由基　　科　長
藤田　新一　　専門員
中川　太郎　　参　事
赤尾真樹子　　次　長

栄養科基本方針　**安心、安全でおいしい食事の提供を目指します。**
思いやりの心のかよう栄養管理に努めます。

組　織

栄養科専門員１名、管理栄養士８名、調理師 17 名、炊事員２名
事務職員１名、炊事員（食器洗浄パート職員８名）（合計 37 名）

今年度のトピックス

▶栄養管理
消化態の濃厚流動食品（ペプタメン）の導入（５月）
分岐鎖アミノ酸を補給できる食品（リハタイムゼリー）の導入（５月）
(回復期リハビリテーション病棟のみの対応)

▶衛生管理
消毒水生成装置の導入（６月）

▶その他
体験型集団栄養指導の実施（９月、12 月）
病院の参観日イベント（11 月）
配膳車及び各食種のパネル展示
ビデオで職場紹介（病院給食ができるまで）
当日の常食の展示
ミキサー食の触感体験
栄養相談の実施

業務実績　**詳細は各種統計資料参照**

給食業務状況（患者給食延べ数）　342,048 食 / 年（937 食 /1 日平均）
栄養指導件数（個 別 指 導）　　1,081 件 / 年

評　価

今年度は、上記トピックスのとおり積極的に業務に取り組んだ年度でした。
今後も課題解決に向けて努力いたします。

臨床工学技術科

新川　由基　　技師長
辻　　克信　　次長
草野　信悟　　次長
藤田　忠夫　　専門員

令和元年度のトピックス

平成21年度に1台から採用し始めた非侵襲的陽圧換気療法で使用する人工呼吸器の台数が徐々に定数を増やし令和元年度で4台となりました。またその効果を受けて広く採用されている経鼻高流量酸素療法装置も定数を増やし6台での運用となり、レンタル在宅用マスク換気人工呼吸器の運用と合わせ効率の良い台数運用となってきました。令和元年12月からはカテーテルアブレーション療法が始まり当科スタッフも治療チームの一員として携わるようになりました。今後も既存業務を充実させつつ新たな業務の拡大に努め地域医療の発展に貢献してまいります。

業務実績

①臨床技術提供業務

血液浄化

・持続的血液濾過透析 243回（36症例）　・エンドトキシン吸着　1回（1症例）
・血漿交換　22回（6症例）

手術室

・人工心肺装置使用手術　40症例

その他

・経皮的心肺補助装置使用(PCPS)　12症例　・大動脈内バルーンパンピング(IABP)　26症例
・カテーテルアブレーション　46症例

②医療機器点検業務

院内定期点検

・輸液ポンプ定期点検　151件　・シリンジポンプ定期点検　89件
・除細動器定期点検　46件　・電気メス定期点検　25件

貸出回数

・輸液ポンプ　2584回　・シリンジポンプ　903回
・挿管用人工呼吸器　23回　・NPPV　206回
・経腸栄養ポンプ　19回　・離床センサー　373回
・酸素濃縮器　23回　・血液ガス分析装置　16回
・逐次型空気圧式マッサージ器 230回

③教育研修

・新人対象研修（輸液ポンプ・生体情報モニター）	2回	参加人数　23人
・シリンジポンプ研修	6回	参加人数　326人
・人工呼吸器研修	9回	参加人数　145人
・透析、血液浄化研修	5回	参加人数　34人
・補助循環研修	4回	参加人数　23人
・離床センサー	2回	参加人数　19人
・新規・試用機器研修	1回	参加人数　6人

放射線技術科

古山　忠宏　　技師長
富田　　聡　　参事
宮川　孝史　　次長　　田邉　啓太　　次長

今年度のトピックス

今年度は、退職者の欠員補充として診療放射線技師１名が入職し、また、育休からの復帰技師１名と長浜市立湖北病院からの人事交流技師２名とで、総勢 22 名 (うち医学物理士１名) 揃っての診療放射線技師体制となりました。

診療用放射線に係る安全管理体制並びに診療用放射性同位元素及び陽電子断層撮影診療用放射性同位元素の取扱いに関して、医療法施行規則の一部を改正する省令（平成 31 年厚生労働省令第 21 号）が平成 31 年３月 11 日に公布され、このうち、診療用放射線に係る安全管理体制に関する規程については令和２年４月１日に施行されることとなりました。これに伴い、当院でも診療用放射線の利用に係る安全な管理のための責任者（医療放射線安全管理責任者）の選任と、診療用放射線の安全利用のための指針を策定し、令和２年４月１日の施行に向け取組みを進めました。

平成 29 年４月には、放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律が改正され、令和元年９月に放射性同位元素等の規制に関する法律に改題されました。これに伴い当院の放射線障害予防規程を見直し令和元年８月に改定を行いました。

新たに設置、更新した機器はありませんが、本館の CT 装置２台が共に設置から 10 年以上経過しているため、令和２年度の機器更新設置に向け機器選定を行いました。

また、働いておられる方にも無理なくがん検診が受診できるよう、昨年同様に日曜日の乳がん検診（マンモグラフィ撮影）を年間４回実施し、がん検診の受診率向上に努めました。

放射線治療部門においては、今年度より放射線治療専門医が１名増員となり、より高度な放射線治療への対応および効率的に業務を遂行することが可能となりました。湖北地域では当院でのみ高精度放射線治療が実施可能とういう状況が変わってないこともあり、湖北地域の放射線治療の拠点としての役割を果たしています。さらに、今後の紹介率増加にも期待しています。

業務実績

放射線診断部門において、令和元年度の検査件数は、病院の受診患者数が減少傾向にある中で、モダリティにより若干のバラツキはあるものの、全体的には、ほぼ昨年と同等の件数でありました。CT、MR、血管造影、DEXA（骨密度測定）で増加しましたが、他のモダリティでは、僅かではありますが減少しました。中でも、ESWL（体外衝撃波結石破砕）は大きく減少しましたが、これは結石に対する治療法の第一選択が ESWL でなくなったことが大きく影響していると思われます。

近年、医療技術と画像診断の発展は目覚ましく、特に血管撮影部門やＸ線透視部門では、IVR による治療目的の手技が多くなり、手技が高度化、複雑化し業務量も増加してきています。これら複雑な IVR や手術をより安全に確実に行うため、CT や MRI 画像を利用した３D 画像や MPR 画像が有用となっています。そのため、CT や MRI 検査は、高度化、複雑化し検査後の画像再構成も要求が多くあり、件数では表れていない業務量の増加があります。また、患者紹介、逆紹介において、可搬媒体による画像の添付が一般的になり、これら画像管理業務も増加傾向にあります。

放射線治療部門においては、総患者件数は前年度の 265 件から今年度は 219 件と約 17％減少

しました。しかし、IMRT が前年度 42 件から今年度 41 件、定位放射線治療が同じく 28 件から 30 件とほぼ横ばいとなりました。総患者件数に対する IMRT や定位放射線治療などの高精度放射線治療の割合が増加しており、湖北唯一の高精度放射線治療実施可能施設であることと、放射線治療専門医が増員され、昨年度より放射線治療体制が充実したことが関係していると思われます。

各検査件数等は、別掲の放射線科 / 放射線技術科業務状況をご参照ください。

当科担当の委員会では、放射線安全委員会、放射線治療品質保証委員会を開催し、放射線の安全利用や職員の被ばく防止・低減、放射線治療に関する精度管理、安全管理について協議、検討を行いました。

また、院内職員と地域の開業医さんとを対象とし、医療安全管理室と合同で放射線安全研修会を 10 月 29 日に開催しました。内容は、「RI 検査、MRI 検査の注意点および当院の放射線治療の実際」、「放射線治療における副作用について」、「意外と知らない造影剤について」の講義を行い、講義終了後、MRI 検査室において、金属吸着体験を行いました。参加者には、MRI 検査室内への金属持ち込みの危険度を実感してもらい、金属持ち込み事故防止の啓発を行いました。

評　価

今年度も「見える診療放射線技師」を目指して、院内イントラネットを利用し「Radiation Information」を年間４回発行し、放射線技術科の情報発信を行いました。

患者誤認防止として、患者さん呼び込み時には、患者さんに氏名、生年月日を名乗ってもらっていますが、同時に技師も名前を名乗り自己紹介し、患者さんとの接遇、コミュニケーション強化を図りました。

昨年度更新された病院医療情報システムですが、さらに充実したシステムとなるよう細かな点について改修を行いました。

日進月歩の医療界に対応すべく、日本診療放射線技師学術大会、日本放射線技術学会、その他関連学会や近畿地域、県内の研修会、研究会等へ参加し、演題発表を行う等自己研鑽に励みました。画像診断部門、放射線治療部門において、他科からの要求がますます高度化、複雑化するなかで、これらに応えられるよう優れた人材育成に努め、さらに自己研鑽にも励み、チーム医療の一員として安全・安心・信頼の医療が提供できるよう診療放射線技師としての役割を果たして行きたいと考えています。

リハビリテーション科

江藤　謹司　　部長　　平成 13年６月～ 日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

業務実績
回復期リハビリテーション病棟入院患者数　179人
リハビリテーション対診患者　448件

カンファレンス等
回復期リハビリテーション病棟回診　週１回／木曜日
リハビリテーション対診患者回診　月１回

リハビリテーション技術科

音居　玲子　　技師長
吉田洋次郎　　参事
北村　　淳　　次長　　三浦　富子　　次長
田中　宏明　　次長　　藤井三和子　　次長

今年度のトピックス

平成 30 年１月に新電子カルテシステムが導入され、診療業務の効率化、スムーズな情報共有、デジタル化によるデータ管理の向上などの進化を遂げました。当科でも情報共有をはじめ各種書類、評価テンプレートを導入することで業務の効率化に努めました。また、リハビリテーションのアウトカム評価の実現に向けて、介入前後の評価を電子カルテに記載することに取り組みました。

急性期病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟、訪問リハビリの事業へのスタッフの配置と単位数の調整を柔軟に行い、より質の高いリハビリテーションが提供できるように努力しました。なかでも、回復期リハビリテーション病棟において『1日入院患者数　最大 42 人平均 38 人』を目標に掲げ、科内一丸となって取り組みました。急性期病棟の入院初期からタイムリーな情報交換を行い、回復期リハビリテーション病棟への転棟を積極的に推進し、1日平均入院患者数最大 42 人平均 37.4 人（平成 30 年度実績：33.1 人）という結果をあげました。

前年度に引き続き、科独自の患者満足度調査を実施しました。概ねリハビリテーションには満足という結果でしたが、リハビリテーション時間の拡大や退院時指導の充実を望む意見があり、今後の課題となりました。

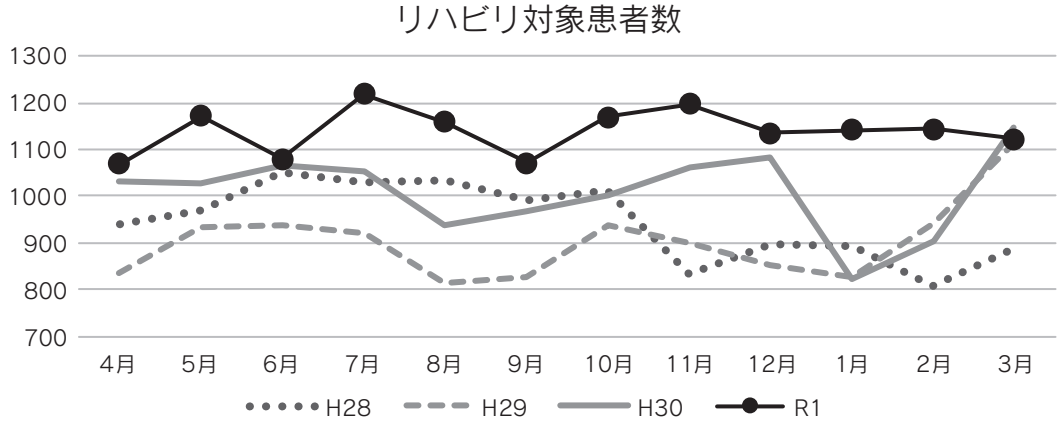
主な業務実績

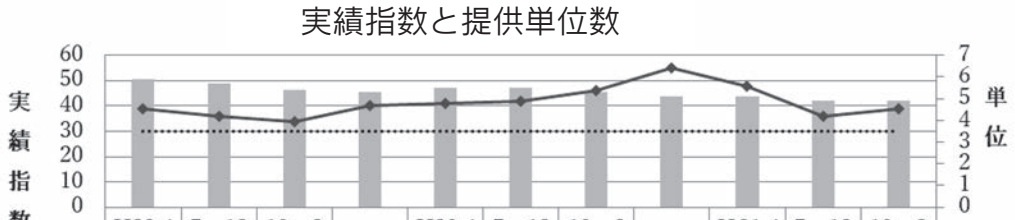
【診療報酬】

	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	合　計
診療報酬（点）	23,866,001	11,057,252	4,750,842	42,247,437
前年度比	0.99	1.04	0.87	0.99

＊但し、地域包括ケア病棟の包括分の点数を含む

【回復期リハビリ病棟の実績】





	H29.4～9月	7～12月	10～3月	1～6月	H30.4～9月	7～12月	10～3月	1～6月	H31.4～9月	7～12月	10～3月
提供単位数	5.9	5.7	5.4	5.3	5.5	5.5	5.3	5.1	5.1	4.9	4.9
実績指数	39	36	34	40	41	42	46	55	48	36	39
規定実績指数	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30

【病棟回診への参加】

・回復期病棟部長回診（１回／週）　・廃用症候群回診（１回／月）　・心臓血管外科回診（１回／週）
・呼吸器内科回診（１回／週）　・嚥下回診（２回／週）　・NST 回診（１回／週）
・認知症ラウンド回診（１回／週）　・RST 回診（１回／週）

【定期カンファレンスへの参加】

・整形外科レントゲンカンファレンス（１回／週）　・脳外科カンファレンス（１回／週）
・ICU・CCU ミーティング（毎朝）　・心臓血管外科術前カンファレンス（１回／週）
・ハートケアチームカンファレンス（１回／週）　・骨粗鬆症リエゾンチームカンファレンス（1 回／月）
・緩和ケアチームカンファレンス（１回／週）　・ICU・リハビリテーションカンファレンス（毎日）

【臨床実習受け入れ】

8 名　（理学療法：4 名　作業療法：2 名　言語聴覚療法：2 名）

【資格・認定修得状況】

・がんリハビリテーション研修会修了者　21 名　・３学会合同呼吸療法認定士　10 名
・心臓リハビリテーション指導士　4 名　・認定理学療法士（運動器）　1 名
・認定理学療法士（脳卒中）　1 名　・認定理学療法士（循環）　1 名
・認定理学療法士　(代謝)　1 名　・日本糖尿病療養指導士　2 名
・介護支援専門員　2 名　・福祉用具プランナー　5 名　・住環境コーディネーター 2 級　7 名
・日本救急医学会認定 ICLS コースアシスタントインストラクター　2 名
・日本救急医学会認定 ICLS インストラクター　1 名　・日本救急医学会認定 ICLS コース修了　17 名
・日本救急医学会認定 ISLS コース修了　1 名　・国際側弯シュロスセラピスト　1 名
・ゴルフフィジオトレーナー・セラピスト　1 名　・入谷式足底板上級編コース修了　1 名
・骨粗鬆症マネージャー　3 名　・認知症ライフパートナー 1 級　3 名

評　価

令和元年度の当科の業務実績は、年度当初に離職者が出たにもかかわらず、診療報酬、総患者数、総提供単位数において概ね前年度と同等の数値を維持することができました。

回復期リハビリテーション病棟の実績では、目標の『1 日入院患者数　最大 42 人平均 38 人』を概ね達成することができました。1 日入院患者数は、前年度を 4.3 人上回り 37.4 人であり、過去最高の入院患者数となりました。患者数増加に伴い、患者 1 人 1 日あたりのリハビリ提供単位数が前年度よりも減少しましたが、実績指数は規定数値 30 以上を維持でき、入院料３の条件をみたすことができました。一方で、長期入院患者も存在し、退院調整が課題となっています。

科内が同じ目標に向かって邁進して得られた結果は、何ものにも代えがたい貴重なものです。多くの要求に応えられるよう科内の組織を固め、他職種との連携をさらに強化し、信頼されるリハビリテーションを提供していけるよう、さらに努力していきます。

中央検査技術科

新川　由基　　技師長
宮元　伸篤　　参事　　岡本　明子　　次長　　橋本　里美　　次長

今年度のトピックス

生化・免疫検査部門

・自動分析装置を cobas8000 に更新後１年が経過し、免疫検査結果報告時間の迅速化を実現できています。今年度は診療に有用な検査の新規検査の取り込みとして、医師から要望により intactPTH とコルチゾールを新規導入しました。今後も診療科からの要望に対して収益性を確認しながら前向きに検討します。

血液検査部門

・令和２年３月23日から採血管準備システムを導入し、患者様のプライバシーに配慮した対応が可能になりました。

輸血検査部門

・「輸血後感染症検査」の実施を徹底するために、輸血療法委員会に加えて医事課と連携し「輸血後感染症検査」の運用を開始しました。安全で適正な院内輸血推進のために、来年度も改革を行っていきたいと思います。
・アルブミン製剤の管理を薬剤部門から輸血部門に移管し１年が経過しました。アルブミン製剤の輸血部門での一元管理により、輸血管理料Ｉの算定要件を全て満たし今年度より輸血管理料Ｉの申請しました。
・血液製剤の廃棄金額率は 0.81%（昨年度 1.16%）でした。

一般検査部門

・尿沈渣用の顕微鏡を入れ替えました。視野が広くなり尿中の細胞をより詳細に観察できるようになりました。
・試薬の製造中止に伴い院内で行ってきたｈ CG 半定量検査を中止し、外注検査に移行しました。

細菌検査室部門

・５月より水痘帯状疱疹ウイルス抗原検査を開始しました。迅速検査のため、約 15 分で判定が可能となりました。
・８月よりβ - Ｄグルカンの検査を、外注検査から院内検査へ変更しました。
以前は結果がでるまでに２～４日かかっていましたが、院内で実施するようになり、約１時間半で結果を報告できるようになりました。
・例年に引き続き、薬剤感受性スペクトラム表、病棟別・材料別菌検出数、厚生労働省の院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）の還元情報を、院内メールやネットフォルダに掲載し、誰でも閲覧できるようにしました。

病理・細胞診検査部門

・病理医の充実：常勤の黒澤学先生、非常勤の沢田眞治先生、２人体制で業務を行いました。
・細胞検査士を新たに１名が取得しました（計６名）
・病理診断室に併設されていた検査システムサーバー室を９月に撤去していただき、キャンサーボードを行うスペースが広がりました。
・外注検査の悪性リンパ腫総合解析検査（ML-Net）を、７月よりフローサイトと PCR のみ外注することに変更しました。
・外注遺伝子検査の MSI 検査について、５月より院内で免疫染色も行い適応検体の抽出を行うようにしました。
・外注遺伝子検査の次世代シークエンス（NGS）法を用いた EGFR・ROS1・BRAF・ALK 遺伝子検査と、包括的ながんゲノムプロファイル、BRCAnalysis 診断システムについて７月より提出可能な体制を整えました。

生理検査部門

・超音波診断装置１台を更新しました。これにより、3 台の超音波装置のうち２台で４D 対応・ストレイン解析などが可能になりました。心臓血管外科の術前評価に有用な 3D 画像の構築がさらに充実されただけでなく、循環器科領域でも、3D を用いた駆出率の測定など幅広い評価が可能となりました。
・昨年度より開始した腎動脈超音波検査、下肢動脈超音波検査の検査件数がアップし、下肢閉塞性動脈硬化症の診断や腎不全患者などの診断に貢献することができました。

評　価

・令和元年度の総検査件数は 3,013,791 件、総点数は 61,844,610 点で、前年度と比較して件数は約 6%の増、点数は約 10%の増となりました。すべての部門において、増件・増点となり充実した１年となりました。
・中央検査技術科採血室に平成 31 年４月より看護師２名を配属し、令和２年３月には採血管準備システムを導入しました。
・臨床検査に特化した国際規格である ISO15189 取得に向けてのプレゼンテーションを事業管理者・院長・事務局に行い、病院運営会議で了承されました。令和３年３月取得をめざします。
・より質の高い技術と知識を習得するため、資格取得にも努力し、認定心電検査技師１名、緊急臨床検査士３名、二級臨床検査士（微生物学）１名、二級臨床検査士（血液学）１名が合格しました。

　今後も、チーム医療の一員として、精確、かつ信頼性のある検査結果を迅速に臨床側に提供できるよう、また、病院経営にも貢献できるよう努力していきます。

歯科・眼科技術室

音居　玲子　　医療技術局理事兼室長
近藤　昭仁　　次長
　歯科衛生士　５名　　歯科技工士　１名　　歯科助手１名　　視能訓練士　４名

今年度のトピックス

・視能訓練士の退職に伴い、令和２年２月に視能訓練士１名が採用となりました。
・脳神経外科とリハビリテーション技術科との連携による脳損傷後の自動車運転評価に対応しました。
・ヘルスケア研究センターで開始された「航空身体検査」において、歯科医師および眼科医師とともに検診業務を始めました。

業務実績

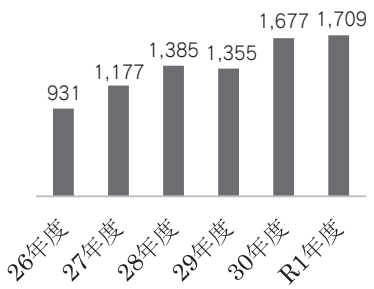
周術期における口腔ケア実施件数・・・年間 1,709 件
麻酔挿管時用マウスガード製作数・・・年間 121 件
ロービジョンケア対応患者数・・・90 名（ロービジョン検査判断料算定件数・・・45 件）
自動車運転に関わる眼科適性評価件数・・・年間 29 件
第５回　院内ロービジョン展示体験会開催
第４回　目の愛護デーパネル展示開催
臨床実習受け入れ（歯科衛生士学科学生、視能訓練士学科学生）

評　価

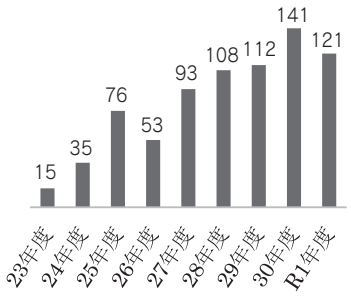
昨年度に引き続き歯科衛生士、歯科技工士は周術期口腔機能管理としての口腔ケアや挿管時に使用するマウスガードの製作を行いました。特に周術期口腔機能管理料の算定では、対象患者への介入率に着目した取り組みが定着したことで、昨年度を上回る実績を達成しました。また、歯科助手は歯科医療関連の感染対策の中心となり、安全な外来診療の運営に貢献することができました。

視能訓練士は自動車運転評価において眼科医師と共に眼科領域の評価項目および基準を定め、他部署と協働して取り組みができました。またロービジョンに関しては昨年に引き続き 90 名の外来患者に対しロービジョンケアを行い 45 件の算定を実施しました。今後も他職種との連携業務への積極的な取り組みや、患者個々への QOV 向上に適した対応を心がけたいと思います。

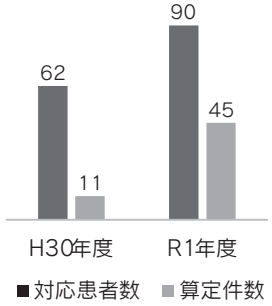
周術期口腔機能管理算定件数



麻酔挿管時用マウスガード製作数



ロービジョンケア対応数



看護局

看護局長　　松田　和子
看護局理事　梅本　範子
看護科長　　弓削　悦子、吉川　敬子、草野　美樹

Ⅰ．トピックス

＜令和元年度の看護局目標管理（戦略　関心・実践・連携）　◎重点目標＞

◎1．多職種と連携し、個々に応じた看護実践ができる

・学習と成長：アセスメント能力、看護実践能力が高まる
　担当：固定リーダー会、教育委員会、主任会
・業務プロセス：多職種が関わり、患者・家族の要望を取り入れた入院診療計画書を作成し看護実践ができる
　担当：固定リーダー会、記録委員会、各セクション
・顧客：患者満足度が向上する。患者個々のニーズに沿った看護実践ができたという達成感が得られる
　担当：看護局、各セクション、目標管理推進委員
・財務：予定入院期間内に退院ができる
　担当：各セクション、固定リーダー会

2．効果的な人材活用ができる（業務改善）

・学習と成長：看護職員がリリーフ体制の必要性を理解する
　担当：主任会、看護管理者会、教育支援室
・業務プロセス：各部門間をグループ化し、リリーフ体制を組み協力する
入院、業務の集中、偏り、患者状態などを明確にし業務調整をする
　担当：各セクション、看護局
・顧客：看護職員個々の業務量が公平となる人材活用をする。働き続けられる職場環境作り
　担当：各セクション、目標管理推進委員
・財務：超過勤務が減少する
　担当：各セクション

3．1人1人が経営に関心を持ち行動する（選ばれる病院のための接遇強化）

・学習と成長：自己の感情を自覚し、社会人としての行動がとれる
　担当：各セクション、看護師確保・定着委員会
・業務プロセス：接遇マニュアルを活用し、思いやりを持った患者対応ができる
　担当：各セクション、看護師確保・定着委員会
・顧客：患者に選ばれる病院になる
　担当：各セクション、看護師確保・定着委員会、看護局
・財務：新入院患者が増える（各部門中長期計画に基づく）
　担当：看護局

＜大規模改修工事＞

３月を皮切りにまず６西が６東へ、７西が７東へ、４月には地域包括ケア病棟が３東へと移動した。その後８月には７東（7 西）が７西へ、11 月には６東（6 西）が６西へと新病棟へもどった。３西が６東へ、５西が７東へ、３月には７東（5 西）が５西へともどった。改修後の病棟は今できる要望を聞いてもらえるように病院プロジェクトを中心に検討したものである。各１部屋面談室ができたことで人事評価や勤務表作成、仮眠室も併用ではあるが空間ができたことはよかった。後１年工事はつづくが予定通り患者に迷惑をかけず進行することを願っている。

＜人事評価入力＞

クラウドを使用しての試行段階である。入力方法はほとんど問題なく行えている。内容については、職務に対する内容は、行動目標の面接で確認をしているが、各項目にもう少し内容が具体的に書いてあることが望ましい。業績目標の内容もチームで一律であるため、項目のなかにどう貢献したかなど内容が具体的にあることが望ましい。評価者のコメントを見てみると各部署責任者の第１評価が職員に直接届くメッセージであり承認そのものである。次の第２評価者にも参考になるところなので、しっかりと記入されたい。また個人目標としてのポートフォーリオの活用度について再確認するために新人指導者、レベル１Ｂ担当者、固定リーダー委員長に研修に参加してもらい今後の目標管理手法としてどう活用するのか検討し、次年度に活かすことになった。

＜びょういんの参観日＞

コメディカル会議で、毎年敬老の日のイベントや音楽コンサートなど行ってきたが今年は趣向を変えて病院全体で患者さんや地域住民にも来ていただけるものをと費用も少ないなか企画し「びょういんの参観日」として実施された。看護局でも６つのブースを作った①白衣着用で、素敵なナースになろう②健康チェックで、目指せ！自己管理の達人③点滴管理は新人泣かせの点滴管理うまくできるかな？④ベビー（人形）へのケアをして目指せ！育児の達人⑤大人（人形）へのケアをして目指せ！介護の達人⑥自動血圧計による自己測定を～血圧はかりにきゃんせ～どのブースも盛況であり、来院者はもとより職員の生き生きした反応が印象的であり活気に満ちた一日であった。

＜県看護協会主催看護師長研修・管理実習受け入れ＞

滋賀県看護協会主催師長研修も５回目となり、毎年希望者と初任者に参加を促している。今年は参加者４人、受け入れ４人であった。今年から医療圏域内ネットワーク会議で発表することになり、地域で貢献できることや他病院で参考になることなど有意義な発表会となった。また滋賀医大大学院生の管理学実習を受けた。同じ管理者として刺激を受ける良い機会となった。

＜クリニカルラダー紹介＞

滋賀県看護協会看護師職能委員会Ｉ研修会において『看護師のクリニカルラダー（ＪＮＡ版）を活用した自施設ラダーシステムの構築～個々のキャリア形成を促す仕組みつくりを通して～』のシンポジストをお願いされ、教育担当科長が発表した。自治体病院でここまでやっているところは少ないとお褒めの言葉もいただいた。まだ改定して２年目であるが急がず確実に効果があらわれるような関わりにしていくことが大事である。

Ⅱ．看護局の組織体制

看護科長２名、看護科長補佐３名、看護係長２名、看護主幹３名、看護主査４名が昇格した。新採用職員は 23 名（既卒者５名、新人 18 名）入職した。新任看護管理者育成のための管理ラダー使用、研修などを実施した。各部署担当科長制は人事評価担当病棟を決め、新人看護管理者には十分支援できるような体制をとった。以上の組織体制で、看護局運営の効率化を図るために定例会議・委員会・目標管理推進グループを設置して活動を行った。

Ⅲ．看護局業務実績

事業計画・改革プランの進捗状況

＜看護体制の充実―看護師確保と定着＞令和２年度 35 人募集に対し 29 人内定

＜看護業務改善①看護補助者の確保・定着＞臨時募集中、委託・派遣業務の検討

＜看護業務改善②介護士の確保・定着＞令和３年度新採用募集許可

＜外来化学療法の充実＞人材確保

＜人工透析センターの体制の充実（診療材料管理環境充実）＞透析 SPD 検討

＜産後ケア入院＞ 10 名目標、８名利用者あり

＜外来看護の充実＞外来受付のブロック化１月より開始

＜外来業務の効率化＞外来診察案内表示システム検討

＜専門領域の指導的看護師・看護管理者の育成＞特定行為研修２名

＜インターネット配信教育システムの継続＞更新済み

＜手術室の業務改善＞手術室診療材料の委託業者選定

＜手術室、ICU、血管治療室等清潔区域清掃業務＞委託・派遣業務の検討

＜患者・家族の負担軽減（入院セット導入）＞レンタル業者の選定

＜認知症ケアの充実＞院内デイケアの場所選定、人員確保

＜病児保育環境の充実＞感染対策、物品の購入、設置

＜中央材料室業務改善＞委託・派遣業務の検討

＜中央材料室修理計画＞蒸気配管の定期的点検

改革プラン　評価Ａ達成 :100％以上　評価Ｂ概ね達成：達成度 80 ～ 100％

＜特定集中治療室管理料算定件数＞前半期Ａ　後半期Ｂ

＜外来化学療法加算１算定件数＞前半期Ｂ　後半期Ｂ

＜地域包括ケア病棟の運営＞前半期Ｂ　後半期Ｂ

＜人工透析環境の充実―透析延べ回数＞前半期Ａ　後半期Ａ

＜脳卒中ケアユニット入院医療管理料算定件数＞前半期Ａ　後半期Ａ

＜手術室体制の充実―手術件数＞前半期Ｂ　後半期Ｂ

＜効果的な病棟利用－平均在院日数＞前半期Ａ　後半期Ａ

Ⅳ．評価

今年度は、医療情報システムの更新後、まだ浸透しきれていない運用・操作の課題から、看護実践の証とする看護記録、看護サマリの重要性を再確認した年であった。改修工事が始まり病床制限のあるなか、病床管理を最大限にするために毎日の病床会議、定例会議を行った。数値的にはもう少しではあったが患者の入院生活の安全を考えて行うことができ、病院運営に貢献できた。

今後の病院を取り巻く環境は今まで以上に目まぐるしく変化するが、これから求められる看護・看護体制に１人ひとりの看護展開を充実させ、地域包括ケアシステムのなかで途切れない看護を行えるように発展させていくことが重要である。

看護局組織機能図（2019年度）

セクション	外来A：内科・中央処置室・健診センター・外来化学療法センター	外来B：泌尿器科・耳鼻科・小児科・産婦人科・整形・形成外科・眼科・皮膚科・心臓血管外科・外科・脳神経センター	救急センター・放射線科	中央手術室	中央材料室	人工透析センター	3西病棟	SCU	3南病棟	ICU・CCU	4東病棟	5東病棟	5西病棟	6東病棟	7東病棟	地域包括ケア病棟	療養病棟	回復期リハビリテーション病棟
主任	小川	岡島	井上	尚永		沖田	中嶌ゆ		清水	野村耕	坪井	三枝	西島	河嶋	赤井	中川由	筒井	草野和
	河野真	久保田	勝木	次郎内		西堀政	山本		伊吹誠	森中	東野	野村規	川畑	伊吹理	辻野	野一色祐	辻勝	鍋島
	野村か	芝田					辻美		鍋	浅見秀	谷口	前川	中川栄	中川友	津田		浅見知	依田
		西尾					田中			大塚								
師長	岩崎	岩崎	野一色真	中村寛	岸田	浦部	大野	田附	毛利	宮部	岸本	北川真	服部	中村春	新木	伊藤	北村	遠藤
人事評価担当科長	梅本	梅本	梅本	吉川	吉川	梅本	草野	草野	吉川	吉川	草野	草野	草野	弓削	弓削	弓削	弓削	弓削

看護師 ― 准看護師 ― 介護士 ― 看護補助者 ― クラーク

医療安全管理室

松田看護局長（理事兼務）

烏脇次長：医療安全管理者(専従)

藤木係長：感染管理者（専従）

患者総合支援センター：地域医療連携室

梅本理事（センター長補佐兼務）

土川科長（副センター長）　北村美幸主幹

徳田科長補佐（副参事）　土田看護主幹

笠原係長　尾崎千鶴主査

患者総合支援センター：訪問看護ステーション

湧口係長（管理者）

河野智主査

世森主査

がん対策推進室・がん相談支援センター

新川科長補佐（副参事）

山岸係長

宮崎主幹

連　携

看護科長室

梅本理事　（管理）

弓削科長　（総務）

草野科長　（教育）

山田主幹(新人・教育補佐)

吉川科長　（業務）

佐藤　（キャリアコンサルタント）

梅本看護局理事

松田看護局長

連　携

専門看護師	
山岸（専従）	がん看護
認定看護師	
宮崎（専従）	緩和ケア
河野智（訪問兼任） 大町（5西兼任）	がん性疼痛看護
笠原（専従） 西尾(外来兼任)	皮膚・排泄ケア
藤木（専従） 中村寛（手術室兼任）	感染管理
東（6西兼任）	糖尿病看護
入江（専従） 杉山順(放射線兼任)	がん放射線療法看護
杉山慎(SCU兼任)	脳卒中 リハビリテーション看護
山本理（3西兼任）	認知症看護
河野真（外来兼任）	がん化学療法看護
山口（5西兼任）	慢性呼吸器疾患看護
杉村隆（3南兼任）	慢性心不全看護
平井義（手術室兼任）	手術室看護
小尾野（手術室兼任）	特定看護師

ＣＮＡ1名、ＣＮＳ1名、CN16名、特定１名

事務局

藤居　　敏　　事務局長
鵜飼　康治　　総務課長
中田　重樹　　経営企画課長
桐畑　善彦　　医事課長
佐野　勝治　　経営企画課担当課長（施設）
三原　了導　　経営企画課担当課長兼経営戦略室長
三田　久容　　医事課参事
伊吹　定浩　　総務課参事
久保田武次　　経営企画課課長代理
森　　靖　　経営企画課課長代理

総務課

（1）総務グループ

１．臨床研修医（初期研修）の採用について

臨床研修医の採用については、病院合同説明会への参加、医学部の学外臨床実習生や病院見学の受け入れ、ホームページや電子メールによる情報発信に取り組みました。

その結果、令和２年４月採用の臨床研修医採用試験には 10 人の受験があり、４人の採用決定を行いました。

今後も、①指導体制の整備、②症例研究に対する積極的な支援、③やりたいことができる研修環境等に配慮しながら、初期研修から後期研修まで継続して当院に勤務いただける魅力ある病院づくりをめざしてまいります。

２．診療体制強化に向けた医師採用について

医師数が不足する診療科の医師確保が喫緊の課題となるなか、大学医局への派遣依頼や病院独自採用により診療体制の充実に努めました。

３．看護師・助産師の確保について

看護師等の採用は、看護配置基準７対１を維持するため、定期採用試験３回の実施により、33 名を採用しました。

また、看護師等の確保対策としては、看護大学や専門学校の訪問、病院見学やインターンシップの受け入れ、奨学金制度による支援、採用内定者を対象とした国家試験対策講座の開講等を実施しました。

新人看護師等の養成では、院内教育や院外教育により、公務員・専門職としての自覚と責任を育むとともに、安全な看護業務を提供できるよう、教育体制やメンタルサポート体制を整え支援してきました。

また、看護師等の離職率は、看護配置基準７対１の維持による看護師１人あたりの受持ち患者数の減少や、負担軽減対策の実施により 10％程度に留めることができました。

今後とも看護師等の確保と養成については、仕事のやりがいと充実した私生活が両立できるよう当院独自の創意工夫を重ねながら、職場環境の整備に向けて継続的に取り組んでまいります。

(2) 経理グループ

予算編成や決算調製、議会や監査の対応等、主に病院事業の財政面において、適正な予算執行や経営改善に向けての取組みを推進しました。

また、病院事業に係る出納業務を行うなかで、医療費の収入や給与費、材料費等の支出が適正に行われているかについて管理するとともに、機器購入、工事費の支出、それに伴う企業債の借入や償還にあたっても、キャッシュ・フローの側面から、特に精密な予測と管理に努めました。

現金収納については、医療費自動精算機の適切な運用と管理を行い、患者さんに対しては丁寧な案内を心がけました。

経営企画課

(1) 企画グループ

令和元年度は、新公立病院改革ガイドラインや滋賀県地域医療構想を踏まえ新たに策定した「長浜市病院事業　中期経営計画」（平成 29 年度から 32 年度まで）の３年目として、設定した事業目標の進捗管理を行い、地域住民の健康保持に必要な医療の提供に取り組みました。

当院の病院医療情報システムは、平成３１年１月から新システムを稼働したことから、本年度は、運用・保守フェーズとしてＩＴ推進会議を原則、毎月開催し、開発当初のワーキンググループメンバーと更新事業者を交え、定期的な状況確認、協議を行い、安定稼働に努めました。

広報業務の一貫としてコメディカル連絡会議を中心に令和元年 11 月 23 日（土）に「びょういんの参観日～知ってほしい長浜病院ってこんなところ～」を開催しました。このイベントは、患者さんや家族の方々に長浜病院を見て、聴いて、触れて感じた体験から一人でも多くの方に長浜病院について知っていただくとともに、ご自身の健康づくりに関心を持っていただき、また、将来の医療従事者が生まれるきっかけとなるよう初めての取り組んだものであり、盛況のうちに終えることができました。

また、病院ホームページによる当院の医療提供体制の紹介や公開講座・研修会開催の案内のほか、広報ながはま「お元気ですか」や地元紙への「長浜病院ＮＯＷ！」への寄稿などにより病院の医療機能情報について発信してきました。

病院機能評価（3rdG）では、今年度が認定から３年目になる令和２年２月に病院における質改善活動の取り組み状況を確認する「期中の確認」による書面確認（自己評価）を行いました。医療の質の向上が、間接的に経営にも貢献できるため、半年の期間をかけて取り組みました。

その他、倫理委員会、ＩＴ推進会議等の所管委員会事務、施設基準等の管理及び届出事務等、医療監視等の受審（保健所による立入検査）など、企画グループが一丸となって病院の企画運営に取り組みました。

(2) 用度グループ

医薬品の購入に関しては、納入業者の見直しや価格交渉を薬剤科と協調して粘り強く実施し、経費の削減を図りました。

診療材料については、年２回の単価契約の更改において、納入価格の交渉を行い、経費の削減を図りました。また、診療材料等の適切な調達を支援する共同購入組織に加盟し、スケールメリットを活かした更なる経費削減に取り組みました。

医療機器の整備については、中央検査技術科・中央処置室に採血管準備装置、中央手術室に無影灯を設置し、老朽化した機器の更新を図った。

また、消化器内科の内視鏡カメラシステムや透析室の透析液供給装置を導入し、増加する患者への対応をすべく整備に努めました。

湖北病院との物品調達にかかる契約事務の連携については、スケールメリットを意識した効率的な購入を進めました。具体的には、PPC 用紙の一括入札のほか、酸素濃縮器の賃貸借業務を両院一括で契約しました。

(3) 施設グループ

施設グループは、患者さんや付き添いの方などが当院を安全で安心して利用していただけるように、建築設備の維持管理や修繕などの業務を担っています。

現在、本館病棟の最適化を行うための大規模改修事業が、平成 31 年から約２年間の工期で施工されているところで、施設グループとして、大規模改修事業は病棟ごとに改修・移転を繰り返しながら施工されているため、病棟移転後において、速やかに病棟の内装や設備機器類を修繕するとともに清掃作業を行っています。

(4) 経営戦略室

中期経営計画との整合性を図りながら、経営戦略ビジョン、病院保全計画、また既に実施されている計画・事業を推進し、中長期にわたる病院最適化を行います。

【全体運営方針】

１．病院機能の強化
２．患者サービスの向上
３．経営基盤の強化

【重点取り組み事項】

■病院大規模改修事業

１．事業目的

本事業は、開院から 20 数年が経過した本館について、ファシリティマネージメント導入による最適化を図るため、老朽化著しい病棟の配管類の改修、設備機器の更新並びに外壁剥離等危険箇所の修繕を行うものです。

２．事業概要

①事業名称　　市立長浜病院大規模改修事業

②事業内容　・9 病棟改修
・自家発電機設備改修
・本棟高層棟外装修繕
・全館エレベーター改修
・中央手術室更衣室改修
・設計、監理

3．事業期間
平成 30 年度から 2 カ年度

■ヘルスケア研究センター・内視鏡センター移転開設事業

1．事業目的
本事業は、それぞれのセンター老朽化に併せて移転改修を行い増収増益を図ります。

2．事業概要
①現行のヘルスケア研究センターを移転改修
②現行の内視鏡センターを移転改修

3．事業期間
令和２年度

医 事 課

(1) 診療報酬に関する事務

・DPC 対象病院として、厚生労働省が実施する「DPC 導入の影響評価に係る調査」に準拠したデータを継続して提出しました。
・厚生労働省が実施する「病床機能報告制度」に基づき、電子レセプトにより診療報酬請求を行っている病院として、各病棟の病床において担っている医療機能の現状について、データを作成し、報告しました。
・厚生労働省臨床研修指定病院として、全職種の職員を対象とした「保険診療に関する講習会」を２回開催しました。
・診療報酬の請求に関して、院内関係者との調整を図り、正確な診療報酬の算定に努めました。また、院内職員で情報を共有するために、医事通信を発行しました。

(2) 窓口業務

・院内における各外来と連携を図り、指定難病や小児慢性特定疾患、更生医療等の公費申請の説明を患者さんに実施しました。
また、妊産婦さんやご家族の方に、産科医療補償制度や出産一時金の医療機関への直接支払制度の案内をしました。
上記の説明や案内によって、窓口における患者さんの負担額を軽減することができました。
・各自治体や医師会と協議を行い、健診事業や予防接種等の契約を締結することによって、各種健診や予防接種等を受けていただくことができました。

(3) 個人情報の開示

・個人情報の開示（カルテ開示）は、令和元年度の実績として 24 件の開示を行いました。

（4）医療費の未収金

・当院では、平成 21 年度より回収困難な案件を弁護士法人へ委託しています。
令和元年度も、未収発生から 4 ヵ月後の早い段階における委託を継続し、確実な未収金回収に努め、悪質な未収患者には差押えも実施しました。
また、上記未収金の回収とあわせて、限度額適用認定証等の社会保障制度及び公費申請の周知案内に力を入れ、患者さんの個人負担額を減らすことによって、未収金を発生させない取り組みにも力を入れました。

・深夜時間帯における救急外来の患者さんや、遠方患者さんの診断書料金支払等、来院による支払いが困難な場合には、コンビニ払込票による支払いサービスを利用することにより、患者さんへの利便性を図ることができました。

（5）診断書窓口

・患者さんからの診断書作成依頼を受け、医師や医師事務作業補助等との連絡調整を行い、迅速な交付の事務に努め、令和元年度の実績として 6,994 件（7,788 枚）の交付を行いました。

（6）医師事務作業補助業務

・令和元年度に業務が診療情報支援室から医事課へ移管され、1 階医事課内のフロアへ執務室が移転しました。

・医師への診察に係る事務作業の補助として医療文書の作成支援、外来診察業務の事務補助、学会や大学への症例報告、症例登録等の支援を行いました。
診断書窓口と連携を図りながら、精度の高い医療文書の作成はもちろん、医師事務作業補助者としての経験を重ね、スキルをあげることで医師の事務作業の負担を軽減し、本来の業務である診療に専念できる環境をつくる一助になれるよう努めました。

地域医療連携室

土川陽子　室長

地域医療連携室では、病院理念の「地域完結型の医療」の推進に向け取り組みを進めています。

令和元年度は、地域の行政医療福祉機関との連携を密にすることを主眼に置き地域の医療機関に対し「診療のご案内 2018」を発行しました。また、従来から発行している「地域医療連携だより」は、編集会議を行い、医療技術局からのトピックスも入れるなど切り口を変えて毎月発行しました。

行政から、地域住民へ健康づくりに向けての出前講座の講師として、医師、看護師を派遣、好評を得ました。

市民講座として、昨年同様に下記講座を開催する予定をしておりましたが、新型コロナウィルスの影響を考え早々に中止としました。

◎世界腎臓デー市民講座の開催：令和２年３月８日（日）　10：00 ～ 11：35

「慢性腎臓病あなたは大丈夫？」～糖尿病は透析の危険があります～

１．地域医療連携グループ

病診連携、病病連携を担当している地域医療連携グループでは、地域医療支援病院の機能が果たせるよう院内および院外の地域の医療機関との連携を進めてきた。

令和元年度の紹介数は 13,033 件（前年比 +1,055）であった。

紹介率は、67%、逆紹介率は 90% と前年度との比較でも増加している。地域医療支援病院の基準の保持はできた。

今年度は、消化器内科が本格稼働となったこと及び救急外来での受け入れ対応数が増えたことによる紹介患者数の増加につながった。

地域包括ケア病床におけるレスパイト入院数も 42 件となり、地域の医療機関への協力も行っています。重症心身障害者のレスパイト入院についても面談を強化し、お試し入院を実施することで家族が安心してレスパイト入院を利用できるような取り組みも行なった。

逆紹介率を上げるための取り組みとして、今年度も診療情報提供書の記載強化のため督促業務を継続し、一定の医師からの協力を得ることができた。

２．退院支援グループ

令和元年度は、約 800 名の患者さんに退院支援看護師・社会福祉士が介入し、患者・家族の思いを大切に、またそれぞれの事情に応じて在宅や施設など身体的、社会的事情に応じた療養場所へ退院のお手伝いをさせていただきました。患者・家族の思いを大切にし、一緒に考えたり提案したりしながら納得して頂けるプロセスを大事に支援しています。今後とも地域医療支援病院としてかかりつけ医の皆様と連携を強化し、地域完結型の医療を実現していきたいと考えております。

３．入院支援グループ

入院を予定している患者が入院生活や入院後にどのような治療経過を経るのかをイメージでき、安心して入院医療を受けられるように、入院前の留意点や入院中に行われる治療の説明、入

院生活に関するオリエンテーションを手術室・薬剤局・医事課などの他部門と連携し、支援しています。

入院支援介入を徐々に拡大し、今年度は口腔外科の発達障害のある手術予定患者、アブレーション目的入院患者の支援を開始し、200 件 / 月前後の入院説明を実施しています。

今年度は介入患者と外来・病棟看護師への入院支援介入に関するアンケートを実施し、患者アンケートでは回収率 90.9% と高く、その中でほとんどの患者から「よかった」「まあまあよかった」と非常に良好な結果と、支援内容に対しても「役にたった」「まあまあ役にたった」との反応が多いことやご意見の内容からも、入院前から患者・家族が安心して入院・手術・検査が受けられるような支援に繋がっていると実感できました。

外来・病棟看護師へのアンケートからは、入院前に患者情報が入力されていることでの患者状態の把握ができることや業務負担の軽減に繋がっているとの意見も聴かれる反面で「介入診療科を増やして欲しい」などの意見もあり、期待されていることを知ることができ、今後も入院前から外来や病棟と情報共有し、入院早期から退院後までの切れ目のない、患者の生活を分断しない医療の提供を支援することを心がけていきたいと思います。

4．患者相談窓口グループ

患者相談窓口は、午前は玄関ホールで、午後は患者総合支援センターで相談業務を行っております。

令和元年度の患者相談件数は、3,848 件と毎月 300 件前後の相談の対応をしています。その内訳としては、受診相談が 70% と多く、次いで案内や看護相談、医療費についての相談となっています。相談の時間帯も 84% が午前中と集中しております。患者総合支援センターの入り口機能として、看護師を配置して各種相談を受けています。外来や医事課や退院調整など専門的な内容については、各専門の職員が対応するよう連携しています。

患者相談窓口グループでは、毎週カンファレンスを開催し、相談対応の質の向上に努めており、患者支援に係る取り組みの評価や統一した対応ができるようにしています。また、病院へのお問い合わせのメールについても対応しております。

がん対策推進室

伏木　雅人　　がん対策推進室管理監兼がん相談支援センター長
田久保康隆　　がん対策推進室副管理監
藤本　永照　　がん対策推進室長
堀　　一郎　　がん対策推進室副参事
新川　君代　　がん対策推進室副参事兼がん相談支援センター副参事

がん対策推進室では、湖北地域における地域がん診療連携拠点病院としての役割を担うため、次の取り組みを進めてきた。

7月には、「がんと共に自分らしく生きるために」をテーマに、湖北がんフォーラム2019を開催し、309名の参加者に、社会全体でがんサバイバーをサポートする体制について紹介した。

湖北保健医療圏域地域がん予防診療推進協議会においては、検診受診率向上に向けた取り組みとして、がんの予防と早期発見の啓発に関する作業部会を立ち上げ、地域の関係機関と連携し、がん検診の普及活動を行うべく2回開催できた。

緩和ケア推進事業としては、9月に滋賀県緩和ケアチーム研修会を開催、11月には滋賀県緩和ケア研修会を開催した。その他、10月にホスピス緩和ケア週間、2月にはがんと向き合う週間に併せ、展示イベントを正面玄関ロビーで開催し、好評を得た。

地域へのがん啓発活動としては、中学校等へのがん教育講演会や市内の企業等への出前講座を延べ14回実施した。また、がん患者、ご家族等を対象とした、公開教室や個別相談会を年間10回開催し、延べ83名の参加者があった。

患者団体等主催のイベントへの協力支援としては、「ピンクリボン湖北」、「あけぼのハウス」、「心のケアを考える会」等への名義後援や開催当日の職員派遣を行った。また、患者サロン「きらめき長浜」他、様々な患者団体への支援を実施している。

令和元年度のがん相談件数は1455件で、相談内容では、不安・精神的苦痛が最も多く、次いで症状・副作用・後遺症についての相談が多かった。

その他、就労に関する相談、脱毛などアピアランスに関する相談も各々200件以上あり、働く世代におけるがん患者からの相談の増加によるものと考える。滋賀産業保健総合支援センターの両立支援促進員による「仕事と治療の個別相談会」を毎月開催、延べ14名の参加があり、6月からハローワーク長浜による就職に関する個別相談会を開催、20名の参加があった。

がん患者サロン兼図書室「ｉ・りんぐ」では、がんに関する書籍の貸し出しも行っており、年間1,590名の利用があった。

音楽療法活動

代表濱谷紀子先生を中心とするMTQによる音楽セッションを、隔週金曜日、年間22回、集団と個人を合わせ72回の音楽セッションを提供いただいた。また、ホスピス緩和ケア週間や看護の日など、イベントでの演奏にも協力いただいた。

訪問看護ステーション

湧口　朋子　　管理者

訪問看護ステーションは、看護師 10 名（常勤換算 8.9）、理学療法士 1 名、事務職 2 名が、病院内と連携できる特性を十分に活かし、医療依存の高い中重度者のケア、在宅緩和ケア、在宅看取りの療養者の受け皿として事業を継続しています。

今年度の業務実績・トピックス

・今年度の利用状況は、延べ訪問件数 10,187 件（介護保険：7,130 件　医療保険：2,406 件）前年度に比し、560 件の伸びでした。特に医療保険は 189 件増で、難病、医療度の高い利用者様を受け入れ支援してきました。最近は、家族機能の変調により、高齢者夫婦共に訪問に入ることも増えてきました。また、他のステーションと共同連携しながら、地域住民のニーズに応えられるように体制を整えてきました。

・在宅看取り率は、40%でした（前年度 38.4%）退院時に在宅看取りは困難であったと思われた利用者様を在宅診療所の先生が熱心に関わり緩和治療され、家族の意思が変容し、ご本人の意思を最期まで通し安楽に最期を迎えられました。

困難ケース（医療不信、家族介護の限界、虐待を疑う等）は、定期的に地域ケア会議に参加し、多職種と連携を深め、訪問看護だけでは解決できないケースの支援を継続しています。

・医療依存度の高い利用者が増えるなか、在宅での新たな看護師の役割を担えるよう、訪問看護スタッフ 1 名の看護師特定行為研修受講を支援し、在宅・慢性領域 4 区分・7 行為を終了できました。通院困難な利用者様の在宅ケアを対応していきます。

地域の在宅看護実習の受け皿を増やし、医療保険の「機能強化型訪問看護療養費 3」算定を継続していきます。

・1 年間スタッフ 1 名を出張研修に出すなか、他のスタッフの協力により、一人 1 日 4 件以上のペースで訪問し、件数をキープすることができました。

診療情報支援室

★診療情報支援室業務として

1）電子カルテの運用および入院分における電子カルテの点検、整備
2）情報の登録と提供、統計の作成等、データの管理
3）DPC 業務
4）院内がん登録
5）NCD（National Clinical Database）の登録
6）各種学会関連の症例登録業務
7）電子カルテ帳票の管理
8）スキャンセンターの運営
9）図書室の業務

【診療情報管理】

＊診療録管理

診療記録の迅速な完成を支援する業務と実施を行っています。診療情報は業務の実施後、迅速に記録され、参照可能とするようにしなければならないため、入院医療については、退院後、遅滞なく入院診療記録として完成する必要があります。診療録管理担当は、量的点検業務等によって、退院時要約、「説明と同意」に関する同意文書や、入院診療計画書完成状況を把握し、迅速な完成を促進・支援しています。

＊診療情報

入院診療録から患者情報や主要な診断名や処置･手術情報等を抽出し、ICD-10（国際疾病分類）に基づく ICD コーディングを行いデータベース化して、各種検索に対応しています。

病歴管理システムを使い蓄積したデータやＤＰＣデータを活用し、質の高い医療が提供できるように取組んでいます。

診療情報管理士により各種症例登録に対応しています。

＊ＤＰＣ

診療記録に基づいて傷病名と診療行為の整合性の確認を行い、主治医に確認、相談をしながら病名 ICD コードの付与を行うことで、コーディング業務の専門家としてのチェック作業を行っています。

【スキャンセンター】

電子カルテへ取り込む必要がある文書を管理しています。

【図　書】

・医療者用書籍、雑誌、電子ジャーナル、文献に関する対応（相互貸借など）
・患者図書コーナーの整備

医療安全管理室

医療安全管理室では、医療安全室内協議として、インシデント検討会・コンフリクト調整会を毎週火曜日に開催しています。各局責任者、室員、医療機器安全・医薬品安全・医療安全・院内感染防止の各管理責任者によるタイムリーな情報共有と対処方針の方法、協議を行っています。

また、医療安全管理委員会、感染管理委員会は、月１回の会議を開催し、医療の安全に関する企画や指導を行い、現場での活動推進を図るために医療安全対策委員会、感染対策担当者会議と連携しています。

事故発生時対応として、関連職員間の事例共有、分析、再発防止策の策定、定期巡視での決定事項の啓発･評価、リスクめ～るや医療安全ニュース、院内感染防止対策ニュースによる広報など、一連の活動を PDCA サイクルで実施しています。

＜医療安全活動＞

１．連携する他施設からの評価を受ける事により、医療安全対策における自施設の課題が明確になり、湖北圏域の医療安全の質向上を図るため、医療安全対策地域連携加算１を申請し、長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院と連携し、相互チェックを各病院１回ずつ実施しました。チェック内容は、医療安全相互チェックシートに基づき、「ケア・プロセスに着目した医療安全体制について１～５」に取り組み、指摘事項の改善を図った。

２．医療情報システム更新に伴い、スタッフハンドブックの改訂（第５版）、配布。各マニュアルの修正を関連部署に依頼。

３．チームコミュニケーションエラー防止のため、平成 26 年度から「SBAR」推進活動を継続していますが、今年度はチームステップスの基本を全職員に浸透することを取り決め、コミュニケーション推進班と医療安全管理室が連携し、各部署に出前講座を 23 回開催、30 部署中 28 部署参加、職員 997 人中 478 人が参加。

４．インシデント報告に伴う改善事項

(1) 医療事故情報収集等事業参加登録し報告実施

(2) 救急画像診断レポートの見落とし事象より、救急で実施した CT、MR の画像診断レポートの未読、既読確認を医事課診療情報担当者が確認。検査後のレポートの既読確認、診断記録、患者説明内容を確認し、医師にメールをする作業が決定

(3) 転倒・転落事故（頭部打撲事象）発生時対応フローの修正

(4) 麻酔科関連診療材料の誤接続防止対策、職員周知

(5) 組織が確認しやすいよう病理組織カセット蓋の変更

(6) 小児科ワクチン誤接種防止：ワクチン請求を患者入力に変更、接種場所の変更

(7) Ｂ型肝炎再活性化対応：消化器内科の担当変更、職員への研修の定例化

(8) 中央処置室冷蔵庫のコンセント抜け事象：自家発電コンセントの使用方法、点検見直し

(9) 炭酸水素ナトリウム（メイロン）誤投与事象（他院）の対応

(10) オキシログ目的外使用：学習会実施

(11) シリコーン製カテーテルと抗癌剤との適合性：製薬会社の情報を元に協議、注意喚起、使用制限

(12) マニュアル作成・更新について：医療安全管理指針改訂

５．全職員対象研修会・医療安全情報提供

(1)「事例から学ぶチームトレーニング」

講師：SOMPO リスクマネジメント株式会社　橋本　勝　先生　　参加者 183 人

(2)「苦情・クレーム・悪質クレーム対応の基本」

講師：SOMPO リスクマネジメント株式会社　泉　泰子　先生　　参加者 186 人

(3) 令和元年度医療安全取り組み報告

※研修参加の推進として、参加できない職員に対して e- ラーニングの実施と未受講者への通知

(4) 医療安全ニュース（院外情報）48 回、リスクめ～る（院内情報）29 回発行

＜相談業務＞

患者や患者家族から寄せられた医療に関する苦情や相談について面談等を行い、関連部署と連携し、安全で安心な医療を提供できるように対応しました。令和元年度の医療相談・苦情件数は 28 件で、相談・苦情の約半数は医師・看護師などの職員に関するものでした。

また、“メッセージボックス”の回収を毎週実施し、患者家族への回答や掲示板・HP への掲載を行いました。

＜感染防止活動＞

１．職業感染対策

(1) 針刺し損傷対策について

令和元年度の針刺し件数は、看護師 14 人、医師 12 人、合計 26 人で、主な原因器材はマイジェクター（インスリン専用シリンジ）、縫合針の事象であった。その他、採血ホルダーの変更に伴い使用後の針を廃棄する際、針先が上を向くことで、針刺し事象が発生。針廃棄容器の見直し、変更を行った。針廃棄容器を変更したことでコスト削減にも繋がった。

(2) 内視鏡の手洗浄（１次洗浄）スタッフについて

内視鏡の件数は、昨年度の同時期と比べ消化器内科が３倍、耳鼻科は 1.5 倍に増加。このことで内視鏡洗浄担当者が不足となり、事務職員が洗浄業務を担うことになった。事務職員には、業務実施前に標準予防策を含む内視鏡の感染対策について説明し、B 型肝炎の抗体価の確認とワクチンの接種を実施した。その他、事務職員が医療現場へ異動になった場合も B 型肝炎対策を行えるように調整をした。

(3) インフルエンザについて

インフルエンザワクチン接種率は 88%。職員にインフルエンザ予防投薬が必要となった部署は、平成 30 年度は６部署であったが、令和元年度は２部署で、昨年度より減少した。

２．組織的感染対策活動

(1) 感染制御チーム（ICT）の活動

ICT 会議は週１回行い、感染対策に関連する情報共有と対策、改善の検討を行った。

ア　新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症は、令和元年 12 月に中国湖北省武漢市で発症し、翌年１月には日本でも発症した。２月には指定感染症となり、滋賀県では３月に１例目の感染者が確認された。当院においては、１月中旬から、厚生労働省や県の通知内容をタイムリーに職員に通知し、新型コロナウイルス感染症に関する研修会を開催した。また職員の検温、健康状態のチェックを開始した。

患者、市民に対しても、新型コロナウイルス感染症の症状、帰国者・接触者相談センター

のポスターを掲示し、周知を図った。また、診察・面会時のチェックを含みトリアージを開始し、感染症疑い患者の診療体制の構築と防護具の着脱訓練、診察室のゾーニング、病棟の準備などを行った。今後は国内、県内の感染症発生状況に応じて、感染対策を強化していく。

イ　病院改修工事の関連について

病院改修工事では、工事の粉塵により入院中の患者にアスペルギルス感染症を発症することを懸念した。ICT として、工事現場のラウンドを定期的に行い、工事現場と病棟間の養生状況の確認、工事現場職員の動線や物品の搬送状況の確認を行い、問題点の提示と改善方法について工事担当部署と協議を行った。工事は継続中であるため今後も確認が必要である。

今回の病棟改修工事に伴い簡易的な陰圧空調の病室ができた。ICT として陰圧空調の機能を確認したところ空気が廊下側に流れる可能性があることを指摘し、５階西病棟の陰圧空調のできる病室は、２重扉にすることで空気が廊下側に流れ出ないように工事変更を依頼した。

(2) 抗菌薬適正使用支援チーム（AST）の活動

AST は週１回行い、抗菌薬の種類や用法･用量（PK-PD、TDM）、治療期間のモニタリング、抗菌薬ラウンドやアドバイスを行い、起因菌を特定するために、患者検体の適切な採取方法を指導した。特定抗菌薬（届出制、許可制）の使用状況を確認し、届出のない医師への指導を強化した。また、院内でβ-D グルカンの検査が行えるようになり、早期に真菌感染症の診断、治療をタイムリーに行えるようになった。早期の真菌感染症の診断により抗菌薬適正使用に繋がるため抗真菌薬（注射薬）の監視を開始した。

３．他病院との合同感染活動

湖北地域３病院 (長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、市立長浜病院) 合同カンファレンスを合計８回実施した。そのうち２回のカンファレンスでは長浜保健所の感染担当者を交えて実施した。大量食中毒の対応について３病院、保健所、関連部署職員も含めた協議を行い、栄養科の連携の基盤となった。

４．全職員対象研修会

(1) 第１回　院内感染防止対策研修会・抗菌薬適正使用研修会

令和元年 10 月 10 日　参加人数 145 人

「① AST(抗菌薬適正使用支援チーム) 活動２年目になって」

「② ICT ラウンドを継続して・・・Before After」

講師：①薬剤局　感染制御認定薬剤師 (ICT･ AST)

医薬品安全管理責任者　野洌孝二

②医療安全管理室　感染管理者　藤木智美 (CNIC)

(2) 第２回　院内感染対策研修会

令和２年１月 31 日、２月３日　参加人数 431 人

「①新型コロナウイルス感染症疑い患者に対する院内対応について」

「②当院の対応と実技 (防護具着脱体験実習)」

講師：①診療局療養病棟責任部長　大野暢宏　医師 (ICD)

②感染管理者　藤木智美 (CNIC)、看護局手術室師長　中村寛子 (CNIC)

(3)　第２回　抗菌薬適正使用研修会

令和２年３月 26 日 ～ e-learning 研修

「抗菌薬の適正使用研修」

講師：薬剤局薬剤師 (ICT･ AST)　医薬品安全管理責任者　野洌孝二

Ⅳ－３　著書発表記録

リウマチ膠原病内科

梅原久範、岡崎和一
臨床医必読　最新 IgG4 関連疾患　改訂第 2 版　IgG4 関連疾患の診断法
診断と治療社　東京都千代田区　P19-P31　2019 年 12 月 6 日

梅原久範、佐藤智美、中村拓路
IgG4 関連疾患の診断（包括診断基準と classification criteria)
リウマチ科　東京　科学評論社　第 63 号第 3 号　P273-P278　2020 年

産婦人科

脇ノ上史朗
腹腔鏡下子宮全摘術後に発生した遅発性膀胱損傷から偽性腎不全を呈した症例
臨床婦人科産科　医学書院　2019 年 73 巻 10 号　p1037-1040

放射線科 (診断部門)

上村　諒
似て非なる画像”The mimickers”の画像診断　第 3 章　胸部領域
1 気管支結核 6 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 8 Langerhans 細胞組織球症
画像診断増刊号　学研メディカル秀潤社　2020 年 Vol.40 No.4　S70-72、S83-85、S88-89

ヘルスケア研究センター

石田均 (企画編集)
月刊糖尿病　#119　糖尿病の食事療法を極める
医学出版　東京　2019 年 11 月

石田均 (執筆者)
糖尿病チームで管理栄養が果たす役割とは
導入教育　第 2 版　信頼される専門職となるために
日本栄養改善学会監修　医歯薬出版　東京　2020 年 1 月　P113 ～ 118

Ⅳ－４　論文発表記録

リウマチ膠原病内科

Chikashi T, Masao O, Takashi I, et al.
IgG4-related disease in the Japanese population: a genome-wide association study.
The Lancet Rhumatology. 2019;1(1):E14-E22

Umehara H, Okazaki K, Kawano M, et al.
The front line of research into immunoglobin G4-related disease-Do autoantibodies cause immunoglobin G4-related disease?
Mod Rheumatol. 2019 Mar; 29(2):214-218.

Nakamura T, Satoh-Nakamura T, Nakajima A, et al.
Impaired expression of innate immunity-related genes in IgG4-related disease: A possible mechanism in the pathogenesis of IgG4-RD.
Mod Rheumatol. 2019 Jul 11:1-7

Umehara H, Kawano M.
Response to: 'Serum complement factor C5a in IgG4-related disease' by Fukui et al.
Ann Rheum Dis. 2019 Jul; 78(7): e66.

Wallace ZS, Naden RP,Chari S, Umehara,H.,et al.
The 2019 American College of Rheumatoligy/European League Against Rheumatism classfication criteria for IgG4-related disease.
Ann Rheum Dis. 2020 Jan; 79(1):77-87.

Wallace ZS, Naden RP, Chari S, et al. , Umehara, H.
The 2019 American College of Rheumatology/European League Against Rhuematism Classfication Criteria for IgG4-Related Disease.
Arthritis Rheumatol. 2020 Jan;72(1):7-19

脳神経外科

佐藤岳史、小室太郎、小川雅文
地域病院に入院となった急性期てんかん患者の転帰の検討
PROGRESS IN MEDICINE、39(2)、215-219、2019

Maki Y, Hattori E, Satow T, Komuro T, Miyamoto S,
Carotid Artery Stenting for Symptomatic Internal Carotid Artery Stenosis Associated with Moyamoya Disease.
World Neurosung. 2019 Mar:123:76-80

Yamaguchi T, Satow T, Komuro T, Mima T.
Transcranial direct current stimulation improves pusher phenomenon.
Case Reports in Neurology 2019; 11: 61-65.

Satow T, Komuro T, Ogawa M.
Premorbid instrumental activities of daily living predicts discharge home following stroke.
eNeurologicalSci 2020:18:100226

Satow T, Komuro T, Yamaguchi T, Tanabe N, Mima T.
Transcranial Direct Current Stimulation for a Patient with Locked-in Syndrome.
Brain Stimulation 2020 Mar - Apr;13(2):375-377.

呼吸器内科

野口哲男、他
PACIFIC レジメンにおける最適なチーム医療と看護師の役割　最良の医療現場をめざして
VisioN’s.　2019.7 月　アストラゼネカ株式会社製作冊子

老年・高血圧内科

Ouchi Y, MD,PhD, Hayashi M, MD, et al.
Ezetimibe Lipid-Lowering Trial on Prevention of Atherosclerotic Cardiovascular Disease in 75 or Older (EWTOPIA 75)
Circulation. 2019; 140: 992-1003.

皮膚科

岡村玲子、井階幸一、塩山久美、澤井孝之、田久保康隆
Epidermophyton floccosum による汎発性浅在性白癬の 1 例
皮膚の科学 19:(2):106-110, 2020

放射線科（治療部門）

Akamatsu H, Nakamura K, Ebara T, Inaba K, Itasaka S, Jingu K, Kosaka Y, Murai T and Nagata K
Organ-preserving approach via radiotherapy for small cell carcinoma of the bladder: an analysis based on the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG) survey.
J Radiat Res: 1–8, 2019

Hiraoka S, Imagumbai T, Kosaka Y, Ogura K, Hattori T, Ogata T, Kokubo M
Difficulty in distinguishing radiation-induced prostate sarcoma from radiation mucositis in a patient with persistent urinary retention and hematuria after prostate cancer radiotherapy.
International Cancer Conference Journal. https://doi.org/10.1007/s13691-020-00407-5, 2020

ヘルスケア研究センター

Morita N, Hosaka T, Yamasaki Y, Takahashi K, Sasano H, and Ishida H.
Abnormal glucose tolerance in a patient with pheochromocytoma and ACTH-independent subclinical Cushing’s syndrome involving the same adrenal grand.
J Int Med Res 47(7):3360-70,2019.

石田均
食事のなかの炭水化物の科学的意義を考える
逓信医学 71(2):53-82,2019.

勝又明彦、近藤琢磨、石本麻衣、恩田智子、山崎宰、楽得隆之、鶴久大介、永瀬惟、炭谷由計、田中利明、石田均
インスリン分泌障害が出現し DKA と鑑別が困難であった AKA の一例 .
日本内分泌学会雑誌 95(Suppl.1)108-111,2019.

窪田直人、下田誠也、本田佳子、丸山千寿子、石田均、井上達秀、絵本正憲、田中武兵、中塔辰明、山口宏、横山宏樹、荒木栄一、宇都宮一典、綿田裕孝
「食品交換表」編集委員会報告～アンケート調査からみた「食品交換表」の現状と課題～ . 糖尿病 (印刷中)

石田均
長浜出身の偉人を訪ねてー対馬に貢献された雨森芳州先生ー
湖北医師会報 第 12 号 :7-8,2020.

中央検査技術科

西野万由美、宮元伸篤、古賀一也、岡本明子、新川由基、黒澤学、沢田眞治
唾液腺多形腺腫由来癌の 1 例
滋賀医学検査 Vol.10 No.1 通巻 10 号（2020 年 3 月）

Ⅳ－５　学会・研究発表記録

腎臓代謝内科

滝口陽介、廣坂雄介、藤野隆弘、大町将司、霍田裕明、上田久巳、潮正輝、森田善方
遺伝子検査で診断に至った X 連鎖型 Alport 症候群の 1 例
第 40 回 滋賀腎・透析研究会　令和元年 9 月 8 日（大津）

大町将司、廣坂雄介、藤野隆弘、霍田裕明、上田久巳、潮正輝、森田善方
遺伝子検査で診断がついたウロモジュリン腎症の 1 例
第 40 回 滋賀腎・透析研究会　令和元年 9 月 8 日（大津）

潮正輝、上田 久巳、上田綾子、廣坂雄介、藤野隆弘、大町将司、森田善方
GLT2 阻害薬 (カナグリフロジン) 治療についての検討
第 56 回 日本糖尿病学会近畿地方会　令和元年 11 月 9 日（大阪）

藤野隆弘、潮正輝、上田久巳、上田綾子、大町将司、廣坂 雄介、森田善方
プラグリフロジン内服 2 日後に正常血糖糖尿病性ケトアシドーシスを発症した 1 型糖尿病の症例
第 56 回 日本糖尿病学会近畿地方会　令和元年 11 月 9 日（大阪）

呼吸器内科

中川雅登、他
肉眼ではわからない植物組織で生じた気道狭窄により繰り返された閉塞性肺炎
第 59 回日本呼吸器学会学術講演会　平成 31 年 4 月 12 日（東京）

野口哲男
症状からの逆引きによる実用的な irAE 対応マニュアル
第 59 回日本呼吸器学会学術講演会.　平成 31 年 4 月 13 日（東京）

高木順平、他
当院において免疫チェックポイント阻害薬を変更して再投与した 8 例に関する検討
第 59 回日本呼吸器学会学術講演会　平成 31 年 4 月 14 日（東京）

野口哲男
irAE 逆引きマニュアル～ irAE 診療のはじめの一歩に！
西濃がん免疫療法セミナー　平成 31 年 4 月 15 日（大垣）

野口哲男
COPD 新ガイドラインについて
第 17 回湖北吸入療法病薬連携研究会　令和元年 5 月 23 日（長浜）

上林憲司
自施設における 2018 年 NSCLC Ⅳ期症例数・EGFR 遺伝子変異陽性症例数に対する 1st TKI 治療の内訳
肺がん治療について考える～ EGFR-TKI を中心に～　令和元年 5 月 30 日（長浜）

野口哲男
irAE 逆引きマニュアル～ irAE 診療のはじめの一歩に！
ICI Meeting in KONAN　令和元年 6 月 19 日（大津）

高木順平
Uncommon mutation.　ジオトリフ錠　Web Conference.
令和元年 7 月 25 日 Conference（京都）

野口哲男
肺がん治療の今～高齢者に対するワンポイントアドバイス
分子標的治療薬の副作用マネジメントを考える会　令和元年 8 月 19 日（長浜）

野口哲男
明日から役立つ喘息・COPD オーバーラップ (ACO) の知識
湖北医師会講演会　令和元年 8 月 29 日（長浜）

上林憲司
経口ステロイドフリーを目指した重症喘息に対する抗体製剤治療の実際（パネリスト）
湖北重症喘息講演会　令和元年 9 月 12 日（彦根）

野口哲男
irAE 逆引きマニュアル～ irAE 診療のはじめの一歩！
Think about irAE in Tokai.　令和元年 9 月 13 日（名古屋）

中川雅登、他
当院におけるデュルバルマブ投与症例の検討　肺がんについて考える～切除不能 NSCLC 治療を中心に
令和元年 9 月 27 日（草津）

野口哲男
ACO について　湖北エリア Respiratory Seminar　令和元年 10 月 31 日（米原）

野口哲男
喘息における病院と開業医のクロストーク　湖北喘息連携の会　令和元年 11 月 14 日（米原）

高木順平
最近の喘息治療～当院の使用経験を踏まえて～　湖北喘息連携の会　令和元年 11 月 14 日(米原)

野口哲男
症状からの有害事象の推定（irAE 逆引きマニュアル）
岐阜／愛知県　肺がんチーム医療ワークショップ　令和元年 11 月 30 日（名古屋）

野口哲男
症状からの有害事象の推定（irAE 逆引きマニュアル）と外来化学療法室での活用
第 60 回日本肺癌学会学術講演会　令和元年 12 月 6 日（大阪）

野口哲男、他
重症筋無力症をはじめさまざまな irAE を呈した自己抗体陽性 NSCLC の 1 例
第 60 回日本肺癌学会学術講演会　令和元年 12 月 6 日（大阪）

中川雅登、他
当院における浸潤性粘液腺癌 20 症例の検討
第 60 回日本肺癌学会学術講演会　令和元年 12 月 8 日（大阪）

高木順平
院内肺炎と市中肺炎の診断と抗菌薬治療について
長浜赤十字病院感染対策研修会　令和元年 12 月 13 日（長浜）

脳神経外科

佐藤岳史、小室太郎、牧貴紀
破裂中大脳動脈瘤の治療後 15 年後に新生中大脳動脈瘤破裂をきたしたと考えられた 1 例
第 44 回日本脳卒中学会学術集会　平成 31 年 3 月 21 日（横浜）

山口卓也、梶谷友貴、佐藤岳史、小室太郎
当院脳卒中急性期における Honda 歩行アシスト併用リハビリテーション
第 44 回日本脳卒中学会学術集会　平成 31 年 3 月 23 日（横浜）

山下北斗
中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対して初めて開頭クリッピング術を施行した 1 例
第 10 回京都脳神経外科マイクロサージェリー道場　平成 31 年 4 月 27 日（京都）

佐藤岳史
経頭蓋直流刺激を行った閉じ込め症候群の 1 例
第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会　令和元年 6 月 14 日（神戸）

佐藤岳史
リハビリテーションにおける非侵襲的脳刺激療法
滋賀県言語聴覚士会総会　令和元年 7 月 6 日（守山）

堀口聡士
心原性脳塞栓症　急性期血栓回収後の血栓二次予防
第 115 回大阪脳神経外科研究会　令和元年 7 月 16 日（大阪）

杉山慎太郎、田附容子、阪東美加、冨田悠、佐藤岳史、小室太郎
「なんかちゃうなコール」院内脳卒中相談窓口を開設して　Stroke Rapid Response System
第 5 回日本脳神経看護研究学会　令和元年 7 月 27 日（東京）

谷杏平、田中武也、川瀬智隆、佐藤岳史
経頭蓋直流電気刺激を併用し脳卒中後の疼痛改善に効果を認めた一例
第 3 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会　令和元年 11 月 16 日（静岡）

堀口聡士、橋本憲司、香月教寿、松井雄哉、元家亮太
AVM 血流関連動脈瘤破裂に対し出血源の塞栓術を行った 1 例
第 35 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会　令和元年 11 月 21 日（福岡）

高山直樹、佐藤岳史、小室太郎、小林映
神経線維腫症 I 型に合併した上甲状腺動脈仮性動脈瘤の 1 例
第 35 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会　令和元年 11 月 22 日（福岡）

佐藤岳史、田中武也、岩根隆宏、杉江加代子、谷杏平、川瀬智隆、美馬達哉
経頭蓋直流電気刺激にて脳卒中後疼痛が軽減した 3 例
第 49 回日本臨床神経生理学会　令和元年 11 月 29 日（福島）

心臓血管外科

高井文恵、吉良浩勝、洞井和彦、植山浩二
ロータブレーターがスタックし回収不能となった症例に対して、冠動脈バイパス術にて bailout し得た一治験例
第 19 回比叡山ワークショップ　令和元年 6 月 1 日（京都）

吉良浩勝、高井文恵、洞井和彦、植山浩二
術中経食道心エコーで中等度逆流を残して終了した僧帽弁形成術の 1 症例経過
第 56 回京滋心臓血管外科研究会　令和元年 9 月 28 日（京都）

洞井和彦、植山浩二、高井文恵、吉良浩勝、下司徹、中野顕
急性僧帽弁開鎖不全症による肺高血圧症に対して nitric oxide 吸入療法が奏効した 1 例
第 128 回日本循環器学会近畿地方会　令和元年 11 月 30 日（大阪）

洞井和彦、吉良浩勝、高井文恵、植山浩二
急性心筋梗塞後左心室破裂症例に対する治療成績
第 33 回日本冠疾患学会学術集会　令和元年 12 月 13 日（岡山）

吉良浩勝、高井文恵、洞井和彦、植山浩二
EVAR 後 type II endoleak による瘤径拡大と診断され経過観察されていた AAA の type IIIb endoleak による一破裂症例
第 57 回京滋心臓血管外科研究会　令和 2 年 2 月 15 日（京都）

皮膚科

井階幸一、梅原久範
肘に潰瘍が生じたクリプトコックス症の一例
第 87 回九州真菌懇話会　令和元年 12 月８日（那覇）

泌尿器科

横川竜生
尿路上皮癌での化学療法における day15 投与の可否に関する検討
第 107 回日本泌尿器科学会総会　平成 31 年 4 月 18 日（名古屋）

吹上優介
微小嚢胞型浸潤性尿路上皮癌の 1 例
第 107 回日本泌尿器科学会総会　平成 31 年 4 月 19 日（名古屋）

村元暁文
TUL における術前 CT での手術可否予測パラメータの検討
第 107 回日本泌尿器科学会総会　平成 31 年 4 月 20 日（名古屋）

兜貴史
当院での RCC におけるニボルマブ・イピリムマブ併用療法の使用経験
第 69 回日本泌尿器科学会中部総会　令和元年 11 月 1 日（名古屋）

産婦人科

林嘉彦　座長
2019 年第 1 回滋賀県産科婦人科医会学術研修会　令和元年 6 月 2 日（大津）

渡辺智之、上村真央、脇ノ上史朗、林嘉彦
腹腔鏡手術における癒着防止剤挿入器具エンドロール ® の使用経験
2019 年第 1 回滋賀県産科婦人科医会学術研修会　令和元年 6 月 2 日（大津）

脇ノ上史朗、茶野徳宏、天野創 ,、磯野高敬、木村文則、九嶋亮治、村上節
ADP-ribosylation factor-like 4C は子宮内膜症関連卵巣癌において予後不良因子である
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会　令和元年 7 月 4 ～ 6 日（新潟）

渡辺智之、上村真央、脇ノ上史朗、林嘉彦
卵巣腫瘍破裂の腹腔鏡下手術中に明らかになった昆布巻嵌頓による小腸穿孔の 1 例
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会　令和元年 9 月 12 ～ 14 日（京都）

上村真央、渡辺智之、脇ノ上史朗、林嘉彦
腹腔鏡下手術を施行し自然妊娠に至った直腸子宮内膜症の 1 例
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会　令和元年 9 月 12 ～ 14 日（京都）

耳鼻咽喉科

原思織
ω３脂肪酸代謝物　17,18-EpETE による上気道炎症抑制効果の検討
第 58 回日本鼻科学会　令和元年 10 月３～５日（東京）

麻酔科

嶋田文彦、平岡進
手術麻酔中の大量出血への対処を想定した麻酔科医・手術部看護師共同シュミレーション
日本臨床麻酔学会　令和元年 11 月８日（長野）

放射線治療科

小坂恭弘、小久保雅樹、篠原尚吾、竹林慎治、濵口清海、道田哲彦
中下咽頭・喉頭原発扁平上皮癌に対する IMRT の治療成績
第 43 回日本頭頸部癌学会　令和元年６月 13 日（金沢）

竹林慎治、篠原尚吾、水野敬介、斎田浩二、道田哲彦、濵口清海、小坂恭弘、小久保雅樹
当院の上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法併用放射線治療
第 43 回日本頭頸部癌学会　令和元年６月 13 日（金沢）

Ogata T, Kosaka Y, Imagumbai T, Ogura K, Hattori T, Hiraoka S, Kokubo M
Outcome of Stereotactic Body Radiotherapy for Patients with Histologically Proven Stage I Non-Small-Cell Lung Cancer
61st ASTRO　令和元年９月 15 日（Chicago）

Ogura K, Imagumbai T, Kosaka Y, Hattori T, Hiraoka S, Ogata T, Kokubo M
Outcomes of Radiotherapy for Brain Metastases Patients without Active Extracranial Disease
61st ASTRO　令和元年９月 16 日（Chicago）

光吉隆真、岩井貴寛、緒方隆司、服部貴之、小倉健吾、今葷倍敏行、小久保雅樹、小坂恭弘、濵口清海、竹林慎治、篠原尚吾
当院における唾液腺癌に対する術後放射線療法の治療成績
日本医学放射線学会第 395 回関西地方会　令和元年 11 月９日（大阪）

小坂恭弘、小久保雅樹、今葷倍敏行、小倉健吾、服部貴之、緒方隆司
子宮頸癌に対する根治的放射線治療の長期成績
第 32 回日本放射線腫瘍学会　令和元年 11 年 21 日（名古屋）

緒方隆司、小坂恭弘、今葷倍敏行、小倉健吾、光吉隆真、服部貴之、岩井貴寛、小久保雅樹
転移性肺腫瘍に対する定位放射線治療の治療成績
第 32 回日本放射線腫瘍学会　令和元年 11 月 21 日（名古屋）

光吉隆真、岩井貴寛、緒方隆司、服部貴之、小倉健吾、小坂恭弘、今葷倍敏行、小久保雅樹
TNM 分類（第 8 版）による LA-NSCLC に対する根治的 CRT 後の治療成績の報告
第 32 回日本放射線腫瘍学会　令和元年 11 月 21 日（名古屋）

服部貴之、今葷倍敏行、奥野芳茂、高山賢二、小坂恭弘、小倉健吾、光吉隆真、岩井貴寛、緒方隆司、小久保雅樹
当院における前立腺癌に対する I-125 小線源治療の中期治療成績の検討
第 32 回日本放射線腫瘍学会　令和元年 11 月 21 日（名古屋）

伏木雅人
がん放射線治療推進委員会企画講演　少数常勤医サポートプロジェクト
第 32 回日本放射線腫瘍学会　令和元年 11 月 22 日（名古屋）

伏木雅人
地域がん診療における放射線治療のありかた　座長
第 32 回日本放射線腫瘍学会　令和元年 11 月 23 日（名古屋）

伏木雅人
均てん化か、選択と集中か、地域における放射線治療のあり方
第 32 回日本放射線腫瘍学会　令和元年 11 月 23 日（名古屋）

柿野諒、中村光宏、光吉隆真、新谷尭、根来慶春、伏木雅人、小倉昌和、
板坂聡、山内智香子、坂本匡人、荒木則雄、平島英明、松尾幸憲、溝脇尚志
Radiomics 特徴量に基づく肺 SBRT の予後予測に関する多施設共同研究
第 32 回日本放射線腫瘍学会　令和元年 11 月 23 日（名古屋）

入江桃好、杉山順哉、野口哲男、高木順平、中川雅登、上林憲司、田久保康隆、小坂恭弘、伏木雅人
化学放射線療法後のデュルバルマブ投与例における放射線肺臓炎リスク因子の検討
第 60 回日本肺癌学会学術集会　令和元年 12 月 6 日（大阪）

光吉隆真、小坂恭弘、富井啓介、小久保雅樹
LA-NSCLC に対する根治的 CRT 後の治療成績 :TNM 分類第 7 版と第 8 版の比較
第 60 回日本肺癌学会学術集会　令和元年 12 月 8 日（大阪）

伏木雅人
第 22 回滋賀県放射線治療連絡協議会　総合司会　令和元年 12 月 14 日（米原）

放射線科（診断部門）

若宮誠
ワンポイントレクチャー　画像診断 (180) 最近の肝細胞癌に対する TACE について
第 189 回滋賀肝胆膵勉強会　令和元年 7 月 4 日（草津）

上村諒、若宮誠、宮川善浩
巨大絨毛膜下血腫の２例
第 29 回日本救急放射線研究会　令和元年 10 月 20 日（名古屋）

歯科口腔外科

北本幸恵、家森正志
下顎智歯の抜歯後に発生した単純性骨嚢胞の１例
第 73 回日本口腔科学会学術集会　平成 31 年４月 19 ～ 21 日（川越）

佐藤舞、杉藤雅孝、北本幸恵、近藤定彦
上下顎骨に多発性に認めた単純性骨嚢胞の１例
第 64 回日本口腔科外科学会総会、学術大会　令和元年 10 月 25 ～ 27 日（札幌）

ヘルスケア研究センター

鶴久大介、炭谷由計、嶋崎枝里、津村哲郎、七条裕孝、澤井梓、石本麻衣、近藤健、田中利明、近藤琢磨、石田均
当院での原発性アルドステロン症の病型診断における尿中アルドステロン値および迅速 ACTH 負荷試験の有用性についての検討
第 92 回日本内分泌学会学術総会　令和元年５月９日～ 11 日（仙台）

鈴木絹世、近藤琢磨、大庭みずき、吉田美佳子、塚田美裕、下田ゆかり、今野里美、小林庸子、浅野紀子、鈴木光一、児玉優太、塚田芳枝、石田均
当院で初めて実施した糖尿病予防フェスタの概要とアンケート調査結果～食事療法関連を中心に～
第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会　令和元年５月 23 日～ 25 日（仙台）

小林庸子、近藤琢磨、鈴木絹世、下田ゆかり、今野里美、鈴木光一、児玉優太、石田均
糖尿病予防フェスタを開催することの意義に関する検討
第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会　令和元年５月 23 日～ 25 日（仙台）

児玉優太、炭谷由計、田中耕史、廣瀬道宣、飛田和基、石飛実紀、近藤琢磨、保坂利男、岡島康友、石田均
２型糖尿病症例の至適運動強度としての乳酸閾値と二重積屈曲点方の妥当性について
第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会　令和元年５月 23 日～ 25 日（仙台）

Morita N, Takahashi K, Kitahara A, Kondo K, Murashima T, Kondo T, Ishida H.
The effect of Metformin on inflammatory cytokine in osteoblastic cells stimulated with palmitate in vitro.
11th Asian Association for Study of Diabetes. Sendai,May 23-25,2019.

Murashima T, Kondo T, Kondo K, Morita N, Kitahara A, Sumitani Y, Takahashi K, Tanaka T, Hosaka T, Ishida H.
Effects of glucocorticoid on gene expression and secretion of insulin in pancreatie β cells.
79th American Diabetes Associaton Scientitie Sessions. San Francisco,CA,June 8-11,2019

石田均（講演）
食事のなかの炭水化物の科学的意義と正しいカーボカウントへの道
第 9 回 CDE ネットワーク　令和元年 6 月 28 日（相模原）

石田均（講演）
食事のなかの炭水化物の科学的意義～日本人の健康寿命を保つための長浜の取り組み～
インクレチンと食行動を考える会　令和元年 7 月 5 日（岡山）

石田均 (Closing Lecture)：健康寿命の延長を目指す長浜の取り組み
糖尿病＆循環器疾患診療 Network Meeting　令和元年 7 月 27 日（彦根）

石田均（講演）
食事のなかの炭水化物の科学的意義～日本人の健康寿命延長への長浜の取り組み～
Diabete Forum in Gifu 2019 ～食事・運動療法を再考する～　令和元年 9 月 11 日（岐阜）

石田均（特別講演）
食事のなかの炭水化物の意義を科学的に考える
因幡消化器グループ研究会　令和元年 9 月 20 日（鳥取）

石田均（特別講演）
食事のなかの炭水化物の科学的な意義に関して
～健康寿命を延長するための長浜のチャレンジ～
湖北糖尿病治療講演会　令和元年 11 月 27 日（長浜）

勝又明彦、石本麻衣、津村哲郎、鮫島美央、田口慧、福原浩、下山田博明、長濱清隆、菅間博、足立淳一郎、炭谷由計、田中利明、近藤琢磨、石田均、安田和基
当院で経験した巨大褐色細胞腫の 2 例
第 29 回臨床内分泌代謝 Update　令和元年 11 月 29 日～ 30 日（高知）

石田均（講演）
食事のなかの炭水化物の科学的意義について
京都大学同窓会ヘルスケアネットワーク令和　令和元年 11 月 30 日（東京）

薬剤科

中村俊之
当院での腫瘍崩壊症候群の現状と今後について
Meet the Expert in 北琵琶湖」　令和元年 8 月 29 日（長浜）

本郷修也、脇坂晃子、西村祐美、高橋優、宮澤憲治、八田裕之、佐藤岳史
重症心身障害において酵素誘導作用を有する抗てんかん薬が骨および脂質代謝に及ぼす影響についての検討
第 53 回日本てんかん学会学術集会　令和元年 10 月 30 日、11 月 1・2 日（神戸）

中村俊之、本郷修也、大岡千寿子、野洌孝二、小室太郎
EGFR-TKIswitching 時の薬剤指導内容に関する検討
第 29 回日本医療薬学科医年会　令和元年 11 月 2 ～ 4 日（福岡）

西郡智里、西増春佳、大岡千寿子、野洌孝二、小室太郎
ピッキングサポートシステム導入におけるインシデント発生状況の変化
第 42 回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2020　令和 2 年 2 月 15 ～ 16 日（神戸）

西増春佳、中村俊之、大岡千寿子、野洌孝二、小室太郎
市立長浜病院における外来がん化学療法中止理由の調査
日本臨床腫瘍学会学術大会 2020　令和２年３月 21 ～ 22 日（福岡）

栄養科

赤尾真樹子
多職種連携をめざして 食道亜全摘患者に対してチーム医療が奏功した 1 例
第 29 回京滋 NST 研究会　令和元年６月 1 日（京都）

放射線技術科

来本央、宮川孝史、辻雅之、木村拓美、古山忠宏
MRI における金属アーチファクト低減アプリケーション WARP・VAT の基礎的検討
滋賀県放射線技師会第 33 回学術研究発表会　令和元年 5 月 26 日（大津）

川上正邦、伊良皆拓、田邉啓太、西村正明、辻雅之、小坂恭弘、伏木雅人
深吸気停止肺定位放射線治療の標的体積設定法の妥当性に関する CBCT を用いた遡及的検討
日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会　令和元年 11 月 21 日（名古屋）

西村正明
F-RIS（放射線治療管理システム）の使用経験
第 22 回滋賀県放射線治療連絡協議会勉強会　令和元年 12 月 14 日（米原）

田邉啓太
改正 RI 規制法への対応、その後　～定期検査・定期確認・立入検査は大丈夫？～
第 22 回滋賀県放射線治療連絡協議会勉強会　令和元年 12 月 14 日（米原）

辻雅之
肺癌に対する放射線治療
第３回滋賀県放射線技師会学術研修　令和２年１月25日（大津）

リハビリテーション技術科

石橋孝、川瀬智隆、清水悠、浅井拓真、浅井麻未、上松晃子、大依福太朗、杉村隆幸、小林勇介
解離性胸部大動脈破裂後、保存治療を経て在宅復帰できた一例
第25回日本心臓リハビリテーション学会学術集会　令和元年７月13日（大阪）

川瀬智隆、杉山慎太郎、佐藤岳史
当院の脳卒中メンテナンスリハビリテーションにおける作業療法の役割
ー中年期脳卒中患者を通してー
第53回日本作業療法学会　令和元年９月５日 - ７日（福岡）

西村圭二、南部利明、後藤公志、杉本正幸
Relationship between lateral deflection during gait after THA with anterior approach and preoperative movement function
第１回アジア徒手理学療法学術大会　令和元年９月14日（荒川）

持田純至、大野暢宏、近藤定彦、江藤謹司、堀井翔平、田邉信彦、藤田侑子、中川円香
嚥下調整食コード０～２で誤嚥を、コード３～４では誤嚥を認めなかった３症例における嚥下造影検査の比較検討
第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会　令和元年９月５日～７日（新潟）

西村圭二、南部利明、後藤公志、杉本正幸
前方進入法による人工股関節全置換術施行後患者の歩行側方動揺の有無と運動機能の関係について
第７回日本運動器理学療法学術大会　令和元年10月６日（岡山）

塚本晃平、西村圭二、音居玲子、田中淳
当院における骨粗鬆症リエゾンチーム介入患者への運動機能評価実施状況とその課題について
第21回日本骨粗鬆症学会　令和元年10月11日（神戸）

清水悠、上松晃子、野村耕一郎、宮部照美、吉川敬子、嶋田文彦
早期離床・リハビリテーション加算の算定に向けた取り組み
第58回全国自治体病院学会　令和元年10月24日（徳島）

西村圭二、南部利明、後藤公志、杉本正幸
側方進入法による人工股関節全置換術施行後患者の歩行側方動揺の有無と運動機能の関係について
第46回日本股関節学会学術集会　令和元年10月25日（宮崎）

梶谷友基、山口卓也、佐藤岳史、江藤謹司
HONDA 歩行アシスト併用により体幹アライメントと歩行能力が改善した１症例
第３回日本リハビリテーション医学会　秋季学術集会　令和元年 11 月 15 日～ 17 日 (静岡)

中川円香、田邉信彦、持田純至、藤田侑子、佐藤岳史、美馬達哉
経頭蓋直流電気刺激により意識障害の改善を認めた一症例
第 43 回日本高次脳機能障害学会学術総会　令和元年 11 月 28 日～ 29 日 (仙台)

中央検査技術科

岡本明子、新川由基、宮元伸篤、西野万由美、古賀一也、黒澤学、沢田眞治
診断が困難であったリンパ節穿刺の１例
滋賀県臨床細胞学会令和元年度第１回疑問症例検討会　令和元年９月 28 日（長浜）

山村有希、呉竹めぐみ、源宣彦、髙田絵里香、北庄里帆、辻祐衣、北川文香
急性心内膜炎を合併し心破裂を生じた心筋梗塞の一例
第 59 回日臨技近畿支部医学検査学会　令和元年 10 月 26 日（大津）

源宣彦、呉竹めぐみ、山村有希、髙田絵里香、北庄里帆、辻祐衣、北川文香
下肢静脈瘤手術治療術の追加に伴う当院でのエコー検査室の運用変更
第 59 回日臨技近畿支部医学検査学会　令和元年 10 月 26 日（大津）

西野万由美、新川由基、宮元伸篤、岡本明子、古賀一也、黒澤学、沢田眞治
肺転移をきたした甲状腺乳頭癌の一例
第 59 回日臨技近畿支部医学検査学会　令和元年 10 月 26 日～ 27 日（大津）

宮元伸篤、新川由基、岡本明子、西野万由美、古賀一也、黒澤学、沢田眞治
悪性リンパ腫を疑った乳腺腫瘤の１例
滋賀県臨床細胞学会令和元年度第２回疑問症例検討会　令和２年１月 18 日（大津）

歯科眼科技術室

近藤昭仁
熱可塑性樹脂シートを用いた放射線治療用口腔内装置の製作について
第 41 回日本歯科技工学会学術大会　令和元年 11 月２日（金沢）

看護局

藤木智美、中村寛子
抗インフルエンザ予防投薬手順の見直し
第８回日本感染管理ネットワーク学術集会　令和元年５月 24 ～ 25 日　（徳島）

杉山慎太郎
経皮ガスモニターを用いた 70 代ギラン・バレー症候群患者の NPPV からの離脱
第 541 回日本呼吸療法医学会学術集会　令和元年８月３～４日　（大阪）

冨田悠
SCU における患者中心のチーム医療を目指した取り組み
令和元年度固定チームナーシング全国研究集会　令和元年９月 15 日　（神戸）

杉村隆幸
ミトコンドリア糖尿病を合併した心不全患者に対する退院後支援を通じて得た課題
第 23 回日本心不全学会学術集会　令和元年 10 月５日（広島）

小尾野恵実
看護師特定行行為研修終了後の手術室での活動体制基盤づくりに対する取り組みと課題
第 33 回日本手術看護学会年次大会　令和元年 10 月 12 日　（岡山）

種田美穂
新人看護師に対する看護実習で活用できた手術室見学での学びに関する実態調査
第 24 回滋賀県看護学会　令和元年 12 月５日　（大津）

入江桃好
化学放射線療法後のデュルバルマブ投与例における放射線肺臓炎リスク因子の検討
第 60 回日本肺癌学会学術集会　令和元年 12 月６日　（大阪）

中村寛子、藤木智美
当院における流行性ウィルス疾患の抗体価検査とワクチン接種の取り組み
第 35 回日本環境感染学会総会・学術集会　令和２年２月 14 日　（横浜）

医療安全管理室

藤木智美、中村寛子、野洌孝二、大野暢宏
当院における流行性ウイルス疾患の抗体価検査とワクチン接種の取り組み
第 35 回日本環境感染学会総会・学術集会　令和２年２月 14 日（神奈川）

次郎内圭子、近藤昭仁、新田朋美、長谷川弘樹、山下めぐみ、今枝広丞、烏脇富子、
藤本とき江、田久保康隆
チームステップス出前講習実施とその効果
日本医療マネジメント学会第 17 回京滋支部学術集会　令和２年２月 15 日（京都）

勝木陽子、宮崎恵子、岡本明子、辻賢、平良薫、烏脇富子、藤本とき江、田久保康隆
PDCA サイクルを活用した患者誤認防止活動
日本医療マネジメント学会第 17 回京滋支部学術集会　令和２年２月 15 日（京都）

Ⅳ－６　講習会／研修会への取り組み

１．患者さん・市民を対象にしたもの

健康教室

妊婦教室（担当：４階東病棟助産師）

本院受診中の妊婦を対象に、妊娠中の生活や出産準備について助産師が説明します。

日時：第１水曜日　13 時より約３時間　妊娠前期（妊娠８～ 11 週対象）
　　第２水曜日　13 時より約３時間　妊娠後期（妊娠 28 週頃対象）
場所：当院２階　講義室
　　参加者　　前期　43 名　　後期　68 名

育児教室（担当：４階東病棟助産師）

本院で出産予定の妊婦とその夫を対象に、出産の流れや入院後の過ごし方を説明し、分娩入院の際のイメージをつけることを目的に助産師が説明します。また、沐浴体験やご主人の妊婦体験なども行っています。

月２回実施　１回につき、６組のご夫婦を対象とし、産婦人科外来にての予約制

日時：第３土曜日　13 時より約３時間　妊娠後期（妊娠 28 週以降対象）
場所：当院２階　講義室
　　参加者　39 組

＊今年度、コロナウイルスにより３月～実施を見合わせた。

糖尿病患者会「いぶき会」（担当：内科外来）

会員数：９名

当院いぶき会は、平成 29 年８月をもって日本糖尿病協会（滋賀県支部）から脱退した。

以降は『市立長浜病院　いぶき会』として継続。年会費の徴収はないが、必要経費や参加費に関しては、その都度回収となる。

１．運動療法研修会：令和元年 11 月 23 日（土）10 時～ 12 時
　　場所：当院本館１階　リハビリテーション室
　　内容：体力測定、理学療法士による運動療法の講義、体操とストレッチの実施など
　　参加者：10 名（会員１名、非会員９名、スタッフ７名）

２．食事療法研修会：令和２年２月 22 日（土）11 時 30 分～ 13 時
　　場所：長浜市五村 353　『見付屋（みつけや）』
　　内容：管理栄養士から本日の献立内容とカロリーの説明、自己紹介、歓談しながら
　　食事開始、管理栄養士からのクイズ、いぶき会会長のマジックショーなど
　　参加者：予定者 10 名であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止

糖尿病教室

担当：腎臓代謝内科医師・７階西病棟スタッフ・内科外来・薬剤局・栄養科・
　　リハビリテーション技術科

対象：外来通院・入院中の糖尿病患者およびその家族・糖尿病に関心のある方
日時：毎週第１～第４火曜日　13 時～ 14 時 30 分
　　第１・３火曜日・・医師・看護師
　　第２・４火曜日・・薬剤師・栄養士・リハビリ
場所：当院本館２階　講義室
参加者：98 名（３月はコロナウイルスの影響により開催見合わせ）

各専門領域の担当者からの講義形式となっており、糖尿病のしおりを用いながら糖尿病の病態、合併症、治療、食事・運動療法、セルフケアの指導を行っています。隔週で同じ講義内容とし、外来患者さんやご家族も来院しやすい日程にしており、教育入院患者さんも日ごろの生活を振り返る機会として役立てていただいています。

オストメイトの会（ひまわり会）

１．通常総会
　日時：令和元年７月６日 (土)10 時～ 12 時
　場所：当院講堂
　内容：平成 30 年度事業報告、決算報告
　　令和元年度事業計画案、予算案
　　皮膚・排泄ケア認定看護師によるストーマ勉強会

広報ながはま（毎月１日号）
～市立病院通信～

掲載年月	題　名	診療科他	医師名他
令和元年５月	「肌の色」について	皮膚科	井階　幸一
令和元年６月	臨床心理士の役割について	がん対策推進室	金武　李佳
令和元年７月	潰瘍性大腸炎について	消化器内科	西田　淳史
令和元年８月	「健康で輝けるまち ながはま」を共に実現しましょう	ヘルスケア研究センター	石田　均
令和元年10月	大腸がん検診を受けましょう	消化器内科	野田　恵加
令和元年11月	治療に合わせた働き方と就職支援	がん対策推進室	－
令和元年12月	急な発熱と解熱剤	小児科	池田　優
令和２年１月	尿路結石症について	泌尿器科	吹上　優介
令和２年２月	睡眠時の呼吸障害について	臨床工学技術科	草野　信悟

がん対策推進室

＊湖北がんフォーラム２０１９

令和元年　７月７日　「がんと共に自分らしく生きるために」　309 名

※詳細は主要事業の概要をご覧ください。

＊がん教育

令和元年　７月 18 日　　甲良町立甲良中学校　64 名

講師：がん対策推進室管理監　伏木　雅人

令和元年　10 月８日　　長浜市立木之本中学校３年生　40 名

講師：がん対策推進室管理監　伏木　雅人

令和元年　11 月７日　　長浜市立余呉小中学校９年生　21 名

講師：がん対策推進室副管理監　田久保　康隆

令和元年　11 月 14 日　　長浜市立高月中学校２年生　91 名

講師：がん対策推進室管理監　伏木　雅人

令和元年　11 月 14 日　　長浜市立高月中学校３年生　81 名

講師：がん対策推進室管理監　伏木　雅人

令和元年　11 月 21 日　　長浜市立浅井中学校２年生　130 名

講師：がん対策推進室副管理監　田久保　康隆

令和元年　12 月５日　　長浜市立西中学校１年生　181 名

講師：がん対策推進室副管理監　伏木　雅人

令和元年　12 月９日　　米原市立伊吹山中学校１年生　47 名

講師：がん対策推進室管理監　伏木　雅人

令和２年　２月６日　　長浜市立湖北中学校１年生　106 名

講師：がん対策推進室副管理監　田久保　康隆

＊出前講座

令和元年　８月２日　　長浜市社会福祉協議会湖北センター　24 名

「がんとうまくつきあうためには」

講師：がん対策推進室がん看護専門看護師　山岸　美紀

令和元年　８月３日　　木之本地区地域づくり協議会　107 名

「知っておきたいがんのはなし」　講師：がん対策推進室副管理監　田久保　康隆

令和元年　９月 26 日　西山福祉委員会　18 名

「納得できる人生をおくるために」　講師：がん対策推進室管理監　伏木　雅人

令和元年　10 月１日　　加貫ローラ製作所　110 名

「本当は怖くないがんのお話」　講師：がん対策推進室管理監　伏木　雅人

令和元年　10 月 15 日　　磯野サロン・白梅会　31 名

「がんとこころ」　講師：がん対策推進室管理監　伏木　雅人

＊公開教室・個別相談会

テーマ	開催回数	参加者
頭皮ケアとウィッグ	2 回	6 名
社会保険労務士個別相談会	1 回	4 名
がんの痛みについて	1 回	6 名
緩和ケアについて	1 回	20 名
医療用麻薬について	1 回	16 名
ケア帽子・手編みパット製作	1 回	3 名
抗がん剤の副作用について	1 回	19 名
リンパ浮腫	1 回	5 名
求職活動のポイント	1 回	4 名
がんと栄養	中止	－

＊治療と仕事との両立に関する個別相談会
毎月１回開催　参加者：10 名

＊ハローワーク長浜による就職に関する個別相談会
月１～２回開催　参加者：20 名

＊心のケアを考える会
令和元年　6 月 9 日　参加者：28 名
令和元年　12 月 8 日　参加者：21 名

＊ F.M.AYA 長浜 特別講演会
令和元年　7 月 20 日　参加者：24 名

＊あけぼのハウス
令和元年　7 月 25 日　参加者：16 名

＊ 2019 年度ホスピス緩和ケア週間・展示イベント［世界ホスピス緩和ケアデー：10/12］
令和元年　10 月 4 日（月）～ 10 月 11 日（金）（当院　正面玄関ホール）

＊滋賀県がんと向き合う週間・展示イベント / 相談窓口設置
［滋賀県がんと向き合う週間：2/4 ～ 2/10］
令和２年　２月３日（月）～２月７日（金）（当院　正面玄関ホール）

＊がんを知ろう展示会（主催：長浜市）
令和２年　２月５日（水）～２月 10 日（月）（長浜市立長浜図書館）

２．医療従事者・地域開業医を対象にした研修

地域医療連携室

＊開放型病床生涯教育研修会・医療従事者研修会

催日	テーマ・講師	参加者数
平成 31 年 ４月４日	「口内炎と類似疾患について」 当院　歯科・歯科口腔外科責任部長：近藤　定彦　先生	69 名
令和元年 ５月９日	「食事のなかの炭水化物の科学的意義」 ～日本人の健康寿命への長浜の取り組み～ 当院　ヘルスケア研究センター長：石田　均　先生	47 名
令和元年 ６月６日	「肺がんの最近の薬物療法について」 当院　呼吸器外科責任部長：田久保　康隆　先生	113 名
令和元年 ７月４日	「糖尿病患者を悪性腫瘍から守るために」 当院　腎臓代謝内科責任部長：森田　善方　先生 当院　消化器内科責任部長：西田　淳史　先生 当院　消化器内科部長：西野　恭平　先生	134 名
令和元年 ９月５日	「アタマとカラダを同時刺激して認知機能低下、転倒を防止する」 京都大学医学研究科　人間健康科学系専攻　リハビリテーション科学コース　理学療法学講座　運動機能開発学分野 教授　青山　朋樹　先生	96 名
令和元年 12 月５日	「がん化学療法の費用対効果とは？」 横浜市立大学医学群 (健康社会ユニット) 准教授　五十嵐　中　先生	73 名
令和２年 ２月６日	患者一医療者間のコミュニケーション ～「こころ」の揺らぎの理解のために～ 当院　臨床心理士 / 公認心理師　金武　李佳　先生	33 名
令和２年 ３月５日	「臨床研修医による症例報告」 当院　研修医：栗山　紘和　先生、黒川　昌悟　先生、 滝口　陽介　先生、辻本　陽二郎　先生	39 名

がん対策推進室

＊医科歯科連携に関する研修会

催日	テーマ・講師	参加者数
平成 31 年 ４月４日	「口内炎と類似疾患について」 当院　歯科・口腔外科責任部長　近藤　定彦	69 名

＊５大がんに関する研修会

催日	テーマ・講師	参加者数
令和元年 ６月６日	「肺がんの最近の薬物療法について」 当院　呼吸器外科責任部長　田久保　康隆	113 名

＊第３回　滋賀県緩和ケアチーム研修会（市立長浜病院会場、主催 滋賀県がん診療連携協議会）

令和元年　９月７日　　参加：５チーム、27 名

＊第４回　滋賀県緩和ケア研修会（市立長浜病院会場）

令和元年　11 月 10 日　　企画責任者：野口　哲男　　修了者：19 名

＊化学療法研修会

催日	テーマ・講師	参加者数
令和元年 12 月 5 日	「がん化学療法の費用対効果とは？」 横浜市立大学医学群健康社会医学ユニット　准教授　五十嵐　中　先生	73 名

＊緩和ケア講演会

催日	テーマ・講師	参加者数
令和 2 年 2 月 6 日	「医療者－患者間のコミュニケーション」 当院　臨床心理士・公認心理師　金武　李佳	33 名

＊がん看護研修

催日	テーマ・講師	参加者数
令和元年 6月 15 日	がん患者の全人的理解とケア 当院　がん看護専門看護師　山岸　美紀	23 名
令和元年 7月 13 日	がん性疼痛マネジメント 当院　がん性疼痛看護認定看護師　大町　衣里子	18 名
令和元年 8月 24 日	がん放射線療法看護 当院　がん放射線療法看護認定看護師　杉山　順哉	25 名

診療局　CPC

催日	テーマ・講師	参加者数
令和元年 5 月 30 日	「治療に難渋した肺炎の一例」 臨床研修医　西田　知弘　先生	23 名
令和元年 6 月 20 日	「PCI 中に心タンポナーデを来した一例」 臨床研修医　田中　葵　先生	20 名
令和元年 8 月 29 日	「間質性肺炎を合併した肺腺癌により死亡に至った一症例」 臨床研修医　辻本　陽二郎　先生	22 名
令和元年 9 月 12 日	「縦隔近傍発生の肺小細胞がんの一例」 臨床研修医　栗山　紘和　先生	16 名
令和元年 10 月 31 日	「原発不明癌によって死亡に至った一例」 臨床研修医　滝口　陽介　先生	17 名
令和 2 年 2 月 13 日	「難治性気胸を合併した浸潤性粘液腺癌」 臨床研修医　滝口　陽介　先生	20 名

Ⅳ－７　委員会の状況

院内委員会組織図

平成31年度 令和元年度

病院事業管理部	病院事業運営調整会議	野田秀樹
ヘルスケア研究センター	ヘルスケア研究センター運営委員会	石田　均
薬剤科	薬事委員会	小室太郎
	医薬品安全管理委員会	野渕孝二
	レジメン登録審査委員会（がん対策：化学療法委員会）	東出俊一
臨床工学技術科	医療機器安全管理委員会	辻　克信
	呼吸ケアサポートチーム（RST 委員会）	中川雅登
	透析機器安全管理委員会	森田善方
栄養科	栄養委員会	森田善方
	NST 委員会	潮　正輝
放射線技術科	放射線安全委員会	伏木雅人
	放射線治療品質保証委員会	伏木雅人
中央検査技術科	臨床検査運営委員会	小室太郎
	輸血療法委員会	吉良浩勝
リハビリテーション技術科	嚥下委員会	近藤定彦
歯科・歯科口腔外科	歯科口腔外科医療関連感染防止対策委員会	近藤定彦
看護局	認知症対策委員会	小川雅文
	ハートケアチーム委員会	杉村隆幸
	糖尿病療養指導委員会	森田善方
中央手術室	中央手術室運営委員会	林　嘉彦
総務課	診療局運営会議	神田雄史
	研修医確保等推進会議	梅原久範
	職員研修委員会	神田雄史
	人権対策推進委員会	神田雄史
	合同・臨床研修委員会	梅原久範
	プログラム委員会	梅原久範
	職員安全衛生委員会	林　嘉彦
	集中治療室運営委員会	嶋田文彦
	治験審査委員会	林　嘉彦
経営企画課	病院運営会議	-
	企画運営会議	-
	コメディカル連絡会議	藤居　敏
	改革プラン推進会議	神田雄史
	医療評価委員会	嶋田文彦
	インフォームドコンセント・IC 専門部会	清水久雄
	倫理委員会	嶋田文彦
	ＩＴ推進会議	梅原久範
	情報セキュリティ専門委員会	東出俊一
	長浜市病院事業改革プラン評価委員会	-
	医療機器等選定委員会	林　嘉彦
	SPD 運営委員会	林　嘉彦
	契約審査委員会	藤居　敏
	放射線治療装置更新検討委員会	林　嘉彦
	大規模災害等対策計画策定合同会議	東出俊一
	医療ガス安全管理委員会	平岡　進
	防火・防災管理委員会	廣瀬伸次
医事課	未収金対策検討委員会	林　嘉彦
	救急体制検討委員会	東出俊一
	救急運営委員会	東出俊一
	救急救命士・消防士等病院実習カリキュラム委員会	嶋田文彦
	救急症例検討委員会	東出俊一
	診療情報・図書室管理運営委員会	平良　薫
	院内がん登録委員会	林　嘉彦
	DPC 委員会	林　嘉彦
医療安全管理室	医療安全管理委員会	田久保康隆
	医療安全対策委員会	田久保康隆
	感染管理委員会	大野暢宏
	感染対策担当者会議	山科　聡
	内部事故調査委員会	神田雄史
患者総合支援センター	骨粗鬆症リエゾンサービス委員会	田中　淳
地域医療連携室	病床管理会議	-
	開放型病床運営委員会	神田雄史
	回復期リハビリテーション病棟運営委員会	江藤謹司
	回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	江藤謹司
	褥瘡対策委員会	藤林久輝
	地域医療連携委員会	神田雄史
がん対策推進室	湖北保健医療圏域地域がん予防診療推進協議会	神田雄史
	がん対策推進委員会	伏木雅人
	緩和ケア推進委員会	田久保康隆
	化学療法委員会（小委員会は薬剤科）	東出俊一

院内設置会議

会　議　名	設　置　目　的	事務局
病院事業運営調整会議	長浜市病院事業の適正かつ円滑な推進と運営を図るため	事業管理部
病院運営会議	病院運営の基本方針に係る病院事業管理者及び院長の意思決定に必要な事項の協議を行い、もって各部局間の総合的な調整と病院の円滑な運営を図るため	経企
診療局運営会議	病院の経営・運営に関する重要な事項について審議を行うとともに、診療局幹部の経営参画を促すため	総務
企画運営会議	病院の運営に関する重要な課題について審議を行うとともに、病院幹部の意思の疎通を図るため	経企
コメディカル連絡会議	院内のコメディカル間の連携を密にし、円滑な運用を図るため	経企
改革プラン推進会議	改革プランの着実な実行と進捗管理を行うため会議の開催に必要な事項を定める	経企
病床管理会議	市立長浜病院における一般病棟入院患者の療養病棟、地域包括ケア病棟又は回復期病棟への転棟、療養病棟等へのレスパイト等の入院に関して必要事項を定め、療養病棟等及び回復期病棟の活用による病床利用率の向上を図ること	地域医療
研修医確保等推進会議	研修医を確保するための取組を実施するにあたり、院内の連絡調整、並びに若手医師の指導及び教育体制の充実を図るため	総務

院内設置委員会

会　議　名	設　置　目　的	事務局
ヘルスケア研究センター運営委員会	地域住民の一人ひとりが予防医学に積極的に関わり、自身の健康状態の把握と病気の早期発見のための健康診断の受診および健診結果を踏まえた適切な保健指導、栄養指導等により、住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる社会の実現をめざし、健診事業等の適正な執行・管理を行うもの	ヘルスケア
化学療法委員会	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法に用いる抗悪性腫瘍剤（化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療剤など）の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと	がん対策
レジメン登録審査委員会	院内で実施される化学療法のレジメン（治療内容）の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること	薬剤
薬事委員会	病院の薬剤に関する基本方針を定め、その方針に従い院内薬剤業務を円滑に遂行するため	薬剤
医薬品安全管理委員会	病院で使用される医薬品に係る安全管理体制の確保を図るため	薬剤
医療機器安全管理委員会	病院で使用される医療機器に係る安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
呼吸ケアサポートチーム(RST) 委員会	市立長浜病院で使用される人工呼吸器などの呼吸療法に係る安全管理体制の確保を図るため、また、医療の質向上を図るため	臨床工学
透析機器安全管理委員会	病院で使用される透析装置および透析液水質にかかる安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
栄養委員会	病院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする	栄養
ＮＳＴ委員会	患者の栄養状態を管理するため、ＮＳＴ（栄養サポートチーム）を結成し、著しく栄養状態が悪い患者に適切な栄養療法を選択し実施することにより栄養状態の改善を図り、治療効果を高め、感染症、褥瘡等の予防及び在院日数の短縮や医療費の削減等に貢献し、患者の生活の質の向上を図るため	栄養
放射線安全委員会	職員の放射線被爆防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	放射線
放射線治療品質保証委員会	放射線治療における安全の向上、並びに品質管理及び保証又、職員の教育・研修に関する諸事情を検討し、必要な事項を企画審議するため	放射線
臨床検査運営委員会	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化、効率化を図る	中検
輸血療法委員会	輸血療法を安全かつ適正に遂行するため	中検

会　議　名	設　置　目　的	事務局
嚥下委員会	患者の摂食嚥下機能と栄養状態の改善を図り、誤嚥を予防し、在院日数の短縮や在宅医療の連携に貢献し、患者の QOL 向上を図ること。看護師による摂食機能療法の算定が適切に実施できるよう支援し、摂食機能療法の算定数増加を目指す	リハビリ
歯科口腔外科医療関連感染防止対策委員会	市立長浜病院歯科口腔外科における医療関連感染の防止等を図るため	歯科
手術室運営委員会	手術室の適性かつ効率的な運用を図るため	中央手術
職員研修委員会	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、病院綱領に定める病院づくりを推進するため、職員に院内外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	総務
人権対策推進委員会	院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題を初めとする人権問題の解決に積極的に取り組むため	総務
合同・臨床研修委員会	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修を円滑かつ十分に行われること	総務
プログラム委員会	臨床研修に係る専門的事項を審議するため	総務
職員安全衛生委員会	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を図ること	総務
集中治療室運営委員会	集中治療室の管理運営についての協議	総務
治験審査委員会	治験に関する厚生省令等に基づき、院内における治験（臨床研究・臨床試験）の実施の可否および倫理性や科学的妥当性を審査するため	総務
医療ガス安全・管理委員会	医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保するため	経企(施設)
防火・防災管理委員会	市立長浜病院における防火・防災管理委員会の運営に関し、必要な事項を定めることにより、火災の予防及び火災・大規模地震、その他による人命の安全、被害の軽減、二次的災害発生の防止をを目的とする	経企(施設)
大規模災害等対策計画策定合同会議	大規模災害発生時に、災害レベルに応じて病院が採るべき災害対策に内容を明確にし、また、その災害対策に応じて個々の職員が果たすべき役割と具体的な行動を定める大規模災害等対策計画を策定することを目的とする	経企(施設)
医療評価委員会	患者さん主役の信頼ある医療を育み、地域完結型の医療を目指して、地域住民がより一層適切で質の高い医療を安心して受けられる病院を確保するため	経企
倫理委員会	市立長浜病院で行われる人間を対象とした医学研究、医療行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的、社会的配慮のもとに行われるために、医の倫理に関する事項を審議する	経企
ＩＴ推進会議	情報化施策を総合的かつ体系的に推進するため	経企
情報セキュリティ専門委員会	情報セキュリティ対策に関する専門的事項を検討するため	経企
長浜市病院事業改革プラン評価委員会	改革プランの着実な実行と進捗管理について、評価と点検の客観性を確保するため	経企
医療機器等選定委員会	市病院事業において使用する医療機器の調達（修繕）および診療材料の購入等について必要な事項を定め、機種選定の適正かつ円滑な運営を図ることを目的とする	経企(用度)
ＳＰＤ運営委員会	病院の経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図り、ＳＰＤシステム運用等に関し必要な事項を定める	経企(用度)
契約審査委員会	「長浜市が発注する物品調達（修繕）についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」及び「長浜市が発注する建設工事等についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」に規定する物品の調達（修繕）契約及び工事契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって市病院事業全体の医療機器等調達（修繕）及び工事の公正妥当で円滑な執行を図ることを目的とする	経企(用度)
放射線治療装置更新検討委員会	放射線治療装置の更新について総合的に推進するため	経企(用度)
長浜市病院事業未収金対策検討委員会	市立長浜病院及び市立湖北病院における未収金に関する事務の適正を図り、収入（診療費等）の不納欠損処分並びにこれらに関連する事務の適正な執行を図るため	医事
救急体制検討委員会	救急体制、宿直体制、呼び出し体制、研修医指導体制等、救急に関する諸問題を検討し、救急業務の効率化を図る	医事

会　議　名	設　置　目　的	事務局
ＤＰＣ委員会	ＤＰＣ請求（適切なコーディング、DPC 請求の運用、その他 DPC 請求）に関連する事務の適正な執行を図るため。また、調査・検討を行い、関係者に周知または必要な助言及び指導を行う	医事 (診情)
診療情報・図書室管理運営委員会	病院における診療録の管理運営および図書の管理運営について、関係部署の連携調整を図るため	医事 (診情)
院内がん登録委員会	病院がん登録の実施に必要な事項を定め、がん登録業務の適正な企画、管理及び運用を図るため	医事 (診情)
医療安全管理委員会	病院における良質な医療を提供する体制の確立を図るため、医療安全、医療機器安全管理、医薬品安全管理の対策を総合的に企画、実施することを目的に設置する	医療安全
医療安全対策委員会	病院における安全管理のため、医療・医学の諸問題を検討し、基本的な基準について定める	医療安全
感染管理委員会	院内感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、院内感染が発生した場合の病院としての方針を決定するため	医療安全
感染対策担当者会議	院内における院内感染の防止対策や、啓蒙等を推進し、院内感染の防止等を図る	医療安全
内部事故調査委員会	院内で極めて重大な医療事故が発生した場合、医療事故内容を正確に把握し、原因の分析を行い、適切な対応を取るため	医療安全
骨粗鬆症リエゾンサービス委員会	骨折を機に骨粗鬆症に関する治療を開始及び継続し骨折の連鎖をくいとめ、治療・管理するだけでなく、他職種による支援を行う	患者総合
開放型病床運営委員会	開放型病床を効率的にかつ円滑に運営すること	地域医療
回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	回復期リハビリテーション病棟への入院（転入含む）にあたり、入院適応基準に基づく入院の判定を行う	地域医療
回復期リハビリテーション病棟運営委員会	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う	地域医療
地域医療連携委員会	地域の医師、歯科医師等からの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため	地域医療
褥瘡対策委員会	院内の褥創対策を検討・立案し、その効率的な推進を図るため	地域医療
湖北保健医療圏域地域がん予防診療推進協議会	湖北保健医療圏域におけるがん予防、がん診療に携わる保健医療従事者に対する研修の実施、がん診療情報の収集および提供、関係機関への連携を進め、圏域のがん予防、がん診療の水準の向上に貢献するとともに、圏域住民へのがん予防の啓発事業等に関する協議を行うこと	がん対策
がん対策推進委員会	がん診療および診療科を超えたチーム医療の推進、院内関連委員会との連携、がん診療情報の発信およびがん登録に関する協議を行うこと	がん対策
緩和ケア推進委員会	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質（QOL）を維持向上させること	がん対策
認知症対策委員会	現状システムを振り返り、課題や新たなニーズを整理し、今後を見据えた更なる医療・介護及び地域のネットワークの形成を図り、認知症疾患支援の充実を図る	看護局
ハートケアチーム委員会	病院から外来・在宅・地域も含めたチーム医療の推進と心疾患患者・家族への支援の充実を図るため	看護局
糖尿病療養指導委員会	糖尿病医療の進歩に伴い、継続治療への心理的支持、治療技術の指導が多様化し、指導の評価法についても各職種のもつ範囲が広がり、かつ専門性が深くなった。患者中心の医療のために、そして多様な指導内容と評価の活用に、各医療スタッフが密接な連携を保ち、専門性を生かしたチームアプローチが必要なため	看護局

ヘルスケア研究センター運営委員会	地域住民の一人ひとりが予防医学に積極的に関わり、自身の健康状態の把握と病気の早期発見のための健康診断の受診および健診結果を踏まえた適切な保健指導、栄養指導等により、住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる社会の実現をめざして市立長浜病院ヘルスケア研究センター運営委員会を設置し、健診事業等の適正な執行・管理を行うものとする。	
委員長 ヘルスケア研究センター長 石田均	**委員名** 野口哲男、上津昌広、林嘉彦、若宮誠、古山忠宏、山村有希、中村友佳里、梅本範子、藤居敏、鵜飼康治、中田重樹、村上義和	**事務局** ヘルスケア研究センター

活動内容

【委員会の開催】

○ヘルスケア研究センター運営委員会事前会議
　日　　時：平成 31 年 4 月 26 日（金）　午後 4 時 00 分より
　議事内容：1、ヘルスケアセンター運営委員会設置要綱（案）について
　　2、ヘルスケア研究センター理念・基本方針について
　　3、移転準備について
　　4、ヘルスケア研究センター短期・中期計画（案）について

○第 1 回ヘルスケア研究センター運営委員会
　日　　時：令和元年 6 月 14 日（金）　午後 4 時 00 分より
　議事内容：1、委員長挨拶
　　2、平成 30 年度健診センター報告
　　3、ヘルスケアセンター運営委員会設置要綱について
　　4、ヘルスケア研究センター理念・基本方針（案）について
　　5、移転計画について
　　6、今後の運営方法について
　　7、その他

○第 2 回ヘルスケア研究センター運営委員会
　日　　時：令和元年 7 月 29 日（月）　午後 4 時 00 分より
　議事内容：1、委員長挨拶
　　2、移転計画および現状報告について
　　3、健診枠拡大について
　　4、その他

○第 3 回ヘルスケア研究センター運営委員会
　日　　時：令和元年 12 月 23 日（月）　午後 4 時 00 分より
　議事内容：1、委員長挨拶
　　2、令和元年度上半期収支報告について
　　3、令和 2 年度事業計画について
　　4、その他

薬事委員会	病院の薬剤に関する基本方針を定め、その方針に従い院内薬剤業務を円滑に遂行するため。	
委員長 副院長兼薬剤局長 小室太郎	**委員名** 高島弘行、森田善方、植山浩二、平良薫、吉川敬子、森靖、細川ひろみ、野洌孝二、大岡千寿子	**事務局** 薬剤局

活動内容（簡潔に取りまとめて記入）

開催月日･協議事項など

	新規採用薬剤		中止薬剤	院外→院内	院内→院外
	正規採用	院外専用			
第1回(平成31年 4月25日)	8	12	4	0	1
第2回(令和元年 6月24日)	16	6	10	1	1
第3回(令和元年 9月 2日)	6	3	0	0	1
第4回(令和元年10月28日)	7	6	6	0	0
第5回(令和元年12月 9日)	9	3	3	1	2
緊急採用	2	2	1	0	1

医薬品安全管理委員会	病院で使用される医薬品に関わる安全管理体制の確保を図るため	
委員長 野洌孝二	**委員名** 高島弘行、森田善方、植山浩二、平良薫、烏脇富子、吉川敬子、細川ひろみ、大岡千寿子	**事務局** 薬剤局

活動内容

［研修会］

令和元年度第1回医薬品安全研修会（医療機器安全管理委員会と合同）

日　時：令和元年６月３～７日　参加人数　延べ320人

テーマ：ドブポン（プレフィルド製剤）導入について

【委員会】

2019年10月28日開催

・インフルエンザワクチンの個人のオーダー

・誤接続防止コネクタの導入(神経麻酔分野)

・持参薬処方に関して

医療機器安全管理委員会	院内で使用される医療機器に係る安全管理体制の確保を図るため	
委員長 辻克信	**委員名** 洞井和彦、國友健生、森靖、吉川敬子、佐野勝治、富田聡、草野信悟、藤田忠夫	**事務局** 臨床工学技術科

活動内容

平成31年 4月　PCA ポンプ使用に際して安全性情報提供
令和元年 5月　離床センサー仕様に関しての案内
　　電気メス　対極板貼付状態に関するアラームの対応についての案内
　　6月　プレフィルドシリンジ設定についての案内
　　7月　シリンジポンプ　セット不良による無輸液に関する注意喚起
　　NHF　流量低下時のアラーム対応についての注意喚起
　　10月　V60 自主回収に関する対応
　　11月　自己血回収装置　吸引ホース外れに関する対応
令和 2 年 1月　パルスオキシメーターで使用する SpO2 センサーの共同購入について
　　3月　無線機器スプリアス規格変更に伴う対応についての案内

透析機器安全管理委員会	Ⅰ，透析液水質管理加算の算定基準のため ①関連学会水質基準を満たす　②透析液安全管理者の配置 ③透析機器安全管理委員会の設置 Ⅱ，透析に関係する機器・装置、透析液の安全管理	
委員長 腎臓代謝内科責任部長 森田善方	**委員名** 西口泰人、塚口昌文、辻克信、浦部紀子	**事務局** 臨床工学技術科

活動内容

委員会開催日	協議内容
令和元年11月20日	令和元年度　第１回　透析機器安全管理委員会会議 ・出席者：森田　善方、浦部　紀子、辻　克信、塚口　昌文、西田　泰人 （全委員参加） ・協議内容 平成 30 年度エンドトキシン・生菌数測定結果の報告説明 前回委員会からの透析関係装置について 透析治療のインシデント・安全対策について 透析装置の更新について

委員会予算概要

①透析液水質基準確保のための検査費用：エンドトキシン測定、培地による生菌数測定
②透析関係機器・装置の安全管理のためのメーカーへの研修費用：NIPRO（南草津）への研修
③透析液の水質管理のための研修費用：透析液安全管理者セミナーへの参加
　※セミナーに参加し、最新の透析液水質管理の情報収集を行う

市立長浜病院栄養委員会	当院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする。	
委員長 腎臓代謝内科責任部長 森田善方	**委員名** 川島和彦、新川由基、吉川 敬子、桐畑 善彦 中川太郎	**事務局** 栄養科

活動内容

第１回委員会　令和元年６月５日　開催

１．報告事項

(1)平成30年度 栄養管理業務実績について

・給食業務状況(食数等)

・栄養指導業務状況(指導件数等)　等

(2)平成30年度 第４回 嗜好調査結果について

(3)回復期リハビリテーション病棟でのリハたいむゼリー導入について

２．協議事項

(1) 三病院協定について

(2)今年度　栄養科業務予定について

３．その他

第２回委員会　令和２年１月20日　開催

１．報告事項

(1)令和元年度 第３回 嗜好調査結果について

(2)令和元年度　栄養科業務経過について

(3)『和風だし香る　茶碗蒸し』新規導入について(試食)

２．協議事項

(1) 院内食事規約一部変更について

(膵臓食の塩分量変更、および膵臓三分食の新規作成)

３．その他

市立長浜病院 NST 委員会	当院における患者の栄養状態を管理するため、ＮＳＴ（栄養サポートチーム）を結成し、著しく栄養状態が悪い患者に適切な栄養療法を選択し実施することにより栄養状態の改善を図り、治療効果を高め、感染症、褥瘡等の予防及び在院日数の短縮や医療費の削減等に貢献し、患者の生活の質の向上を図ることを目的とする。	
委員長 腎臓代謝内科部長 潮正輝	**委員名** 井階幸一、川島和彦、服部直美、鍋里実、伊藤亮子、福山史朗、高山直樹、田中祐輔、安田将樹、吉田名緒、堀田実花、居川愛子、藤田侑子、浅井麻未、中川太郎、赤尾真樹子、中村友佳里、禿子智子	**事務局** 栄養科

活動内容

１．委員会の開催　　合計12回開催（４月から３月の間、毎月１回を目安に第４水曜日に開催）
- 前年度（平成30年度）の実績報告
- 令和元年度NST委員会の取り組みについて
- リハビリテーション用食品の活用について
- 経腸栄養プロトコルの改訂について
- NST稼働施設（更新）申請について
- 経腸栄養管理について
- 濃厚流動食の選定について
- NST介入件数増への取り組み
- 濃厚流動食（一覧）の改訂について
- 演題発表の取り組みについて
- 診療報酬改定関連について
- 来年度の取り組みについて

２．NST病棟回診の実施　　週１回（毎週水曜日）　　回診件数 541件／年（詳細は各種統計資料参照）

３．学会発表
- 第29回京滋NST研究会
  「多職種連携をめざして 食道亜全摘患者に対してチーム医療が奏功した１例」
  赤尾真樹子（管理栄養士）

４．各種研修への参加

・JSPEN NST専門療法士受験必須セミナー（大阪）	安田将樹（薬剤師）
・リハ栄養フォーラム2019in名古屋	浅井麻未（理学療法士） 堀田実花（臨床検査技師）
・第9回　リハビリテーション栄養学会学術集会（福岡）	伊藤亮子（看護師）
・第29回　京滋NST研究会	赤尾真樹子（管理栄養士）
・第11回　日本静脈経腸栄養学会近畿支部学術集会（大阪）	吉田名緒（臨床検査技師） 赤尾真樹子（管理栄養士）
・JSPEN 第４回 NST専門療法士　更新必須セミナー（大阪）	伊藤亮子（看護師）
・40時間実地修練（滋賀医科大学医学部附属病院）	福山史朗（看護師）

５．NST勉強会の開催　　４回／年開催

第１回　勉強会（令和元年７月22日）
　演　題　　経腸栄養について
　講　師　　7階西病棟　伊藤亮子（栄養サポート専門療法士）

第２回　勉強会（令和元年10月28日）
　演　題　　静脈栄養
　講　師　　薬剤部　田中祐輔（栄養サポート専門療法士）

第３回　勉強会（令和元年11月25日）
　演　題　　経口摂取について
　講　師　　栄養科　中川太郎（栄養サポート専門療法士）

第４回　勉強会（令和２年１月27日）
　演　題　　リハ栄養
　講　師　　藤田言語聴覚士・浅井理学療法士

６．経腸栄養管理の啓発活動（スライド上映）
日　時　令和２年12月９日17時15分から18時15分
場　所　第２会議室
テーマ　「mRSO-2を目指す脳卒中栄養管理とリハ実践」

放射線安全委員会	職員の放射線被ばく防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	
委員長 放射線科部長 伏木雅人	**委員名** 若宮誠、古山忠宏、北本幸恵、鵜飼康治、森靖、 佐野勝治、吉川敬子、宮川孝史、辻雅之（事務局）	**事務局** 放射線技術科

活動内容

【委員会の開催】

〇令和元年９月５日（木）　午後４時30分より５時30分まで

議事内容：平成30年度放射線安全委員会報告

・令和元年度放射線安全教育研修会の開催について
放射線科ナースより造影剤ショックの対応について講習を行いたいとの連絡を受け、従来の内容に追加することにした。ＭＲＩ吸着実験実習も例年通り開催することにした。

・被ばく線量測定バッチ（ルミネスバッチ）の着用について
これまでの啓蒙活動により着用率、返却率ともに上がっている。
循環器Dr数名に対して被ばくの警告が月に数回来る。（年間線量限度の1/10を超える被ばくがある）
オペ室のナースに対してバッジを2個支給すべきか検討する。

・サーベイメータ校正
２年に１回の校正日を確認する。

・医療法改正に伴う線量管理について
電カル更新に伴い「Dose Manager」を導入している。今後、依頼医が患者さんの被ばく線量を簡単に把握できるように見せ方を検討する。

・歯科のデンタル撮影室の改修について
保健所への届け出等に不備が無いように注意していく。

・市立長浜病院放射線障害予防規定の改訂について
RI規制法改正に伴い、令和元年8月より予防規定を改訂して施行している。
このことにより、放射線安全委員会の細則を運営規則に改訂している。
今後、放射線安全委員会の委員は運営規則に沿って任命される。

【放射線安全研修会】

令和元年10月29日（火）　17時30分から18時45分まで

当院２階講堂、および支援棟、放射線科MRI検査室にて開催

講演

・ＲＩ検査、ＭＲＩ検査の注意点および当院の放射線治療の実際　　辻　雅之
・放射線治療における副作用について　　杉山順哉
・意外と知らない造影剤について　　井益奈留美

実習

・ＭＲＩ検査室にて吸着体験実習

参加者　112人　（診療局3人、看護局64人、医療技術局35人、薬剤部０人、事務局10人）

放射線治療 品質保証委員会	放射線治療における安全の向上 並びに品質管理及び保証又、職員の教育・研修に関する諸事項を検討し、必要な事項を企画審議するため。	
委員長 放射線科部長(治療部門) 伏木雅人	**委員名** 小坂恭弘、古山忠宏、野一色真弓、田辺啓太、 川上正邦、守矢千春、西村正明、辻雅之、 入江桃好、杉山順哉、伊良皆拓（外部委員）	**事務局** 放射線技術科

活動内容

【委員会の開催】

○第1回　令和元年年7月25日(木)
　第2回　令和2年3月12日(木)
　議事内容：各種マニュアル、手順書の確認
　　安全の向上に関すること
　　教育、研修に関すること
　　その他

【QA会議の開催】

○原則毎週火曜日業務終了後、QA会議を開催し、放射線治療に関する機器の精度管理、安全管理および運用等について検討した。

【研修会の開催】

○医療事故防止対策委員会、放射線安全委員会との共催で一般にも公開
　日時　令和元年10月29日(火)　17:30～
　当委員会と関係する内容
　・「放射線の基礎知識と放射線科検査、治療の注意点」　辻　雅之
　・「放射線治療における副作用について」　杉山順哉

臨床検査運営 委員会	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化・効率化を図る	
委員長 脳神経外科 小室太郎	**委員名** 黒澤学、横川竜生、上田久巳、吉川敬子、鵜飼康治、 森靖、細川功二、新川由基、宮元伸篤	**事務局** 中央検査技術科

活動内容

○令和元年度第1回臨床検査運営委員会
　日　　時：令和元年７月８日(月)16:00～
　協議事項：・委員変更について
　　・平成30年度検査実績について
　　・平成30年度外部精度管理の結果報告
　　・臨床検査外部委託業者選定について
　　・消化器生検材料の取扱について
　　・採血検体の受け渡しについて
　　・機器変更に伴うBNPの正常値変更について
　　・新規購入試薬について

○令和元年度第2回臨床検査運営委員会
　日　　時：令和元年12月27日(金)16:00～
　協議事項：・医療法改正への対応について
　　・ISO15189取得に向けての準備について
　　・外部委託業者の選定について
　　・新規購入試薬について

○文書処理
　起　　案：平成31年4月11日
　協議事項：新規試薬の採用について

輸血療法委員会	安全で適正な院内輸血の推進	
委員長 心臓血管外科部長 吉良浩勝	**委員名** 中村拓路、田久保康隆、高木順平、中村俊之 烏脇富子、中村寛子、新木貴枝、笠井晴生、吉田名緒 三上はづき	**事務局** 中央検査技術科
活動内容 第１回：令和元年　8月28日　輸血関連研修会について、血液製剤廃棄状況について 第２回：令和元年 10月16日　アルブミン製剤の医事コード割り付け間違いについて、輸血後感染症検査についてなど 第３回：令和元年 11月27日　輸血管理料Ｉについて、輸血後感染症検査実施率について、など 第４回：令和２年　1月29日　輸血後感染症検査の運用について、など 第５回：令和２年　3月18日　輸血後感染症検査の運用について ７階東病棟看護師対象輸血研修会：「T&S法と不規則抗体について」　令和元年7月18日、23日 新人看護師対象輸血研修会　令和元年11月22日		

市立長浜病院 ISO15189 運営委員会	ISO15189 を取得・維持することを目的に委員会の構成と運営等に関し必要な事項を定める。	
委員長 黒澤　学	**委員名** 小室太郎、下村哲也、森靖、廣瀬朋子、宮元伸篤、 橋本里美	**事務局** 中央検査技術科
活動内容 令和２年１月21日（火）16:00～17:00 協議事項 ・ISO15189と委員会について（設置要綱の承認、委員（R元年度）、ISO15189認定取得について） ・コンサルテーション業者の選定について		

歯科口腔外科医療関連感染防止対策委員会	歯科口腔外科における特殊器材使用時の医療関連感染防止を図る	
委員長 歯科口腔外科責任部長 近藤定彦	**委員名** 北本幸恵、藤木智美、長谷川博美、箕浦麻貴、 近藤昭仁	**事務局** 歯科口腔外科、 歯科眼科技術室

活動内容

1．委員会協議事項

平成31年 4月26日　・バキューム･コンプレッサーの入替について
令和元年 6月27日　・バキューム･コンプレッサーの入替について
令和元年10月24日　・ICTラウンドの結果について
令和２年 2月10日　・新型コロナウイルス感染症について

2．主な活動内容

・診察室､技工室の環境整備について点検と協議
・ICTラウンドの結果を共有､環境整備と清掃強化の実践
・吸引装置およびエアーコンプレッサーの点検（令和元年７月に入替完了）
・衛生材料の管理
・感染管理に関する学習

人権対策推進委員会	院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題をはじめとする人権問題の解決に積極的に取り組むため	
委員長 院長 神田雄史	**委員名** 嶋田文彦、高島弘行、新川由基、松田和子、 藤居　敏、梅本範子、野洌孝二	**事務局** 総務課総務グループ

活動内容

1．内容

令和元年 11月 25日　人権研修会の実施計画について
・人権対策推進体制を整備し、院内の人権対策について総合的に推進するための方策を検討する。
・同和問題をはじめとする人権問題の正しい理解と認識を深めるため職員の研修計画の策定と推進を行う。
・人権問題解決のため市長部局や市の他の部門との積極的な連携を図る。

合同・臨床研修委員会	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修が円滑かつ十分に行われるよう、臨床プログラムの管理を行う。	
委員長 診療局理事 梅原久範	**副委員長** 副院長　嶋田文彦 社会福祉法人青祥会セフィロト病院院長代行　松岡俊樹 **委員** 太田直也、高島弘行、田久保康隆、森田善方、松田和子、藤居敏、中村誠昌、松井善典、雨森正洋、奥田哲也、七里源正、川﨑拓、畑野秀樹、橋本修、布施隆治、花戸貴司、小泉俊三	**事務局** 総務課総務グループ

活動内容

1．委員会の内容

臨床研修医の研修プログラムの管理、教育等の実施、臨床研修終了にかかる臨床研修医の評価について審議する。なお、プログラムの作成、運営調整は、同委員会小委員会（プログラム委員会）にて、内科担当、外科担当、プライマリケア担当の責任者を中心に各々の科の指導医と協議の上、研修医の希望を考慮しながら行う。

2．委員会の開催

第１回　令和２年3月19日（木）

3．令和２年度 臨床研修医の採用について

1．平成30年度採用臨床研修医（15期生）の修了認定について

2．次年度のスケジュールについて

4．プログラム委員会

令和元年12月12日（木）開催

職員安全衛生委員会	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を図ること	
委員長 副院長 林嘉彦	**委員** 新川由基、藤居敏、大野暢宏、野洌孝二、松田和子、佐藤啓子、笠井晴生、辰巳裕和、辻野裕美子、藤居紋、中川友香、	**事務局** 総務課総務グループ

活動内容

1．内容

（1）職場における職員の安全と健康の確保

（2）快適な作業環境の形成、健康管理事業の適正運営の確保

（3）危険防止のための基本的対策、労働災害の原因、再発防止対策

2．協議事項

（1）職場巡視　（2）時間外勤務について　（3）年次休暇・夏季休暇の取得状況について

（4）感染予防について　（5）健康診断受診状況について　（6）ストレスチェックの実施

（7）メンタルヘルス対策　（8）働き方改革について　（9）年間活動総括

委員会開催月日

４月23日、５月28日、６月25日、７月23日、８月27日、９月24日、10月29日、11月26日、12月24日、１月21日、２月25日、３月24日

集中治療室 運営委員会	集中治療室の管理運営についての協議	
委員長 副院長 嶋田文彦	**委員名** 佐藤岳史、國友健生、吉良浩勝、上津昌広、藤居敏、 松田和子、毛利由布子、吉川敬子、宮部照美	**事務局** 総務課総務グループ
活動内容 １．業務 ＩＣＵの運営について次のことを審議する。 （１）各診療科、病棟との連絡調整 （２）施設の管理および設備の整備計画 （３）業務の管理手順 （４）その他運営に関する必要事項		

治験審査委員会	院内で行われる治験等がヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則及び新ＧＣＰ省令等関連法規を遵守した上で実施されるために、倫理的、科学的及び医学的見地からの妥当性を審議し、その可否を決定するため設置するもの	
委員長 診療局理事 林嘉彦	**委員名** 寺村茂子、荒木まつゑ、小室太郎、小川雅文、 松田和子、辻克信、野洌孝二、藤居敏、鵜飼康治	**事務局** 総務課総務グループ 薬剤部　薬剤科
活動内容 １.目的 当院の医薬品･医療機器等にかかる治験等の実施について審議し、病院全体の医療の質の向上を図る。 ２.委員会の開催 第１回　令和元年11月26日（火） 第２回　令和２年　3月25日（水）		

職員研修委員会	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、病院綱領に定める病院づくりを推進するため、職員に院内・外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	
委員長 院長 神田雄史	**委員名** 新川由基、松田和子、藤居敏、松居治樹 藤本永照	**事務局** 総務課総務グループ
活動内容 公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させ、人間性豊かで有為な人材の育成を図るため、職員に院内･外の幅広い研修機会が提供できるように設置。 １．業務 （１）人材育成支援計画の策定等 （２）各所属の年間研修計画および年間研修実績のとりまとめ （３）研修に対する評価のとりまとめ		

医療評価委員会	患者さん主役の信頼ある医療を育み、地域完結型の医療を目指して、地域住民がより一層適切で質の高い医療を安心して受けられる病院そするため	
委員長 副院長 嶋田文彦	**委員名** 清水久雄、糟谷憲邦、新川由基、古山忠宏、音居玲子、辻克信、中川太郎、松田和子、吉川敬子、中田重樹、鵜飼康治、桐畑善彦、土川陽子、藤本永照、松居治樹、野洌孝二	**事務局** 経営企画課 経営企画グループ

活動内容

１．クリニカルパスの作成に関するルールづくりとその導入に関すること
２．インフォームドコンセントのルール作りに関すること
３．インフォームドコンセントの実践状況を把握すること
４．その他医療の質の向上等に関して、病院全体に影響するもので、緊急対応の必要のあるもの

開催月日･協議事項など
○第１回医療評価委員会（令和元年９月19日（木）　16時～16時30分　講堂）
　・医療評価委員会設置要綱の一部改訂について（報告）
　・病院機能評価認定期間中の確認に伴う自己評価について（期中の確認）
○第２回医療評価委員会（令和２年１月28日（火）　16時30分～17時30分　講堂）
　・期中の確認について
※令和元年度　第17回病院医療機能評価受審フォーラム　当院参加５人（令和元年10月18日（金））

規定見直し
◎医療評価委員会設置要綱　改訂（令和元年８月１日付け）

＜クリニカルパス･ＩＣ専門部会＞
活動内容
クリニカルパスおよび説明と同意について、円滑な運用を図ること。

倫理委員会	市立長浜病院で行われる人を対象とした医学研究及び医療行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的かつ社会的配慮のもとに行われるために、医の倫理に関する事項を審議する。	
委員長 副院長 嶋田文彦	**委員名** 清水久雄、川島和彦、潮正輝、植山浩二、松田和子、新川由基、野洌孝二、藤居敏、桐山郁雄（院外）、澤崎恭子（院外）	**事務局** 経営企画課 経営企画グループ

活動内容

１．病院で行われる医学研究及び医療行為に関し、実施責任者から申請された実施計画の内容及びその成果の発表に関する事項を審議する。
２．病院における医学研究及び医療行為に関する倫理的かつ社会的配慮についての基本的な事項の調査検討を行う。
３．その他委員長が必要と認めた事項を審議する。

開催月日･協議事項など
○第１回倫理委員会（令和元年７月24日（水）　16時30分～17時15分　第２会議室）
　・審議０件、報告21件
　・委員紹介　任期２年　平成31年４月１日～令和３年３月31日
○第２回倫理委員会（令和元年11月６日（水）　16時30分～17時55分　第１会議室）
　・審議３件、報告16件
○第３回倫理委員会（令和２年２月21日（金）　16時30分～17時10分　別館１階　相談室１･２）
　・審議０件、報告14件
　・倫理委員会承認案件実施状況調査

　規程見直し
◎倫理委員会設置規程　改訂（平成31年４月１日付け）

ＩＴ推進会議	市立長浜病院の情報化施策を総合的かつ体系的に推進するため IT 推進計画の策定および実施ならびに進行管理 コンピュータシステムの情報セキュリティ その他情報化施策についての重要事項	
委員長 副院長 梅原久範	**委員名** 東出俊一、高島弘行、森田善方、平良薫、藤居敏、吉川敬子、岩崎まゆみ、平井法恵、次郎内茂、杉山順哉、中村俊之、古山忠宏、笠井晴生、田邉信彦、古株陽子、澤田園、辻克信、中田重樹、伊吹定浩、廣瀬朋子、大橋依子、土川陽子、堀一郎、烏脇富子、山口高明	**事務局** 経営企画課 経営企画グループ

活動内容

○IT推進会議
・IT推進計画の策定、IT推進計画の実施及び進行管理、コンピューターシステムの情報セキュリティなどについて協議します。
○情報セキュリティ専門委員会
・コンピューターシステムのセキュリティ対策に関する基本ルール及び緊急時の対応に関することについて協議します。

開催月日･協議事項など
IT推進会議
○第１回IT推進会議（令和元年６月14日（金）　17時30分～　講堂）
・更新プロジェクトの進捗状況等（報告と承認）について
○第２回IT推進会議（令和元年７月18日（木）　17時～　講堂）
・更新プロジェクトの進捗状況等（報告と承認）について
・電子カルテシステムのレベルアップについて
○第３回IT推進会議（令和元年８月22日（木）　17時30分～　講堂）
・更新プロジェクトの進捗状況等（報告と承認）について
○第４回IT推進会議（令和元年９月19日（木）　17時～　講堂）
・更新プロジェクトの進捗状況等（報告と承認）について
○第５回IT推進会議（令和元年10月17日（木）　17時～　第２会議室）
・更新プロジェクトの進捗状況等（報告と承認）について
・公開キャビネットのファイル整理について
・インターネット端末の入替について
○第６回IT推進会議（令和元年12月19日（木）　17時30分～　第２会議室）
・更新プロジェクトの進捗状況等（報告と承認）について
・インターネット接続端末の設置状況調査について
・診療報酬改定の概要スケジュール
○第７回IT推進会議（令和２年２月17日（木）　17時～　第２会議室）
・更新プロジェクトの進捗状況等（報告と承認）について
・電子カルテ等カレンダー設定について
・年末年始対応
・診療報酬改定システム関連スケジュールについて
・電子カルテシステムのレベルアップについて
○第８回IT推進会議（令和２年３月19日（木）　17時～　第２会議室）
・更新プロジェクトの進捗状況等（報告と承認）について
・ATOK元号対応について
・診療報酬改定へのシステム対応について

情報セキュリティ専門委員会
◎情報セキュリティに関する研修会
・情報セキュリティ研修会
（平成31年４月15日（月）、16日（火）　17時30分～　40分　講堂）
情報セキュリティポリシーについて、院内全職員を対象に研修会を実施
・情報セキュリティに関する研修（DA向け）
（令和元年10月10日（木））

医療機器等選定委員会（長浜病院関係）	市病院事業において使用する医療機器の調達（修繕）および診療材料の購入等について必要な事項を定め、機種選定の適正かつ円滑な運用を図ることを目的とする。	
委員長 副院長 林嘉彦	**委員名** 小室太郎、高島弘行、森田善方、松田和子、新川由基、藤居敏	**事務局** 経営企画課用度グループ
活動内容 １．内容 医療機器等購入にかかる機種選定の審査ならびに協議、高額診療材料購入にかかる審議を行った。 ２．開催日（全９回） 令和元年５月 14日、令和元年６月４日、令和元年９月 18日、令和元年 11月７日、令和元年 12月９日、令和２年２月５日、令和２年２月 18日、令和２年２月 25日、令和２年３月 10日		

ＳＰＤ運営委員会	経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図り、ＳＰＤシステム運用等に関し必要な事項を定める。	
委員長 副院長 林嘉彦	**委員名** 吉川敬子、岸田智恵子、中村寛子、久保田照己、河島智子、伊吹誠子、久保田理恵、北川徹、西野万由美、箕浦麻貴、田中宏明、中川絵里奈、川村裕彦	**事務局** 経営企画課用度グループ
活動内容 開催なし		

契約審査委員会	「長浜市が発注する物品調達（修繕）についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」及び「長浜市が発注する建設工事等についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」に規定する物品の調達（修繕）契約及び工事契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって市病院事業全体の医療機器等調達（修繕）及び工事の公正妥当で円滑な執行を図ることを目的とする。	
委員長 事務局長 藤居敏	**委員名** 福永武浩、久保田雅人、水上憲一、廣西裕介、田中正樹、鵜飼康治	**事務局** 経営企画課用度グループ
活動内容 １．内容 医療機器等の購入及び建設工事等における契約方法及び指名競争入札の参加者または随意契約の相手方の選定について、審査を行った。 ２．開催日（全 10回） 令和元年５月 16日、令和元年６月 20日、令和元年７月 22日、令和元年８月 20日、令和元年９月 30日、令和元年 11月 21日、令和２年 12年 19日、令和２年１月 23日、令和２年２月 21日、令和２年３月５日		

放射線治療装置更新検討委員会	放射線治療装置の更新について総合的に推進することを目的とする。	
委員長 副院長 林嘉彦	**委員名** 田久保康隆、神田雄史、伏木雅人、横川竜生、古山忠宏、野一色真弓、三原了導、奥長隆敏	**事務局** 放射線治療センター 経営企画課用度グループ
活動内容 １．内容 放射線治療装置の更新について、スケジュールの確認や更新案を病院の方針と併せ協議した。 ２．開催日（全２回） 令和元年９月 24日、令和２年２月６日		

防火・防災管理委員会	市立長浜病院における防火・防災管理委員会の運営に関し、必要な事項を定めることにより、火災の予防及び火災・大規模地震、その他災害による人命の安全、被害の軽減、二次的災害発生の防止を目的とする。	
委員長 整形外科責任部長 廣瀬伸次	**委員名** 新川由基、吉川敬子、藤居敏	**事務局** 経営企画課施設グループ

活動内容

1．委員会
①開催日時　令和元年９月27日（金）
②議事内容　・消防訓練（消防検証）について　・災害対策本部参集訓練について
・長浜市総合防災訓練について

2．災害対策本部職員による参集訓練の実施
①実施日　令和元年11月24日（日）　②参加者　21名　③実施場所　本館２階第２会議室
④訓練目的　災害発生時における連絡体制を確認するために、災害対策本部職員による参集訓練を実施しました。

3．消防訓練（消防検証）の実施
①実施日　令和元年11月25日（月）　②参加者　70名
③実施場所　本館５階東病棟及び診療支援棟北側屋外付近
④訓練目的　病院消防計画に基づく防火教育の一環として、夜間に火災が発生した場合を想定して、万一の際、被害を最小限に抑えられるよう消防訓練を実施しました。

医療ガス安全・管理委員会	医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。	
委員長 麻酔科部長 平岡進	**委員名** 松田和子、田中祐輔、辻克信、加藤一尚、森靖、鵜飼康治	**事務局** 経営企画課施設グループ

活動内容

1．点検内容
①日常点検　各部署で毎週実施し、月１回委員会に報告
②定期点検　専門業者により年４回実施し、結果を委員会に報告

大規模災害等防災対策計画策定合同会議	大規模災害発生時に、災害レベルに応じて当院が採るべき災害対策に内容を明確にし、また、その災害対策に応じて個々の職員が果たすべき役割と具体的な行動を定める大規模災害等対策計画を策定することを目的とする。	
委員長 診療局理事兼外科責任部長 東出俊一	**委員名** 廣瀬伸次、松田和子、吉川敬子、野一色真弓、浅山太貴、奥出隆太、道智久実、廣部佐太則、野洌孝二、大岡千寿子、新川由基、古山忠宏、中川太郎、藤居敏、松居治樹、鵜飼康治、西沢政隆、二見奉久	**事務局** 経営企画課施設グループ

活動内容

1．委員会
①開催日時　令和元年８月27日（火）
②議事内容　・大規模災害等計画策定合同会議運営要領の改訂について
・当院の現状と課題について
・今後の取り組みについて
①開催日時　令和２年３月23日（月）
②議事内容　・災害時医療活動実施計画（案）について
・市立長浜病院事業継続計画（BCP）案について
・今後の取り組みについて

2．主な訓練
10月27日（日）　長浜市総合防災訓練参加（長浜北小学校）
11月17日（日）　滋賀県原子力防災実動訓練（長浜市立湖北病院）

未収金対策検討委員会	未収金に関する事務の適正な執行を図るため	
委員長 副院長 林嘉彦	**委員名** 高島弘行、藤居敏、新川由基、松田和子、鵜飼康治、中田重樹、藤本永照、桐畑善彦、福永武浩（市会計管理者）	**事務局** 医事課医事業務グループ
活動内容 令和元年11月27日　未収金対策検討委員会開催。未収金の推移と回収実績・対策検討、診療費等債権放棄の審査について協議を行いました。		

救急体制検討委員会	救急体制、宿直体制、呼び出し体制、研修医指導体制等、救急に関する諸問題を検討し、救急業務の効率化を図る	
委員長 診療局理事 東出俊一	**委員名** 國友健生、中川雅登、尾田和広、嶋田文彦、古山忠宏、野洌孝二、新川由基、松田和子、野一色真弓、鵜飼康治、桐畑善彦、松居治樹	**事務局** 医事課 医事業務グループ

活動内容

【委員会の開催】

○第１回救急体制検討委員会（平成31年４月11日（木）　17:00～18:00　第２会議室）
- ・委員会組織について
- ・ＧＷ連休中の救急診療体制について
- ・救急ミニ講座年間計画について、
- ・各科からの救急関係報告事項等について
- ・その他

○第２回救急体制検討委員会（令和元年12月19日（木）　17:00～17:35　第２会議室）
- ・年末年始の救急診療体制について
- ・各科からの救急関係報告事項等について
- ・その他

【実施事業等】

○５月連休中、年末年始の救急における点滴患者の対応について通知（平成31年４月19日、令和元年12月19日）
○救急ミニ講座開催：全６回、参加者計175人
○ＯＬＳＡ－ＩＣＬＳ長浜曳山コース実施：全2回：第23回･･･令和元年６月８日／参加者55人
第24回･･･令和元年12月14日／参加者65人
○救急救命士病院実習（通常実習）受入れ：令和元年６月～令和２年２月
○救急救命士病院実習（就業前実習）受入れ：令和元年６月３日～６月21日
○救急救命士病院実習（気管挿管）受入れ：令和元年５月13日～７月１日

診療情報・図書室管理運営委員会	当院における診療録の管理運営および図書の管理運営について、関係部署の連携調整を図るため	
委員長 外科 平良薫	**委員名** 清水久雄、廣坂雄介、森永晃史、藤原直樹、中村俊之、北村淳、桐畑千尋、弓削悦子、吉川敬子、松山桂士、土川陽子、川越ゆき、佐々木香織、番野晶子、安藤美子	**事務局** 診療情報支援室

活動内容

第１回　令和元年8月30日（金）
○協議事項
①診療情報管理規程、およびスキャン規程の改正について
②他院からの預かりCD-ROMの取り扱いについて
③電子カルテにおける文書･テンプレート登録申請について
④データ抽出依頼書のフォーマット変更について
⑤今年度の診療録監査方法および日程について

第２回　令和元年10月10日（木）
○協議事項
①第一回入院診療録院内監査実施報告（令和元年9月実施分）
②第二回入院診療録院内監査について
③図書について
④患者誤認および多重ＩＤについて

第３回　令和元年12月5日（木）
○協議事項
①第2回入院診療録院内監査実施報告（令和元年11月実施分）
②他院からの預かりCD-ROMの取り扱いについて（報告）

第４回　令和2年2月12日（水）
○協議事項
①第3回入院診療録院内監査実施報告（令和2年1月実施分）
②解剖報告書について
③緊急時の入院カルテについて
④図書について

DPC 委員会	当院における DPC 請求に関連する事務の適正な執行を図るため	
委員長 副院長 林嘉彦	**委員名** 潮正輝、洞井和彦、平良薫、西田敦史、 北川真由美、服部直美、毛利由布子、野洌孝二、 柳田隆弘、廣瀬朋子、四塚京子	**事務局** 診療情報支援室

活動内容

第１回　令和元年8月21日(水)
○協議事項
①適切なコーディングに関すること
②今年度の医療機関係数について
③病院情報の公表について

第２回　令和元年10月24日(木)
○協議事項
①適切なコーディングに関すること
②医療機関係数について
③DPC業務の一部変更について

第３回　令和元年12月19日(木)
○協議事項
①適切なコーディングに関すること
②高額薬剤について
③診療報酬改正について
④詳細不明･部位不明コードについて

第４回　令和2年2月12日(水)
○協議事項
①適切なコーディングに関すること
②診療報酬改正について
③詳細不明･部位不明コードについて

医療安全対策委員会	患者の安全を確保しつつ、適切、良質な医療を提供できるよう医療安全文化の醸成を図る。①リスクマネージャーの育成② KYT が職場改善に活かせる③チームステップスの理解と各手法の実践④現場巡視を通じて、マニュアルの啓発や業務改善に繋げる。	
委員長 呼吸器外科責任部長 兼医療安全管理責任者 田久保康隆	**委員名** 潮正輝、平良薫、今枝広丞、植山浩二、町本高章、岡本明子、守矢千春、長谷川弘樹、新田朋美、辻賢、田中祐輔、田附容子、次郎内圭子、浅見秀治、勝木陽子、宮崎恵子、山下めぐみ、清水義典、細川ひろみ、大橋依子、近藤昭仁、烏脇富子、藤本とき江	**事務局** 医療安全管理室

活動内容

内容

1　医療安全対策委員会の開催：毎月第２木曜日開催　　11回
委員会開催毎にコードブルー発令練習実施。

2　リスクマネージャーの育成:各職場内の危険を察知し改善案を提案、KYTの実践をＰＤＣＡサイクルで取り組む。
事例分析の実施、部署インシデント統計分析ができるように支援する。
(1)前期リスクマネージャー会　令和元年５月28日開催
内容：①医療安全管理体制について②リスクマネージャーの役割③チーステップス研修
④現場巡視を通じて、マニュアルの啓発や業務改善に繋げる。
(2)後期リスクマネージャー会　令和元年10月15日開催
内容：①リスクマネージャーの役割の認識②後期リスクマネージャーの取り組み確認
③RCA分析、グループ演習

3　KYTが職場改善に活かせる（KYT演習を各部署年間３事例取り組み、内1事例をPDCAサイクルで活動）
KYT実施率：看護局、医療技術局、薬剤局100%、事務局は患者総合支援センター（がん対策推進含む）のみ実施。ヘルスケア研究センター未実施。
PDCA取り組み：看護局、薬剤局100%、医療技術局83%、事務局、ヘルスケア研究センター未実施。

4　チームステップスの理解と各手法の実践
チームステップス出前講習を全職員に対し実施。開催回数：23 回、参加部署：28 部署 /30 部署中、参加人数 478 人 /991 人中。
TS シールの全職員への配布。チームステップスポスターの掲載などを行った。

5　医療安全対策委員会グループ活動報告:現場巡視を通し、マニュアルの啓発や業務改善に繋げる。
(1)患者誤認防止･･･患者誤認防止グループ
患者誤認強化週間の実施。各部署のインシデント事象から取り上げた事象を基に実施。対策委員が部署の RM と連携し、現場に合った取り組みができた。実施後の巡視を通し、継続取り組みとなった。患者誤認防止ポスター変更。
(2)転倒転落防止･･･転倒転落防止グループ
転倒転落事象観察記録（テンプレート）の活用状況をアンケート。結果について看護局にて周知。
テンプレートの入力方法を周知。離床センサー学習会の開催。
(3)アレルギー情報管理･･･アレルギー情報管理グループ
お薬手帳の活用、アレルギー情報の記載推進に向け取り組みを行った。職員誰でも確認できる補助シートの作成、フローチャートの作成、各部署へ配布した。
(4)医療チームによるコミュニケーションエラー防止･･･コミュニケーション推進グループ
チームステップス出前講習の実施（478 人参加）、チームステップス推進アイテムの TS シール、ポスターの作成、配布。チームステップス出前講座を通して、対策委員の指導力の向上を図った。 SBAR 新聞４回発行。
(5)リスクナース検討部会
対策委員会班活動の現場推進活動を実施。推進活動を実践することでリスク感性の向上に繋がった。また、各部署における KYT 活動、PDCA 取り組み、RCA 分析は、中央委員の支援を強化したことで全部署で達成できた。

医療安全管理委員会	院内における医療安全対策、医薬品安全管理、医療機器安全管理、医療相談業務を総合的に企画実施し、また、事故対策を講じるために必要な事項を審議し、意思決定する。	
委員長 呼吸器外科責任部長 兼医療安全管理責任者 田久保康隆	**委員名** 野田秀樹、神田雄史、嶋田文彦、林嘉彦、梅原久範、小室太郎、高島弘行、近藤定彦、大野暢宏、松田和子、新川由基、藤居敏 、辻克信、宮元伸篤、野洌孝二、鵜飼康治、松居治樹、烏脇富子、藤木智美、藤本とき江	**事務局** 医療安全管理室

活動内容

1　内　容

病院全体の医療安全対策の方針について協議決定を行っています。

2　医療安全管理委員会開催

毎月第２火曜日開催　12回

(1)各委員会等報告と協議

ア　医療機器安全管理に関する事項

関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み

イ　医薬品安全管理

関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み

ウ　医療安全管理に関する事項

インシデント報告事象の共有（患者誤認･レベル３b以上の事象）

関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み

エ　各委員会活動方針の合議

オ　各委員会研修会開催報告

(2)その他

医療安全対策地域連携加算１を申請し、湖北圏域の３病院が連携して活動を実施

医療事故情報収集等事業への報告

スタッフハンドブック第５版改訂･配布

(3)委員会主催による研修会開催

医療安全研修(当日参加人数のみ記載)

ア　平成30年度医療安全取り組み報告会　令和元年５月16日　参加人数223人

イ　「チームステップス」について

講師：医療安全推進担当 近藤昭仁技師次長

「事例から学ぶチームトレーニング」

講師：SOMPOリスクマネジメント株式会社　橋本 勝先生　令和元年９月20日　参加人数183人

ウ　「苦情･クレーム･悪質クレーム　対応の基本」

講師：SOMPOリスクマネジメント株式会社　泉　泰子先生　令和２年 ２月18日　参加人数186人

エ　令和元年度放射線安全･医療安全合同研修会　令和元年10月29日　参加人数112人

オ　令和元年度医療機器安全（呼吸ケア）研修会　令和元年11月19日　参加人数 81人

カ　チームステップス出前講習　令和元年度23回開催　参加人数478人

3　報告事項

令和元年度医療事故報告分析結果（全体･部署別）

令和元年度各委員会活動評価

医療相談･苦情についての報告など

感染管理委員会	医療関連感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、医療関連感染が発生した場合の病院としての方針を決定するために設置する。	
委員長 療養病棟責任部長 大野暢宏	**委員名** 野田秀樹、神田雄史、嶋田文彦、林嘉彦、梅原久範、小室太郎、高島弘行、田久保康隆、近藤定彦、松田和子、新川由基、藤居敏、辻克信、宮元伸篤、野渕孝二、鵜飼康治、松居治樹、烏脇富子、藤木智美、藤本とき江	**事務局** 医療安全管理室

活動内容

1．内　容

・医療関連感染の防止対策や、院内全体の感染対策の方針について協議決定を行っています。

2．感染管理委員会開催

毎月第２火曜日開催　12回

1）各委員会等報告

・院内感染防止対策取り組み

・耐性菌・インフルエンザの院内発生動向の報告

・特定抗菌薬の使用状況と届出の提出状況の報告

・歯科口腔外科院内感染防止対策取り組み

・研修会、３病院（長浜赤十字病院、湖北病院、当院）カンファレンスの開催報告

2）その他

・入院患者からの結核発症における接触者検診について

・市中での流行性ウイルス疾患（麻しん・風しん）流行に対し、抗体が無い職員へのワクチン接種実施

3）委員会主催による研修会開催（当日参加人数のみ記載）

ア　院内感染防止対策研修会・抗菌薬適正使用研修会（第1回）　令和元年10月10日　参加人数145人

「① AST(抗菌薬適正使用支援チーム)活動2年目になって」

「② ICTラウンドを継続して･･･Before After」

講師：①薬剤局　感染制御認定薬剤師(ICT・AST)医薬品安全管理責任者　野渕孝二

講師：②医療安全管理室　感染管理者　藤木智美(CNIC)

イ　院内感染防止対策研修会(第2回)　令和2年1月31日、2月3日　参加人数計431人

「①新型コロナウイルス感染症疑い患者に対する院内対応について」

「②当院の対応と実技(防護具着脱体験実習)」

講師：①診療局療養病棟責任部長　大野暢宏　医師(ICD)

講師：②感染管理者　藤木智美(CNIC)看護局手術室師長　中村寛子(CNIC)

ウ　抗菌薬適正使用研修会（第2回）e-learning研修　令和2年3月26日～年間を通じて

「抗菌薬の適正使用研修」

講師：薬剤局薬剤師(ICT・AST)　医薬品安全管理責任者　野渕孝二

感染対策担当者会議	院内における医療関連感染の防止対策を推進し、啓発活動を行う。	
委員長 循環器内科部長 山科聡	**委員名** 大野暢宏、近藤定彦、髙木順平、伊吹美穂、 杉江加代子、岩崎昌子、清水達矢、川上正邦、 髙山直樹、中村寛子、岸田智恵子、名内あつみ、 北村美幸、中川絵里奈、辻　直也、久保田武次、 藤木智美	**事務局** 医療安全管理室

活動内容

内　　容

各感染症に対する専門知識と感染予防策の普及
標準予防策･経路別予防策に基づく院内感染防止対策の推進
・手指消毒剤の個人携帯の推進と手指衛生タイミング確認と推進
・個人防護具（アイシールド、ガウン･エプロン）の遵守
職業感染対策の推進
感染防止対策研修会の参加推進
感染対策関連サーベイランスの実施

○感染対策担当者会議
隔月第３金曜日開催　年４回（８月除く）
環境整備の強化
・ルミテスターデータを基に改善対策を講じ実施する。
手指消毒剤使用の推進
編集委員による啓発リーフレット「院内感染防止対策ニュース」の発行
サーベイランス結果の協議
・医療器具使用状況(血管留置カテーテル･尿道留置カテーテル)
職業感染対策の推進

○感染制御チーム検討会（ICT）、抗菌薬適正使用支援加算チーム(AST)：週１回毎週木曜日
環境ラウンド　ラウンド回数（50回）
抗菌薬適正使用の確認と推進
菌血症患者、血液培養結果の確認と評価
サーベイランス協議：データ分析･評価を実施
・耐性菌発生状況
職業感染対策の推進
・市中での流行性ウイルス疾患（麻しん･風しん）について
感染対策の協議と周知文書作成、職員抗体価の保有状況を確認し対策を講じる。
感染防止対策加算による合同カンファレンス開催　　年８回
・湖北地域３病院(長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、市立長浜病院)と長浜保健所で開催
細菌検出率、抗菌薬使用状況、手指消毒薬使用量の比較検討
流行している疾患など厚生労働省や県･保健所の通知および情報収集と対策の共有

骨粗しょう症リエゾン委員会	骨粗鬆症治療を積極的に導入し継続率低下を防ぐ。院内スタッフに対して骨粗鬆症に関する意識を高める。医科歯科連携を図る。近隣医療機関との連携を図る。行政と共同し骨粗鬆症検査の推進と患者指導啓発の強化をする。	
委員長 整形外科部長 田中淳	**委員名** 音居玲子、西村圭二、塚本晃平、中村友佳里、高木陽平、外村理奈、寺山正真、小野千鶴、北村美幸、高橋祐子、竹越清晃	**事務局** 患者総合支援センター
活動内容 1回／月（第4月曜日）委員会開催　　OLSが介入した対象者（患者数）：215名 委員会では1回の開催で10～15名を対象に、骨粗鬆症の治療状況やDXA実施の有無、退院後の治療継続の可否について検討。必要に応じて、主治医へ処方依頼や外来フォローの継続、開業医への情報提供を実施。 ・４月　脆弱性骨折患者のクリニカルパスにアレンドロン酸の処方を導入 　　新たに骨粗鬆症マネージャー資格取得　1名 ・10月　日本骨粗鬆症学会での演題発表 ・１月　院内研修会「骨粗鬆症リエゾン委員会活動報告会」の開催		

開放型病床運営委員会	開放型病床を効率的にかつ円滑に運営すること	
委員長 院長 神田雄史	**委員名** 上松貞彦、湯本義一、小林清亮、華房順子、工藤寛、畑野秀樹、七里源正、廣田光前、雨森正洋、塚本隆弘、中村義則、澤渡新太郎、川島和彦、近藤定彦、西川忠男 **オブザーバー：** 堀川佳孝、新川由基、藤居敏、梅本範子、伊藤雅子、藤本永照	**事務局** 地域医療連携室
活動内容 年1回開催令和2年2月13日(木) 開放病床の運営について (1)開放型病床利用状況について (2)病診連携運用状況について (3)その他		

病床管理会議	1. 一般病棟入院患者の療養型。地域包括ケア又は回復型の転棟について審査・判定する。 2. レスパイト入院（開放病床利用を含）予定患者の病棟決定について審査・判定する。	
委員長 患者総合支援センター センター長 川島和彦	**委員名** 大野暢宏、江藤謹司、中川雅登、梅本範子、伊藤雅子、遠藤邦枝、北村文代、音居玲子、三田久容、徳田敏子、土田由美子、山内克仁、土川陽子	**事務局** 地域医療連携室
活動内容 毎週火曜日に実施(49回)しました。 患者の身体的状況や医事情報などの背景から、効果的な病棟へ調整し、病床の空床状況により適宜病棟師長間での調整も行った		

回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	回復期リハビリテーション病棟への入院 (転入含む) にあたり、入院適応基準に基づく入院の判定を行う。	
委員長 リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司	**委員名** 堀口聡士、小川雅文、西川忠男、三浦富子、音羽幸子、吉田昌裕、遠藤邦枝、梅本範子、後藤智彦 **オブザーバー：**杉本正幸	**事務局** 地域医療連携室
活動内容 平成31年4月2日に第1回目を開催し、その後、毎週火。木曜日に(延べ58回)開催し、院内139人、院外65人、計204人の審査・判定した。		

回復期リハビリテーション病棟運営委員会	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う。	
[運営委員会] **委員長：** リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司 **[運営検討部会]** **部会長：** リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司	**委員名：** 横山哲也、雨森正洋、中川勝、上野賢治、夏原さゆり、真壁知枝、武田庄索、雑賀正明、柴垣純子、谷口泉、中山美智子、永田かおり、藤居敏 オブザーバー： 音居玲子、三浦富子、達藤邦枝 **委員名：** 堀口聡士、三浦富子、梅本範子、中田重樹 桐畑善彦、遠藤邦枝、中村春美、大野佐代子 土川陽子、土田由美子、	**事務局** 地域医療連携室

活動内容

[運営委員会]

平成31年度運営委員会　令和元年10月17日(木)

(1)回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会の状況について
(2)回復期リハビリテーション病棟の運営状況について
(3)リハビリテーションの実施状況について
(4)リハビリテーションの質的評価について
(5)その他

[運営検討部会]

平成31年度運営検討部会　令和元年9月30日(月)

(1)事業報告
回復期リハピリテーション病棟入院判定委員会報告
・回復期リハビリテーション病棟運営報告
・リハビリテーション実施報告
・回復期リハビリテーション病棟収支報告
(2)リハビリテーションの質的評価
(3)平成31年度回復期リハビリテーション病棟運営について
(4)その他

がん対策推進委員会	がん治療および診療科を超えたチーム医療の推進、院内関連委員会との連携、がん診療情報の発信およびがん登録に関する協議を行うこと	
委員長 がん対策推進室管理監 伏木雅人	**委員名** 田久保康隆、東出俊一、平良薫、川島和彦、横川竜生、新川由基、藤居敏、梅本範子、野洌孝二、大橋依子、藤本永照、堀一郎、新川君代、山岸美紀、宮﨑恵子、橋本祥子	**事務局** がん対策推進室

活動内容

【委員会の開催】(3回)

第1回　令和元年 7月9日(火)

・PDCAサイクルの実施について
・湖北がんフォーラム2019の開催結果について
・次年度の湖北がんフォーラムについて
・その他
　滋賀県緩和ケア研修会について
　地域がん診療連携拠点病院の現況報告について
　がん予防と早期発見の啓発に関する作業部会の設置について

第2回　令和元年11月11日(月)

・PDCAサイクルの中間評価について
・5大がんに関する研修会の開催について
・湖北がんフォーラム2020について
・その他
　滋賀県緩和ケア研修会の開催結果について
　キャンサーボードについて

第3回　令和2年 3月17日(火)

・PDCAサイクルの最終評価について
・５大がんに関する研修会の開催結果について
・湖北がんフォーラム2020について

緩和ケア推進委員会	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質（QOL）を維持向上させること	
委員長 がん対策推進室 副管理監 田久保康隆	**委員名** 伏木雅人、野口哲男、江藤謹司、横川竜生、川島和彦、脇ノ上史朗、北本幸恵、久保田理恵、藤井三和子 長谷川博美、赤尾真樹子、土川陽子、藤本永照、堀一郎、新川君代、山岸美紀、宮崎恵子、橋本祥子、金武李佳 **准委員** 森田幸代	**事務局** がん対策推進室

活動内容

１．緩和ケアチーム回診の実施（毎週火曜日：チーム回診、毎週金曜日：チーム看護師回診）
２．委員会の開催（1回/年）　令和元年9月3日（火）
３．滋賀県緩和ケア研修会、緩和ケア講演会の開催
　〇滋賀県緩和ケア研修会：令和元年11月10日（日）　修了者19名（医師16名うち当院医師11名）
　〇緩和ケア講演会
　　令和元年度第1回緩和ケア講演会 ：令和2年2月6日（木）17:30～19:00
　　市立長浜病院　本館　2階　講堂
　　テーマ：患者-医療者間のコミュニケーション～「こころ」の揺らぎの理解のために～
　　講　師：市立長浜病院　臨床心理士・公認心理師　金武李佳
　　参加者：33名　（院内　29名・院外 4名）
　　アンケート回収 26名　（研修会の満足度：26名中　22名が満足と回答）
　〇2019年度ホスピス緩和ケア週間（世界ホスピス緩和ケアデー：10/12）院内イベント
　　令和元年10月11日（金）（正面玄関　エスカレーター横）
　　展示イベント、音楽演奏（音楽療法チームMTQ）
４．緩和ケア総合外来：診療数　延べ6件（4名）
５．がんリハビリテーション：延べ単位　6504単位

化学療法委員会	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法を用いる抗悪性腫瘍剤（化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療薬など）の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと	
委員長 外科責任部長 東出俊一	**委員名** 野田恵加、野口哲男、西田淳史、横川竜生、 脇ノ上史朗、北本幸恵、中村俊之、久保田理恵、 吉川敬子、山岸美紀、河野真弓	**事務局** がん対策推進室

活動内容

1．委員会の開催（2回）
　第1回　令和元年 7月 23日（火）
　第2回　令和2年 3月 12日（木）
2．化学療法研修会の開催
　令和元年12月5日（木）　参加者：73名（院内医師8名、一般1名、院内職員64名）
　テーマ：「がん化学療法の費用対効果とは？」
　講　師：横浜市立大学医学群　健康社会医学ユニット
　　准教授　五十嵐 中　先生
3．化学療法（薬物療法）説明書用紙の改訂、運用
4．抗がん剤使用マニュアル、抗がん薬血管外漏出対応マニュアル、
　がん化学療法薬曝露予防対策マニュアルの改訂（スタッフハンドブック含む）
5．レジメン登録審査委員会が審査したレジメンの確認
6．病棟での化学療法の取り扱いに関する内規の作成

レジメン登録審査委員会	院内で実施される化学療法のレジメン（治療内容）の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること	
委員長 外科責任部長 東出俊一	**委員名** 野田恵加、小室太郎、野口哲男、横川竜生、西田淳史、 糟谷憲邦、脇ノ上史朗、北本幸恵、中村拓路、中村俊之、 久保田理恵、河野真弓	**事務局** 薬剤局

活動内容

1．小委員会設置(化学療法委員会設置要綱第7条)
2．レジメン登録数　令和元年度　39件
　4月：2件　5月：4件　6月：1件　7月：2件　8月：4件　9月：2件
　10月：5件　11月：0件　12月：8件　1月：1件　2月：1件　3月：0件
　　うち、添付文書通りの登録　23件
　　患者限定　3件
　　倫理委員会へ申請後登録　7件

看護局 看護管理者会	中間管理者として病院の経営・看護局方針をよく理解して業務の改善向上に努めると共に看護業務を円滑に進めていくために補佐・係長と主任間のコミュニケーションと他部門との意見調整を図る。	
委員長 看護局長 松田和子	**委員** 係長級以上の者	**事務局** 看護局

月	日	活動内容
4月	10日	・看護局長挨拶(新年度の所感)　・昇格者挨拶　・今年度の抱負(全員) 議案１:2019年度看護局資料説明　その他　理念唱和
4月	24日	議案１:職員管理・教育管理入力について　議案２:働き方改革・ストレスチェック改善策について 議案３:大型連休スケジュールについて　議案４:患者総合支援センター組織図について　その他:５月人事異動検査課マニュアル変更・リスク事例について看護師長会会計報告・今年度当番について看護業績集・病院年報の依頼について
5月	8日	＊管理事例発表　議案１:人事評価・管理ラダーについて　議案２:職員管理について　議案３:超過勤務について その他:看護研究発表会について　がん看護研修について　第６地区支部総会について　湖北がんフォーラム職員派遣について PCAポンプについて滋賀の療養情報
5月	22日	＊管理事例発表　議題１:会議・委員会年間計画の発表　議題２:リリーフ調整の途中経過について その他:管理要約について、年次取得一覧表説明、看護研究のお知らせ
6月	12日	＊管理事例発表　議案１:リハビリワーク取り決め事項―役職支援の手引きより　議案２:コスト伝票の操作と運用 議案３:目標管理事前アンケートについて　その他:患者総合支援センター業務分掌　企画運営会議説明
6月	26日	議案１:リハビリワーク取り決め事項―役職支援の手引きより　議案２:日本看護協会・滋賀県看護協会事業について　議案３:記録に関することリリーフ体制についてGWその他:・教育協力費 監査報告　・有資格者職務記述書発表・7月人事異動・意向調査・公的機関などのへの派遣を命じられた職員の取り扱い等について
7月	10日	＊管理事例発表　議案１:大規模改修工事後のナースステーションレイアウトについて　議案２:リリーフ体制について GW議案３:記録監査に関すること　その他:労働基準監督署監査結果 接遇等について
7月	24日	議案１:人事評価と職務記述書について　議案２:ナースステーションレイアウト案について　議案３:事業計画について 議案４:医療機器整備計画について
9月	11日	＊管理事例発表　議案１:湖北ルールアンケート結果について　議案２:大規模災害など防災計画について 案３:労働基準監督署訪問結果について　議案４:効果的な病床管理運用について意見交換グループワーク その他:人事評価(中間期)について持参薬の持ち込み日数についてアンケート依頼
9月	25日	議案１:病棟における麻薬管理について　議案２:効果的な病床管理運用について　議案３:今後のスケジュールについて その他
10月	9日	＊管理事例発表　議案１:大規模改修工事移動準備について　議案２:超過勤務マニュアルについて 議案３:身だしなみチェックについて　議題４:企画運営会議の報告 その他:10月の人事について　労働組合研修について　交通安全について
10月	23日	議案１:特定行為研修について　議案２:医療立ち入り検査について　議案３:リスク事例について自己申告書について 議案４:目標管理(中間報告)　その他:ICLSについて
11月	13日	＊管理事例発表　議案１:点滴抜針忘れ今後の対策案について　議案２:超過勤務今後の対策について 議案３:排尿指導料について
11月	20日	議案１:保健所医療機関立入検査について　議案２:超過勤務今後の対策について(GWのまとめ)
12月	11日	＊管理事例発表　議案１:マニュアルについて　議案２:保健所医療機関立入検査結果について　議案３:超過勤務について労働基準監督署報告内容今後の対策について(タイムスタデイ)　議案４:目標管理について(中間報告と次年度のスケジュール)
12月	25日	議案１:救急ベッド運用について　議案２:任用制度の応募者の確認事項について　議案３:超過勤務について　議案４:リネンの取り扱いについて　議案５:他施設看護師長研修について　その他:IT推進検討会　年末年始について　１月人事異動発表
1月	8日	＊管理事例発表　議案１:院長の訓示　議案２:令和２年度目標管理に向けて　議案３:2019年度目標管理結果　目標管理推進委員
1月	15日	議案１:次年度の目標管理について
1月	22日	議案１:次年度の目標管理について
1月	29日	議案１:次年度の目標管理について
2月	5日	＊管理事例発表　議案１:標準看護計画について　議案２:看護師長研修実践報告(野一色、服部、毛利、新木)１人８分程度 議案３:次年度の目標管理について(別紙参照)
2月	12日	議案１:2020年度新人看護職員研修について　議案２:次年度の目標管理について
2月	19日	議案１:次年度の目標管理について
2月	26日	議案１:次年度の目標管理について(決定報告)　議案２:次年度の会議・委員会案について　議案３:コロナウイルスについて
3月	11日	＊管理事例発表お知らせ:心理相談マニュアルの一部変更　議案１:コロナウイルス関連について　議案２:病床編成(４／５月)について　議案３:診療報酬改定における留意点について　その他:転倒転落事故発生確認時記録・事故経時記録入力手順について　地方公務員として副業禁止、懇話会研修助成金について　療養病棟・地域包括ケア病棟の１病棟化について ４月の勤務予定表について

看護局 継続看護検討会	入院時から患者や家族が安心して在宅に移行できるよう支援し円滑な地域連携を目指す	
委員長 看護科長補佐 北村文代	**委員名** 奥野悠美、村田理恵子、中嶌ゆき、村上純子、土田昌美、野村規久子、中川栄子、茅野愛子、池田差代子、筒井由起、小野ひとみ、小尾野恵実、青山美穂子、小谷恵、入江桃好	**事務局** 看護局

活動方針

多職種と連携し、個々に応じた看護実践ができる

1）外来・病棟・入院支援・退院支援が連携し、地域へ繋げることができる　継続看護患者情報用紙の定着

2）地域も含めた多職種が関わり、患者家族の要望を取り入れた入院支援ができる　湖北ルールの周知徹底
多職種を交えた院外研修会の支援

会議開催日　6月27日、9月26日、11月28日

活動内容

・事例検討会実績　第１回事例検討会（当院）　７月22日、第２回事例検討会（長浜日赤）　９月９日
第３回事例検討会（長浜日赤）　11月18日、第４回事例検討会（当院）　1月20日

・継続看護患者情報用紙の運用実績
前半：148件中往復137件で92.6%　後半：137件中往復123件で89.8%

継続看護患者情報用紙については、できるだけスムーズに活用でき連携できるよう、システムの問題点や用紙の検討を行った。次年度へ向けて修正済み。院外の研修受講については、参加者の意識やタイミングもあり目標値は達成できなかった。次年度も継続して働きかけていく。

看護局 看護基準検討会	提供する看護を一定の基準に保障するために、看護基準・看護手順の作成や見直しを行う。また、個々の職員が活用し実践しているか監査し指導する。	
委員長 看護科長補佐 大野佐代子	**委員名** 北村裕美子、池田優子、木村綾香、八田頼卓、奥村香苗、大野麻里、森美咲、岩井千尋、岩田純香、田中篤司、名倉朋代、葛城綾那、森田静香、浅山大貴、西脇直美、福山史郎	**事務局** 看護局

活動内容

活動計画

1．電子カルテ更新後の標準看護計画の適切な運用

2．ナーシングスキルを使用した看護手順・検査手順活用推進への整備

会議開催日：6月26日　10月23日　1月28日

電子カルテ更新後看護の実践の記録が見えない等の意見があった。標準看護計画の看護実践の評価　カンファレンスが十分にできていない状況があり、初期カンファレンス、1週間評価、1週間カンファレンスの定着を提案した。ナーシングスキルを使用した看護手順検査手順の活用に向け当院の看護手順の追記が必要なものについて整備。4月実施に向け新人教育と協議を進めた。

看護局 看護記録検討会	実践した看護を記録に反映させるために、記録の書式検討や省略化を推進し、記録の有効な活用をはかる。また、基準に沿って監査し看護記録の向上を図る。	
委員長 看護科長補佐 北川真由美	**委員名** 小野千鶴、坂上由樹、森鈴子、大杉妙華穂、 井上美由起、中村和世、宮川都、津田絢野、 江原千尋、福本雅子、堀居祥代、児玉歩美、西川研吾、 谷良美、西村亜矢子、井益奈留実、柏本真奈美	**事務局** 看護局

活動内容

活動計画

1.看護記録の動画を視聴し、各委員による院内記録マニュアルの周知を行い、より質の高い看護記録ができる
2.入院診療計画書に基づいた看護実践の記録ができ、看護の均一化、質の向上に繋げられる
3.看護実践に即した重症度、医療・看護必要度の正しい記録と評価ができる

会議開催日： 5月18日　9月24日　12月24日

今年度も記録監査を２ヶ月に１回実施していきＢ項目以上100%になるように記録マニュアルの周知や記録監査表から改善していく点や問題点を抽出、各病棟において学習会の開催し、改善に向けて学習会を実施、実践した看護が記録に反映出来るように努めることができた。また看護必要度の適切な評価や記録が出来るように各記録委員へ伝達講習を行い、適正な評価ができるように働きかけることができた。
次年度も、実践した看護の記録ができ、より質の高い看護記録ができるように、活動していく。

看護局 看護師定着・確保 検討会	１．職員のモラル効用を目的に、身だしなみや接遇改善をする。 ２．職員の満足度向上を目的に、勤務体制を見直し長時間労働の改善を図る。 ３．職員確保を目的に、情報システムの見直しをする。	
委員長 看護主幹 山田みか	**委員名** 澤千歌、林美希、清水善子、伊藤匡人、山口正博、 小林愛、松橋由香、鈴木祥平、木村亜貴江、高山しず香、 辻勝彦、北村健宏、北川翔一、上野博司、久保田照巳、 遠藤美希、山岸美紀、西村智恵美	**事務局** 看護局

活動方針

1.職場における接遇・身だしなみの必要性を理解して、主体的に接遇・身だしなみの改善に取り組める
2.超過勤務の削減に向けて一人一人が意識的に行動できる。
3.職員確保に繋がるように看護局に関する情報を効果的な媒体によって発信できる

活動内容

６月 ４日　2019年度活動方針・計画の説明、接遇事例検討「療養環境」、ホームページ関連
10月10日　部署での接遇改善活動の報告・共有、接遇事例検討「望ましい病院職員の姿」の明確化、改善策の実施
２月13日　部署活動の発表、次年度課題の明確化

年間を通じて各部署での接遇事例検討・改善活動を中心に展開し、会議では活動内容の共有を行った。

その他の活動

病院見学＆説明会の開催：４月５月６月計３回実施
インターンシップの受け入れ：夏季休暇中31名実施

看護局 教育委員会	看護の質の向上をめざして、看護職員が専門職業人として生涯にわたる能力開発とキャリア開発を支援するために教育研修の企画・運営・評価を行う。	
委員長 看護科長補佐 中村寛子 看護主任 山田みか（Ｉｂ）	**委員名** 中川由紀、阪東美加、辻美春、清水満子、森中かおり、東野千佳、谷口翠、川瀬智代、伊吹理子、辻野裕美子、玉井恵美、鍋島みゆき、尚永亜希子、西堀正樹、畑澤留美、井上弘美、世森直子	**事務局** 看護局

活動方針

1．スタッフが他職種と連携し、個々に応じた看護実践ができるよう、委員会活動を通して教育的支援を行うことができる。
2．病棟教育委員は、病棟スタッフが各レベルの課題を達成できるよう、動機づけや進捗状況の確認を行う目的で、計画的な面接が実施できる。
3．病棟教育委員は、各レベルの評価や研修が、対象者にとって看護実践に活かせる学習機会となるよう、アセスメント能力・看護実践能力が高まるOJT等を活用した学習の場を提供することができる。

活動内容

5月 10日　【全体会】令和元年度委員会組織体制、病棟教育委員の役割について説明　各レベル別、看護研究委員会の企画会議
6月　7日　【中央委員会】看護過程・事例検討シートに関する共有、面接などk病棟教育委員活動に関する課題共有、各レベルの研修企画に関する報告・共有
7月　5日　【全体会】各企画委員からの報告、全体協議。中央委員会からの報告。ラダー項目履修期限（3年）に関する協議。各レベル別、看護研究委員会の企画会議
9月　6日　【全体会】各企画委員からの報告、全体協議。レベルⅢ・ケースレポートの進め方について確認。各レベル別、看護研究委員会の企画会議
10月　4日　【中央委員会】活動評価表、面接シートの活用状況について共有。各レベル研修の進捗状況と課題について共有。
11月　1日　【全体会】各企画委員からの報告、全体協議。他者評価に向けた課題共有。各レベル別、看護研究委員会の企画会議
12月　6日　【中央委員会】最終評価～提出までの日程・提出対象・手段について。次年度ラダー改訂におけるツール改善点。
1月 10日　【全体会】各企画委員からの報告、全体協議。次年度に向けた課題協議。各レベル別、看護研究委員会の企画会議
2月　7日　【中央委員会】全体評価、ジェンドクリニカルラダーに関する協議。
3月　6日　【中央委員会】最終評価、次年度に向けた課題について。ラダー評価。

看護局 固定リーダー会	チームリーダー業務および役割を通して問題を提起し、解決を図る共にスタッフの質の向上とリーダーの自己啓発を推進する。	
委員長 看護係長 伊藤雅子	**委員名** 宮部美香、久保田哲子、岩佐由里子、山田和幸、山本徹、福原優子、堀真奈美、森真紀、伊藤亮子、筒井寛一、山口由貴、杉山加奈、川越沙織、高木陽平、椋田涼子、冨田悠	**事務局** 看護局

活動内容

6月18日　委員会の目的・目標・活動計画、コテリ評価表、事例検討用紙、部署別活動一覧表について説明
効果的な事例検討・多職種カンファレンス実施に向けた今年度の取り組みについて発表・共有
9月17日　効果的なチーム運営に対する実践内容、課題、及び解決策の共有　ポートフォリオの介入について
11月19日　多職種カンファレンス・事例検討会時に固定リーダーとして介入したスタッフ育成の場面共有
後期取り組み目標発表
2月25日　活動発表会

看護局 主任会	①看護実践の責任者として資質を高め、現場の問題解決に積極的に取り組み職場の活性化を図る。 ②医療監査における問題抽出と解決	
委員長 看護科長補佐 宮部照美	**委員名** 中川由紀、中嶌ゆき、鍋里実、大塚かおり、坪井和子、前川幸代、中川栄子、河嶋智子、赤井明美、辻勝彦、依田百代、尚江亜希子、沖田小百合、小川由美子、井上弘美、北村美幸、山田みか	**事務局** 看護局

活動内容

活動計画

①－１.レベル３～４スタッフのリーダーチェックリスト(夜勤リーダー･指示受け)を活用し、スタッフ育成に努める
①－２.看護職員の積極的な リリーフ実践ができるように体制を整える
①－３.看護補助者の教育担当者としての関わりを通して看護補助者の実践力向上を目指す

②現場での問題抽出と解決策について検討できる

会議開催日：5月21日　7月16日　10月15日　12月17日

３つの活動グループに分かれて展開を行った。①－１目標管理１の看護実践能力の向上をめざすという目標に沿ってリーダーチェックリストの作成と対象スタッフに対して計画的なチェックを行った。進捗では５～６割程度の達成度で継続が必要となった。①－２リリーフ体制については支援する側と受ける側の体制を整えることでその必要性の理解や協力体制が定着しつつある。①－３補助者研修は計画に沿って実施できている。感染と医療安全研修の受講方法を変え、受講できない場合にはナーシングスキル視聴や伝達研修を促進し急性期病棟では100%受講できた。また、②では主任の視点で現場を俯瞰的に観察し課題を抽出し解決に導けた事例について、会議の中で共有することができた。

看護局 新人看護職員 研修委員会	新人看護職員の安全な臨床実践能力の獲得、専門職業人としての成長、生涯にわたり自己研鑽の姿勢を習得できる体制と研修評価を協議する	
顧問 看護主幹　山田みか **委員長** 立松恵	**委員名** 伊吹誠子、平井法恵、斎藤美保、渡良子、小川景子、大町衣里子、外村里奈、鹿取美紀	**事務局** 看護局

活動内容

4月18日　新人指導状況の共有、新人担当者からの新人状況の報告、指導上困っていることについて検討、各グループの活動計画立案
5月16日　新卒指導進捗状況の共有、指導上の困難点･課題についての検討、6月研修指導案の確認、教育担当者1ヶ月の振り返り
6月20日　新卒指導進捗状況の共有、指導上の困難点･課題についての検討、5月研修実施報告、6･7月研修計画共有、7月指導者研修計画共有
7月18日　新卒指導進捗状況の共有、指導上の困難点･課題についての検討、6月研修実施報告･9月研修指導案の確認、7月指導者研修報告
9月18日　新卒指導進捗状況の共有、指導上の困難点･課題についての検討、7月研修実施報告･10月研修指導案の確認
10月17日　新卒指導進捗状況の共有、指導上の困難点･課題についての検討、9月研修実施報告･11月研修指導案の確認、11月指導者研修計画共有　ツール進行状況報告
11月21日　新卒指導進捗状況の共有、指導上の困難点･課題についての検討、11月研修実施報告･12月研修指導案の確認、11月指導者研修報告
12月19日　新卒指導進捗状況の共有、指導上の困難点･課題についての検討、11月研修実施報告、12月･1月研修指導案の確認　ナーシングスキル移行に伴う合格基準･技術チェック方法等について検討
1月16日　年間研修の全体評価、次年度研修計画案の共有、12月研修実施報告、3月指導者研修計画共有
2月20日　1月研修実施報告、レベルＩＡツール評価の実施、次年度の新人看護職員研修、看護技術研修方法について協議

V　経営状況

1．令和元年度決算状況

（1）経営収支比較

（単位：千円）

区分		令和元年度	平成30年度	増減	増減率
		千円	千円	千円	%
収入	1 入院収益	7,992,889	8,047,044	△ 54,155	99.3
	入院診療収入	7,791,307	7,825,150	△ 33,843	99.6
	給食料収入	201,582	221,894	△ 20,312	90.8
	2 外来収益	4,040,850	3,714,456	326,394	108.8
	3 その他医業収益	198,799	187,231	11,568	106.2
	4 受取利息配当金	7,676	21,480	△ 13,804	35.7
	5 補助金	26,289	24,315	1,974	108.1
	6 負担金交付金	762,220	787,108	△ 24,888	96.8
	7 院内保育所収益	4,961	5,144	△ 183	96.4
	8 訪問看護ステーション収益	84,535	81,433	3,102	103.8
	9 長期前受金戻入	36,761	48,574	△ 11,813	75.7
	10 その他医業外収益	100,973	118,552	△ 17,579	85.2
	収入合計	13,255,953	13,035,337	220,616	101.7
支出	11 給与費	6,864,146	7,032,798	△ 168,652	97.6
	給料	2,437,109	2,403,081	34,028	101.4
	諸手当	1,932,843	1,903,906	28,937	101.5
	賃金	1,114,308	1,069,785	44,523	104.2
	その他	1,379,886	1,656,026	△ 276,140	83.3
	12 材料費	3,478,552	3,368,310	110,242	103.3
	薬品費	1,831,199	1,700,334	130,865	107.7
	診療材料費	1,525,685	1,557,274	△ 31,589	98.0
	給食材料費	99,964	96,622	3,342	103.5
	医療消耗備品費	21,704	14,080	7,624	154.1
	13 経費	1,513,727	1,529,676	△ 15,949	99.0
	14 支払利息及び企業債取扱諸費	192,404	213,629	△ 21,225	90.1
	15 長期前払消費税償却	23,518	23,518	0	100.0
	16 院内保育所費	39,850	39,623	227	100.6
	17 訪問看護ステーション費	89,971	78,178	11,793	115.1
	18 その他の支出	1,436,430	1,468,622	△ 32,192	97.8
	支出合計	13,638,598	13,754,354	△ 115,756	99.2

（2）貸借対照表

（令和2年3月31日）

借方			貸方	
科目	金額		科目	金額
		円		円
固定資産		14,060,604,252	固定負債	11,917,636,994
有形固定資産		13,732,416,139	企業債	9,359,682,773
土地		2,975,507,175	引当金	2,557,954,221
建物	19,186,030,201		退職給付引当金	2,432,609,689
建物減価償却累計額	△ 10,872,779,974	8,313,250,227	修繕引当金	125,344,532
構築物	669,081,006		流動負債	3,324,072,556
構築物減価償却累計額	△ 398,789,043	270,291,963	企業債	1,272,670,337
器械及び備品	6,524,640,003		未払金	1,543,861,680
器械及び備品減価償却累計額	△ 4,355,639,225	2,169,000,778	引当金	450,785,177
車両	27,379,633		その他流動負債	56,755,362
車両減価償却累計額	△ 23,013,637	4,365,996	繰延収益	497,083,497
投資		328,188,113	長期前受金	1,373,624,365
長期貸付金		77,161,814	収益化累計額	△876,540,868
長期前払消費税		227,675,299	資本金	9,360,908,390
その他投資		23,351,000	剰余金	△5,127,370,234
流動資産		5,911,726,951	資本剰余金	68,703,152
現金預金		2,741,797,404	欠損金	5,196,296,386
未収金		2,234,610,905	減債積立金	168,300,000
貸倒引当金		△4,280,479	建設改良積立金	1,313,000,000
有価証券		899,860,000	当年度未処理欠損金	6,677,596,386
貯蔵品		39,739,121		
合計		19,972,331,203	合計	19,972,331,203

（3）経営状況①

（単位：千円）

決算状況	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
総収益	13,255,952	13,035,337	12,598,221	12,568,246	12,684,022	12,840,304
経常収益	13,255,952	13,035,337	12,598,221	12,568,246	12,684,022	12,840,304
医業収益	12,232,538	11,948,730	11,480,357	11,790,257	11,809,909	11,875,096
料金収入	12,033,739	11,761,499	11,299,561	11,606,891	11,610,119	11,660,546
他会計繰入金	762,220	787,108	827,356	481,595	493,145	565,604
特別利益	0	-	-	-	-	-
総費用	13,638,598	13,754,354	13,651,837	13,636,784	13,646,898	15,392,378
経常費用	13,638,598	13,754,354	13,651,837	13,556,820	13,509,737	13,158,577
医業費用	12,810,276	12,881,372	12,865,366	12,696,420	12,598,775	12,212,413
職員給与費	6,864,146	7,032,799	7,001,285	6,834,349	6,881,184	6,538,828
材料費	3,478,552	3,368,310	3,287,139	3,317,606	3,368,663	3,337,115
減価償却費	910,623	799,563	1,027,568	968,225	759,617	871,347
支払利息	192,404	213,629	236,433	259,204	277,612	297,472
特別損失	0	0	0	79,964	137,161	2,233,801
純損益	△ 382,646	△ 719,017	△ 1,053,616	△ 1,068,538	△ 962,876	△ 2,552,074
累積欠損金	6,677,596	6,294,950	5,575,933	4,522,317	3,453,779	2,490,904

経営状況②

経営指標			令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
総収支比率％			97.19	94.77	92.28	92.16	92.94	83.42
経常収支比率％			97.19	94.77	92.28	92.71	93.89	97.58
医業収支比率％			95.49	92.76	89.23	92.86	93.74	97.24
他会計繰入金対医業収益比率％			6.23	6.59	7.21	4.08	4.18	4.76
職員給与費対医業収益比率％			56.11	58.86	60.98	57.97	58.27	55.06
材料費対医業収益比率％			28.44	28.19	28.63	28.14	28.52	28.10
病床数（年度末現在）	一般		600	600	600	616	616	624
	結核精神伝染							
	計		600	600	600	616	616	624
病床利用率％			63.7	62.7	61.5	63.9	65.0	63.9
入院患者数（人）	年延数		139,885	137,118	134,642	143,639	146,568	145,606
	1日平均		382	376	369	394	400	399
外来患者数（人）	年延数		219,061	225,436	238,871	251,136	262,439	271,703
	1日平均		909	924	979	1,033	1,080	1,114
外来入院比率％			156.60	164.41	177.41	174.84	179.06	186.60
職員1人1日当たり患者数（人）	医師	入院	3.9	4.2	4.2	4.3	4.5	4.3
		外来	9.3	10.4	11.3	11.2	12.3	12.0
	看護師	入院	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8
		外来	1.8	1.8	1.9	2.0	2.1	2.1
患者1人1日当たり診療収入（円）	入院		57,139	58,687	56,948	55,809	54,726	55,390
	外来		18,446	16,477	15,205	14,297	13,676	13,233
100床当たり職員数（人）	医師		16.3	14.8	14.5	14.9	14.3	14.9
	看護部門		82.7	85.0	86.5	84.9	84.1	84.0
	全職員		165.5	166.5	167.5	165.9	163.0	163.1
診療収入（千円）	入院		7,992,889	8,047,043	7,667,619	8,016,335	8,021,068	8,065,161
	外来		4,040,850	3,714,456	3,631,942	3,590,556	3,589,051	3,595,385

（4）資本的収入及び支出（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

収　　入

区　　分	予算額					
	当初予算額	補正予算額	小　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費逓次繰越額に係る財源充当額	合　計
長浜病院	円	円	円	円	円	円
第１款　資本的収入	2,197,927,000	△60,000,000	2,137,927,000	0	0	2,137,927,000
第１項　企　業　債	1,748,000,000	△60,000,000	1,688,000,000	0	0	1,688,000,000
第２項　出　資　金	442,887,000	0	442,887,000	0	0	442,887,000
第３項　補　助　金	2,500,000	0	2,500,000	0	0	2,500,000
第４項　寄　附　金	10,000	0	10,000	0	0	10,000
第５項　投資返戻金	4,530,000	0	4,530,000	0	0	4,530,000

決算額	予算額に比べ決算額の増減	備　考
円	円	
1,971,392,000	△166,535,000	
1,522,400,000	△165,600,000	
442,887,000	0	
223,000	△2,277,000	
600,000	590,000	
5,282,000	752,000	

支　　出

区　　分	予算額						
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合　計
長浜病院	円	円	円	円	円	円	円
第１款　資本的支出	3,165,231,000	△60,000,000	0	3,105,231,000	20,952,000	0	3,126,183,000
第１項　建設改良費	1,804,707,000	△60,000,000	0	1,744,707,000	20,952,000	0	1,765,659,000
第２項　企業債償還金	1,336,534,000	0	0	1,336,534,000	0	0	1,336,534,000
第３項　投　　資	23,980,000	0	0	23,980,000	0	0	23,980,000
第４項　補助金消費税返還金	10,000	0	0	10,000	0	0	10,000

資本的収入額が資本的支出額に不足する額928,532,368円は、損益勘定留保資金で補てんした。

決算額	翌年度繰越額			不用額	備　考
	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合　計		
円	円	円	円	円	円
2,899,924,368	162,248,800	0	162,248,800	64,009,832	
1,582,409,673	162,248,800	0	162,248,800	21,000,527	(119,689,213)
1,309,123,035	0	0	0	27,410,965	
8,391,660	0	0	0	15,588,340	
0	0	0	0	10,000	

（　　）は、仮払消費税

Ⅵ　各種統計資料

1．患者状況

（1）一般病棟科別入院患者数

診療科名	令和元度初 人	入院 人	転科増減 人	退院 人	令和元度末 人	延患者数 人	一日平均 人	比率 %	在院日数 日
内科	30	941	-40	899	32	12,966	35.4	12.1	14.1
神経内科	4	84	-5	79	4	1,713	4.7	1.6	21.0
呼吸器内科	29	771	-16	755	29	11,807	32.3	11.1	15.5
消化器内科	16	1,184	-58	1,116	26	10,258	28.0	9.6	8.9
循環器内科	33	1,300	-52	1,250	31	12,407	33.9	11.6	9.7
小児科	0	113	0	113		420	1.2	0.4	3.7
外科	28	548	26	587	15	7,409	20.2	6.9	13.1
呼吸器外科	11	322	9	337	5	3,002	8.2	2.8	9.1
整形外科	47	855	-43	818	41	18,264	49.9	17.1	21.8
形成外科	2	20	0	22		239	0.7	0.2	11.4
脳神経外科	34	542	-71	471	34	14,179	38.7	13.3	28.0
心臓血管外科	9	288	-2	284	11	2,979	8.1	2.8	10.4
泌尿器科	7	377	-1	383		2,076	5.7	1.9	5.5
産婦人科	7	484	0	485	6	3,191	8.7	3.0	6.6
眼科	2	590	-2	586	4	1,081	3.0	1.0	1.8
耳鼻咽喉科	6	199	-8	194	3	1,377	3.8	1.3	7.0
ﾘｳﾏﾁ膠原病内科	5	75	9	85	4	3,036	8.3	2.8	38.0
歯科･歯科口腔外科	1	219	0	217	3	437	1.2	0.4	2.0
合計	271	8,912	-254	8,681	248	106,841	291.9	100	12.1

１日平均患者数は、診療日数 366 日で除しています。
表には、人間ドックは含んでいません。
在院日数は、延患者数 /（入院＋退院）×２で算出しています。
療養病棟は、含んでいません（(２）で掲載)。

（2）療養病棟科別入院患者数

診療科名	令和元度初 人	入院 人	転入 人	転出 人	退院 人	令和元度末 人	延患者数 人	一日平均 人	比率 %	在院日数 日
内科	8	52	10	2	61	7	3,466	9.5	14.4	55.5
神経内科	1		8	1	6	2	525	1.4	2.2	70.0
呼吸器内科	7		27		32	2	1,352	3.7	5.6	45.8
消化器内科	2		36		32	6	1,637	4.5	6.8	48.1
循環器内科	5		22	1	21	5	1,099	3.0	4.6	50.0
外科	3		5		8		680	1.9	2.8	104.6
呼吸器外科	2		6		8		681	1.9	2.8	97.3
整形外科	9	14	62	4	70	11	4,729	12.9	19.7	63.1
脳神経外科	23	39	89	13	116	22	9,543	26.1	39.8	74.3
耳鼻咽喉科			1		1		64	0.2	0.3	64.0
産婦人科	1		5		6		150	0.4	0.6	27.3
泌尿器科	1		4		4	1	83	0.2	0.4	20.8
合計	62	105	275	21	365	56	24,009	65.6	100	62.7

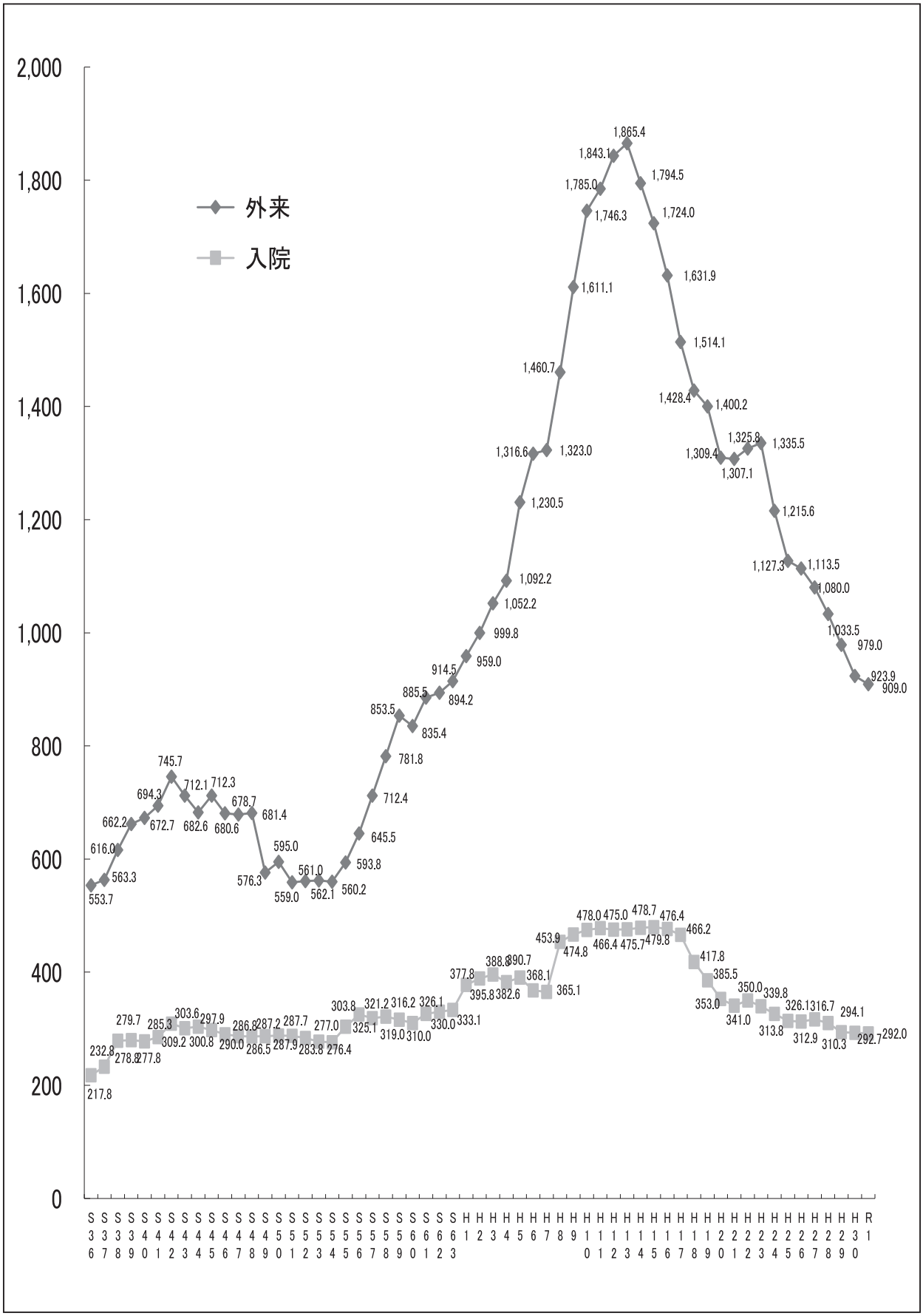
１日平均患者数は、診療日数 366 日で除しています。
在院日数は、延患者数 /（入院 + 転入 + 退院 + 転出）×２で算出しています。

（3）科別外来患者数

診療科名	新来患者数 人	一日平均 人	再来患者数 人	一日平均 人	延患者数 人	一日平均 人	比　率 %
内　　科	3,015	12.5	43,706	181.4	46,721	193.9	21.3
神経内科	649	2.7	3,871	16.1	4,520	18.8	2.1
呼吸器内科	1,170	4.9	10,523	43.7	11,693	48.5	5.3
消化器内科	1,971	8.2	9,440	39.2	11,411	47.3	5.2
循環器内科	936	3.9	18,494	76.7	19,430	80.6	8.9
小児科	212	0.9	2,161	9.0	2,373	9.8	1.1
外　　科	986	4.1	9,996	41.5	10,982	45.6	5.0
呼吸器外科	245	1.0	3,240	13.4	3,485	14.5	1.6
整形外科	1,474	6.1	28,398	117.8	29,872	124.0	13.6
形成外科	500	2.1	1,977	8.2	2,477	10.3	1.1
脳神経外科	816	3.4	4,438	18.4	5,254	21.8	2.4
心臓血管外科	302	3.1	3,324	33.9	3,626	37.0	1.7
皮膚科	580	2.4	2,326	9.7	2,906	12.1	1.3
泌尿器科	586	2.4	5,223	21.7	5,809	24.1	2.7
産婦人科	636	2.6	10,882	45.2	11,518	47.8	5.3
眼　　科	702	2.9	9,692	40.2	10,394	43.1	4.7
耳鼻咽喉科	1,047	4.3	10,377	43.1	11,424	47.4	5.2
放射線科	1,395	5.8	5,983	24.8	7,378	30.6	3.4
麻酔科	74	1.5	2	0.0	76	1.6	0.0
ﾘｳﾏﾁ膠原病内科	324	1.3	7,118	29.5	7,442	30.9	3.4
歯科･歯科口腔外科	1,548	6.4	8,722	36.2	10,270	42.6	4.7
救急科	199	0.5					
合　　計	19,367	80.4	199,893	829.4	219,061	909.0	100

ただし、心臓血管外科は、火曜日、金曜日の外来診療日数 98 日で除しています。
麻酔科は、火曜日の外来診療日 49 日で除しています。
救急科は、診療日 366 日で除しています。
一日平均患者数は、診療日数 241 日で除しています。
新来患者数は、当該診療科を初めて受診した患者数で示しています。

（4）入院外来患者数の年次推移（一般病棟）



（5）－1　入院地域別患者数（600 床）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	627	731	636	670	612	565	586	627	562	586	612	680	7,494
六荘地区	841	897	948	850	880	911	853	880	803	870	836	700	10,269
南郷里地区	546	492	531	681	673	625	667	594	650	795	619	513	7,386
神照地区	870	891	856	941	1,048	914	1,001	825	776	897	636	601	10,256
北郷里地区	428	398	455	476	542	462	404	529	634	423	377	607	5,735
西黒田地区	307	210	223	107	69	205	171	186	153	139	210	250	2,230
神田地区	146	190	113	222	227	143	116	128	108	92	181	180	1,846
旧浅井町	628	619	602	592	669	647	804	776	515	611	497	567	7,527
旧虎姫町	324	390	549	334	410	246	273	182	284	402	290	347	4,031
旧湖北町	296	312	349	462	511	374	432	487	634	437	529	583	5,406
旧びわ町	275	258	299	431	361	429	382	356	357	338	364	314	4,164
旧高月町	424	460	336	528	565	477	487	498	429	391	382	463	5,440
旧木之本町	297	382	409	489	491	539	517	453	553	435	422	388	5,375
旧余呉町	187	135	199	221	239	212	206	240	338	195	228	142	2,542
旧西浅井町	255	300	239	234	255	144	176	271	242	204	172	114	2,606
計　長浜市	6,451	6,665	6,744	7,238	7,552	6,893	7,075	7,032	7,038	6,815	6,355	6,449	82,307
(%)	60.8	60.8	62.5	65.1	65.7	66.7	63.7	63.4	63.1	61.6	59.5	61.5	62.9
旧山東町	781	797	872	1,018	870	766	930	1,007	968	1,003	1,022	877	10,911
旧伊吹町	372	239	346	266	238	205	262	339	243	272	340	387	3,509
旧米原町	954	839	682	635	868	721	1,090	961	948	1,004	972	886	10,560
旧近江町	817	917	738	839	917	742	647	762	722	650	757	772	9,280
計　米原市	2,924	2,792	2,638	2,758	2,893	2,434	2,929	3,069	2,881	2,929	3,091	2,922	34,260
(%)	27.6	25.5	24.5	24.8	25.2	23.5	26.4	27.7	25.9	26.5	29.0	27.9	26.2
彦 根 市	701	862	964	743	706	626	667	621	791	752	615	637	8,685
(%)	6.6	7.9	8.9	6.7	6.1	6.1	6.0	5.6	7.1	6.8	5.8	6.1	6.6
そ の 他	379	390	263	258	203	263	359	246	281	366	448	361	3,817
(%)	3.6	3.6	2.4	2.3	1.8	2.5	3.2	2.2	2.5	3.3	4.2	3.4	2.9
県内合計	10,455	10,709	10,609	10,997	11,354	10,216	11,030	10,968	10,991	10,862	10,509	10,369	129,069
(%)	98.5	97.7	98.4	98.9	98.8	98.8	99.3	98.9	98.6	98.2	98.5	98.9	98.6
県外合計	158	247	175	118	135	123	74	119	154	204	163	111	1,781
(%)	1.5	2.3	1.6	1.1	1.2	1.2	0.7	1.1	1.4	1.8	1.5	1.1	1.4
総 合 計	10,613	10,956	10,784	11,115	11,489	10,339	11,104	11,087	11,145	11,066	10,672	10,480	130,850
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度2018年度	10,173	10,904	10,955	11,349	10,793	9,906	10,746	10,714	10,470	10,576	10,545	11,554	128,685

＊療養は含まれています。
＊ドックは含まれていません。

（5）－2　入院地域別患者数（496 床）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	501	539	425	547	513	442	400	440	355	383	400	444	5,389
六荘地区	680	806	856	779	811	823	786	780	667	741	690	537	8,956
南郷里地区	456	385	403	523	466	391	435	395	526	749	588	513	5,830
神照地区	679	720	700	744	780	724	837	637	577	752	556	578	8,284
北郷里地区	352	297	321	295	396	351	257	376	526	339	319	486	4,315
西黒田地区	277	155	145	64	63	177	171	186	153	120	210	227	1,948
神田地区	116	159	83	184	168	106	104	112	105	92	181	180	1,590
旧浅井町	502	522	523	440	529	572	717	673	425	492	368	424	6,187
旧虎姫町	214	324	455	227	312	164	191	150	248	356	256	285	3,182
旧湖北町	242	236	243	362	390	278	365	409	517	328	415	470	4,255
旧びわ町	177	184	224	370	299	381	374	330	320	276	302	258	3,495
旧高月町	403	394	272	435	464	376	420	387	305	282	320	370	4,428
旧木之本町	237	312	359	458	436	417	364	353	448	356	338	313	4,391
旧余呉町	137	66	139	159	194	141	104	139	241	114	163	105	1,702
旧西浅井町	225	259	202	203	224	126	176	266	196	142	114	84	2,217
計　長浜市	5,198	5,358	5,350	5,790	6,045	5,469	5,701	5,633	5,609	5,522	5,220	5,274	66,169
(%)	59.7	59.6	61.1	63.7	63.9	65.1	63.2	62.3	61.4	60.8	60.2	62.3	61.9
旧山東町	680	728	758	876	744	586	733	838	821	781	770	632	8,947
旧伊吹町	327	208	303	220	228	205	262	339	243	262	334	345	3,276
旧米原町	761	670	547	562	804	660	942	752	757	775	685	664	8,579
旧近江町	638	675	544	602	709	613	471	613	630	610	699	681	7,485
計　米原市	2,406	2,281	2,152	2,260	2,485	2,064	2,408	2,542	2,451	2,428	2,488	2,322	28,287
(%)	27.6	25.4	24.6	24.8	26.3	24.6	26.7	28.1	26.8	26.7	28.7	27.4	26.5
彦 根 市	612	775	875	683	644	535	542	531	684	626	484	575	7,566
(%)	7.0	8.6	10.0	7.5	6.8	6.4	6.0	5.9	7.5	6.9	5.6	6.8	7.1
そ の 他	379	390	263	258	173	232	297	226	262	317	345	239	3,381
(%)	4.4	4.3	3.0	2.8	1.8	2.8	3.3	2.5	2.9	3.5	4.0	2.8	3.2
県内合計	8,595	8,804	8,640	8,991	9,347	8,300	8,948	8,932	9,006	8,893	8,537	8,410	105,403
(%)	98.7	97.9	98.6	98.9	98.8	98.8	99.2	98.7	98.7	98.0	98.5	99.3	98.7
県外合計	114	185	121	104	117	105	74	116	123	186	131	62	1,438
(%)	1.4	2.0	1.3	1.1	1.3	1.3	0.8	1.3	1.4	2.1	1.5	0.7	1.3
総 合 計	8,709	8,989	8,761	9,095	9,464	8,405	9,022	9,048	9,129	9,079	8,668	8,472	106,841
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度2018年度	8,427	9,078	9,054	9,463	9,046	8,183	9,038	8,888	8,547	8,882	8,814	9,399	106,819

＊ドックは含まれていません。

（5）－3　入院地域別患者数（療養　104 床）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	126	192	211	123	99	123	186	187	207	203	212	236	2,105
六荘地区	161	91	92	71	69	88	67	100	136	129	146	163	1,313
南郷里地区	90	107	128	158	207	234	232	199	124	46	31	0	1,556
神照地区	191	171	156	197	268	190	164	188	199	145	80	23	1,972
北郷里地区	76	101	134	181	146	111	147	153	108	84	58	121	1,420
西黒田地区	30	55	78	43	6	28	0	0	0	19	0	23	282
神田地区	30	31	30	38	59	37	12	16	3	0	0	0	256
旧浅井町	126	97	79	152	140	75	87	103	90	119	129	143	1,340
旧虎姫町	110	66	94	107	98	82	82	32	36	46	34	62	849
旧湖北町	54	76	106	100	121	96	67	78	117	109	114	113	1,151
旧びわ町	98	74	75	61	62	48	8	26	37	62	62	56	669
旧高月町	21	66	64	93	101	101	67	111	124	109	62	93	1,012
旧木之本町	60	70	50	31	55	122	153	100	105	79	84	75	984
旧余呉町	50	69	60	62	45	71	102	101	97	81	65	37	840
旧西浅井町	30	41	37	31	31	18	0	5	46	62	58	30	389
計　長浜市	1,253	1,307	1,394	1,448	1,507	1,424	1,374	1,399	1,429	1,293	1,135	1,175	16,138
(%)	65.8	66.4	68.9	71.7	74.4	73.6	66.0	68.6	70.9	65.1	56.6	58.5	67.2
旧山東町	101	69	114	142	126	180	197	169	147	222	252	245	1,964
旧伊吹町	45	31	43	46	10	0	0	0	0	10	6	42	233
旧米原町	193	169	135	73	64	61	148	209	191	229	287	222	1,981
旧近江町	179	242	194	237	208	129	176	149	92	40	58	91	1,795
計　米原市	518	511	486	498	408	370	521	527	430	501	603	600	5,973
(%)	27.2	26.0	24.0	24.7	20.1	19.1	25.0	25.8	21.3	25.2	30.1	29.9	24.9
彦 根 市	89	87	89	60	62	91	125	90	107	126	131	62	1,119
(%)	4.7	4.4	4.4	3.0	3.1	4.7	6.0	4.4	5.3	6.3	6.5	3.1	4.7
そ の 他	0	0	0	0	30	31	62	20	19	49	103	122	436
(%)	0	0	0	0	1.5	1.6	3.0	1.0	0.9	2.5	5.1	6.1	1.8
県内合計	1,860	1,905	1,969	2,006	2,007	1,916	2,082	2,036	1,985	1,969	1,972	1,959	23,666
(%)	97.7	96.8	97.3	99.3	99.1	99.1	100.0	99.9	98.5	99.1	98.4	97.6	98.6
県外合計	44	62	54	14	18	18	0	3	31	18	32	49	343
(%)	2.3	3.2	2.7	0.7	0.9	0.9	0	0.1	1.5	0.9	1.6	2.4	1.4
総 合 計	1,904	1,967	2,023	2,020	2,025	1,934	2,082	2,039	2,016	1,987	2,004	2,008	24,009
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

＊ドックは含まれていません。

（5）－4　入院地域別患者数（医療　52 床）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	25	84	133	75	77	104	125	79	99	116	145	172	1,234
六荘地区	51	0	5	9	0	0	0	41	68	39	57	68	338
南郷里地区	24	30	57	41	63	72	78	72	47	1	7	0	492
神照地区	137	93	90	93	109	79	62	60	89	94	51	3	960
北郷里地区	68	70	79	39	39	38	39	40	61	48	29	31	581
西黒田地区	30	55	78	43	0	0	0	0	0	19	0	21	246
神田地区	30	31	30	38	59	37	12	0	0	0	0	0	237
旧浅井町	96	66	35	31	31	30	31	26	0	4	29	59	438
旧虎姫町	59	35	55	62	45	30	23	10	5	0	5	24	353
旧湖北町	39	40	39	38	70	89	63	39	40	62	43	13	575
旧びわ町	38	31	25	0	0	2	0	26	31	31	33	27	244
旧高月町	0	2	2	0	0	0	2	46	62	50	33	47	244
旧木之本町	30	47	50	31	51	64	93	40	39	31	52	44	572
旧余呉町	16	20	0	0	0	11	31	30	31	31	12	0	182
旧西浅井町	0	10	30	31	31	18	0	0	0	0	0	0	120
計　長浜市	643	614	708	531	575	574	559	509	572	526	496	509	6,816
(%)	77.4	77.7	76.4	66.3	66.2	66.5	62.7	61.3	65.0	63.1	62.3	61.9	67.3
旧山東町	3	0	12	22	32	90	67	54	53	68	62	75	538
旧伊吹町	45	31	30	31	10	0	0	0	0	10	6	12	175
旧米原町	37	42	30	13	39	47	103	119	104	91	74	64	763
旧近江町	60	72	93	147	132	94	101	89	75	31	29	38	961
計　米原市	145	145	165	213	213	231	271	262	232	200	171	189	2,437
(%)	17.4	18.4	17.8	26.6	24.5	26.8	30.4	31.5	26.4	24.0	21.5	23.0	24.0
彦根市	43	31	30	46	62	40	62	60	76	93	75	62	680
(%)	5.2	3.9	3.2	5.7	7.1	4.6	7.0	7.2	8.6	11.2	9.4	7.5	6.7
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	31	56
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.1	3.8	0.6
県内合計	831	790	903	790	850	845	892	831	880	819	767	791	9,989
(%)	100	100	97.4	98.6	97.9	97.9	100	100	100	98.2	96.4	96.2	98.6
県外合計	0	0	24	11	18	18	0	0	0	15	29	31	146
(%)	0	0	2.6	1.4	2.1	2.1	0	0	0	1.8	3.6	3.8	1.4
総合計	831	790	927	801	868	863	892	831	880	834	796	822	10,135
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

（5）－5　入院地域別患者数（回復期リハビリ 52 床）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	101	108	78	48	22	19	61	108	108	87	67	64	871
六荘地区	110	91	87	62	69	88	67	59	68	90	89	95	975
南郷里地区	66	77	71	117	144	162	154	127	77	45	24	0	1,064
神照地区	54	78	66	104	159	111	102	128	110	51	29	20	1,012
北郷里地区	8	31	55	142	107	73	108	113	47	36	29	90	839
西黒田地区	0	0	0	0	6	28	0	0	0	0	0	2	36
神田地区	0	0	0	0	0	0	0	16	3	0	0	0	19
旧浅井町	30	31	44	121	109	45	56	77	90	115	100	84	902
旧虎姫町	51	31	39	45	53	52	59	22	31	46	29	38	496
旧湖北町	15	36	67	62	51	7	4	39	77	47	71	100	576
旧びわ町	60	43	50	61	62	46	8	0	6	31	29	29	425
旧高月町	21	64	62	93	101	101	65	65	62	59	29	46	768
旧木之本町	30	23	0	0	4	58	60	60	66	48	32	31	412
旧余呉町	34	49	60	62	45	60	71	71	66	50	53	37	658
旧西浅井町	30	31	7	0	0	0	0	5	46	62	58	30	269
計　長浜市	610	693	686	917	932	850	815	890	857	767	639	666	9,322
(%)	56.8	58.9	62.6	75.2	80.6	79.4	68.5	73.7	75.4	66.5	52.9	56.2	67.2
旧山東町	98	69	102	120	94	90	130	115	94	154	190	170	1,426
旧伊吹町	0	0	13	15	0	0	0	0	0	0	0	30	58
旧米原町	156	127	105	60	25	14	45	90	87	138	213	158	1,218
旧近江町	119	170	101	90	76	35	75	60	17	9	29	53	834
計　米原市	373	366	321	285	195	139	250	265	198	301	432	411	3,536
(%)	34.8	31.1	29.3	23.4	16.9	13.0	21.0	21.9	17.4	26.1	35.8	34.7	25.5
彦根市	46	56	59	14	0	51	63	30	31	33	56	0	439
(%)	4.3	4.8	5.4	1.1	0	4.8	5.3	2.5	2.7	2.9	4.6	0	3.2
その他	0	0	0	0	30	31	62	20	19	49	78	91	380
(%)	0	0	0	0	2.6	2.9	5.2	1.7	1.7	4.2	6.5	7.7	2.7
県内合計	1,029	1,115	1,066	1,216	1,157	1,071	1,190	1,205	1,105	1,150	1,205	1,168	13,677
(%)	95.9	94.7	97.3	99.8	100	100	100	99.8	97.3	99.7	99.8	98.5	98.6
県外合計	44	62	30	3	0	0	0	3	31	3	3	18	197
(%)	4.1	5.3	2.7	0.2	0	0	0	0.2	2.7	0.3	0.2	1.5	1.4
総合計	1,073	1,177	1,096	1,219	1,157	1,071	1,190	1,208	1,136	1,153	1,208	1,186	13,874
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

＊ドックは含まれていません。

（6）－1　入院年代別患者数（600 床）

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	17	28	6	15	15	24	22	52	59	24	57	70	389
(%)	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.5	0.5	0.2	0.5	0.7	0.3
1歳	0	0	0	1	0	2	0	0	3	0	0	0	6
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2歳~ 5歳	1	12	19	11	6	9	1	4	0	9	0	10	82
(%)	0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0	0	0	0.1	0	0.1	0.1
6歳~ 9歳	0	2	0	9	24	6	6	16	12	0	2	20	97
(%)	0	0	0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0	0	0.2	0.1
10歳~14歳	5	2	3	17	15	2	6	0	7	2	0	7	66
(%)	0	0	0	0.2	0.1	0	0.1	0	0.1	0	0	0.1	0.1
15歳~19歳	31	78	46	81	75	10	22	21	80	39	68	114	665
(%)	0.3	0.7	0.4	0.7	0.7	0.1	0.2	0.2	0.7	0.4	0.6	1.1	0.5
20歳~29歳	115	107	123	134	183	138	151	80	65	86	143	138	1,463
(%)	1.1	1.0	1.1	1.2	1.6	1.3	1.4	0.7	0.6	0.8	1.3	1.3	1.1
30歳~39歳	341	339	243	302	196	285	281	341	432	378	345	262	3,745
(%)	3.2	3.1	2.3	2.7	1.7	2.8	2.5	3.1	3.9	3.4	3.2	2.5	2.9
40歳~49歳	458	521	402	356	345	416	402	283	366	281	237	405	4,472
(%)	4.3	4.8	3.7	3.2	3.0	4.0	3.6	2.6	3.3	2.5	2.2	3.9	3.4
50歳~59歳	768	1,009	993	968	893	596	570	695	679	717	652	582	9,122
(%)	7.2	9.2	9.2	8.7	7.8	5.8	5.1	6.3	6.1	6.5	6.1	5.6	7.0
60歳~64歳	469	572	545	642	735	661	542	415	548	620	715	554	7,018
(%)	4.4	5.2	5.1	5.8	6.4	6.4	4.9	3.7	4.9	5.6	6.7	5.3	5.4
65歳~69歳	966	974	1,209	1,055	860	893	1,026	1,004	1,067	1,071	920	1,017	12,062
(%)	9.1	8.9	11.2	9.5	7.5	8.6	9.2	9.1	9.6	9.7	8.6	9.7	9.2
70歳~79歳	2,916	2,935	2,842	3,064	3,122	3,029	3,068	3,254	3,317	3,257	3,335	3,326	37,465
(%)	27.5	26.8	26.4	27.6	27.2	29.3	27.6	29.3	29.8	29.4	31.3	31.7	28.6
80歳~	4,526	4,377	4,353	4,460	5,020	4,268	5,007	4,922	4,510	4,582	4,198	3,975	54,198
(%)	42.6	40.0	40.4	40.1	43.7	41.3	45.1	44.4	40.5	41.4	39.3	37.9	41.4
合　計	10,613	10,956	10,784	11,115	11,489	10,339	11,104	11,087	11,145	11,066	10,672	10,480	130,850
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度2018年度	10,173	10,904	10,955	11,349	10,793	9,906	10,746	10,714	10,470	10,576	10,545	11,554	128,685

＊療養は含まれています。

（6）－2　入院年代別患者数（496 床）

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	17	28	6	15	15	24	22	52	59	24	57	70	389
(%)	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.6	0.6	0.3	0.7	0.8	0.4
1歳	0	0	0	1	0	2	0	0	3	0	0	0	6
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2歳~ 5歳	1	12	19	11	6	9	1	4	0	9	0	10	82
(%)	0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0	0	0	0.1	0	0.1	0.1
6歳~ 9歳	0	2	0	9	24	6	6	16	12	0	2	20	97
(%)	0	0	0	0.1	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1	0	0	0.2	0.1
10歳~14歳	5	2	3	17	15	2	6	0	7	2	0	7	66
(%)	0.1	0	0	0.2	0.2	0	0.1	0	0.1	0	0	0.1	0.1
15歳~19歳	31	78	46	81	75	10	22	21	80	39	48	83	614
(%)	0.4	0.9	0.5	0.9	0.8	0.1	0.2	0.2	0.9	0.4	0.6	1.0	0.6
20歳~29歳	115	107	123	134	183	138	151	80	65	86	143	138	1,463
(%)	1.3	1.2	1.4	1.5	1.9	1.6	1.7	0.9	0.7	0.9	1.6	1.6	1.4
30歳~39歳	281	302	213	271	150	203	209	281	361	285	282	213	3,051
(%)	3.2	3.4	2.4	3.0	1.6	2.4	2.3	3.1	4.0	3.1	3.3	2.5	2.9
40歳~49歳	451	521	382	325	300	409	369	269	347	244	228	399	4,244
(%)	5.2	5.8	4.4	3.6	3.2	4.9	4.1	3.0	3.8	2.7	2.6	4.7	4.0
50歳~59歳	687	922	876	821	756	488	520	636	622	676	565	470	8,039
(%)	7.9	10.3	10.0	9.0	8.0	5.8	5.8	7.0	6.8	7.4	6.5	5.5	7.5
60歳~64歳	439	481	458	582	671	616	484	326	451	552	640	460	6,160
(%)	5.0	5.4	5.2	6.4	7.1	7.3	5.4	3.6	4.9	6.1	7.4	5.4	5.8
65歳~69歳	770	754	993	859	696	749	831	768	856	878	745	901	9,800
(%)	8.8	8.4	11.3	9.4	7.4	8.9	9.2	8.5	9.4	9.7	8.6	10.6	9.2
70歳~79歳	2,344	2,418	2,411	2,637	2,645	2,474	2,522	2,751	2,841	2,743	2,787	2,780	31,353
(%)	26.9	26.9	27.5	29.0	27.9	29.4	28.0	30.4	31.1	30.2	32.2	32.8	29.3
80歳~	3,568	3,362	3,231	3,332	3,928	3,275	3,879	3,844	3,425	3,541	3,171	2,921	41,477
(%)	41.0	37.4	36.9	36.6	41.5	39.0	43.0	42.5	37.5	39.0	36.6	34.5	38.8
合　計	8,709	8,989	8,761	9,095	9,464	8,405	9,022	9,048	9,129	9,079	8,668	8,472	106,841
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度2018年度	8,427	9,078	9,054	9,463	9,046	8,183	9,038	8,888	8,547	8,882	8,814	9,399	106,819

＊ドックは含まれていません。

（6）－3　入院年代別患者数（療養　104 床）

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15歳~19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	31	51
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0	1.5	0.2
20歳~29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30歳~39歳	60	37	30	31	46	82	72	60	71	93	63	49	694
(%)	3.2	1.9	1.5	1.5	2.3	4.2	3.5	2.9	3.5	4.7	3.1	2.4	2.9
40歳~49歳	7	0	20	31	45	7	33	14	19	37	9	6	228
(%)	0.4	0	1.0	1.5	2.2	0.4	1.6	0.7	0.9	1.9	0.4	0.3	0.9
50歳~59歳	81	87	117	147	137	108	50	59	57	41	87	112	1,083
(%)	4.3	4.4	5.8	7.3	6.8	5.6	2.4	2.9	2.8	2.1	4.3	5.6	4.5
60歳~64歳	30	91	87	60	64	45	58	89	97	68	75	94	858
(%)	1.6	4.6	4.3	3.0	3.2	2.3	2.8	4.4	4.8	3.4	3.7	4.7	3.6
65歳~69歳	196	220	216	196	164	144	195	236	211	193	175	116	2,262
(%)	10.3	11.2	10.7	9.7	8.1	7.4	9.4	11.6	10.5	9.7	8.7	5.8	9.4
70歳~79歳	572	517	431	427	477	555	546	503	476	514	548	546	6,112
(%)	30.0	26.3	21.3	21.1	23.6	28.7	26.2	24.7	23.6	25.9	27.3	27.2	25.5
80歳~	958	1,015	1,122	1,128	1,092	993	1,128	1,078	1,085	1,041	1,027	1,054	12,721
(%)	50.3	51.6	55.5	55.8	53.9	51.3	54.2	52.9	53.8	52.4	51.2	52.5	53.0
合　計	1,904	1,967	2,023	2,020	2,025	1,934	2,082	2,039	2,016	1,987	2,004	2,008	24,009
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

＊ドックは含まれていません。

（6）－4　入院年代別患者数（医療　52 床）

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30歳~39歳	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	17	0	323
(%)	3.6	3.9	3.2	3.9	3.6	3.5	3.5	3.6	3.5	3.7	2.1	0	3.2
40歳~49歳	2	0	6	0	6	6	2	4	6	6	6	6	50
(%)	0.2	0	0.6	0	0.7	0.7	0.2	0.5	0.7	0.7	0.8	0.7	0.5
50歳~59歳	0	0	0	0	37	48	2	0	0	8	29	31	155
(%)	0	0	0	0	4.3	5.6	0.2	0	0	1.0	3.6	3.8	1.5
60歳~64歳	0	0	0	29	58	15	54	59	53	37	12	0	317
(%)	0	0	0	3.6	6.7	1.7	6.1	7.1	6.0	4.4	1.5	0	3.1
65歳~69歳	68	84	80	89	104	113	101	81	98	100	63	62	1,043
(%)	8.2	10.6	8.6	11.1	12.0	13.1	11.3	9.7	11.1	12.0	7.9	7.5	10.3
70歳~79歳	224	184	170	126	111	144	138	125	154	137	160	230	1,903
(%)	27.0	23.3	18.3	15.7	12.8	16.7	15.5	15.0	17.5	16.4	20.1	28.0	18.8
80歳~	507	491	641	526	521	507	564	532	538	515	509	493	6,344
(%)	61.0	62.2	69.1	65.7	60.0	58.7	63.2	64.0	61.1	61.8	63.9	60.0	62.6
合　計	831	790	927	801	868	863	892	831	880	834	796	822	10,135
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

（6）－5　入院年代別患者数（回復期リハビリ　52 床）

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15歳~19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	31	51
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.7	2.6	0.4
20歳~29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30歳~39歳	30	6	0	0	15	52	41	30	40	62	46	49	371
(%)	2.8	0.5	0	0	1.3	4.9	3.4	2.5	3.5	5.4	3.8	4.1	2.7
40歳~49歳	5	0	14	31	39	1	31	10	13	31	3	0	178
(%)	0.5	0	1.3	2.5	3.4	0.1	2.6	0.8	1.1	2.7	0.2	0	1.3
50歳~59歳	81	87	117	147	100	60	48	59	57	33	58	81	928
(%)	7.5	7.4	10.7	12.1	8.6	5.6	4.0	4.9	5.0	2.9	4.8	6.8	6.7
60歳~64歳	30	91	87	31	6	30	4	30	44	31	63	94	541
(%)	2.8	7.7	7.9	2.5	0.5	2.8	0.3	2.5	3.9	2.7	5.2	7.9	3.9
65歳~69歳	128	136	136	107	60	31	94	155	113	93	112	54	1,219
(%)	11.9	11.6	12.4	8.8	5.2	2.9	7.9	12.8	9.9	8.1	9.3	4.6	8.8
70歳~79歳	348	333	261	301	366	411	408	378	322	377	388	316	4,209
(%)	32.4	28.3	23.8	24.7	31.6	38.4	34.3	31.3	28.3	32.7	32.1	26.6	30.3
80歳~	451	524	481	602	571	486	564	546	547	526	518	561	6,377
(%)	42.0	44.5	43.9	49.4	49.4	45.4	47.4	45.2	48.2	45.6	42.9	47.3	46.0
合　計	1,073	1,177	1,096	1,219	1,157	1,071	1,190	1,208	1,136	1,153	1,208	1,186	13,874
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

＊ドックは含まれていません。

（7）外来地域別患者数

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	779	799	804	867	825	776	880	812	845	816	729	826	9,758
六荘地区	1,643	1,494	1,629	1,755	1,639	1,595	1,703	1,680	1,818	1,740	1,549	1,712	19,957
南郷里地区	1,129	1,148	1,132	1,223	1,175	1,111	1,192	1,154	1,226	1,151	1,085	1,153	13,879
神照地区	1,661	1,576	1,593	1,839	1,688	1,562	1,716	1,639	1,744	1,577	1,497	1,647	19,739
北郷里地区	609	563	611	611	642	582	599	622	587	591	512	603	7,132
西黒田地区	347	378	343	366	354	341	381	322	324	324	315	319	4,114
神田地区	203	153	185	213	204	193	224	187	273	210	160	190	2,395
旧浅井町	1,099	1,076	1,067	1,221	1,165	1,145	1,240	1,118	1,191	1,167	1,037	1,133	13,659
旧虎姫町	562	543	543	639	593	580	614	605	627	641	536	549	7,032
旧湖北町	654	687	741	773	747	678	741	747	753	726	631	644	8,522
旧びわ町	599	565	570	605	660	621	655	643	644	632	564	612	7,370
旧高月町	833	835	826	918	884	876	956	880	908	858	728	887	10,389
旧木之本町	579	575	525	655	617	562	608	625	610	609	518	575	7,058
旧余呉町	267	251	256	257	252	215	251	237	249	212	190	214	2,851
旧西浅井町	318	339	286	375	300	290	322	329	306	313	277	297	3,752
計　長浜市	11,282	10,982	11,111	12,317	11,745	11,127	12,082	11,600	12,105	11,567	10,328	11,361	137,607
(%)	63.0	62.6	62.7	62.9	62.5	62.2	62.7	62.6	63.4	63.2	63.3	62.8	62.8
旧山東町	1,456	1,429	1,365	1,534	1,447	1,376	1,474	1,406	1,479	1,321	1,233	1,288	16,808
旧伊吹町	505	495	519	618	546	564	546	549	515	532	415	537	6,341
旧米原町	1,332	1,343	1,382	1,451	1,378	1,318	1,415	1,370	1,431	1,427	1,297	1,420	16,564
旧近江町	1,119	1,079	1,123	1,167	1,248	1,193	1,256	1,215	1,239	1,205	1,056	1,195	14,095
計　米原市	4,412	4,346	4,389	4,770	4,619	4,451	4,691	4,540	4,664	4,485	4,001	4,440	53,808
(%)	24.6	24.8	24.8	24.4	24.6	24.9	24.3	24.5	24.4	24.5	24.5	24.5	24.6
彦 根 市	1,617	1,537	1,605	1,768	1,729	1,692	1,785	1,740	1,690	1,659	1,439	1,726	19,987
(%)	9.0	8.8	9.1	9.0	9.2	9.5	9.3	9.4	8.8	9.1	8.8	9.5	9.1
そ の 他	441	495	458	539	486	479	535	461	447	424	420	440	5,625
(%)	2.5	2.8	2.6	2.8	2.6	2.7	2.8	2.5	2.3	2.3	2.6	2.4	2.6
県内合計	17,752	17,360	17,563	19,394	18,579	17,749	19,093	18,341	18,906	18,135	16,188	17,967	217,027
(%)	99.1	99.0	99.1	99.0	98.9	99.1	99.1	99.0	99.0	99.1	99.3	99.2	99.1
県外合計	167	174	164	189	200	153	181	182	193	171	122	138	2,034
(%)	0.9	1.0	0.9	1.0	1.1	0.9	0.9	1.0	1.0	0.9	0.7	0.8	0.9
総 合 計	17,919	17,534	17,727	19,583	18,779	17,902	19,274	18,523	19,099	18,306	16,310	18,105	219,061
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度2018年度	18,564	19,862	19,459	19,888	20,262	17,664	20,375	19,556	19,336	16,706	16,117	17,647	225,436

＊ドックは含まれていません。

（8）外来年代別患者数

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	46	56	51	40	55	42	67	50	50	59	44	49	609
(%)	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
1歳	18	13	20	18	22	20	23	26	15	18	12	25	230
(%)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
2歳~ 5歳	92	82	107	103	113	89	82	68	92	73	60	77	1,038
(%)	0.5	0.5	0.6	0.5	0.6	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5
6歳~ 9歳	75	74	92	108	116	94	96	92	98	82	73	72	1,072
(%)	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5
10歳~14歳	87	93	110	144	169	117	109	104	125	106	97	121	1,382
(%)	0.5	0.5	0.6	0.7	0.9	0.7	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.7	0.6
15歳~19歳	175	146	176	205	278	188	174	165	210	181	140	204	2,242
(%)	1.0	0.8	1.0	1.0	1.5	1.1	0.9	0.9	1.1	1.0	0.9	1.1	1.0
20歳~29歳	489	502	522	635	627	505	601	543	539	578	511	549	6,601
(%)	2.7	2.9	2.9	3.2	3.3	2.8	3.1	2.9	2.8	3.2	3.1	3.0	3.0
30歳~39歳	871	783	850	920	854	893	931	891	985	941	834	923	10,676
(%)	4.9	4.5	4.8	4.7	4.5	5.0	4.8	4.8	5.2	5.1	5.1	5.1	4.9
40歳~49歳	1,445	1,443	1,546	1,551	1,528	1,476	1,616	1,552	1,532	1,503	1,420	1,514	18,126
(%)	8.1	8.2	8.7	7.9	8.1	8.2	8.4	8.4	8.0	8.2	8.7	8.4	8.3
50歳~59歳	2,241	2,127	2,198	2,394	2,281	2,226	2,383	2,312	2,384	2,132	2,059	2,172	26,909
(%)	12.5	12.1	12.4	12.2	12.1	12.4	12.4	12.5	12.5	11.6	12.6	12.0	12.3
60歳~64歳	1,437	1,384	1,472	1,592	1,446	1,390	1,534	1,469	1,532	1,488	1,291	1,559	17,594
(%)	8.0	7.9	8.3	8.1	7.7	7.8	8.0	7.9	8.0	8.1	7.9	8.6	8.0
65歳~69歳	2,233	2,145	2,035	2,218	2,159	2,041	2,204	2,157	2,185	2,080	1,763	1,965	25,185
(%)	12.5	12.2	11.5	11.3	11.5	11.4	11.4	11.6	11.4	11.4	10.8	10.9	11.5
70歳~79歳	5,273	5,202	5,137	5,713	5,529	5,306	5,701	5,514	5,693	5,489	4,833	5,269	64,659
(%)	29.4	29.7	29.0	29.2	29.4	29.6	29.6	29.8	29.8	30.0	29.6	29.1	29.5
80歳~	3,437	3,484	3,411	3,942	3,602	3,515	3,753	3,580	3,659	3,576	3,173	3,606	42,738
(%)	19.2	19.9	19.2	20.1	19.2	19.6	19.5	19.3	19.2	19.5	19.5	19.9	19.5
合　計	17,919	17,534	17,727	19,583	18,779	17,902	19,274	18,523	19,099	18,306	16,310	18,105	219,061
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度2018年度	18,564	19,862	19,459	19,888	20,262	17,664	20,375	19,556	19,336	16,706	16,117	17,647	225,436

＊ドックは含まれていません。

（9）科別月別入院退院患者数

（単位：人）

科別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
内科	60	64	86	78	73	82	85	72	91	88	73	71	70	61
血液内科	2	6	5	4	6	6	10	7	8	9	5	9	6	8
腎臓代謝内科	53	54	78	69	61	74	69	59	78	75	61	56	64	53
神経内科	3	7	14	8	6	6	5	6	4	3	9	9	6	7
呼吸器内科	77	70	56	53	63	56	70	71	67	72	54	57	72	62
消化器内科	85	69	88	86	79	77	111	96	117	121	98	85	93	86
循環器内科	112	111	100	97	101	103	101	94	101	94	95	97	108	95
小児科	8	7	12	11	2	4	7	5	6	7	10	10	7	6
外科	40	55	30	24	40	44	50	47	57	63	58	53	34	40
呼吸器外科	34	36	22	21	37	35	29	35	26	26	25	16	30	35
整形外科	60	59	64	58	62	65	84	75	79	81	73	67	73	69
形成外科	2	3	2	2	3	3	1	1	1	2	1	0	1	2
脳神経外科	42	36	47	35	49	44	51	42	43	45	43	36	47	36
心臓血管外科	21	21	19	19	26	27	28	29	14	16	27	21	20	23
泌尿器科	24	26	33	27	37	45	40	38	40	37	35	38	38	38
産婦人科	38	38	47	47	26	31	49	43	34	36	40	40	41	35
眼科	42	44	56	53	58	57	61	62	51	52	51	49	45	44
耳鼻咽喉科	11	13	18	13	17	19	19	15	19	20	16	18	22	18
リウマチ膠原病内科	8	10	6	3	5	6	8	6	8	8	3	2	10	9
歯科口腔外科	19	20	13	12	19	20	22	20	22	24	19	18	14	13
小計	686	689	713	647	703	724	821	757	780	795	730	687	731	679
健診センター	0	0	1	1	3	3	2	2	1	1	3	2	4	5
合計	686	689	714	648	706	727	823	759	781	796	733	689	735	684
医療R2	5	21	5	11	5	14	4	14	4	16	5	16	5	13
回リハR3	3	14	5	7	3	19	10	9	4	21	1	11	6	14
小計	8	35	10	18	8	33	14	23	8	37	6	27	11	27
健診センター療養	1	1	0	0	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3
合計	9	36	10	18	11	36	17	26	11	40	9	29	13	30
総合計	695	725	724	666	717	763	840	785	792	836	742	718	748	714

科別	11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
内科	65	66	85	73	85	92	91	74	77	78	941	899
血液内科	4	4	8	5	10	11	12	12	11	12	87	93
腎臓代謝内科	56	58	73	67	71	76	77	60	64	65	805	766
神経内科	6	5	11	11	9	4	7	7	4	6	84	79
呼吸器内科	59	63	72	72	73	69	58	64	50	46	771	755
消化器内科	95	100	101	104	115	92	95	94	107	106	1,184	1,116
循環器内科	124	122	131	127	111	97	109	109	107	104	1,300	1,250
小児科	10	11	13	14	12	10	12	13	14	15	113	113
外科	47	51	39	56	57	43	49	64	47	47	548	587
呼吸器外科	23	28	30	28	22	28	18	23	26	26	322	337
整形外科	74	66	64	84	82	50	71	70	69	74	855	818
形成外科	3	2	2	3	1	0	2	3	1	1	20	22
脳神経外科	47	46	43	38	44	43	37	34	49	36	542	471
心臓血管外科	25	26	27	24	26	25	22	25	33	28	288	284
泌尿器科	31	34	30	31	30	26	35	38	4	5	377	383
産婦人科	36	39	44	48	42	37	39	38	48	53	484	485
眼科	55	55	36	40	50	49	42	42	43	39	590	586
耳鼻咽喉科	16	16	14	16	16	13	13	12	18	21	199	194
リウマチ膠原病内科	6	6	5	8	3	7	7	7	6	13	75	85
歯科口腔外科	16	18	17	17	18	15	19	22	21	18	219	217
小計	738	754	764	794	796	700	726	739	724	716	8,912	8,681
健診センター	3	3	4	4	1	1	2	2	3	3	27	27
合計	741	757	768	798	797	701	728	741	727	719	8,939	8,708
医療R2	4	18	5	16	6	15	2	14	2	20	52	188
回リハR3	5	14	6	23	4	12	4	11	2	22	53	177
小計	9	32	11	39	10	27	6	25	4	42	105	365
健診センター療養	4	4	3	3	3	3	2	2	3	3	30	30
合計	13	36	14	42	13	30	8	27	7	45	135	395
総合計	754	793	782	840	810	731	736	768	734	764	9,074	9,103

（10）科別月別入院患者数

（単位：人）

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
診療日数	30		31		30		31		31		30		31	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	857	28.6	1,185	38.2	1,009	33.6	1,059	34.2	1,185	38.2	1,205	40.2	974	31.4
血液内科	159	5.3	140	4.5	181	6.0	315	10.2	282	9.1	260	8.7	147	4.7
腎臓代謝内科	621	20.7	986	31.8	768	25.6	686	22.1	823	26.6	875	29.2	796	25.7
神経内科	109	3.6	160	5.2	250	8.3	180	5.8	143	4.6	103	3.4	109	3.5
呼吸器内科	1,043	34.8	910	29.4	996	33.2	1,206	38.9	1,108	35.7	877	29.2	1,029	33.2
消化器内科	769	25.6	995	32.1	760	25.3	915	29.5	945	30.5	714	23.8	855	27.6
循環器内科	1,211	40.4	1,041	33.6	1,030	34.3	883	28.5	1,052	33.9	839	28.0	1,014	32.7
小児科	17	0.6	33	1.1	8	0.3	19	0.6	18	0.6	31	1.0	22	0.7
外科	672	22.4	526	17.0	577	19.2	656	21.2	683	22.0	598	19.9	645	20.8
呼吸器外科	303	10.1	259	8.4	343	11.4	270	8.7	200	6.5	286	9.5	313	10.1
整形外科	1,543	51.4	1,466	47.3	1,368	45.6	1,552	50.1	1,631	52.6	1,511	50.4	1,608	51.9
形成外科	46	1.5	34	1.1	14	0.5	4	0.1	13	0.4	13	0.4	19	0.6
脳神経外科	1,086	36.2	1,156	37.3	1,172	39.1	1,115	36.0	1,305	42.1	1,116	37.2	1,323	42.7
心臓血管外科	291	9.7	316	10.2	324	10.8	277	8.9	212	6.8	215	7.2	116	3.7
泌尿器科	178	5.9	189	6.1	241	8.0	171	5.5	232	7.5	170	5.7	169	5.5
産婦人科	254	8.5	285	9.2	141	4.7	273	8.8	243	7.8	256	8.5	259	8.4
眼科	90	3.0	100	3.2	144	4.8	150	4.8	61	2.0	70	2.3	76	2.5
耳鼻咽喉科	85	2.8	121	3.9	161	5.4	114	3.7	132	4.3	112	3.7	141	4.6
リウマチ膠原病内科	112	3.7	180	5.8	170	5.7	207	6.7	243	7.8	249	8.3	329	10.6
歯科口腔外科	43	1.4	33	1.1	53	1.8	44	1.4	58	1.9	40	1.3	21	0.7
小計	8,709	290.3	8,989	290.0	8,761	292.0	9,095	293.4	9,464	305.3	8,405	280.2	9,022	291.0
健診センター	0	0	1	0	3	0.1	2	0.1	1	0	3	0.1	4	0.1
合計	8,709	290.3	8,990	290.0	8,764	292.1	9,097	293.5	9,465	305.3	8,408	280.3	9,026	291.2
医療R2	831	27.7	790	25.5	927	30.9	801	25.8	868	28.0	863	28.8	892	28.8
回リハR3	1,073	35.8	1,177	38.0	1,096	36.5	1,219	39.3	1,157	37.3	1,071	35.7	1,190	38.4
小計	1,904	63.5	1,967	63.5	2,023	67.4	2,020	65.2	2,025	65.3	1,934	64.5	2,082	67.2
健診センター療養	1	0	0	0	3	0.1	3	0.1	3	0.1	3	0.1	2	0.1
合計	1,905	63.5	1,967	63.5	2,026	67.5	2,023	65.3	2,028	65.4	1,937	64.6	2,084	67.2
総合計	10,614	353.8	10,957	353.5	10,790	359.7	11,120	358.7	11,493	370.7	10,345	344.8	11,110	358.4

月	11月		12月		1月		2月		3月		4-3月合計		直近3ヶ月	
診療日数	30		31		31		29		31		366		91	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	909	30.3	1,106	35.7	1,185	38.2	1,124	38.8	1,168	37.7	12,966	35.4	3,477	38.2
血液内科	102	3.4	201	6.5	235	7.6	213	7.3	192	6.2	2,427	6.6	640	7.0
腎臓代謝内科	748	24.9	847	27.3	874	28.2	861	29.7	926	29.9	9,811	26.8	2,661	29.2
神経内科	117	3.9	123	4.0	85	2.7	172	5.9	162	5.2	1,713	4.7	419	4.6
呼吸器内科	934	31.1	997	32.2	1,073	34.6	856	29.5	778	25.1	11,807	32.3	2,707	29.8
消化器内科	884	29.5	807	26.0	866	27.9	922	31.8	826	26.7	10,258	28.0	2,614	28.7
循環器内科	1,123	37.4	1,159	37.4	1,120	36.1	1,003	34.6	932	30.1	12,407	33.9	3,055	33.6
小児科	52	1.7	66	2.1	26	0.8	57	2.0	71	2.3	420	1.2	154	1.7
外科	696	23.2	603	19.5	643	20.7	608	21.0	502	16.2	7,409	20.2	1,753	19.3
呼吸器外科	226	7.5	296	9.6	211	6.8	141	4.9	154	5.0	3,002	8.2	506	5.6
整形外科	1,549	51.6	1,424	45.9	1,524	49.2	1,530	52.8	1,558	50.3	18,264	49.9	4,612	50.7
形成外科	38	1.3	9	0.3	5	0.2	33	1.1	11	0.4	239	0.7	49	0.5
脳神経外科	1,232	41.1	1,291	41.7	1,238	39.9	1,036	35.7	1,109	35.8	14,179	38.7	3,383	37.2
心臓血管外科	192	6.4	189	6.1	257	8.3	237	8.2	353	11.4	2,979	8.1	847	9.3
泌尿器科	181	6.0	156	5.0	140	4.5	226	7.8	23	0.7	2,076	5.7	389	4.3
産婦人科	301	10.0	331	10.7	223	7.2	261	9.0	364	11.7	3,191	8.7	848	9.3
眼科	121	4.0	116	3.7	69	2.2	59	2.0	25	0.8	1,081	3.0	153	1.7
耳鼻咽喉科	106	3.5	89	2.9	109	3.5	84	2.9	123	4.0	1,377	3.8	316	3.5
リウマチ膠原病内科	361	12.0	346	11.2	276	8.9	286	9.9	277	8.9	3,036	8.3	839	9.2
歯科口腔外科	26	0.9	21	0.7	29	0.9	33	1.1	36	1.2	437	1.2	98	1.1
小計	9,048	301.6	9,129	294.5	9,079	292.9	8,668	298.9	8,472	273.3	106,841	291.9	26,219	288.1
健診センター	3	0.1	4	0.1	1	0	2	0.1	3	0.1	27	0	6	0.1
合計	9,051	301.7	9,133	294.6	9,080	292.9	8,670	299.0	8,475	273.4	106,868	292.0	26,225	288.2
医療R2	831	27.7	880	28.4	834	26.9	796	27.5	822	26.5	10,135	27.7	2,452	27.0
回リハR3	1,208	40.3	1,136	36.7	1,153	37.2	1,208	41.7	1,186	38.3	13,874	37.9	3,547	39.0
小計	2,039	68.0	2,016	65.0	1,987	64.1	2,004	69.1	2,008	64.8	24,009	65.6	5,999	65.9
健診センター療養	4	0.1	3	0.1	3	0.1	2	0.1	3	0.10	30	0.1	8	0.1
合計	2,043	68.1	2,019	65.1	1,990	64.2	2,006	69.2	2,011	64.9	24,039	65.7	6,007	66.0
総合計	11,094	369.8	11,152	359.7	11,070	357.1	10,676	368.1	10,486	338.3	130,907	357.7	32,232	354.2

（11）科別月別外来患者数

（単位：人）

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
診療日数	21		19		20		22		21		19		21	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	3,863	184.0	3,825	201.3	3,665	183.3	3,998	181.7	4,138	197.1	3,828	201.5	4,017	191.3
血液内科	227	10.8	220	11.6	252	12.6	237	10.8	237	11.3	272	14.3	255	12.1
腎臓代謝内科	1,533	73.0	1,387	73.0	1,388	69.4	1,525	69.3	1,477	70.3	1,447	76.2	1,572	74.9
透析内科	1,438	68.5	1,504	79.2	1,407	70.4	1,547	70.3	1,578	75.1	1,477	77.7	1,566	74.6
心療内科	37	1.8	29	1.5	31	1.6	33	1.5	37	1.8	42	2.2	44	2.1
神経内科	349	16.6	349	18.4	366	18.3	439	20.0	390	18.6	365	19.2	398	19.0
呼吸器内科	1,065	50.7	937	49.3	1,002	50.1	1,019	46.3	946	45.1	910	47.9	1,053	50.1
消化器内科	639	30.4	708	37.3	808	40.4	971	44.1	981	46.7	1,000	52.6	1,135	54.1
循環器内科	1,666	79.3	1,492	78.5	1,512	75.6	1,697	77.1	1,627	77.5	1,541	81.1	1,642	78.2
小児科	170	8.1	174	9.2	200	10.0	191	8.7	240	11.4	200	10.5	206	9.8
外科	973	46.3	853	44.9	807	40.4	1,032	46.9	898	42.8	873	46.0	1,045	49.8
呼吸器外科	300	14.3	257	13.5	323	16.2	318	14.5	306	14.6	315	16.6	321	15.3
整形外科	2,361	112.4	2,593	136.5	2,468	123.4	2,640	120.0	2,699	128.5	2,401	126.4	2,732	130.1
形成外科	228	10.9	185	9.7	216	10.8	262	11.9	224	10.7	218	11.5	230	11.0
脳神経外科	443	21.1	427	22.5	432	21.6	509	23.1	464	22.1	446	23.5	479	22.8
心臓血管外科	288	36.0	306	38.3	297	37.1	342	38.0	240	26.7	319	39.9	308	38.5
皮膚科	228	10.9	280	14.7	237	11.9	306	13.9	332	15.8	273	14.4	250	11.9
泌尿器科	467	22.2	483	25.4	469	23.5	541	24.6	499	23.8	498	26.2	536	25.5
産婦人科	880	41.9	853	44.9	940	47.0	1,035	47.1	877	41.8	932	49.1	1,042	49.6
眼科	931	44.3	836	44.0	914	45.7	1,015	46.1	883	42.1	838	44.1	814	38.8
耳鼻咽喉科	949	45.2	931	49.0	1,005	50.3	1,039	47.2	1,004	47.8	917	48.3	956	45.5
放射線科	225	10.7	215	11.3	220	11.0	225	10.2	143	6.8	184	9.7	163	7.8
麻酔・ペイン	4	1.0	9	2.3	3	0.8	11	2.2	9	2.3	6	1.5	6	1.2
リウマチ膠原病内科	601	28.6	615	32.4	602	30.1	665	30.2	619	29.5	598	31.5	636	30.3
放射線治療科	346	16.5	416	21.9	378	18.9	380	17.3	374	17.8	371	19.5	431	20.5
歯科口腔外科	943	44.9	790	41.6	863	43.2	948	43.1	886	42.2	869	45.7	874	41.6
小計	17,919	853.3	17,534	922.8	17,727	886.4	19,583	890.1	18,779	894.2	17,902	942.2	19,274	917.8
健診センター	167	8.0	258	13.6	299	15.0	328	14.9	312	14.9	296	15.6	329	15.7
合計	18,086	861.2	17,792	936.4	18,026	901.3	19,911	905.0	19,091	909.1	18,198	957.8	19,603	933.5

月	11月		12月		1月		2月		3月		4-3月合計		直近3ヶ月	
診療日数	20		20		19		18		21		241		58	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	3,843	192.2	4,099	205.0	4,097	215.6	3,570	198.3	3,778	179.9	46,721	193.9	11,445	197.3
血液内科	228	11.4	236	11.8	240	12.6	183	10.2	258	12.3	2,845	11.8	681	11.7
腎臓代謝内科	1,523	76.2	1,586	79.3	1,550	81.6	1,403	77.9	1,571	74.8	17,962	74.5	4,524	78.0
透析内科	1,521	76.1	1,535	76.8	1,544	81.3	1,435	79.7	1,419	67.6	17,971	74.6	4,398	75.8
心療内科	34	1.7	39	2.0	31	1.6	27	1.5	36	1.7	420	1.7	94	1.6
神経内科	377	18.9	407	20.4	362	19.1	332	18.4	386	18.4	4,520	18.8	1,080	18.6
呼吸器内科	988	49.4	948	47.4	1,027	54.1	776	43.1	1,022	48.7	11,693	48.5	2,825	48.7
消化器内科	1,054	52.7	1,164	58.2	1,059	55.7	899	49.9	993	47.3	11,411	47.4	2,951	50.9
循環器内科	1,645	82.3	1,724	86.2	1,698	89.4	1,452	80.7	1,734	82.6	19,430	80.6	4,884	84.2
小児科	186	9.3	221	11.1	206	10.8	171	9.5	208	9.9	2,373	9.9	585	10.1
外科	992	49.6	907	45.4	898	47.3	817	45.4	887	42.2	10,982	45.6	2,602	44.9
呼吸器外科	253	12.7	324	16.2	249	13.1	220	12.2	299	14.2	3,485	14.5	768	13.2
整形外科	2,419	121.0	2,596	129.8	2,377	125.1	2,156	119.8	2,430	115.7	29,872	124.0	6,963	120.1
形成外科	193	9.7	180	9.0	192	10.1	176	9.8	173	8.2	2,477	10.3	541	9.3
脳神経外科	436	21.8	437	21.9	391	20.6	360	20.0	430	20.5	5,254	21.8	1,181	20.4
心臓血管外科	375	41.7	296	37.0	283	35.4	266	38.0	306	38.3	3,626	37.0	855	37.2
皮膚科	233	11.7	203	10.2	216	11.4	184	10.2	164	7.8	2,906	12.1	564	9.7
泌尿器科	501	25.1	522	26.1	518	27.3	442	24.6	333	15.9	5,809	24.1	1,293	22.3
産婦人科	1,055	52.8	1,117	55.9	961	50.6	838	46.6	988	47.1	11,518	47.8	2,787	48.1
眼科	843	42.2	864	43.2	881	46.4	795	44.2	780	37.1	10,394	43.1	2,456	42.3
耳鼻咽喉科	951	47.6	983	49.2	879	46.3	860	47.8	950	45.2	11,424	47.4	2,689	46.4
放射線科	176	8.8	168	8.4	161	8.5	151	8.4	185	8.8	2,216	9.2	497	8.6
麻酔・ペイン	5	1.3	3	0.8	7	1.8	4	1.3	9	1.8	76	1.6	20	1.7
リウマチ膠原病内科	610	30.5	658	32.9	606	31.9	567	31.5	665	31.7	7,442	30.9	1,838	31.7
放射線治療科	535	26.8	472	23.6	451	23.7	484	26.9	524	25.0	5,162	21.4	1,459	25.2
歯科口腔外科	853	42.7	806	40.3	787	41.4	790	43.4	861	41.0	10,270	42.6	2,438	42.0
小計	18,523	926.2	19,099	955.0	18,306	963.5	16,310	906.1	18,105	862.1	219,061	909.0	52,721	909.0
健診センター	290	14.5	288	14.4	275	14.5	254	14.1	127	6.1	3,223	13.4	656	11.3
合計	18,813	940.7	19,387	969.4	18,581	977.9	16,564	920.2	18,232	868.2	222,284	922.3	53,377	920.3

*ただし、心臓血管外科（火曜日、金曜日）・麻酔科（火曜日）の２科は、各科外来診療日数で除してあります。

（12）救急患者数

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救急外来受診者数	時間内	251	227	237	287	341	233	282	215	242	235	208	253	3,011
	時間外	704	926	1,221	708	864	747	648	654	831	869	585	546	9,303
	総数	955	1,153	1,458	995	1,205	980	930	869	1,073	1,104	793	799	12,314
救急車搬入数	時間内	79	70	58	80	110	88	95	75	75	75	76	85	966
	時間外	153	155	240	152	178	163	155	150	153	158	136	125	1,918
	総数	232	225	298	232	288	251	250	225	228	233	212	210	2,884
救急室から入院数	時間内	97	71	69	80	89	69	96	63	87	80	89	72	962
	時間外	133	179	153	141	154	163	135	141	148	173	123	134	1,777
	総数	230	250	222	221	243	232	231	204	235	253	212	206	2,739

（13）救急車利用状況（病院救急車による患者搬送状況）

搬送数	件数	搬送エリア			診　療　科					
		長浜市内	滋賀県内	滋賀県外	外科	脳外	呼吸	神内	心外	循環
4月	2		2						1	1
5月	0									
6月	2		2					1	1	
7月	1		1						1	
8月	1		1						1	
9月	0									
10月	2	1	1			1				1
11月	1		1							1
12月	0									
1月	1		1						1	
2月	2		2				1			1
3月	0									
計	12	1	11	0	0	1	1	1	5	4

（搬送先医療機関名）

長浜市内・・・長浜市立湖北病院

滋賀県内・・・滋賀医科大学医学部附属病院・滋賀県立総合病院・彦根市立病院

滋賀県外・・・搬送なし

2．ICU・CCU 業務状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度総数
延稼働床		197	192	182	168	186	175	169	198	197	194	171	183	2,212
入院		26	21	18	18	17	15	22	17	20	30	15	20	239
転入		22	18	16	26	27	21	20	25	22	30	23	25	275
退院		4	4	4	0	4	3	5	1	3	5	0	2	35
転出		40	37	34	42	42	33	36	44	39	56	44	60	507
平均患者数		5.5	4.8	5.3	5.5	5.6	6.2	6	5.9	4.9	6.3	6	6.2	5.7
在室日数		4.3	4.5	4.9	3.7	4	5	3.9	4.5	4.9	3.3	4.4	4	4.3
占床率		68.3	60.5	60.3	68.1	70.2	77.1	75.4	73.3	60.9	78.6	77.7	76.6	70.6
科名	入院内訳													
心臓血管外科	入室患者数	13	8	6	7	5	7	4	3	6	7	3	13	82
	延患者数	75	78	110	67	37	37	22	52	73	86	51	76	764
循環器内科	入室患者数	8	6	7	7	9	5	8	6	8	8	9	15	96
	延患者数	22	34	33	26	42	47	70	74	60	42	52	58	560
脳神経外科	入室患者数	6	6	6	9	10	7	27	7	8	10	5	10	111
	延患者数	13	30	11	46	44	59	47	35	52	36	43	39	455
呼吸器外科	入室患者数	3	0	3	4	3	3	4	4	3	2	0	3	32
	延患者数	9	8	3	4	6	11	4	5	4	3	0	3	60
呼吸器内科	入室患者数	0	0	0	2	1	1	1	2	1	1	2	0	11
	延患者数	0	0	0	5	41	6	2	11	2	2	14	0	83
腎臓代謝内科	入室患者数	3	8	1	3	1	1	3	2	1	3	2	1	29
	延患者数	31	32	18	3	1	3	9	7	3	13	2	5	127
整形外科	入室患者数	1	1	0	1	4	1	1	2	1	1	0	1	14
	延患者数	2	1	0	1	10	1	1	2	1	1	0	1	21
外科	入室患者数	7	1	1	7	3	3	5	6	1	2	5	5	46
	延患者数	18	2	3	12	3	10	12	8	1	5	5	5	84
消化器内科	入室患者数	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5
	延患者数	23	6	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	34
泌尿器科	入室患者数	1	1	2	2	2	1	0	1	1	1	1	1	14
	延患者数	2	1	2	3	2	1	0	1	1	4	1	1	19
神経内科	入室患者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	延患者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
リウマチ膠原病内科	入室患者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	延患者数	0	0	1	0	0	0	0	4	2	0	0	0	7
産婦人科	入室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	延患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
歯科口腔外科	入室患者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	延患者数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
予定術後		18	8	13	23	23	14	14	20	12	23	11	21	200
緊急手術		7	5	5	0	7	8	7	2	3	1	1	5	51
入院		26	21	18	18	17	15	22	17	20	30	16	20	240
緊急入室		6	10	4	7	7	7	9	5	9	5	6	4	79
心カテ総数		4	4	5	5	5	3	8	5	8	8	7	17	79
緊急カテ数		3	3	4	2	4	2	6	4	4	1	1	3	37
予定カテ数		1	1	1	3	1	1	2	1	4	7	6	18	46
必要度の割合		94.4	94.7	81.3	93.4	94.6	90.8	81	81.3	84.7	81.9	76	89.8	86.99
加算対象者数	総数	170	168	106	132	151	152	141	162	145	158	164	183	1,832
早期リハビリ算定者数		154	164	117	124	150	152	146	161	142	151	162	177	1,800
重症受け入れ困難	回数	3	2	2	0	2	1	1	3	0	0	0	0	14
	総時間	4,225	510	2,145	0	2,430	775	750	2,435	0	0	0	0	221 時間

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度総数
予定術後入室														
心外科		7	4	5	2	4	5	3	3	4	7	1	9	54
脳外科		2	2	2	6	9	5	3	3	5	6	3	6	52
呼吸器外科		3	1	3	4	3	3	3	7	4	3	0	3	37
整形外科		0	1	0	3	2	1	1	3	2	1	0	1	15
外科		3	0	1	1	4	2	4	5	1	3	4	3	31
泌尿科		0	1	2	1	2	1	0	1	0	0	1	1	10
その他		0	0	0	1	0	0	1	0	3	8	10	14	37
緊急入室														
心外科		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
脳外科		2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	6
循環器内科		2	4	3	5	2	1	4	1	3	3	2	3	33
腎臓代謝内科		0	5	0	1	0	0	3	1	0	2	0	1	13
外科		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
呼吸器内科		0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	3	0	6
その他		2	1	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	8
入院														
心外科		7	2	3	2	3	3	4	1	3	5	2	5	40
脳外科		3	7	4	6	3	4	6	7	8	9	6	6	69
循環器内科		6	3	6	4	9	5	4	5	5	5	6	6	64
腎臓代謝内科		3	3	3	3	1	1	3	2	3	4	0	0	26
呼吸器内科		1	0	0	1	0	0	1	2	1	0	2	1	9
外科		3	1	2	1	0	1	0	2	0	2	1	2	15
その他		3	2	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	9
緊急手術件数														
心外科		1	2	4	0	1	2	2	0	2	3	2	1	20
脳外科		1	4	2	2	1	2	2	0	1	1	1	0	17
外科		3	1	2	2	0	1	1	1	0	1	0	0	12
整形外科		1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
その他		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
特殊治療														
CHDF		4	5	3	0	3	6	1	3	4	3	2	1	35
CHDF延日数		29	32	68	0	10	44	32	21	41	11	13	13	314
IHDF		1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	4
IHDF延日数		6	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	10
HD		2	4	0	4	1	4	1	4	15	8	4	3	50
HD延日数		5	11	3	8	1	4	4	10	15	12	8	4	85
血漿交換		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血漿交換延日数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PMX		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PMX延日数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IABP		0	3	1	2	1	1	1	1	4	1	0	3	18
IABP延日数		0	23	28	2	1	4	1	1	10	2	4	16	92
PCPS		1	2	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	8
PCPS延日数		5	21	18	0	0	0	8	0	3	2	0	17	74
体外式ペースメーカ		3	4	1	3	3	0	2	2	2	0	0	2	22
体外式ペースメーカ延日数		20	28	15	19	11	0	4	11	8	0	5	14	135
低体温療法		1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	6
低体温療法延日数		2	1	0	0	0	0	2	2	2	0	0	2	11
人工呼吸器		11	6	4	7	6	8	10	3	10	8	5	15	93
人工呼吸器延日数		56	89	117	24	92	52	45	75	91	69	41	70	821
NPPV		1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
NPPV延日数		6	3	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	15
NHF		2	3	1	2	2	1	4	3	2	0	2	0	22
NHF延日数		15	17	1	29	4		4	6	10	0	10	0	96
NO療法			1	1	1				1		1			5
NO療法延日数			3	13	5				20		2			43

3．手術業務状況

（1）各科別手術実施件数（中央手術室実施分）

（単位：上段　件　下段　%）

前年度比		外科		眼科		形成外科		呼吸器外科		産婦人科		歯科口腔外科		耳鼻咽喉科		心臓血管外科		整形外科		脳神経外科		泌尿器科		総数	
		2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
4月	件数	30	28	79	77	4	7	6	11	18	26	33	39	8	7	31	23	80	66	12	11	26	20	327	315
	前年比	93		97		175		183		144		118		88		74		83		92		77		96	
5月	件数	30	23	88	103	4	7	12	6	28	25	57	44	11	11	39	25	88	78	11	11	30	19	398	352
	前年比	77		117		175		50		89		77		100		64		89		100		63		88	
6月	件数	37	29	84	106	9	11	10	9	22	12	31	40	10	14	33	32	80	66	6	11	29	31	351	361
	前年比	78		126		122		90		55		129		140		97		83		183		107		103	
7月	件数	36	39	104	126	13	6	12	12	15	19	37	49	13	16	31	27	79	82	8	10	23	31	371	427
	前年比	108		121		46		100		127		132		123		87		116		125		135		115	
8月	件数	41	43	82	86	11	8	12	7	16	19	44	54	20	14	28	17	85	93	14	18	36	21	389	380
	前年比	105		105		73		58		119		123		70		61		109		129		58		98	
9月	件数	38	41	82	95	12	5	9	6	19	14	34	52	7	9	27	21	68	77	14	11	20	21	330	352
	前年比	108		116		42		67		74		153		129		78		113		79		105		107	
10月	件数	31	34	102	85	19	11	13	10	27	17	58	42	11	19	33	21	102	77	8	12	32	21	436	349
	前年比	110		83		58		77		63		72		173		64		75		150		66		80	
11月	件数	22	41	92	107	13	10	8	10	12	20	54	45	11	10	33	25	90	89	11	9	28	23	374	389
	前年比	186		116		77		125		167		83		91		76		99		82		82		104	
12月	件数	29	32	68	79	9	3	13	9	18	20	45	39	7	9	21	25	74	81	12	9	28	24	324	330
	前年比	110		116		33		69		111		87		129		119		109		75		86		102	
1月	件数	32	46	88	104	4	6	9	8	15	15	39	37	9	9	24	26	69	85	9	10	18	11	316	357
	前年比	144		118		150		89		100		95		100		108		123		111		61		113	
2月	件数	33	34	99	84	9	8	8	6	17	18	51	38	6	9	27	21	68	84	11	8	17	27	346	337
	前年比	103		85		89		75		106		75		150		78		124		73		159		97	
3月	件数	34	37	95	85	11	9	10	9	21	26	46	45	14	13	24	29	78	86	11	8	20	4	364	351
	前年比	109		89		82		90		124		98		93		121		110		73		20		96	
合計	件数	393	427	1063	1137	118	91	122	103	228	231	529	524	127	140	351	292	961	974	127	128	307	253	4326	4300
	前年比	109		107		77		84		101		99		110		83		101		101		82		99	

（2）外来手術件数（入院中外来を含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	6	12	5	3	8	7	8	12	8	11	6	5	91
整形外科	21	30	21	23	33	21	17	23	22	16	21	26	274
産婦人科	3	5	4	2	6	6	5	5	7	2	5	3	53
耳鼻咽喉科	14	5	7	6	2	8	11	5	9	6	8	10	91
泌尿器科	8	11	11	14	9	16	7	8	9	10	10	8	121
眼科	13	14	15	22	15	13	11	17	15	18	8	10	171
脳神経外科	8	9	15	8	15	15	14	14	6	6	13	8	131
歯科口腔外科	100	104	88	101	108	120	103	110	81	84	103	108	1,210
呼吸器外科	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
形成外科	20	20	18	23	28	24	27	18	21	20	25	21	265
心臓血管外科	11	5	14	16	9	15	13	10	11	15	10	18	147
皮膚科	0	1	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	6
その他	21	17	40	31	34	41	48	44	62	41	34	42	455
計	225	235	240	249	268	287	264	267	251	229	243	259	3,017

（3）その他内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器内科	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	4
消化器内科	20	17	39	30	33	39	47	42	62	41	34	41	445
放射線診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎臓代謝内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液内科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
神経内科	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	4
計	21	17	40	31	34	41	48	44	62	41	34	42	455

4．健診センター利用状況

1．稼動日数　　半日コース（健診・日帰りドック）　241 日（月～金曜日）
　　入院ドック（一泊・専門ドック）　88 日（月・水曜日）

2．受診者人数

（1）月　別

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般健診(協会)	73	121	115	134	119	120	126	121	106	97	78	33	1243
一般健診	1	4	12	10	8	6	20	9	10	5	4	13	102
一般健診+付加健診(協会)	2	16	8	3	5	12	6	15	3	5	3		78
一般健診+追加健診(協会)	12	14	19	19	9	11	13	6	6	3	15	5	132
日帰りドック	62	76	120	143	153	129	134	119	134	143	135	72	1420
1泊人間ドック		1	2	1			3	1	1	1	3		13
脳ドック						2		2	4	1	1		10
1泊＋脳ドック	1		4	4	4	4	3	4	2	2		6	34
その他の健診･主婦健診	11	14	23	12	16	14	24	19	29	21	19	4	206
子宮がん健診(協会)	6	13	2	7	2	4	6	1		1			42
合　　計	168	259	305	333	316	302	335	297	295	279	258	133	3280

（2）年齢層別

【男性】

（単位：人）

		10～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
1泊＋脳ドック	人数			8	10	7	4	29
	割合			27.6%	34.5%	24.1%	13.8%	100%
脳ドック	人数			1	3	2		6
	割合			16.7%	50.0%	33.3%		100%
1泊ドック	人数				3	5	3	11
	割合				27.3%	45.5%	27.3%	100%
日帰ドック	人数	3	131	266	255	220	89	964
	割合	0.3%	13.6%	27.6%	26.5%	22.8%	9.2%	100%
一般健診	人数	3	8	20	7	6	4	48
	割合	6.3%	16.7%	41.7%	14.6%	12.5%	8.3%	100%
基本健診	人数		1			3		4
	割合		25.0%			75.0%		100%
一般健診（協会）	人数		84	181	165	161	25	616
	割合		13.6%	29.4%	26.8%	26.1%	4.1%	100%
一般＋付加健診（協会）	人数		17	27	6			50
	割合		34.0%	54.0%	12.0%			100%
一般＋追加健診（協会）	人数		10	25	17	35	5	92
	割合		10.9%	27.2%	18.5%	38.0%	5.4%	100%
石綿健診	人数				2	14	38	54
	割合				3.7%	25.9%	70.4%	100%
じん肺健診	人数					1		1
	割合					100%		100%
合計	人数	6	251	528	468	454	168	1,875
	割合	0.3%	13.4%	28.2%	25.0%	24.2%	9.0%	100%

【女性】

（単位：人）

		10～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
1泊＋脳ドック	人数				1	3	1	5
	割合				20.0%	60.0%	20.0%	100%
脳ドック	人数				3	1		4
	割合				75.0%	25.0%		100%
1泊ドック	人数				1	1		2
	割合				50.0%	50.0%		100%
日帰ドック	人数	1	36	101	168	119	31	456
	割合	0.2%	7.9%	22.1%	36.8%	26.1%	6.8%	100%
一般健診	人数		7	12	16	11	8	54
	割合		13.0%	22.2%	29.6%	20.4%	14.8%	100%
基本健診	人数		10	61	70	6		147
	割合		6.8%	41.5%	47.6%	4.1%		100%
一般健診（協会）	人数		76	190	224	121	16	627
	割合		12.1%	30.3%	35.7%	19.3%	2.6%	100%
子宮がん検診（協会）	人数	21	21					42
	割合	50.0%	50.0%					100%
一般＋付加健診（協会）	人数		7	17	4			28
	割合		25.0%	60.7%	14.3%			100%
一般＋追加健診（協会）	人数		3	10	14	10	3	40
	割合		7.5%	25.0%	35.0%	25.0%	7.5%	100%
合計	人数	22	160	391	501	272	59	1,405
	割合	1.6%	11.4%	27.8%	35.7%	19.4%	4.2%	100%

３．健診結果総合判定別人数

【男性】

（単位：人）

		1	2	3	4	5＋6	合計
１泊＋脳ドック	人数			3		26	29
	割合			10.3%		89.7%	100%
脳ドック	人数			1		5	6
	割合			16.7%		83.3%	100%
１泊ドック	人数			1	1	9	11
	割合			9.1%	9.1%	81.8%	100%
日帰ドック	人数		8	158	15	783	964
	割合		0.8%	16.4%	1.6%	81.2%	100%
一般健診	人数			16		32	48
	割合			33.3%		66.7%	100%
基本健診	人数			2		2	4
	割合			50.0%		50.0%	100%
一般健診（協会）	人数	5	31	121	10	449	616
	割合	0.8%	5.0%	19.6%	1.6%	72.9%	100%
一般＋付加健診（協会）	人数		1	16	1	32	50
	割合		2.0%	32.0%	2.0%	64.0%	100%
一般＋追加健診（協会）	人数			11	3	78	92
	割合			12.0%	3.3%	84.8%	100%
合計	人数	5	40	329	30	1,416	1,820
	割合	0.3%	2.2%	18.1%	1.6%	77.8%	100%

※石綿、じん肺健診は判定から除外

【女性】

（単位：人）

		1	2	3	4	5＋6	合計
１泊＋脳ドック	人数					5	5
	割合					100%	100%
脳ドック	人数					4	4
	割合					100%	100%
１泊ドック	人数					2	2
	割合					100%	100%
日帰ドック	人数		3	70	2	381	456
	割合		0.7%	15.4%	0.4%	83.6%	100%
一般健診	人数		5	9		40	54
	割合		9.3%	16.7%		74.1%	100%
基本健診	人数	2	8	46	1	90	147
	割合	1.4%	5.4%	31.3%	0.7%	61.2%	100%
一般健診（協会）	人数	5	28	171	11	412	627
	割合	0.8%	4.5%	27.3%	1.8%	65.7%	100%
子宮がん検診（協会）	人数	35		2		5	42
	割合	83.3%		4.8%		11.9%	100%
一般＋付加健診（協会）	人数		1	5	1	21	28
	割合		3.6%	17.9%	3.6%	75.0%	100%
一般＋追加健診（協会）	人数	1		9		30	40
	割合	2.5%		22.5%		75.0%	100%
合計	人数	43	45	312	15	990	1,405
	割合	3.1%	3.2%	22.2%	1.1%	70.5%	100%

（総合判定）１．異常無し　２．軽度の異常がみとめられるが日常生活に支障はない
３．日常生活に注意を要し、経過観察を必要とする　４．治療を要する　５．精密検査を要する　６．治療中

４．１泊・日帰り人間ドック成績表（平成 31 年１月～令和元年 12 月）

【男性】　　（症例数は延べ人数）

年代別	３９歳以下					４０～４９歳					５０～５９歳					６０歳以上					総計				
受診者数	134					275					271					330					1010				
異常なし（判定1、2）	19					12					4					3					38				
判定／症例	３	4、6	５	計	(%)	３	4、6	５	計	(%)	３	4、6	５	計	(%)	３	4、6	５	計	(%)	３	4、6	５	計	(%)
肥満	36	0	0	36	(11.2)	110	0	0	110	(11.4)	105	0	0	105	(9.5)	99	0	0	99	(6.0)	350	0	0	350	(8.7)
呼吸器疾患	12	0	0	12	(3.7)	18	2	10	30	(3.1)	22	3	21	46	(4.1)	21	16	51	88	(5.3)	73	21	82	176	(4.4)
高血圧	7	4	0	11	(3.4)	20	42	0	62	(6.4)	26	78	0	104	(9.4)	29	151	0	180	(10.9)	82	275	0	357	(8.8)
高コレステロール	35	3	8	46	(14.3)	78	33	24	135	(14.0)	55	58	12	125	(11.3)	69	108	8	185	(11.2)	237	202	52	491	(12.2)
高中性脂肪	4	3	1	8	(2.5)	8	33	2	43	(4.5)	6	58	2	66	(6.0)	3	108	0	111	(6.7)	21	202	5	228	(5.6)
高尿酸	0	7	0	7	(2.2)	0	17	0	17	(1.8)	0	17	0	17	(1.5)	0	9	0	9	(0.5)	0	50	0	50	(1.2)
心電図異常	5	2	3	10	(3.1)	15	6	15	36	(3.7)	25	18	14	57	(5.1)	46	39	25	110	(6.7)	91	65	57	213	(5.3)
食道疾患	12	3	0	15	(4.7)	22	7	3	32	(3.3)	17	4	0	21	(1.9)	29	5	4	38	(2.3)	80	19	7	106	(2.6)
胃疾患	19	6	9	34	(10.6)	40	17	17	74	(7.7)	47	10	13	70	(6.3)	64	13	27	104	(6.3)	170	46	66	282	(7.0)
十二指腸疾患	3	2	3	8	(2.5)	9	4	2	15	(1.6)	12	4	0	16	(1.4)	13	2	3	18	(1.1)	37	12	8	57	(1.4)
胆石・胆のうポリープ	24	0	3	27	(8.4)	61	1	13	75	(7.8)	65	0	23	88	(7.9)	108	1	48	157	(9.5)	258	2	87	347	(8.6)
肝機能異常（脂肪肝含）	16	0	18	34	(10.6)	33	1	55	89	(9.3)	44	2	49	95	(8.6)	44	9	32	85	(5.2)	137	12	154	303	(7.5)
糖尿病	9	1	1	11	(3.4)	43	10	4	57	(5.9)	66	24	9	99	(8.9)	84	47	17	148	(9.0)	202	82	31	315	(7.8)
血液疾患	3	0	7	10	(3.1)	11	0	26	37	(3.8)	10	0	13	23	(2.1)	21	4	27	52	(3.2)	45	4	73	122	(3.0)
便潜血	0	0	5	5	(1.6)	0	0	14	14	(1.5)	0	0	11	11	(1.0)	0	1	22	23	(1.4)	0	1	52	53	(1.3)
前立腺疾患	0	0	0	0	(0.0)	0	0	1	1	(0.1)	0	0	4	4	(0.4)	0	0	5	5	(0.3)	0	0	10	10	(0.2)
その他の疾患	15	1	31	47	(14.6)	30	10	95	135	(14.0)	41	23	98	162	(14.6)	48	52	137	237	(14.4)	134	86	361	581	(14.4)
総計	200	32	89	321	(100)	498	183	281	962	(100)	541	299	269	1109	(100)	678	565	406	1649	(100)	1917	1079	1045	4041	(100)

【女性】　　（症例数は延べ人数）

年代別	３９歳以下					４０～４９歳					５０～５９歳					６０歳以上					総計				
受診者数	37					101					173					156					467				
異常なし（判定1、2）	3					4					2					3					12				
判定／症例	３	4、6	５	計	(%)	３	4、6	５	計	(%)	３	4、6	５	計	(%)	３	4、6	５	計	(%)	３	4、6	５	計	(%)
肥満	16	0	0	16	(21.3)	37	0	0	37	(11.9)	48	0	0	48	(7.9)	39	0	0	39	(5.9)	140	0	0	140	(8.5)
呼吸器疾患	1	0	1	2	(2.7)	3	0	5	8	(2.6)	3	2	3	8	(1.3)	4	3	10	17	(2.6)	11	5	19	35	(2.1)
高血圧	2	0	0	2	(2.7)	3	10	0	13	(4.2)	6	31	0	37	(6.1)	16	49	0	65	(9.9)	27	90	0	117	(7.1)
高コレステロール	1	0	2	3	(4.0)	24	6	2	32	(10.3)	48	30	13	91	(14.9)	38	47	4	89	(13.5)	111	83	21	215	(13.0)
高中性脂肪	0	0	0	0	(0.0)	0	6	0	6	(1.9)	1	30	3	34	(5.6)	0	47	0	47	(7.1)	1	83	3	87	(5.3)
高尿酸	0	0	0	0	(0.0)	0	2	0	2	(0.6)	0	2	0	2	(0.3)	0	1	0	1	(0.2)	0	5	0	5	(0.3)
心電図異常	5	0	0	5	(6.7)	7	1	3	11	(3.5)	8	4	13	25	(4.1)	15	11	18	44	(6.7)	35	16	34	85	(5.1)
食道疾患	1	0	0	1	(1.3)	9	2	0	11	(3.5)	11	1	0	12	(2.0)	7	1	0	8	(1.2)	28	4	0	32	(1.9)
胃疾患	4	0	0	4	(5.3)	13	3	3	19	(6.1)	39	4	4	47	(7.7)	30	3	7	40	(6.1)	86	10	14	110	(6.6)
十二指腸疾患	0	0	0	0	(0.0)	1	0	0	1	(0.3)	1	0	2	3	(0.5)	8	0	0	8	(1.2)	10	0	2	12	(0.7)
胆石･胆のうポリープ	2	0	1	3	(4.0)	9	0	3	12	(3.8)	27	2	13	42	(6.9)	40	0	14	54	(8.2)	78	2	31	111	(6.7)
肝機能異常（脂肪肝含）	3	0	0	3	(4.0)	19	0	3	22	(7.1)	18	1	8	27	(4.4)	15	2	6	23	(3.5)	55	3	17	75	(4.5)
糖尿病	1	0	0	1	(1.3)	5	1	0	6	(1.9)	23	3	1	27	(4.4)	38	14	0	52	(7.9)	67	18	1	86	(5.2)
血液疾患	5	1	8	14	(18.7)	18	4	12	34	(10.9)	12	3	19	34	(5.6)	12	3	11	26	(4.0)	47	11	50	108	(6.5)
便潜血	0	0	2	2	(2.7)	0	0	4	4	(1.3)	0	0	14	14	(2.3)	0	0	8	8	(1.2)	0	0	28	28	(1.7)
婦人科	1	0	2	3	(4.0)	7	2	6	15	(4.8)	14	3	5	22	(3.6)	5	0	4	9	(1.4)	27	5	17	49	(3.0)
乳房疾患	0	0	3	3	(4.0)	0	0	11	11	(3.5)	0	0	16	16	(2.6)	0	0	6	6	(0.9)	0	0	36	36	(2.2)
その他の疾患	3	0	10	13	(17.3)	22	5	41	68	(21.8)	25	23	73	121	(19.8)	16	24	82	122	(18.5)	66	52	206	324	(19.6)
総計	45	1	29	75	(100)	177	42	93	312	(100)	284	139	187	610	(100)	283	205	170	658	(100)	789	387	479	1655	(100)

（総合判定）１．異常無し　２．軽度の異常がみとめられるが日常生活に支障はない
３．日常生活に注意を要し、経過観察を必要とする　４．治療を要する　５．精密検査を要する　６．治療中

5．二次検査受診状況（当院での二次検査について）

(1) 二次検査対象者　2,151 人／健診センター受診者　3,280 人

└→ドック・健診・オプション検査で精密検査を要する (判定５の) 方

(2) 受診科別人数（二次検査受診者　のべ　453 人　／　二次検査対象者　のべ　3,652 人）

受診科	二次検査受診者	二次検査対象者	受診科	二次検査受診者	二次検査対象者	受診科	二次検査受診者	二次検査対象者
外　　科	７４人	１００人	脳神経外科	１３人	２７人	代 謝 内 科	５人	２６１人
耳鼻咽喉科	２５人	４１４人	呼 吸 器 科	６２人	１９６人	血 液 内 科	８人	２３８人
産 婦 人 科	４５人	７３人	循 環 器 科	３６人	１６４人	リウマチ科	５人	７人
眼　　科	２５人	７９９人	消 化 器 科	１９５人	９７８人	神 経 内 科	０人	１人
泌 尿 器 科	３９人	３４０人	腎 臓 内 科	７人	３１人			

(3) 病名別人数

外　科		結膜充血	1	肺気腫	6	食道癌	1
乳腺腫瘤	3	視神経乳頭陥凹	4	肺気腫予備軍	1	食道裂孔ヘルニア	1
乳腺良性腫瘍	4	硝子体黄斑索引症候群	1	肺腺癌	1	真菌性食道炎	1
乳房上外側部乳癌	2	ドライアイ	1	非特異的結節	2	膵管乳頭粘液性腫瘍	2
乳房上内側部乳癌	1	白内障	3	慢性気道感染	2	膵のう胞	1
乳房微細石灰化	2	翼状片	1	**循環器科**		総胆管拡張症	4
乳房腫瘤（膿）	2	緑内障	1	うっ血性心不全	1	体質性黄疸	1
耳鼻科		老人性白内障	2	狭心症	1	大腸憩室症	1
加齢性難聴	6	**泌尿器科**		高血圧	3	大腸腺腫	8
甲状腺腫瘍	2	過活動膀胱	1	心室性期外収縮	2	大腸ポリープ	15
甲状腺良性腫瘍	1	急性膀胱炎	2	心房細動	1	大腸癌	1
睡眠時無呼吸症候群	1	顕微鏡的血尿	2	心房粗動	1	胆石症	1
滲出性中耳炎	1	後腹膜のう胞性腫瘤	1	大動脈弁輪拡張症	1	胆のう腺筋腫症	11
耳管狭窄	1	糸球体腎炎	1	動脈硬化症	1	胆のう結石	1
難聴	3	腎のう胞	6	労作性狭心症	2	胆のう壁肥厚	2
橋本病	1	腎盂のう胞	1	慢性心不全	1	胆のうポリープ	9
鼻炎	1	前立腺癌	3	**消化器科**		直腸癌	1
良性発作性めまい症	1	内膜症性のう胞	1	萎縮性胃炎	31	痔核	5
産婦人科		非薄基底膜症候群	2	胃潰瘍	1	バレット食道	2
外陰部慢性湿疹	1	副腎腫瘍	1	胃体部癌	3	表層性胃炎	1
子宮筋腫	18	**脳神経外科**		胃底腺ポリープ	3	びらん性胃炎	5
子宮頚管ポリープ	4	海綿状血管腫	1	胃粘膜下腫瘍	3	ヘリコバクター・ピロリ胃炎	6
子宮頚部上皮異形成・異型度１	3	錐体骨髄膜腫	1	胃ポリープ	5	慢性胃炎	7
子宮頚部腫瘍	1	大脳深部白質脳症	1	胃前庭部びらん	1	噴門食道接合部癌	1
子宮頚部上皮内腫瘍	1	内頚動脈狭窄症	1	胃マルトリンパ腫	1	**腎臓**	
子宮腺筋症	1	脳動脈瘤	3	潰瘍性大腸炎	1	腎結石	2
子宮内膜腫瘍	1	無症候性ラクナ梗塞	1	肝血管腫	16	慢性腎臓病	1
子宮内膜ポリープ	3	**呼吸器科**		肝機能障害	1	**代謝内科**	
子宮内膜肥厚	2	気管支喘息	1	カンジダ食道炎	1	原発性アルドステロン症	2
バルトリン腺のう胞	1	胸膜腫瘍	1	肝のう胞	6	耐糖能障害	1
卵巣のう腫	2	拘束性換気障害	1	逆流性食道炎	6	２型糖尿病	1
卵巣出血性のう胞性腫瘤	1	縦隔腫瘍	1	脂質異常症	4	ネフローゼ症候群	1
卵巣腫瘍	3	縦隔リンパ節腫大	1	脂肪肝	8	**血液内科**	
眼　科		中葉舌区症候群	1	十二指腸潰瘍	3	鉄欠乏性貧血	2
遠視性乱視	1	陳旧性胸膜炎	1	十二指腸腫瘍	1	二次性多血症	1
黄斑変性症	1	転移性肺腫瘍	1	十二指腸腺腫	1	**リウマチ科**	
近視	2	肺炎	1	十二指腸乳頭部粘膜下腫瘍	1	シェーグレン症候群	2

５．中央材料室業務状況

			４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
滅菌回数		蒸気滅菌（回）	201	209	212	246	227	210	210	232	217	222	208	227	2621
		手術器械（台）	120	125	130	227	131	119	131	145	124	136	127	129	1644
		カート（台）	46	53	47	50	53	51	54	56	62	50	47	61	630
		プリオン対策（台）	35	30	33	36	41	40	23	32	31	36	34	36	107
		ＨＬＤ（回）	27	22	34	28	21	20	20	22	21	25	18	22	280
		ガス滅菌（回）	23	28	27	35	29	30	29	32	35	32	25	27	352
		手術室（回）	14.3	19.4	17.8	22.8	19.7	20.3	19.4	21.2	21.9	19.7	16.4	17	229.9
		中央材料室（回）	8.7	8.6	9.2	12.2	9.3	9.7	9.6	10.8	13.1	10.3	8.6	10.1	120.2
		プラズマ滅菌（回）	60	67	75	70	77	68	53	66	65	57	62	61	781
滅菌物	手術関係	手術器械セット（組）	1408	1417	1501	1747	1566	1391	1354	1602	1481	1467	1463	1561	17958
		単品器材（組）	2745	2644	2833	3072	2895	2646	2688	2912	2765	2757	2584	2641	33182
		ガス滅菌物（組）	612	604	547	614	615	578	584	531	618	673	513	460	6949
		プラズマ滅菌物（組）	319	328	328	399	390	316	280	355	346	343	359	360	4123
	外来	ガス滅菌物（個）	261	239	229	311	572	241	254	224	304	297	245	276	3453
		HLD洗浄･消毒（個）	739	674	673	905	833	796	712	667	758	741	657	762	8917
	病棟	ガス滅菌物（個）	31	18	21	19	17	20	30	21	23	13	12	15	240
		HLD洗浄･消毒（個）	1375	1110	1168	1611	926	779	676	1090	991	1018	1186	1045	12975
	合計	ガス滅菌物（個）	292	257	250	330	589	261	284	245	327	310	257	291	3693
		HLD洗浄･消毒（個）	2114	1784	1841	2516	1759	1575	1388	1757	1749	1759	1843	1807	21892
手術	予定・緊急手術	外科（件）	26	20	30	38	42	40	32	40	32	46	32	35	413
		整形外科（件）	60	71	65	93	92	71	71	89	75	81	84	84	936
		脳神経外科（件）	9	8	11	8	17	15	13	8	12	8	7	5	121
		呼吸器外科（件）	7	6	7	8	7	6	8	11	9	8	6	7	90
		心臓血管外科（件）	20	23	32	24	16	21	20	25	24	25	18	28	276
		産婦人科（件）	23	22	11	19	18	13	17	20	19	15	17	25	219
		泌尿器科（件）	17	17	30	31	21	20	18	21	24	11	26	4	240
		眼科（件）	77	103	106	110	85	95	79	107	79	104	84	85	1114
		耳鼻咽喉科（件）	8	11	14	15	14	9	16	10	8	9	9	13	136
		歯科口腔外科（件）	39	44	40	50	54	52	37	45	39	37	38	45	520
		形成外科（件）	6	6	11	3	8	5	11	10	3	6	8	9	86
	手術変更（件）		28	29	22	20	23	22	26	27	19	29	22	24	291
カートセット台数（台）			45	51	47	50	53	51	71	56	62	53	47	64	650
洗浄業務	手術器械洗浄（件）		291	337	608	418	379	404	321	399	333	338	331	323	4482
	病棟カート回収器材洗浄数（個）		1978	2023	1912	2128	2098	2084	1758	1909	2598	1881	1873	1789	24031
	外来カート回収器材洗浄数（個）		11024	10385	11122	11225	10492	11069	10042	11102	10932	10308	10039	9830	127371
	洗浄器回数	手術器械（回）	187	196	238	258	231	218	210	330	199	237	209	240	2753
		病棟カート回収器材（回）	26	24	25	27	25	25	29	31	34	28	25	26	325
		外来カート回収器材（回）	65	59	76	82	70	68	68	64	73	69	61	66	821
		超音波洗浄（回）	310	317	353	446	475	334	350	376	348	345	345	336	4335

6．薬剤科業務状況

（1）薬剤管理指導件数

診療科	管理指導 1 (380 点)		管理指導 2 (325 点)		合計 (指導 1+2)		退院時 (90 点)		麻薬加算 (50 点)		総合計
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	点数
内科	0	0	4	1,300	4	1,300	0	0	0	0	1,300
小児科	0	0	8	2,600	8	2,600	4	360	0	0	2,960
外科	68	25,840	138	44,850	206	70,690	59	5,310	28	1,400	77,400
耳鼻咽喉科	11	4,180	87	28,275	98	32,455	22	1,980	0	0	34,435
産婦人科	13	4,940	201	65,325	214	70,265	59	5,310	1	50	75,625
眼科	0	0	522	169,650	522	169,650	357	32,130	0	0	201,780
整形外科	83	31,540	479	155,675	562	187,215	241	21,690	32	1,600	210,505
泌尿器科	11	4,180	58	18,850	69	23,030	23	2,070	1	50	25,150
脳神経外科	101	38,380	65	21,125	166	59,505	45	4,050	0	0	63,555
歯科口腔外科	1	380	142	46,150	143	46,530	38	3,420	0	0	49,950
神経内科	15	5,700	18	5,850	33	11,550	11	990	0	0	12,540
心臓血管外科	57	21,660	113	36,725	170	58,385	122	10,980	0	0	69,365
形成外科	0	0	4	1,300	4	1,300	1	90	0	0	1,390
循環器内科	376	142,880	174	56,550	550	199,430	367	33,030	0	0	232,460
消化器内科	93	35,340	195	63,375	288	98,715	92	8,280	20	1,000	107,995
呼吸器内科	145	55,100	106	34,450	251	89,550	61	5,490	19	950	95,990
呼吸器外科	110	41,800	81	26,325	191	68,125	42	3,780	9	450	72,355
腎臓代謝内科	104	39,520	72	23,400	176	62,920	67	6,030	0	0	68,950
血液内科	59	22,420	37	12,025	96	34,445	16	1,440	6	300	36,185
膠原病・リウマチ	67	25,460	20	6,500	87	31,960	28	2,520	1	50	34,530
合計	1,314	499,320	2,524	820,300	3,111	1,319,620	1,655	148,950	117	5,850	1,474,420

がん患者指導管理料ハ (200 点)	
件数	点数
158	31,600

薬剤総合評価調整加算 (250 点)	
件数	点数
6	1,500

7．栄養科業務状況

（1）給食業務状況（本館と別館）

食種名 ／ 月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間食数
一般食		普通食	7,665	7,720	7,816	8,599	8,051	7,318	7,660	8,403	8,111	7,125	7,551	6,851	92,870
		産後食	107	223	54	138	136	143	183	148	209	201	185	236	1,963
		軟菜食	4,553	4,690	4,369	4,831	5,056	4,740	4,839	4,759	4,432	4,139	3,636	3,723	53,767
		極軟菜食	1,498	1,327	1,412	1,628	1,389	1,210	1,498	1,261	1,508	1,660	1,134	1,127	16,652
		五分食	270	192	250	302	426	339	555	413	405	412	389	366	4,319
		三分食・流動食	105	77	177	137	145	119	75	152	183	149	109	126	1,554
		離乳食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
		嚥下食	3,330	3,067	3,531	3,719	3,111	2,773	3,128	2,933	3,109	3,618	3,657	3,408	39,384
		食不振対応食(ﾊｰﾌ食・口内炎食)	1,038	1,430	1,269	1,187	1,444	1,147	1,269	1,212	1,129	1,194	1,734	1,626	15,679
		つわり食	0	0	0	3	13	2	0	0	0	80	0	0	98
		遅延食	13	3	6	7	9	12	14	3	2	7	2	10	88
		濃厚流動食	1,484	1,676	1,445	1,411	1,804	1,733	1,788	1,573	1,349	1,276	1,289	1,405	18,233
		小計（一般食）	20,063	20,405	20,329	21,962	21,584	19,536	21,009	20,857	20,437	19,861	19,686	18,887	244,616
特別治療食	非加算食	高血圧食	608	787	669	501	511	462	508	492	694	523	677	569	7,001
		肥満食	20	32	0	26	31	0	34	0	0	20	53	18	234
		その他	37	20	0	88	160	16	0	15	18	92	84	70	600
		小計（非加算食）	665	839	669	615	702	478	542	507	712	635	814	657	7,835
	加算食	腎臓食	1,127	1,485	1,376	1,029	1,249	1,202	1,079	1,234	1,495	1,297	1,177	1,412	15,162
		心臓食	2,780	2,813	2,476	2,235	3,043	2,539	2,804	3,239	3,165	3,201	2,473	2,690	33,458
		嚥下食(塩制・En制)	669	593	583	378	570	711	722	701	649	781	596	514	7,467
		ハーフ(En制)食	387	406	450	476	314	273	219	130	226	300	559	559	4,299
		糖尿食	1,542	1,504	1,980	1,912	1,961	1,990	2,060	1,866	1,834	1,879	1,847	1,726	22,101
		高脂血症食	40	0	2	2	15	15	0	25	22	22	0	0	143
		肥満食	0	0	0	0	50	0	4	0	17	0	0	0	71
		妊娠高血圧食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		肝臓食	215	167	366	142	120	86	82	89	149	38	184	103	1,741
		膵臓食	118	268	221	144	146	182	283	146	98	199	268	200	2,273
		潰瘍食	69	0	57	107	92	58	33	182	46	137	118	165	1,064
		マーゲン食	87	102	128	63	41	76	81	51	41	139	143	118	1,070
		潰瘍性大腸炎・クローン食	0	0	21	0	36	33	32	14	0	2	0	81	219
		貧血食	0	0	0	7	93	90	76	0	8	0	0	13	287
		塩分制限遅延食	12	18	8	11	20	37	19	11	20	33	20	33	242
		小計（加算食）	7,046	7,356	7,668	6,506	7,750	7,292	7,494	7,688	7,770	8,028	7,385	7,614	89,597
食数計			27,774	28,600	28,666	29,083	30,036	27,306	29,045	29,052	28,919	28,524	27,885	27,158	342,048
特別治療食（加算）割合			25.4%	25.7%	26.7%	22.4%	25.8%	26.7%	25.8%	26.5%	26.9%	28.1%	26.5%	28.0%	26.2%

（2）栄養指導件数

指導内容				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		糖尿病教室		5	2	2	6	6	8	3	3	6	4	0	0	45
		体験型集団教室		0	0	0	0	0	5	0	0	8	0	0	0	13
	小計			5	2	2	6	6	13	3	3	14	4	0	0	58
個人指導	算定可	腎臓病	塩分6g未満	15	12	17	17	26	15	14	17	22	13	8	22	198
		心臓疾患	塩分6g未満	20	26	8	17	26	18	15	15	12	13	7	16	193
		高血圧	塩分6g未満	8	6	4	1	7	2	3	5	7	5	6	2	56
		妊娠中毒症	塩分8g未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		肝臓病		0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3
		糖尿病		23	29	31	35	28	30	28	34	29	36	39	40	382
		肥満症	BMI 30以上 or 肥満度 40以上	2	0	1	3	1	1	0	1	0	1	0	3	13
		脂質異常症	LDL140mg/dl以上 orTG150mg/dl以上 orHDL40mg/dl未満	3	1	1	1	0	1	0	2	0	1	2	3	15
		胃潰瘍・十二指腸潰瘍		0	5	4	6	1	6	5	5	3	9	3	9	56
		鉄欠乏性貧血	Hb 10g/dl以下	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
		膵臓疾患		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		高尿酸血症		0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0	5
		潰瘍性大腸炎・クローン氏病		0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
		小児アレルギー・先天性代謝異常症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		嚥下困難		1	0	1	0	0	2	1	0	0	4	0	0	9
		癌		2	1	2	4	1	3	2	1	0	2	2	1	21
		低栄養	Alb3.0mg/dl 以下 or 医師から栄養改善が必要であると認められた者	0	1	1	2	1	1	0	2	0	0	0	0	8
	小計			74	81	70	90	93	81	71	82	75	85	67	96	965
	算定不可	消化器疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		耐糖能異常		2	0	0	2	1	0	0	0	3	1	1	1	11
		肥満症		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		脳血管障害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		算定条件不適合		5	7	12	4	8	8	5	3	6	13	5	4	80
		健診センター		1	0	2	2	2	0	1	1	1	0	1	1	12
		その他		0	2	2	2	0	0	1	0	0	3	2	0	12
	小計			8	9	16	11	11	8	7	4	10	17	9	6	116
その他	特別な栄養管理の必要性有の患者介入件数			190	200	194	297	305	263	284	243	303	277	250	288	3,094
	特別な栄養管理の必要性有以外の病棟訪問回数			23	34	39	45	34	34	36	17	40	36	37	49	424
	糖尿病週間			0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12
	小計			213	234	233	342	339	297	320	272	343	313	287	337	3,530
算定合計				74	81	70	90	93	81	71	82	75	85	67	96	965
総合計				300	326	321	449	449	399	401	361	442	419	363	439	4,669

（3）NST 病棟回診

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
リウマチ膠原病科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	4	4	14	2.6
腎臓代謝内科	15	23	15	24	10	15	19	10	22	25	30	25	233	43.1
呼吸器内科	2	0	0	0	6	5	6	1	4	1	1	0	26	4.8
呼吸器外科	0	4	4	0	0	1	2	0	0	0	1	0	12	2.2
循環器内科	5	1	5	14	11	1	2	0	2	7	12	14	74	13.7
消化器内科	0	1	0	0	0	0	3	2	0	0	4	0	10	1.8
外科	0	0	0	3	0	0	2	6	4	4	2	4	25	4.6
整形外科	12	14	11	12	8	5	2	0	0	3	7	3	77	14.2
形成外科	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.7
脳神経外科	0	2	1	3	3	4	9	9	6	0	7	5	49	9.1
神経内科	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.4
心臓血管外科	0	0	0	5	2	0	0	0	2	4	0	0	13	2.4
耳鼻咽喉科	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.4
回診件数	35	49	36	63	40	31	45	28	43	48	68	55	541	100

8．放射線科／放射線技術科業務状況

（1）検査別利用状況

一般撮影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	21	26	34	21	32	31	23	13	18	25	13	24	281
頸部	3	7	8	2	2	3	2	3	1	2	2	4	39
胸部	2,440	2,307	2,324	2,503	2,200	2,121	2,274	2,201	2,320	2,382	1,971	2,192	27,235
腹部	217	238	231	264	220	213	207	221	210	250	206	197	2,674
胸郭・肩	117	101	102	101	106	116	113	132	114	124	117	127	1,370
骨盤	356	374	301	392	351	278	362	355	302	357	279	332	4,039
脊椎	419	508	422	460	481	408	449	433	429	409	342	423	5,183
上肢	169	221	177	216	215	201	228	218	216	208	171	192	2,432
下肢	463	613	534	543	568	502	619	517	542	491	423	516	6,331
乳房	113	81	112	137	116	104	174	144	110	91	83	80	1,345
パノラマ	104	102	114	118	105	104	104	105	94	104	107	117	1,278
合計	4,422	4,578	4,359	4,757	4,396	4,081	4,555	4,342	4,356	4,443	3,714	4,204	52,207
1日平均	210.6	240.9	218.0	216.2	209.3	214.8	216.9	217.1	217.8	233.8	206.3	200.2	216.6

病棟ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
胸部	431	441	392	386	359	348	419	427	472	395	357	335	4,762
腹部	86	93	97	65	65	54	95	96	115	97	43	71	977
骨盤	2	5	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	14
上肢	0	0	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	5
下肢	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	4
合計	519	539	491	452	426	405	515	524	592	492	401	408	5,764

OP 室ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胸部	43	28	44	48	44	48	43	49	43	53	37	51	531
腹部	40	39	35	49	48	46	40	51	37	55	39	58	537
胸郭・肩	0	3	1	4	2	2	2	3	7	1	4	4	33
骨盤	29	21	12	18	20	19	23	21	16	29	14	23	245
脊椎・頭	11	8	10	11	11	7	6	12	7	12	5	9	109
上肢	6	10	8	11	14	9	8	16	7	9	13	9	120
下肢	22	29	17	35	26	25	22	23	29	26	25	24	303
合計	151	138	127	176	165	156	144	175	146	185	137	178	1,878

ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	670	677	618	628	591	561	659	699	738	677	538	586	7,642
1日平均	31.9	35.6	30.9	28.5	28.1	29.5	31.4	35.0	36.9	35.6	29.9	27.9	31.7

造影撮影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
泌尿器・婦人科系	6	7	5	8	8	8	6	3	4	11	9	12	87
その他造影撮影	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	6	7	5	8	8	8	6	4	4	11	9	12	88
1日平均	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.6	0.5	0.6	0.4

TV 室検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食道・胃	16	23	24	18	15	28	27	20	24	20	19	20	254
注腸	3	6	4	13	4	9	9	5	6	7	4	2	72
気管支ファイバー	10	8	13	13	11	10	19	8	9	6	10	7	124
大腸ファイバー	98	69	24	18	9	8	7	5	11	16	8	6	279
その他透視・造影	90	94	70	76	89	76	70	71	65	70	73	69	913
合計	217	200	135	138	128	131	132	109	115	119	114	104	1,642
1日平均	10.3	10.5	6.8	6.3	6.1	6.9	6.3	5.5	5.8	6.3	6.3	5.0	6.8

血管造影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心カテ	99	92	82	82	101	81	90	113	106	97	98	109	1,150
その他	69	49	45	54	49	39	53	52	48	56	44	50	608
合計	168	141	127	136	150	120	143	165	154	153	142	159	1,758
1日平均	8.0	7.4	6.4	6.2	7.1	6.3	6.8	8.3	7.7	8.1	7.9	7.6	7.3

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CT	1,704	1,723	1,640	1,848	1,709	1,661	1,793	1,689	1,719	1,797	1,508	1,643	20,434
1日平均	81.1	90.7	82.0	84.0	81.4	87.4	85.4	84.5	86.0	94.6	83.8	78.2	84.8
MR	614	594	609	676	621	573	595	600	618	550	524	601	7,175
1日平均	29.2	31.3	30.5	30.7	29.6	30.2	28.3	30.0	30.9	28.9	29.1	28.6	29.8
RI	59	42	62	75	56	55	59	58	49	45	45	49	654
1日平均	2.8	2.2	3.1	3.4	2.7	2.9	2.8	2.9	2.5	2.4	2.5	2.3	2.7
DEXA	158	169	162	160	157	168	223	203	178	185	163	192	2,118
1日平均	7.5	8.9	8.1	7.3	7.5	8.8	10.6	10.2	8.9	9.7	9.1	9.1	8.8
ESWL	0	1	1	2	0	1	2	0	0	1	0	0	8
1日平均	0	0.1	0.1	0.1	0	0.1	0.1	0	0	0.1	0	0	0
放射線治療	267	410	307	410	318	297	337	489	445	399	407	428	4,514
1日平均	12.7	21.6	15.4	18.6	15.1	15.6	16.0	24.5	22.3	21.0	22.6	20.4	18.7

健診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	1	0	4	4	4	6	3	6	6	3	1	6	44
頸椎	1	0	4	4	4	6	3	6	6	3	1	6	44
胸部	162	243	301	324	312	295	328	295	293	277	258	132	3,220
乳房	69	74	100	123	100	97	111	69	77	62	55	25	962
胃透視	73	117	153	146	137	142	143	131	145	115	100	64	1,466
骨塩定量	6	3	18	21	18	20	21	21	18	3	2	3	154
MR	14	23	26	39	42	41	25	29	21	13	11	9	293
CT	15	13	18	9	18	9	17	7	14	6	11	3	140
合計	341	473	624	670	635	616	651	564	580	482	439	248	6,323

（2）科別利用件数（外来）

（単位：件）

外来	単純撮影	造影撮影	TV	泌尿器・婦人科系	ESWL	DEXA	CT	MR	血管造影	RI	放射線治療	健診センター	病棟ポータブル	OP室ポータブル	合計
内科	2,747	0	3	0	0	0	2,827	281	7	0	0	0	1	0	5,866
小児	131	0	2	0	0	0	7	19	0	0	0	0	2	0	161
外科	2,501	1	68	1	0	256	1,077	168	1	54	0	288	0	0	4,415
耳鼻	406	0	18	0	0	3	477	203	0	22	0	0	0	0	1,129
産婦	208	0	0	7	0	8	134	205	0	0	0	0	1	0	563
眼科	404	0	0	0	0	0	77	24	0	0	0	0	0	0	505
整形	16,676	0	279	1	0	1,248	1,059	1,469	0	0	0	90	0	76	20,898
泌尿	1,021	0	151	36	8	0	604	98	0	86	0	0	0	0	2,004
皮膚	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9
脳外	517	0	2	0	0	0	1,256	1,200	2	11	0	0	2	0	2,990
歯科	1,195	0	0	0	0	0	208	24	0	2	0	0	0	0	1,429
神内	112	0	0	0	0	4	376	418	0	109	0	0	0	0	1,019
心外	1,116	0	0	0	0	0	917	49	0	0	0	0	0	0	2,082
形成	105	0	0	0	0	0	34	9	0	4	0	0	0	1	153
呼内	6,794	0	2	0	0	18	1,870	101	0	44	0	0	2	0	8,831
呼外	2,411	0	2	0	0	0	837	107	0	60	0	0	0	0	3,417
循内	4,963	0	4	0	0	0	884	125	21	173	0	0	0	0	6,170
消内	440	0	236	0	0	4	1,743	412	0	0	0	0	0	0	2,835
麻酔	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,807	0	0	5,807
放診	24	0	4	0	0	0	1,031	1,154	0	39	0	0	0	0	2,252
腎内	464	0	0	0	0	70	552	194	1	3	0	0	0	0	1,284
血内	101	0	0	0	0	1	128	5	0	0	0	0	0	0	235
ﾘｳﾏﾁ	1,042	0	0	0	0	134	181	48	0	0	0	0	0	0	1,405
放治	28	0	0	0	0	0	356	67	0	0	3,274	0	0	0	3,725
救急	88	0	0	0	0	0	40	4	0	0	0	0	0	0	132
透内	354	0	0	0	0	200	160	13	12	0	0	0	8	0	747
総合診	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8
合計	43,862	1	771	45	8	1,946	16,840	6,397	44	607	3,274	6,185	16	77	80,073

（3）科別利用件数（入院）

（単位：件）

入院	単純撮影	TV	泌尿器・婦人科系	DEXA	CT	MR	血管造影	RI	放射線治療	健診センター	病棟ポータブル	OP室ポータブル	合計
内　科	38	10	0	0	22	2	20	0	0	0	23	2	117
小　児	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	17
外　科	735	95	0	0	178	10	31	1	0	0	793	594	2,437
耳　鼻	16	71	0	2	35	6	0	0	0	0	1	1	132
産　婦	20	3	2	0	7	8	9	0	0	0	34	186	269
眼　科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
整　形	2,204	24	1	98	231	86	1	1	0	0	84	737	3,467
泌　尿	97	32	35	0	39	4	0	0	0	0	57	53	317
皮　膚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳　外	296	18	0	1	1,251	325	127	22	0	0	597	6	2,643
歯　科	114	0	0	0	8	0	0	1	0	0	0	1	124
神　内	31	0	0	1	32	36	1	0	0	0	25	0	126
心　外	584	3	0	0	179	7	30	0	0	0	1,038	107	1,948
形　成	5	0	0	0	4	3	0	0	0	0	12	0	24
呼　内	1,302	91	2	2	196	37	13	16	0	0	811	6	2,476
呼　外	846	32	0	0	62	10	5	3	0	0	263	105	1,326
循　内	901	9	0	1	270	42	1,310	3	0	0	1,322	1	3,859
消　内	355	449	1	0	556	112	55	6	0	0	182	4	1,720
麻　酔	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	10
健　診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	0	0	94
放　診	0	20	0	0	4	1	9	0	0	0	0	0	34
腎　内	538	6	1	31	189	48	39	1	0	0	409	6	1,268
血　内	40	5	0	7	125	4	2	0	0	0	22	0	205
ﾘｳﾏﾁ	121	3	0	26	108	27	4	2	0	0	42	0	333
放　治	9	0	0	0	76	8	0	0	1,240	0	0	0	1,333
救　急	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
透　内	75	1	0	0	15	2	56	0	0	0	19	0	168
総合診	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	7	0	13
合　計	8,339	874	42	169	3,593	778	1,714	56	1,240	94	5,750	1,816	24,465

（4）月別利用患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来患者数(人)	5,670	5,800	5,767	6,329	5,859	5,515	6,139	5,859	5,871	5,795	5,136	5,600	69,340
入院患者数(人)	1,931	1,897	1,694	1,903	1,717	1,638	1,743	1,815	1,931	1,914	1,582	1,640	21,405
合　計(人)	7,601	7,697	7,461	8,232	7,576	7,153	7,882	7,674	7,802	7,709	6,718	7,240	90,745
1日平均(人)	362.0	405.1	373.1	374.2	360.8	376.5	375.3	383.7	390.1	405.7	373.2	344.8	376.5
ﾌｨﾙﾑ使用枚数(枚)	83	83	49	65	86	69	68	54	66	71	28	76	798
1日平均(枚)	4.0	4.4	2.5	3.0	4.1	3.6	3.2	2.7	3.3	3.7	1.6	3.6	3.3

（5）検査別前年比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
単純撮影													
平成30年度	4,699	5,138	4,861	5,073	4,977	4,317	5,192	4,879	4,693	4,378	4,038	4,305	56,550
令和元年度	4,422	4,578	4,359	4,757	4,396	4,081	4,555	4,342	4,356	4,443	3,714	4,204	52,207
前年比 (%)	94.1	89.1	89.7	93.8	88.3	94.5	87.7	89.0	92.8	101.5	92.0	97.7	92.3
血管造影													
平成30年度	131	138	127	135	138	106	138	149	121	96	100	138	1,517
令和元年度	168	141	127	136	150	120	143	165	154	153	142	159	1,758
前年比 (%)	128.2	102.2	100	100.7	108.7	113.2	103.6	110.7	127.3	159.4	142.0	115.2	115.9
ＣＴ													
平成30年度	1,510	1,610	1,628	1,621	1,610	1,493	1,670	1,647	1,600	1,583	1,507	1,645	19,124
令和元年度	1,704	1,723	1,640	1,848	1,709	1,661	1,793	1,689	1,719	1,797	1,508	1,643	20,434
前年比 (%)	112.8	107.0	100.7	114.0	106.1	111.3	107.4	102.6	107.4	113.5	100.1	99.9	106.9
ＭＲ													
平成30年度	541	593	602	651	640	492	595	565	533	454	559	566	6,791
令和元年度	614	594	609	676	621	573	595	600	618	550	524	601	7,175
前年比 (%)	113.5	100.2	101.2	103.8	97.0	116.5	100	106.2	115.9	121.1	93.7	106.2	105.7
ＲＩ													
平成30年度	50	65	66	76	71	52	48	65	47	34	40	57	671
令和元年度	59	42	62	75	56	55	59	58	49	45	45	49	654
前年比 (%)	118.0	64.6	93.9	98.7	78.9	105.8	122.9	89.2	104.3	132.4	112.5	86.0	97.5
ＤＥＸＡ(骨塩定量)													
平成30年度	170	171	182	153	167	181	212	177	169	111	133	170	1,996
令和元年度	158	169	162	160	157	168	223	203	178	185	163	192	2,118
前年比 (%)	92.9	98.8	89.0	104.6	94.0	92.8	105.2	114.7	105.3	166.7	122.6	112.9	106.1
ＥＳＷＬ(体外衝撃波結石破砕)													
平成30年度	0	1	0	2	1	1	2	1	1	1	0	2	12
令和元年度	0	1	1	2	0	1	2	0	0	1	0	0	8
前年比 (%)	0	100	0	100	0	100	100	0	0	100	0	0	66.7
放射線治療													
平成30年度	367	486	438	536	540	416	620	590	304	227	385	460	5,369
令和元年度	267	410	307	410	318	297	337	489	445	399	407	428	4,514
前年比 (%)	72.8	84.4	70.1	76.5	58.9	71.4	54.4	82.9	146.4	175.8	105.7	93.0	84.1
ポータブル撮影													
平成30年度	703	589	631	638	645	599	630	620	587	617	715	605	7,579
令和元年度	670	677	618	628	591	561	659	699	738	677	538	586	7,642
前年比 (%)	95.3	114.9	97.9	98.4	91.6	93.7	104.6	112.7	125.7	109.7	75.2	96.9	100.8
外来患者数													
平成30年度	5,535	6,014	5,969	6,200	6,052	5,340	6,366	6,134	5,687	5,308	5,216	5,580	69,401
令和元年度	5,670	5,800	5,767	6,329	5,859	5,515	6,139	5,859	5,871	5,795	5,136	5,600	69,340
前年比 (%)	102.4	96.4	96.6	102.1	96.8	103.3	96.4	95.5	103.2	109.2	98.5	100.4	99.9
入院患者数													
平成30年度	1,804	1,962	1,857	1,994	1,934	1,661	2,027	2,055	1,880	1,728	1,852	1,814	22,568
令和元年度	1,931	1,897	1,694	1,903	1,717	1,638	1,743	1,815	1,931	1,914	1,582	1,640	21,405
前年比 (%)	107.0	96.7	91.2	95.4	88.8	98.6	86.0	88.3	102.7	110.8	85.4	90.4	94.8
外来入院合計患者数													
平成30年度	7,339	7,976	7,826	8,194	7,986	7,001	8,393	8,189	7,567	7,036	7,068	7,394	91,969
令和元年度	7,601	7,697	7,461	8,232	7,576	7,153	7,882	7,674	7,802	7,709	6,718	7,240	90,745
前年比 (%)	103.6	96.5	95.3	100.5	94.9	102.2	93.9	93.7	103.1	109.6	95.0	97.9	98.7
フィルム使用枚数													
平成30年度	68	79	86	47	67	56	101	78	66	65	65	117	895
令和元年度	83	83	49	65	86	69	68	54	66	71	28	76	798
前年比 (%)	122.1	105.1	57.0	138.3	128.4	123.2	67.3	69.2	100.0	109.2	43.1	65.0	89.2

９．中央検査技術科業務状況

（１）院内部門別件数

	一 般	血 液	化 学	免 疫	輸 血	細 菌	生 理	聴 力	病 理	令和元年度合計	対前年度比	平成30年度合計
４月	30,376	51,532	143,473	7,239	693	1,626	3,392	185	863	239,379	107.2%	223,294
５月	33,364	51,940	146,419	7,558	698	2,016	3,413	212	849	246,469	102.3%	241,019
６月	32,250	50,606	139,972	7,247	638	1,529	3,606	233	1,084	237,165	96.2%	246,603
７月	37,505	56,396	156,355	8,502	815	1,752	3,983	250	1,149	266,707	112.7%	236,647
８月	35,551	53,780	151,963	7,680	730	1,684	3,688	185	1,020	256,281	103.2%	248,277
９月	34,676	51,163	144,069	7,648	661	1,757	3,587	143	966	244,670	105.6%	231,666
10月	37,636	54,120	153,570	8,214	762	1,781	3,733	189	1,131	261,136	110.3%	236,830
11月	37,013	52,477	150,302	8,074	763	1,781	3,837	165	1,067	255,479	107.9%	236,787
12月	36,779	54,821	154,852	8,302	735	1,775	3,653	144	1,154	262,215	112.0%	234,072
１月	37,151	54,990	156,116	8,532	804	2,091	3,738	147	1,071	264,640	113.2%	233,737
２月	32,737	48,222	136,751	7,408	689	1,557	3,365	135	910	231,774	101.4%	228,629
３月	32,589	52,227	148,859	7,830	634	1,399	3,365	136	837	247,876	98.9%	250,599
合計	417,627	632,274	1,782,701	94,234	8,622	20,748	43,360	2,124	12,101	3,013,791	105.8%	2,848,160

（２）院内・委託件数比率

	院内検査〔件〕	委託検査〔件〕	（A社）〔件〕	（B社）〔件〕	（C社）〔件〕	院内検査〔%〕	委託検査〔%〕
４月	239,379	3,092	2,269	810	13	98.71	1.29
５月	246,469	2,899	2,085	799	15	98.82	1.18
６月	237,165	3,130	2,270	838	22	98.68	1.32
７月	266,707	3,297	2,521	752	24	98.76	1.24
８月	256,281	3,234	2,451	763	20	98.74	1.26
９月	244,670	3,045	2,258	775	12	98.76	1.24
10月	261,136	3,026	2,283	731	12	98.84	1.16
11月	255,479	3,281	2,498	767	16	98.72	1.28
12月	262,215	3,226	2,491	713	22	98.77	1.23
１月	264,640	3,185	2,498	673	14	98.80	1.20
２月	231,774	2,851	2,109	725	17	98.77	1.23
３月	247,876	3,128	2,420	687	21	98.74	1.26
合計	3,013,791	37,394	28,153	9,033	208	98.76	1.24

（３）生理検査種別年度比

	心電図			ホルター心電図			トレッドミル			脳波		
	平成30年度	令和元年度	対前年度比	平成30年度	令和元年度	対前年度比	平成30年度	令和元年度	対前年度比	平成30年度	令和元年度	対前年度比
外来合計	16,986	19,037	112.1%	348	360	103.4%	21	9	42.9%	114	117	102.6%
入院合計	2,998	2,211	73.7%	41	73	178.0%	0	0	0.0%	147	130	88.4%
総合計	19,984	21,248	106.3%	389	433	111.3%	21	9	42.9%	261	247	94.6%
	ＵＣＧ			頸動脈エコー			腹部エコー			肺機能		
	平成30年度	令和元年度	対前年度比	平成30年度	令和元年度	対前年度比	平成30年度	令和元年度	対前年度比	平成30年度	令和元年度	対前年度比
外来合計	3,636	4,012	110.3%	661	720	108.9%	2,401	2,643	110.1%	3,640	3,712	102.0%
入院合計	1,267	1,149	90.7%	299	295	98.7%	171	127	74.3%	151	143	94.7%
総合計	4,903	5,161	105.3%	960	1,015	105.7%	2,572	2,770	107.7%	3,791	3,855	101.7%
	ＡＢＲ			ＡＢＩ			筋電図			下枝静脈エコー		
	平成30年度	令和元年度	対前年度比	平成30年度	令和元年度	対前年度比	平成30年度	令和元年度	対前年度比	平成30年度	令和元年度	対前年度比
外来合計	15	18	120.0%	2,649	2,651	100.1%	177	200	113.0%	811	822	101.4%
入院合計	9	7	77.8%	518	377	72.8%	58	43	74.1%	277	302	109.0%
総合計	24	25	104.2%	3,167	3,028	95.6%	235	243	103.4%	1,088	1,124	103.3%

	総　計		
	平成30年度	令和元年度	対前年度比
外来合計	31,459	34,301	109.0%
入院合計	5,936	4,857	81.8%
総合計	37,395	39,158	104.7%

10. リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況

（1）理学療法患者数

（単位：件）　　(%)

	外　来	入　院	合　計	増　減	前年比
平成31年4月	408	3,881	4,289	-33	99
令和1年5月	356	3,806	4,162	-320	93
6月	372	3,924	4,296	-389	92
7月	406	4,067	4,473	-17	100
8月	417	3,939	4,356	-179	96
9月	437	3,474	3,911	174	105
10月	483	4,012	4,495	-55	99
11月	458	3,963	4,421	8	100
12月	387	3,927	4,314	323	108
令和2年1月	420	3,951	4,371	536	114
2月	342	3,795	4,137	42	101
3月	375	4,050	4,425	258	106
計	4,861	46,789	51,650	348	101

（2）作業療法患者数

	外　来	入　院	合　計	増　減	前年比
平成31年4月	64	1,786	1,850	51	103
令和1年5月	48	1,712	1,760	-164	91
6月	46	1,814	1,860	-166	92
7月	40	1,991	2,031	191	110
8月	61	1,981	2,042	185	110
9月	49	1,711	1,760	178	111
10月	66	2,048	2,114	128	106
11月	67	1,873	1,940	75	104
12月	60	1,865	1,925	185	111
令和2年1月	60	1,810	1,870	184	111
2月	55	1,676	1,731	-71	96
3月	72	1,806	1,878	10	101
計	688	22,073	22,761	786	104

（3）言語聴覚療法患者数

	外　来	入　院	合　計	増　減	前年比
平成31年4月	36	995	1,031	-122	89
令和1年5月	34	1,000	1,034	-40	96
6月	38	922	960	-123	89
7月	41	927	968	-51	95
8月	34	913	947	-106	90
9月	35	815	850	-31	96
10月	43	911	954	-80	92
11月	36	811	847	-233	78
12月	34	844	878	-71	93
令和2年1月	27	894	921	-117	89
2月	31	964	995	-24	98
3月	32	1,137	1,169	103	110
計	421	11,133	11,554	-895	93

11. 訪問看護ステーション業務状況

◆訪問回数

延べ訪問回数	介護保険	7,781	76.38%
	医療保険	2,406	23.61%
	計	10,187	

◆利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受入	8	6	10	7	5	6	4	7	5	5	7	8	78
新規受入（院内）	5	3	6	3	4	5	1	3	4	4	7	3	48
新規受入（院外）	3	3	4	4	1	1	3	4	1	1	0	5	30
利用者実数計	134	134	130	133	133	136	133	135	139	140	140	149	1,636

◆終了状況

死亡内訳	在宅	在宅外（病院・施設）	その他（転居・転院・中止）
総数	17	26	11
がん	7	15	
心疾患	2	6	
脳血管障害	2	0	
呼吸器	2	4	
その他	4	1	

＊在宅看取り 40%

◆疾患別患者数

疾病名	利用者数
循環器系疾患	31
癌	43
神経系疾患	14
脳血管系疾患	32
内分泌系疾患	16
精神疾患	11
筋骨格系疾患	16
呼吸器系疾患	29
血液・免疫機能系疾患	3
腎泌尿器系疾患	14
消化器系疾患	3
先天性奇形	4
皮膚及び皮下組織系疾患	4
計	220

◆年齢別患者数

年齢層	人数
0 ～ 10	0
11 ～ 20	3
21 ～ 30	0
31 ～ 40	4
41 ～ 50	4
51 ～ 60	5
61 ～ 70	33
71 ～ 80	55
81 ～ 90	91
91 ～ 100	23
101 以上	2

◆緊急対応（夜間･休日）

電話のみ	706 件
出動	380 件

◆介護区分別患者数

介護度	人数
要支援1	4
要支援2	17
要介護1	38
要介護2	45
要介護3	26
要介護4	25
要介護5	28

男女人数	人数
男性	116
女性	104

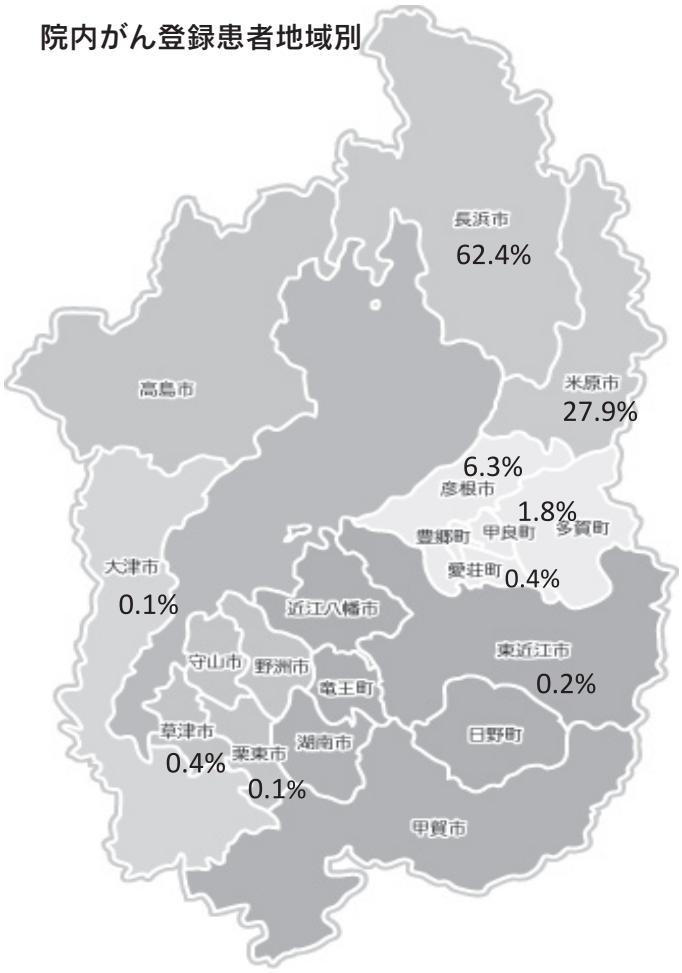
12. 疾病分類別・転帰別　退院患者数（転科含む）

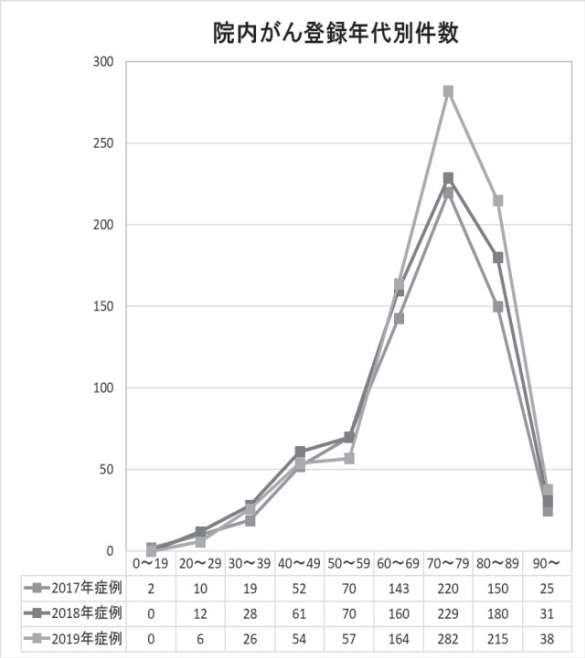
国際疾病分類	性別	転帰								総計
		1. 治癒	2. 軽快	3. 寛解(白血病など)	4. 不変	5. 増悪	6. 死亡	7. 外死亡(主病名以外の死因)	9. その他	
感染症及び寄生虫症	男	1	45		1		5	5	3	60
	女		63		3		3	1	12	82
	合計	1	108		4		8	6	15	142
眼及び付属器の疾患	男		293		1					294
	女		326							326
	合計		619		1					620
筋骨格系及び結合組織の疾患	男		179		5		1	1	26	212
	女	1	312		5			1	67	386
	合計	1	491		10		1	2	93	598
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	男		14		1		1	1		17
	女		11						1	12
	合計		25		1		1	1	1	29
呼吸器系の疾患	男	9	415		17		30	23	62	556
	女	8	278		7		23	17	35	368
	合計	17	693		24		53	40	97	924
耳及び乳様突起の疾患	男	1	18		1					20
	女		23						1	24
	合計	1	41		1				1	44
周産期に発生した病態	男		46		3					49
	女		24		2					26
	合計		70		5					75
循環器系の疾患	男		798		22		10	26	307	1,163
	女	1	517		21		27	23	212	801
	合計	1	1,315		43		37	49	519	1,964
消化器系の疾患	男	7	368	1	3		2	9	26	416
	女	5	393		5		1	1	10	415
	合計	12	761	1	8		3	10	36	831
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男		3							3
	女		5							5
	合計		8							8
新生物	男	1	475		413	1	96	31	234	1,251
	女		490		173	1	47	15	102	828
	合計	1	965		586	2	143	46	336	2,079
神経系の疾患	男	1	94		8		3	3	31	140
	女		54		23		2	1	15	95
	合計	1	148		31		5	4	46	235
腎尿路生殖器系の疾患	男	3	307		63		2	5	44	424
	女	4	257	1	21	1		4	53	341
	合計	7	564	1	84	1	2	9	97	765
精神及び行動の障害	男		4							4
	女		5		1					6
	合計		9		1					10
先天奇形、変形及び染色体異常	男		11		2				2	15
	女		7		4				2	13
	合計		18		6				4	28
損傷、中毒及びその他の外因の影響	男		261		12	1	2	4	63	343
	女	1	288	1	5			4	86	385
	合計	1	549	1	17	1	2	8	149	728
内分泌、栄養及び代謝疾患	男	1	112		2			2	19	136
	女		61					2	18	81
	合計	1	173		2			4	37	217
妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	女		73		1				112	186
	合計		73		1				112	186
皮膚及び皮下組織の疾患	男		24				1		1	26
	女	1	22		1				3	27
	合計	1	46		1		1		4	53
総　　計	男	24	3,467	1	554	2	153	110	818	5,129
	女	21	3,209	2	272	2	103	69	729	4,407
	合計	45	6,676	3	826	4	256	179	1,547	9,536

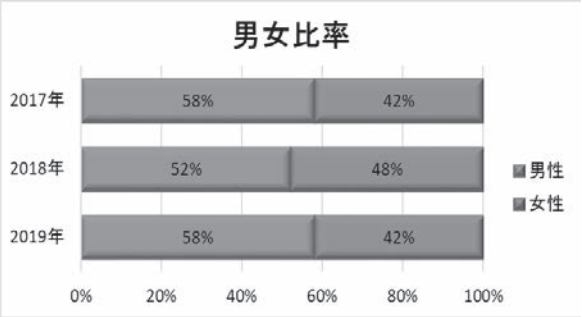
13. 院内がん登録　2019 年症例

算出条件
・重複がんを含む
・2019 年症例（2019 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日院内がん登録の起算日ルールに基づく）　n ＝ 842
・2018 年症例（2018 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日院内がん登録の起算日ルールに基づく）　n ＝ 771
・2017 年症例（2017 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日院内がん登録の起算日ルールに基づく）　n ＝ 691

院内がん登録患者地域別







県外	湖北		湖東			東近江	湖南		
	長浜市	米原市	彦根市	犬上郡	愛荘町	東近江	大津市	草津市	栗東市
0.5%	62.4%	27.9%	6.3%	1.8%	0.4%	0.2%	0.1%	0.4%	0.1%

2017年～2019年症例　自施設診断･自施設治療状況

	2017	2018	2019
自施設診断	84.7%	82.5%	85.3%
自施設治療	85.0%	83.7%	85.2%

自施設診断・自施設治療状況より、約 85%のがん患者さまが、当院での診療で完結している状況がわかります。
当院は地域に根ざした医療を目指しています。

14. 医療機器等購入状況

部　　署	品　　名	取　得　年　月
形成外科	植皮用皮膚片採取装置	令和元年５月
整形外科	電動デジタルエアータニケット	
消化器内科	内視鏡検査・処置用テーブル	令和元年６月
整形外科	エクトラIIシステム	
病理診断科	ＥＳアナライザー	
臨床工学技術科	ネーザルハイフローシステム	
泌尿器科	尿管ファイバー	
心臓血管外科	ＨＤカメラシステム	
外科	内視鏡システムスコープ	
産婦人科	子宮鏡セット	
消化器内科	超音波画像診断装置	令和元年７月
泌尿器科	硬性尿管鏡	
歯科口腔外科	コンプレッサシステム	
ヘルスケア研究センター	呼吸機能検査装置	
泌尿器科	尿管ファイバー	
整形外科	加温システム	令和元年８月
泌尿器科	２色ＬＥＤ光源装置	
整形外科	神経モニターシステム	
外科	ウルトラビジョンシステム	
消化器内科	高周波手術装置	
看護局	医療用手洗い装置	
泌尿器科	軟性膀胱尿道鏡	
中央材料室	ＥＯガス滅菌器	令和元年９月
眼科	眼撮影装置	
中央処置室	スリム型薬用保冷庫	
中央手術室	レビテーター・カート	
心臓血管外科	ＬＥＤライトシステム	
	持針器ラウンドハンドル	令和元年 10 月
皮膚科	ダーモカメラ	
中央手術室	４点フレーム	令和元年 11 月
耳鼻咽喉科	診療ユニット	
整形外科	３Ｄメディカルレコーダー	
泌尿器科	軟性膀胱尿道鏡	
ヘルスケア研究センター	検診台	令和元年 12 月
救急センター	救急シュミレーショントレーニング用ＡＬＳ	令和２年１月
臨床工学技術科	ネーザルハイフローシステム	
中央検査技術科	検査用生物顕微鏡	
リハビリテーション科	エルゴメーター	令和２年２月
中央検査技術科・中央処置室	採血管準備装置・業務支援システム	令和２年３月
人工透析センター	体重計付電動ベッド	令和２年３月
ＩＣＵ	生体情報モニタリングシステム	
中央手術室	無影灯	
透析・療養２階・回復期	ベッドパンウォッシャー	
人工透析センター	透析用監視装置・多人数用透析液供給装置	
中央材料室	システム乾燥器	
消化器内科	内視鏡カメラシステム	
歯科口腔外科	歯科Ｘ線撮影装置	
耳鼻咽喉科	睡眠評価装置	
臨床工学技術科	カフ上部吸引器	

15. 死亡診断書発行状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内　　科	17	9	6	7	6	10	8	9	11	14	8	8	113
小　児　科													0
外　　科	4	5	4	3	3	1	5	3	4	1	1	2	36
耳鼻咽喉科					1	1		1					3
産婦人科	2		1	1	1		1		3				9
眼　　科													0
整形外科		1		2				1					4
泌尿器科	2	4			3	1	1	1	1	3		1	17
皮　膚　科													0
脳神経外科	2	5	2	1	3		3	6		4	3	5	34
歯科口腔外科													0
神経内科			1			1	1				1	1	5
心臓血管外科			3	1		2	1			2	1		10
形成外科		1											1
呼吸器科	15	12	10	11	10	16	13	15	12	15	11	9	149
循環器科	4	3	2	4	1	8	8	4	6	2	5	1	48
消化器科	2	1	9	4	5	4	8	10	5	7	4	7	66
死　　産						1	1		1				3
合　　計	48	41	38	34	33	45	50	50	43	48	34	34	498

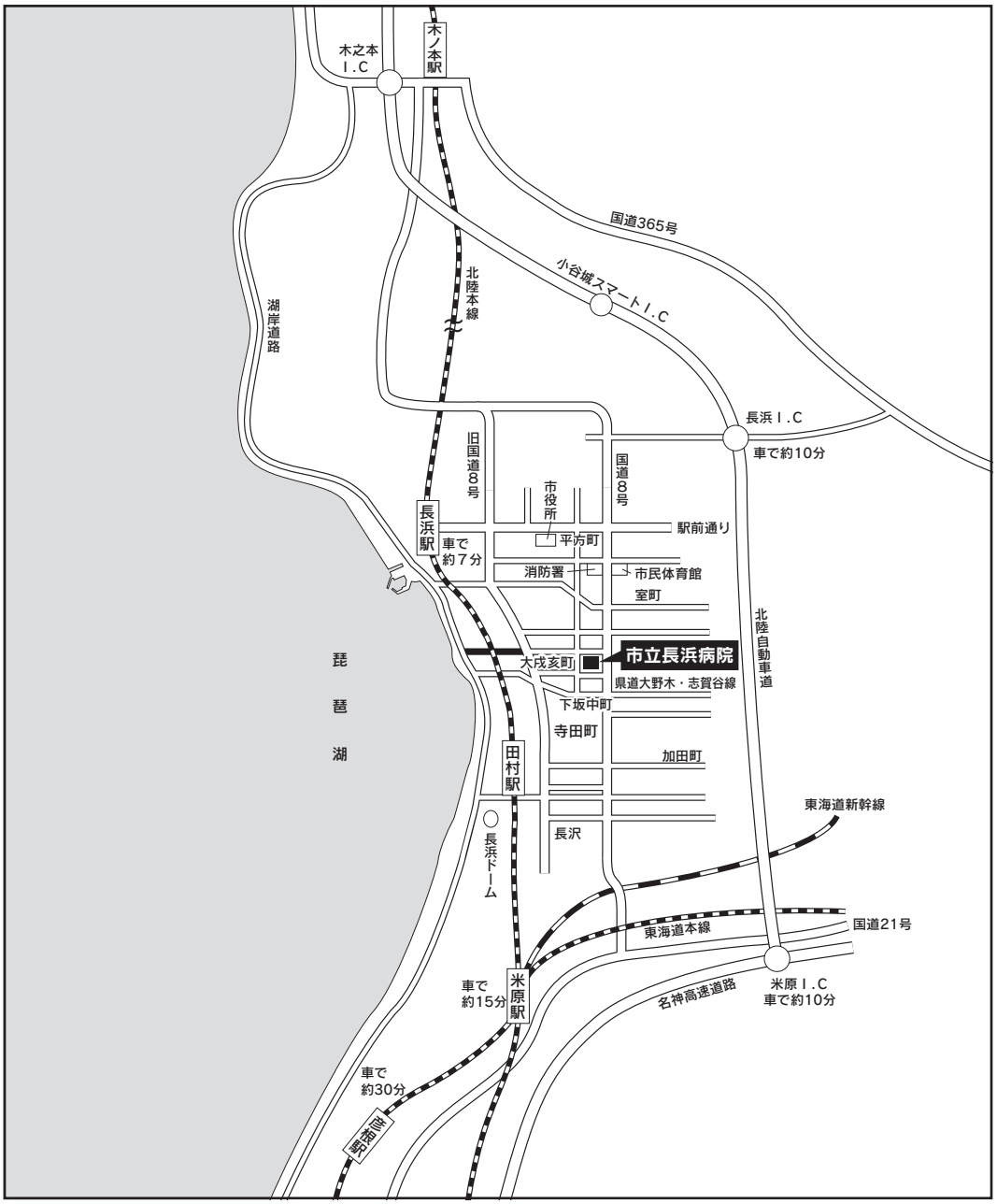
16. 剖検症例

剖検番号	年齢	性別	臨床診断	出所	検索部位	病理診断
A00632	62	M	右上葉肺癌	呼吸内	胸腹部	肺小細胞癌
A00633	90	F	原発不明癌	呼吸内	胸腹部	小細胞癌（原発不明）
A00634	62	M	右上肺腺癌	呼吸内	胸腹部	肺原発腺癌
A00635	92	M	大動脈弁狭窄症	循内	胸腹部	加齢性大動脈弁狭窄症
A00636	63	M	肺癌	呼吸内	胸腹部	浸潤性粘液性腺癌
A00637	77	M	膵尾部癌	消内	胸腹部	低分化腺癌（原発不明）
A00638	76	M	左腎細胞癌	泌尿	胸腹部	集合管癌

17. 院内保育所「あすなろ園」状況

月	性別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	計	一時保育児
4　月	男	0	5	8	2	15	6
	女	2	6	2	2	12	3
	計	2	11	10	4	27	9
5　月	男	0	5	8	1	14	0
	女	2	8	2	2	14	0
	計	2	13	10	3	28	0
6　月	男	0	5	8	1	14	0
	女	2	8	2	2	14	0
	計	2	13	10	3	28	0
7　月	男	0	5	7	1	13	0
	女	2	8	2	2	14	0
	計	2	13	9	3	27	0
8　月	男	0	5	6	1	12	0
	女	3	8	2	2	15	0
	計	3	13	8	3	27	0
9　月	男	2	5	6	1	14	0
	女	3	8	2	2	15	0
	計	5	13	8	3	29	0
10　月	男	3	5	6	1	15	0
	女	3	8	2	2	15	0
	計	6	13	8	3	30	0
11　月	男	3	5	6	1	15	0
	女	3	8	2	2	15	0
	計	6	13	8	3	30	0
12　月	男	3	6	6	1	16	0
	女	3	8	2	3	16	0
	計	6	14	8	4	32	0
1　月	男	3	6	7	1	17	0
	女	4	8	3	3	18	0
	計	7	14	10	4	35	0
2　月	男	3	6	7	1	17	0
	女	4	8	3	3	18	0
	計	7	14	10	4	35	0
3　月	男	4	6	7	1	18	0
	女	6	8	3	3	20	0
	計	10	14	10	4	38	0
年間合計	男	21	64	82	13	180	6
	女	37	94	27	28	186	3
	計	58	158	109	41	366	9
月平均	男	2	5	7	1	15	0.5
	女	3	8	2	2	16	0.3
	計	5	13	9	3	31	0.8

※合計には一時保育は含まない。


木之本
I.C
木ノ本駅
国道365号
小谷城スマートI.C
北陸本線
湖岸道路
長浜I.C
車で約10分
旧国道8号
国道8号
市役所
長浜駅
車で
約7分
平方町
駅前通り
消防署
市民体育館
室町
北陸自動車道
琵
琶
湖
大成亥町
市立長浜病院
県道大野木・志賀谷線
下坂中町
寺田町
田村駅
加田町
東海道新幹線
長沢
長浜ドーム
国道21号
東海道本線
米原駅
車で
約15分
名神高速道路
米原I.C
車で約10分
車で
約30分
彦根駅

令和２年 12 月発行

令和元年度　市立長浜病院年報

編集・発行　市立長浜病院
院長　神 田 雄 史
滋賀県長浜市大戌亥町313番地
TEL　0749－68－2300
FAX　0749－65－1259